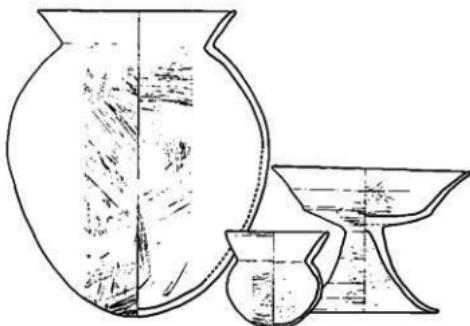


熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XI

(2005、2007、2009、2010年度)



2016

熊本大学埋蔵文化財調査センター

熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XI

(2005、2007、2009、2010年度)

2016

熊本大学埋蔵文化財調査センター

卷頭図版（1）



1. 本庄遺跡0509調査地点調査区全景



2. 本庄遺跡0509調査地点18・33号溝全景



1. 本庄遺跡0509調査地点96号住居遺物出土状況



2. 本庄遺跡0509調査地点出土遺物

序 文

熊本市内外に複数ある熊本大学のキャンパスの土地はいずれも埋蔵文化財包蔵地、つまり遺跡である。本荘キャンパスは本庄遺跡として知られ、県下でも有数の大江遺跡群に隣あう。黒髪キャンパスは、弥生時代の土器である黒髪式の標識遺跡として学史上知られる黒髪町遺跡群のなかにある。黒髪キャンバスは、延喜式に登場する「蚕養駅」および旧飽田郡家（飽田郡都司建部公の居所）の候補地でもあり、肥後国府の所在とともに古代史研究上の要所とされる。幸いなことにこの一帯は学校敷地の故に近代化および戦後復興の開発から免れ、地下の歴史がほぼ保存されてきた。ただこれも本学の開発に伴って年々破壊を余儀なくされている。せめてその姿を学術的に記録しようというのが本学の発掘調査であり、報告書を刊行して調査終了となる。

本書は2005年、2007年、2009年、2010年に実施した2地区計4件の発掘調査（黒髪北地区1件、本荘北地区2件、京町地区1件）の成果を収めたものである。

黒髪北地区では、20年来の調査で竪穴住居のある古代集落の様子が明らかになってきた。人びとは、立田山の麓に広がる集落で、白川を遠眺しながら生活していたことだろう。調査を通して、黒髪北キャンバスがいくつもの河岸段丘を整地した土地に広がっていることも改めて確認された。

本荘北地区では、敷地南側で古墳時代中期から古代にかけての集落の移り変わりが明らかになってきた。律令の時代、本荘一帯でも宮都にならってほぼ南北・東西方向の溝が通され、公的施設と一般的な住居を分けた街づくりがおこなわれたようである。その姿が大型建物の有無などによって少しずつ具体化し始める。

京町地区では、1994年と、2000年以来の本格的な発掘調査で、これまで知られた弥生人に加えて、古代人の姿も見え始めた。いっぽう弥生人の生活の痕跡の範囲は、予想を越えて広がりつつある。果たして環濠をめぐらせた弥生時代の集落が台地に残っているだろうか。今後の調査成果に期待しよう。

構内遺跡の発掘調査を開始して22年目の春を迎える。モザイク状だった調査成果が、それぞれのキャンバスで徐々に形をなし始めた。開発事業と適切に調整をとりながら、地域の歴史を復元する努力を今後も地道に継続してゆきたい。

本書の刊行物にあたり、ご尽力くださった学長をはじめ、センター運営委員会委員各位、施設担当各位に厚く御礼申しあげる。

平成28年2月25日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター
センター長 木下尚子

例　　言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室（平成23年10月1日より「熊本大学埋蔵文化財調査センター」に改組）が2005～2010年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、2005～2010年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、4件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。
II章：黒髪北地区 1006調査地点
III章：本荘北地区 0509調査地点・0923・0924・0925調査地点
IV章：京町地区 0719調査地点
4. 以上の調査を実施した2005～2010年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。
室　　長：甲元眞之（文学部教授）(03～05年度)・木下尚子（文学部教授）(05～10年度)
調　　査　員：小畠弘己（当時 文学部助教授）(05～07・10年度)・大坪志子（当時 文学部助手）(05～10年度)・江頭俊介（当時 技術補佐員）(07年度)
事務補佐員：前田（村田）知聖（2005・2009～2010年度）・中川木緯子（2007年）
5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、I章を小畠弘己・大坪志子が、他は大坪が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、小畠弘己・大坪志子をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生、株式会社埋蔵文化財サポートシステムによるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、入江由真、小山正子、柴田亮、首藤優子、宮崎大和、山崎早苗、小畠が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は大坪、増井、鬼塚美枝が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレイス3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は小畠・大坪が、遺物写真は江口路、末吉美紀がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、首藤、大坪が作成した。
13. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。
14. 本書の編集は大坪が行った。

本文目次

I 構内遺跡と調査の概要	1
1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要	1
2. 調査に至る経緯	4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡	5
II 黒髪北地区の調査	23
1. (黒髪北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事に伴う発掘調査 (1006調査地点)	23
(1) 調査の目的と経過	23
(2) 調査区の基本層序	23
(3) 検出遺構	26
(4) 出土遺物	26
(5) まとめ	28
III 本荘北地区の調査	31
1. (医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動先) に伴う発掘調査 (0509調査地点)	31
(1) 調査の目的と経過	31
(2) 調査区の基本層序	35
(3) 検出遺構	35
(4) 出土遺物	56
(5) まとめ	81
2. (医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事(変更)に伴う発掘調査 (0923調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事追加その2に伴う発掘調査 (0924調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備 (衛生) 工事追加その1に伴う発掘調査 (0925調査地点)	99
(1) 調査の目的と経過	99
(2) 調査区の基本層序	101
(3) 検出遺構	101
(4) 出土遺物	103
(5) まとめ	104
IV 京町地区の調査	109
1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)	109
(1) 調査の目的と経過	109
(2) 調査区の基本層序	111
(3) 検出遺構	111
(4) 出土遺物	113
(5) まとめ	114

挿 図 目 次

図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000).....	2
図2 黒髪北地区西半における調査地点位置図 (1/2000).....	24
図3 1006調査地点遺構配置実測図 (1/200).....	25
図4 11・12・18・19号竪穴住居実測図 (1/50).....	27
図5 1006調査地点出土遺物実測図 (1/4).....	29
図6 本庄北地区における調査地点位置図 (1/2000).....	32
図7 0509調査地点遺構配置実測図 (1/200).....	33
図8 0509調査地点遺構配置実測図 (溝) (1/200)	34
図9 西壁土層断面実測図 (1/50)	36
図10 46・47号竪穴住居実測図 (1/50)	37
図11 50号竪穴住居実測図 (1/50)	38
図12 58号竪穴住居実測図 (1/50)	39
図13 97・100号竪穴住居実測図 (1/50).....	40
図14 103・108号竪穴住居実測図 (1/50)	42
図15 78・79号竪穴住居実測図 (1/50)	43
図16 80号竪穴住居実測図 (1/50)	44
図17 94・99号竪穴住居実測図 (1/50)	46
図18 98号竪穴住居実測図 (1/50)	47
図19 101号竪穴住居実測図 (1/50).....	48
図20 102・104号竪穴住居実測図 (1/50)	50
図21 107号竪穴住居実測図 (1/50).....	51
図22 121号竪穴住居実測図 (1/50).....	52
図23 各溝土層断面実測図 (1/50)	53
図24 12・55号土坑実測図・近世～近代土坑墓群実測図 (1/50・1/100).....	55
図25 0509調査地点出土遺物実測図 1 (1/4).....	60
図26 0509調査地点出土遺物実測図 2 (1/4).....	61
図27 0509調査地点出土遺物実測図 3 (1/4).....	62
図28 0509調査地点出土遺物実測図 4 (1/4).....	63
図29 0509調査地点出土遺物実測図 5 (1/4).....	64
図30 0509調査地点出土遺物実測図 6 (1/4).....	65
図31 0509調査地点出土遺物実測図 7 (1/4).....	66
図32 0509調査地点出土遺物実測図 8 (1/4).....	67
図33 0509調査地点出土遺物実測図 9 (1/4・1/6).....	68
図34 0509調査地点出土遺物実測図 10 (1/4).....	69
図35 0509調査地点出土遺物実測図 11 (1/4).....	70
図36 0509調査地点出土遺物実測図 12 (1/4).....	71
図37 0509調査地点出土遺物実測図 13 (1/4).....	72
図38 0509調査地点出土遺物実測図 14 (1/4).....	73
図39 0509調査地点出土遺物実測図 15 (1/4).....	74
図40 0509調査地点出土遺物実測図 16 (1/4).....	75
図41 0509調査地点出土遺物実測図 17 (1/4).....	76
図42 0509調査地点出土遺物実測図 18 (1/4).....	77
図43 0509調査地点出土遺物実測図 19 (1/4・1/3).....	78
図44 0509調査地点出土遺物実測図 20 (1/4・1/1).....	79
図45 0509調査地点出土遺物実測図 21 (1/4・1/3).....	80

図46	0923・0924・0925調査地点遺構配置実測図 (1/200).....	100
図47	⑧・⑨・⑩・⑪工区遺構実測図および土層柱状図 (1/50・1/25)	102
図48	0923・0925調査地点出土遺物実測図 (1/4)	105
図49	京町地区における調査地点位置図 (1/1500).....	110
図50	0719調査地点遺構配置実測図 (1/200)	112
図版1	1006調査地点.....	123
写真1	調査区全景 (南より)	
写真2	11号竪穴住居焼土検出状況 (南より)	
写真3	11号竪穴住居竪土層断面 (南西より)	
写真4	11号竪穴住居竪内遺物出土状況 (南東より)	
写真5	11号竪穴住居竪掘削状況 (南より)	
図版2	1006調査地点.....	124
写真6	18号竪穴住居掘削状況 (東より)	
写真7	18号竪穴住居焼土検出状況 (東より)	
写真8	18号竪穴住居焼土土層断面 (南より)	
写真9	18号竪穴住居遺物出土状況 (南より)	
写真10	19号竪穴住居完掘状況 (東より)	
写真11	19号竪穴住居焼土土層断面 (西より)	
図版3	1006調査地点出土遺物.....	125
図版4	0509調査地点.....	126
写真12	調査区全景 (東より)	
写真13	18号・33号溝完掘状況 (南より)	
図版5	0509調査地点.....	127
写真14	46号竪穴住居土層断面 (南より)	
写真15	46号竪穴住居遺物出土状況 (南東より)	
図51	23号竪穴住居・21号溝・掘立柱建物実測図 (1/50)	114
図52	0719調査地点出土遺物実測図1 (1/4・1/3)	116
図53	0719調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)	117
図54	0719調査地点出土遺物実測図3 (1/4・1/3)	118

図 版

目 次

写真16	47号竪穴住居土層断面 (南より)	
写真17	47号竪穴住居完掘状況 (南より)	
写真18	50号竪穴住居遺物出土状況 (西より)	
写真19	50号竪穴住居遺物出土状況 (南西より)	
写真20	58号竪穴住居掘削状況 (東より)	
写真21	58号竪穴住居遺物出土状況 (北より)	
図版6	0509調査地点.....	128
写真22	58号竪穴住居遺物出土状況 (東より)	
写真23	58号竪穴住居突出部掘削状況 (西より)	
写真24	58号竪穴住居突出部遺物出土状況 (北西より)	
写真25	97号竪穴住居土層断面 (北西より)	
写真26	97号竪穴住居遺物出土状況 (南より)	
写真27	97号竪穴住居遺物出土状況 (南西より)	
写真28	100号竪穴住居土層断面 (西より)	
写真29	100号竪穴住居掘削状況 (南より)	
図版7	0509調査地点.....	129
写真30	103号竪穴住居土層断面 (南より)	
写真31	103号竪穴住居掘削状況 (南より)	
写真32	103号竪穴住居遺物出土状況 (西より)	

写真33	103号竪穴住居完掘状況（南より）	(東より)
写真34	108号竪穴住居土層断面（北西より）	写真59 121号竪穴住居竪裁ち割り状況（北より）
写真35	108号竪穴住居遺物出土状況（北より）	写真60 121号竪穴住居竪裁ち割り状況（東より）
写真36	108号竪穴住居完掘状況（南東より）	写真61 112号溝土層断面（南より）
写真37	78号竪穴住居完掘状況（南東より）	図版11 0509調査地点…………… 133
図版8	0509調査地点…………… 130	写真62 18号・33号溝掘削状況（南西より）
写真38	79号竪穴住居完掘状況（北より）	写真63 18号・33号溝土層断面（北より）
写真39	80号竪穴住居完掘状況（東より）	写真64 35号溝掘削状況（西より）
写真40	80号竪穴住居焼土・竪検出状況（東より）	写真65 35号溝土層断面（西より）
写真41	80号竪穴住居竪裁ち割り状況（東より）	写真66 77号溝掘削状況（東より）
写真42	98号竪穴住居土層断面（東より）	写真67 77号溝土層断面（西より）
写真43	98号竪穴住居掘削状況（南より）	写真68 13号溝完掘状況（北より）
写真44	98号竪穴住居焼土・竪検出状況（南より）	写真69 13号溝（南側）土層断面（南より）
写真45	98号竪穴住居竪裁ち割り状況（南より）	図版12 0509調査地点…………… 134
図版9	0509調査地点…………… 131	写真70 13号溝（南側）土層断面（南より）
写真46	98号竪穴住居竪裁ち割り状況（南より）	写真71 調査区北西部土坑群（東より）
写真47	99号竪穴住居掘削状況（南より）	写真72 12号土坑土層断面（西より）
写真48	99号竪穴住居焼土・竪検出状況（南より）	写真73 12号土坑遺物出土状況（北より）
写真49	99号竪穴住居竪裁ち割り状況（西より）	写真74 55号土坑土層断面（北より）
写真50	101号竪穴住居掘削状況（南より）	写真75 55号土坑完掘状況（東より）
写真51	101号竪穴住居焼土・竪検出状況（南より）	図版13 0509調査地点出土遺物1…………… 135
写真52	101号竪穴住居竪裁ち割り状況（南より）	図版14 0509調査地点出土遺物2…………… 136
写真53	102号竪穴住居掘削状況（東より）	図版15 0509調査地点出土遺物3…………… 137
図版10	0509調査地点…………… 132	図版16 0509調査地点出土遺物4…………… 138
写真54	104号竪穴住居掘削状況（東より）	図版17 0509調査地点出土遺物5…………… 139
写真55	104号竪穴住居竪裁ち割り状況（東より）	図版18 0509調査地点出土遺物6…………… 140
写真56	107号竪穴住居掘削状況（南東より）	図版19 0509調査地点出土遺物7…………… 141
写真57	121号竪穴住居掘削状況（南東より）	図版20 0509調査地点出土遺物8…………… 142
写真58	121号竪穴住居焼土・竪検出状況	図版21 0509調査地点出土遺物9…………… 143
		図版22 0509調査地点出土遺物10…………… 144
		図版23 0509調査地点出土遺物11…………… 145
		図版24 0509調査地点出土遺物12…………… 146
		図版25 0509調査地点出土遺物13…………… 147
		図版26 0509調査地点出土遺物14…………… 148
		図版27 0509調査地点出土遺物15…………… 149
		図版28 0509調査地点出土遺物16…………… 150
		図版29 0509調査地点出土遺物17…………… 151
		図版30 0509調査地点出土遺物18…………… 152

図版31	0509調査地点出土遺物19	153
図版32	0923・0924・0925調査地点	154
写真76	⑤工区全景（南より）	
写真77	⑤工区遺構検出状況（北東より）	
写真78	⑤工区遺構掘削状況（北東より）	
写真79	⑧工区全景（南西より）	
写真80	10号住居掘削状況（南西より）	
写真81	⑧工区東側遺構掘削状況（北より）	
写真82	⑧工区南壁土層断面（南西より）	
図版33	0923・0924・0925調査地点	155
写真83	⑨工区遺構掘削状況（西より）	
写真84	⑨工区3号溝掘削状況（南西より）	
写真85	⑨工区3号溝遺物出土状況（西より）	
写真86	⑨工区3号溝土層断面（西より）	
写真87	⑩工区遠景（北より）	
写真88	⑩工区全景（南より）	
写真89	⑩工区全景（北より）	
図版34	0923・0924・0925調査地点	156
写真90	⑪工区西壁土層断面（東より）	
写真91	⑪工区東半全景（東より）	
写真92	⑪工区西半全景（西より）	
写真93	7号住居遺物出土状況（西より）	
写真94	7号住居完掘状況（東より）	
図版35	0923・0924・0925調査地点出土遺物1	157
図版36	0923・0924・0925調査地点出土遺物2	158
図版37	0719調査地点	159
写真95	1区全景（南西より）	
写真96	3区掘削状況（南西より）	
写真97	4区掘削状況（北より）	
写真98	4区掘削状況（西より）	
写真99	3・4区掘削状況（西より）	
写真100	21号溝掘削状況（南より）	
写真101	21号溝土層断面（北より）	
図版38	0719調査地点	160
写真102	23号住居遺物出土状況（東より）	
写真103	23号住居土層断面（北東より）	
写真104	23号住居完掘状況（東より）	
写真105	1号溝完掘状況（南より）	
写真106	1号溝土層断面（南より）	
写真107	2号溝完掘状況（南より）	
写真108	38号長方形土坑土層断面（南東より）	
写真109	38号長方形土坑完掘状況（西より）	
図版39	0719調査地点出土遺物1	161
図版40	0719調査地点出土遺物2	162
図版41	0719調査地点出土遺物3	163
図版42	0719調査地点出土遺物4	164

表 目 次

表1	熊本大学敷地理蔵文化財包蔵地指定一覧表	83
		1
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表	106
		6
表3	1006調査地点出土遺物一覧表	119
		29
表4	0509調査地点出土遺物一覧表	83
表5	0923・0925調査地点出土遺物一覧表	
表6	0719調査地点出土遺物一覧表	119

I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本庄地区・九品寺地区・大江地区・小磯地区・京町地区・城東地区及び下南部地区的8区、市外の合津地区・阿蘇地区的2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている黒髪地区は黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-88）に含まれる。本遺跡群は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川の作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に通り、大学に隣接する熊本県立中学済々賛（現済々賛高校）の校庭から壺棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院（現ルーテル学院中学校・高等学校）敷地においてやはり弥生時代中期の壺棺や古墳時代の須恵器などが発見され、その重要性が認識されるに至った。黒髪式土器の模式遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々賛高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居と土師器・須恵器・黑色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書き土器が含まれているなど古代飽田郡における特徴的な性格をもつた遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「養蚕駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室（現センター）による発掘成果を受けて、済々賛高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司都建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴鳴1997）。このように、本遺跡群は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告においては黒髪北地区1

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧表（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所 在 地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備 考
1	黒髪北地区（法・文・教・大歴センター）	熊本市中央区黒髪2丁目40-1	黒髪町遺跡 集落址	縄文・弥生・奈良・平安		
	黒髪東地区（教育学部附属特別支援学校）	熊本市中央区黒髪5丁目17-1	群			
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市中央区黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡 集落址	縄文・弥生・奈良・平安		
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡 集落址	弥生・近世		
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市中央区城東5-9	熊本城址 城館址・熊本城 近世			関連遺構
5	教育学部新南部農場	熊本市東区新南部6丁目5-8	新南部遺跡 敷布地	縄文・弥生		
6	沿岸域環境科学教育研究センター	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚 集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明	
7	本荘中地区（発生医学研究所、エイズ研究センター等）	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡 敷布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世		
8	本荘北地区（医学部附属病院・医学部等）	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本荘遺跡 敷布地・集落址 (熊大病院・墓地)	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代		
9	本荘南地区（保健学科等）	熊本市中央区九品寺4丁目24-1	本荘遺跡 敷布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡	
10	大江地区（薬学部等）	熊本市中央区大江町5-1	大江遺跡群 官衙址	奈良・平安	周辺遺跡	
11	波鹿地区（野外活動施設）	熊本市中央区波鹿4丁目1-1	大江遺跡 集落址	奈良・平安		
12	宇宙毛地区（学生宿舎、職員宿舎等）	熊本市中央区黒髪7丁目	宇宙毛博士 敷布地 周辺遺跡群	弥生・奈良・平安		

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

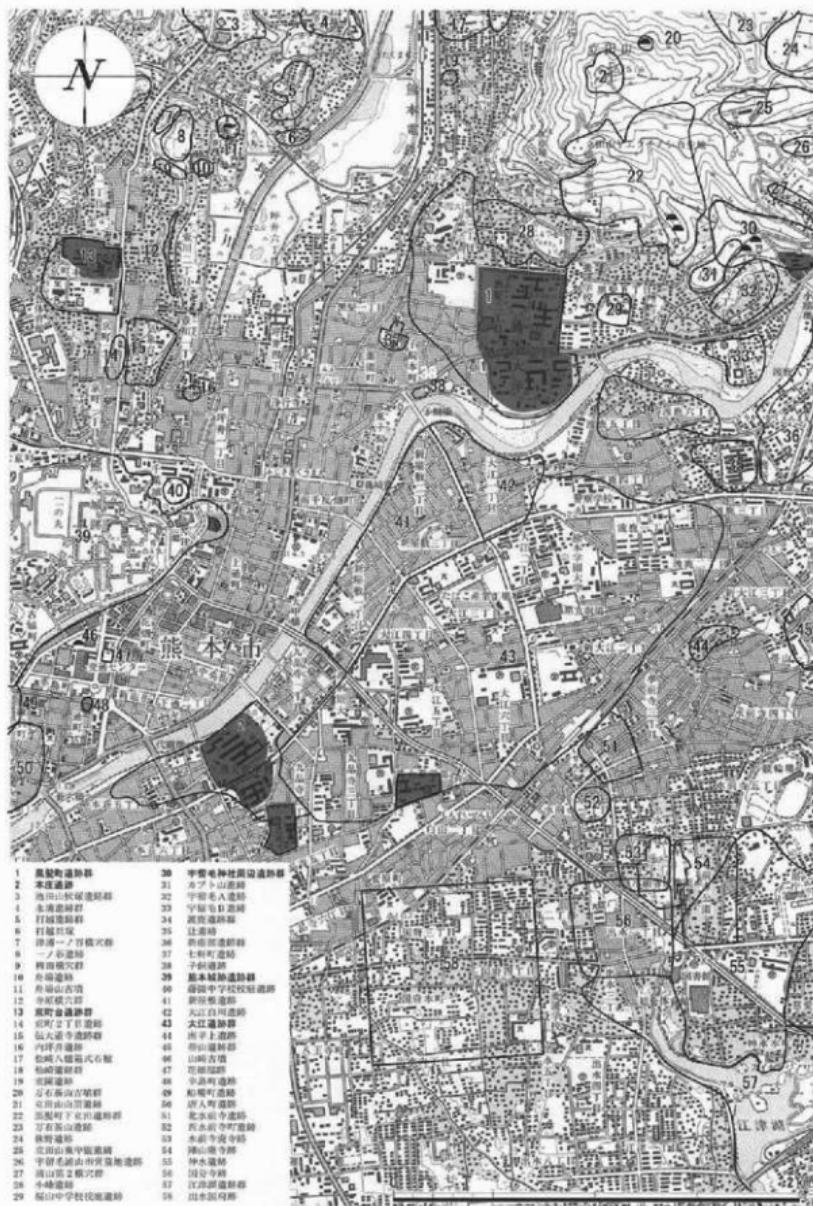


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

地点の発掘調査記録を収録している。

医学部附属病院・医学部が所在する本荘北地区および研究・開発施設が所在する本荘中地区、医学部保健学科が所在する**本荘南地区**は、**本庄遺跡**（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図No.8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡群と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13~12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点は標高が高く、南東部（中地区）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川（三の井手）が暗渠として流れおり、古来この一帯は流路を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。『熊本市中心北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包蔵地がより広いことが想定されていた。この地区で最初に本格的な埋蔵文化財の調査が行われたのは、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立つ発掘調査である。この調査によってより南側の地区まで良好な状態で遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを越えるものと推定される。本報告では本荘北地区（本学附属病院内）で実施した発掘調査の記録2件を収録した。なお、医学部保健学科の位置する本荘南地区は、この遺跡の範囲に入る。本格的な発掘調査が実施されていなかったため、2008年度に保育園新築のための発掘調査を実施した。しかし、本地区より西側の地域では立会調査において古代の遺物包含層が確認されていたが、明確な構造は検出されていない。

薬学部が所在する大江地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とはほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13~20mである。本遺跡群は託間郡家および波鹿庵寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで100次を越える調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代竪穴住居群、掘立柱建物、道路、溝などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動公園整備に伴う調査によって古代関連の遺物・構造群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な代替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では構造や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

教育部附属中学校・小学校が所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と九州森林管理局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30~40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井岸川が流れ急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、森林管理局の宿舎改築工事の際、構造は検出されなかつたが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市民文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代～近世の構造・遺物が確認されている。

2. 調査に至る経緯

沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションは、熊本県上天草市松島町合津に所在する。遺跡は前島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この前島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションは、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がりが合津マリンステーション敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968）。実際、1996年に合津マリンステーションの北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって7本の石斧が発見されており、合津マリンステーションの船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。このようなことから合津マリンステーション内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に合津マリンステーション改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畠2001）。

2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区的医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定され、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において総合情報統括センターの建設工事が始まったところ、熊本市文化振興課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のようない回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあつて専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いで9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であ

り、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となつてもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元真之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以降の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

平成23年10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成25年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から2005（一部）・2007（一部）・2009（一部）・2010年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会と小規模な調査などについては年報において既報告があるので、本書からは除外した。

黒髪北地区における（黒髪北）文法学部本館Ⅲ期改修外構工事に伴う発掘調査（1006調査地点）、本荘北地区における（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）に伴う発掘調査（0509調査地点）、（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（変更）に伴う発掘調査（0923調査地点）、（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（追加その2）に伴う発掘調査（0924調査地点）、（医病）東病棟新営機械設備（衛生）工事（追加その1）（0925調査地点）に伴う発掘調査、京町地区における（京町）教育学部附属小中学校校舎等改修工事に伴う発掘調査（0719調査地点）について報告する。

なお、0923・0924・0925は、手続き上調査地点名が分けられているが、一つの工事であり調査区も混在するため一括して報告する。また、0719調査地点名で『熊本大学構内遺跡発掘調査報告V』（2009年）に既報告があるが、本書掲載は同一事業であるが地点は別である。

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1991年度						
94-4-15~17	9401	(黒北) 運動場監修 (照葉塔建設) 工事	発掘調査	128m ²	古代	古代土師器、須恵器 ガラス、磁器片
94-4-21	9402	(黒北・南) 基礎整備 (教育学部エレベーター室取設) 工事	発掘調査	47.5m ²	現代	年報1
94-4-25	9403	(黒北・南) 基礎基盤整備 (工学部エレベーター室取設) 工事	発掘調査	45m ²		包含層確認、土器片
94-5-13~14	9404	(黒北) 福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30m ²	古代	年報1
94-5-17~6-25	9405	(東町) 資誠中学校新築工事	発掘調査	400m ²	先生、透壁 透壁、近世陶器、瓦、銅鏡、瓦、ガラス瓶	本報告1
94-5-26/23~24	9406	(黒北) 武大原運動場整備 (赤水井構造) 工事	発掘調査	100m ²	古代	年報1
94-5-23~7-28	9407	(黒北) 福利施設建設工事	発掘調査	1250m ²	古代	本報告1
94-8-1~8-10	9408	(黒北) ガラス・耐水性樹脂施工工事	発掘調査	40.4m ²	古代	土師器
94-8-11	9409	(黒北) 武大原新研究工事・新竹基礎工事	立会調査	234m ²		包含層に連せず遺物なし。土師器片
94-8-12	9410	(東町) 附属中学校電気引込み配線工事	立会調査	13m ²		遺物・遺物なし
94-8-22	9411	(黒北) 基礎整備 (附属図書館スロープ工事) 工事	立会調査	25.5m ²		包含層に連せず、遺物・遺物なし
94-9-12~10-31	9412	(黒北) 工学部実験施設新工事	発掘調査	723m ²	古代	本報告1 古代土師器、古代土器、瓶 瓦、土師器、熱器、陶文土器
94-11-14~12-22	9413	(滋賀) ダグラソ整備工事	発掘調査	200m ²	縄文、古代	古代穴住居跡、窓跡、古代土 器部、漆器部、毎日瓦、須恵器、熟 器、陶文土器、石器
95-1-17~21	9414	(黒北) 福利施設施設工事	立会調査	160m ²		遺物・遺物なし
95-1-9~11 1-26~2-1	9415	(黒北) 工学部共同研究工事	立会調査	50m ²		遺物・遺物なし
95-2-27	9416	(城東) 附属図書館排水管敷設工事	立会調査	129.7m ²		遺物・遺物なし
95-3-15~23	9417	(黒北) 福利施設施設工事				
1992年度						
95-4-25~5-2	9501	(黒南) 工学部実験施設新工事・期初開溝建設工事	発掘調査	90m ²	古代~近世	古代穴住居跡、柱穴、窓、須、丸 根器・土器片、古代土器部、須恵器 本報告1
95-5-9~10	9502	(黒南) 工学部鉛鉱石空隙充填シート施工工事	試掘調査	20m ²	古代	包含層確認、古代土器部、須恵器 年報2
95-5-15~16	9503	(黒南) 工学部R1 研究室実験棟建設及び基礎部分	試掘調査	20m ²	古代	須石、古代土器部、須恵器 年報2
95-5-29~30 6-21	9504~05	(黒南) 工学部実験施設新工事(その2)に伴う高 压ケーブル敷設	立会調査	38m ²		遺物・遺物なし
95-6-21	9506	(黒南) 工学部通気孔埋設工事	立会調査	14m ²		遺物・遺物なし
95-6-22	9508	(黒南) 事務局前配線改修	立会調査	10m ²		遺物・遺物なし
95-6-8~10-12	9509	(滋賀) 学習院附属高岡実験施設改修工事	発掘調査	29m ²	縄文	集石、陶文土器部、石器 年報2
95-11-2	9510	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴うガス配管	立会調査	古代	古代瓦層確認、古代土器片 年報2	
95-11-6~8	9511	(本庄北) 工学部R1 総合センター地下玄関施設建設及び 外構取り扱い	立会調査	250m ²	古代	古代瓦層確認、窓跡、古 代土器部、須恵器 年報2
95-11-13~16	9512	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴う排水管設置	発掘調査	60m ²	古代	古代穴住居跡、柱穴、窓、須 器、陶文土器部、古代土器部、須 恵器 本報告1
95-11-17	9513	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴う外構	立会調査			遺物・遺物なし
95-11-17	9514	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴う外構	立会調査		古代	古代土器部、須恵器 年報2
95-11-21~22	9503	(黒南) 工学部R1 研究室実験棟建設に伴う基礎部分	立会調査		古代	古代瓦層確認、須恵器 年報2
95-11-22	9515	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴う外構	立会調査		古代	包含層確認、古代土器部 年報2
95-11-24	9511	(本庄北) 工学部R1 総合センター地下玄関施設建設工事	立会調査			一部包含層確認、遺物・遺物なし 年報2
95-11-28~29	9516	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴う外構	発掘調査	72m ²	縄文~古代	包含層、柱穴、須石、陶文土器部、古 代土器部 本報告1
95-12-1	9511	(本庄北) 工学部R1 総合センター地下玄関施設建設工事 外構改修	立会調査			包含層確認、遺物・遺物なし 年報2
95-12-4	9517	(本庄北) 工学部R1 総合センター地下玄関施設に伴う 木種類	立会調査			遺物・遺物なし 年報2
95-12-5	9518	(黒南) 工学部R1 研究室実験棟建設に伴う外構工事	立会調査	10m ²		遺物・遺物なし 年報2
95-12-12~14	9519	(黒南) 工学部実験施設新工事(1)に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴、窓、古代土器部、須 恵器 年報2
95-12-18	9520	(黒北) 教務前道路改修	立会調査	10m ²		遺物・遺物なし 年報2
95-12-25~ 96-2-2	9511	(本庄北) 医学部R1 総合センター地下玄関施設建設	発掘調査	976.9m ²	縄文~古代	古代瓦層確認、窓跡、土器、陶 文土器、石器、古代土器部、須 恵器、熟器 本報告1
96-3-1	9521	(黒南) 工学部新校舎建設	試掘調査		縄文	体生土壁、ピット、灰生土器部 年報2
96-3-8	9522	(黒北) 文化学部・第五高等学校記念庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認、古代土器部 年報2
96-3-21	9523	(城東) 教務部財務拠点排水渠及び施設改修工事	立会調査			遺物・遺物なし 年報2
96-3-25~36	9521	(京司) 教育学部附属小学校給排水管敷工事	立会調査	27.6m ²		遺物・遺物なし 年報2
1993年度						
96-4-19	9601	(本庄北) 医学部校舎建設	試掘調査	33m ²	古代	古代包含層、窓、古代土器部、須 恵器 本報告1
96-5-10	9602	(黒北) 文化学部記念植樹	立会調査	1m ²		遺物・遺物なし 年報3
96-5-10~6-24	9603	(黒南) 工学部校舎建設	発掘調査	1,000m ²	古代	縄文時代包含層、古代穴住居跡、柱 穴、窓、須石、陶文土器部、古代土器部 本報告1
96-5-13	9604	(黒北) 教育学部ATMネットワーク設置工事	立会調査	40m ²	近・代	遺物・遺物なし 年報3

96-5-14	9605	(京町) 教育学部附属小学校 ATM ネットワーク設置工事	立会調査	14m	近代地図	年報3
96-5-15	9606	(大蔵) 美術部 ATM ネットワーク設置工事	立会調査	遺構・遺物なし	年報3	
96-6-17	9607	(黒北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4m 古代	一部包含層確認、古代土器類	年報3
96-6-19	9608	(黒北) 工学部附属病院接種工事	立会調査	21m	遺構・遺物なし	年報3
96-8-5	9609	(黒北) 入試用駐車場工事 (2階)	立会調査	4m	遺構・遺物なし	年報3
96-8-6~9	9610	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う樹木移植、野木植栽工事 〔1・2・3区〕	発掘調査	45.7m 古墳・古代	古墳時代中期斬穴式柱坑、古代堅穴住居址、古墳時代土器類、古代土器類、埴輪	本報告V
96-8-22~27	9601	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う切り替え道路建設 (4区)	発掘調査	37.4m 古代	堅穴住居址・柱穴、古代土器類、本報告V	埴輪
96-9-29~30	9601	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う切り替え道路建設 (5区)	発掘調査	28.2m 古代	堅址、古代土器類、埴輪	本報告V
96-9-6	9610	(黒北) 教室新設日差石造壁建立	試掘調査	9m	遺構・遺物なし	年報3
96-10-1~9	9601	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う排水管切り替え工事 (6区)	発掘調査	104.3m 古代	古代道路、堅穴住居址、古代土器類、堅址、埴輪	本報告V
96-10-11~ 97-1-17	9601	(本荘北) 医学生校舍新築工事 (本調査)	発掘調査	1.686m 古墳・古墳	古墳張合縫・古墳・古墳・古墳、堅穴住居址、堅址、埴輪	本報告V
96-10-21~29	9601	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う排水管切り替え工事	発掘調査	82.6m 古代	古墳時代柱坑址、堅穴住居址、堅址、土器類	本報告V
96-11-12~13	9601	(本荘北) 医学生校舍建設に伴う排水管切り替え工事 (10区)	発掘調査	21.6m 古代	古代堅穴住居址、古代土器類、堅	本報告V
96-11-12	9641	(黒南) 工学部外灯設置工事	立会調査	0.4m	遺構・遺物なし	年報3
96-12-18	9612	(黒南) 工学部電線埋設工事	立会調査	7.8m	遺構・遺物なし	年報3
97-3-2~31	9613	(黒南) 工学部研究施設新築Ⅱ新規機械設置工事	立会調査	17.5m	遺構・遺物なし	年報3
97-3-7	9614	(黒南) 工学部機械エネルギー実験所大型座席底座工事	立会調査	10.6m	遺構・遺物なし	年報3
1995年度						
97-4-8	9704	(本荘南) 医学生部組合リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21m	一部包含層を確認、遺構なし、古代土器類	年報4
97-5-7	9702	(黒南) 研究部ヘリコム棟増築・ヘリコム管理室工事	立会調査	126.6m	遺構・遺物なし	年報4
97-5-28	9703	(本荘北) 医学生部外灯設置研究施設改修管路取扱工事	試掘調査	4m	遺構・遺物なし	年報4
97-7-28~11-4	9704	(黒南) 工学部校舍新築工事	発掘調査	178.3m 古墳・古代	堅生・古代、先史時代初期堅址、堅・洪井・立往建物、柱穴・古墳基、堅生中明治期、土器類、埴輪、古代堅穴住居址、近世陶器	年報4
97-10-29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立往建室	立会調査	2.6m	遺構・遺物なし	年報4
97-10-22	9706	(黒北) 法文学部附属中学校既存既往室	立会調査	1.2m	遺構・遺物なし	年報4
97-11-11~	9707	(本荘北) 医学生部基礎研究施設新築工事	立会調査	270m 古代・近代	古代堅址・古代土器・柱穴、黒、人骨、瓦器等、古代土器	年報4
98-3-31	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設置増設工事	立会調査	61.9m 古代	遺構	年報4
98-2-3~2-13	9709	(黒南) 資料活用室6号室修改取り壊し工事	立会調査	116m 古代	一部既存室を確認、遺構なし、堅	年報4
1996年度						
98-4-14	9804	(黒南) 工学部校舍建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10m	掘削により遺構なし	年報5
98-6-26~7-2	9801	(本荘北) 医学生部エイズ研究センター・動物資源開発センター新設工事	立会調査	24m 古代	遺構・遺物認められず	年報5
98-7-6	9801	(本荘南) 既存木造建物工事	立会調査		遺構・遺物なし	年報5
98-7-13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設置工事	立会調査	2m 古代	遺物包含層を確認	年報5
98-7-28~9-10	9801	(京町) 医学生部エイズ研究センター・動物資源開発センター新設工事	発掘調査	97.2m 古墳・古代	堅穴住居址・堅立往建物・土・土器類・古墳	本報告V
98-9-21~22	9803	(黒北) 文化部新築設置工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9m	遺構・遺物なし	年報5
98-9-25~11-6	9802	(黒南) 文化部新築設置その他の工事	発掘調査	57.6m 古墳・古代	堅生土器・堅生土器・石器等・土器・遺構・韓文・堅生・遺物包含層確認	本報告V
98-9-28	9805	(本荘北) 大学院病院新築工事	試掘調査	16m 古墳・古代	掘削により遺構なし	年報5
98-9-29	9806	(本荘北) 大学院中心歴史研究新築工事	試掘調査	5m	河成跡堆積を現出し、遺構・遺物なし	年報5
98-9-30	9807	(京町) 大学院新施設新築計画者毎セブト始終型設置工事	試掘調査	2m 古代	遺物包含層・柱穴堆积・古代土器類	年報5
98-10-6	9808	(黒南) 工学部1・9号館電気設置工事	立会調査	30m 片	遺構面に透せず、遺物なし	年報5
98-10-28~11-20	9807	(本荘北) 大学院新施設新築計画者毎セブト始終等取設工事	発掘調査	175m 古代	堅生土器・石器等、古代堅穴住居址・土堆、遺構	本報告V
98-11-2	9801	医学部・イズ学研究センター・動物資源開発センター間連携施設工事	発掘調査	120m 片	削平のため存在せず	本報告V
98-12-14~12-18	9810	(黒南) 理学部自然科学研究会等社会実践授業支援配管工事	立会調査	35m 古代	遺物包含層・柱穴堆积・古代土器類	年報5
98-12-16	9802	(黒北) 文化部新設排水管設置工事	立会調査	35m 古代	遺構面確認・遺構・遺物なし	年報5
98-12-17~	9805	(本荘北) 大学院病院新築工事に伴う排水管設置工事	立会調査	33.6m 古代	堅穴住居址・古代土器片	年報5
99-1-10	9811	(黒北) 理学部自然科学研究会等社会実践授業支援工事	試掘調査	14m 古代	韓文瓦筒・土器	年報5
99-1-21~3-25	9810	(黒北) 理学部自然科学研究会等社会実践授業支援工事	発掘調査	109.6m 古代	韓文・古代・韓文土器・石器等、古代堅穴住居址・土堆、柱穴・土器・黃色鏡	本報告V
99-2-2	9802	(黒北) 建築整備事業に伴う文化部新築解体工事	立会調査	280m 古代	遺構面には透せず、遺物なし	年報5
99-2-10	9802	(黒北) 建築整備事業に伴う新築工事	立会調査	40m 古代	遺構面には透せず、遺物なし	年報5
99-2-18	9802	(黒北) 建築整備事業に伴う新築工事	立会調査	12.2m 古代	遺構面に斜面・古代堅穴住居層・遺構面に斜面、遺物なし	年報5

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-2-9~3-9	9802	(黒北) 墓地整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4m	地表下90cmで水田土を挖出。道 橋、遺物なし	年報5
99-3-11~12	9812	(大江) 資源開拓東東横プロック改修工事	立会調査	79m	包含層、遺物回復層、遺構、遺物 なし	年報5
99-3-16~31	9801	(本庄北) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究 センター新設に係る配管切替工事	立会調査	87.5m	古代・代 一部包覆層、遺構回復層(ビット) ・遺物なし	年報6
1999年度						
99-4-5~8-31	9901	(本庄北) 稲荷(箱) 新宮工事	発掘調査	2405m	魂文、古墳 魂文時代石器・玉、古墳時代住居 址・井、土器窯、古代・近 代 穴道・土器窯・土器・遺物 瓦器・瓶底窯・土器、近代遺 物、遺構、遺物を少量検出	報告書X
99-6-14~7-14	9902	(本庄北) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究 センター新設工事(第1回)	立会調査	40m	古代 古代柱坑、遺物なし	年報6
99-6-17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟B-2・新宮工事に伴う補削工事	立会調査	10m	道橋、遺物なし	年報6
99-7-19~26	9904	(本庄北) 医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究 センター新設工事(第2回)	立会調査	2m	古代 遺構、遺物なし	年報6
99-7-29~7-30	9905	(黒南) 自然科學研究科・理学部社会研究実験棟新宮ガス設 置工事	立会調査	50m	遺物、遺構なし	年報6
99-7-22~8-7	9906	(黒南) 自然科學研究科・理学部社会研究実験棟新宮ガス設 置工事	立会調査	200m	古代 古代石器・柱穴2箇、古代土器 片少額を検出	年報6
99-9-22~10-5	9907	(黒南) 工学部瓦取用プレバブ新設工事	発掘調査	126.5m	魂文前期～ビト群、古墳土器片遺土 地塊	本報告VI
99-11-24~11-25	9908	(黒南) 周辺施設改修検査改修工事	試掘調査	42m	古墳以前 トレンチ2本設定して検査したが、 遺物なし。苔原層	年報6
00-2-14~3-24	9909	(黒南) 工学部新築・施設改修研究センター・サテライト・ ベンチャービジネス・タワートリーコンペ新宮工事	試掘調査	1,853m	後後・近代 道橋・基壇、近畿道橋跡、埋甃、 瓦・瓦瓦	本報告VI
00-1-25	9910	(本庄北) 血液貯留管理室改修試験	試掘調査	2m	既設なし。 道橋、遺物とともに確 認できず	年報6
00-3-6~14	9911	(黒南) 未生動物附合新宮工事	立会調査	70.0m	魂文土器・古代土器類、遺物器	報告書X
00-3-14	9912	(黒南) 家・外行灯設置工事	立会調査	3m	道橋・遺物とともに確 認できず	年報6
00-3-2	9913	医学部歯医学科新宿設置新設工事立会	立会調査	7.80m	遺物、遺物なし	年報6
00-3-16~17	9914	(本庄北) さく井設置工事立会	立会調査	25m	道橋、遺物なし	年報6
2000年度						
00-4-7	0001	(黒北) 未生動物附合新宮工事	立会調査	61m	遺構、遺物なし	年報7
00-4-11	0002	(黒北) 未生動物附合新宮電気設備工事	立会調査	41m	道橋・遺物なし	年報7
00-4-17	0003	(本庄北) 遠隔地熱供給改修工事	試掘調査	53m	道橋、遺物なし	年報7
00-10-23	0004	(黒南) 工学部新築・施設改修研究センター・サテライト・ ベンチャービジネス・タワートリーコンペ新宮工事	立会調査	18m	道橋・遺物なし	年報7
00-10-30	0005	(黒南) 工学部瓦取工事	立会調査	63m	道橋、遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006	(本庄北) 施設改修・環境整備等工事瓦取水施設設置工事 (1区)	立会調査	119.4m	魂文、古墳 魂文時代石器・古墳時代柱穴・住 宅窓	本報告VI
00-11-22	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設設置工事	試掘調査	4m	現代墓葬・近代石室・墓磚、遺骨 地	年報7
00-11-27~29	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設設置工事	立会調査	25.5m	道橋・遺物なし	年報7
00-12-1~13	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設工事(2区)	立会調査	32m	魂文、古代 土器・瓦器・鐵器・魂文時代 器・ガラス・鉄器、遺物	本報告VI
00-12-5~ 01-4-10	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等電気設置工事(2区)	立会調査	31.5m	古代 道橋なし。土器瓦砾	年報7
00-12-19~20	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設設置工事(3区)	立会調査	20.4m	古代 住居跡、土器	本報告VI
00-12-26~28	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設設置工事	立会調査	300.7m	近・現代墓葬・墓石・遺骨 地	年報7
01-1-29	0006	(本庄北) 周囲施設整備、環境整備等瓦取水施設設置工事(VII)	立会調査	7m	遺物、遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007	(京町) 周囲学校建物新設工事	発掘調査	119.4m	住生・古代 住生・古代土器類・貝類・土質純 跡	年報7
01-2-5	0008	(黒北) 生徒宿舎研究センターハウス改設工事	立会調査	28m	既設のため道橋・遺構なし	年報7
01-2-6~9	0009	(黒北) 研究室・2号館改修工事	立会調査	78m	古墳時代柱穴・古代土器類・瓦器 等	年報7
01-2-16~19	0010	(黒北) 体育系附属施設・新宮工事	立会調査	372m	遺物、遺構なし	年報7
01-2-22	0011	(大江) 旧生徒宿各廊工事・旧ボーラー寮移転工事	立会調査	132m	遺物、道橋なし	年報7
01-3-5~6	0012	(黒北) 井戸取扱場(向式井)取り壇工事	立会調査	3m	遺物、遺構なし	年報7
01-3-6	0013	(大江) 周内道路工事(向式井)取り壇工事	立会調査	500m	遺物、道橋なし	年報7
01-3-22	0014	(黒北) 田舎連携同合事務所解体敷地工事	立会調査	66m	遺物、遺構なし	年報7
2001年度						
01-4-9~7-3	0101	(本庄北) 周囲施設医学部融合研究施設新宮工事	発掘調査	1,733.75m	古墳・古代 住居跡・漢・鐵器・馬糞跡 瓦器・瓦・瓦器	本報告VII
01-5-11	0102	(黒北) 奈幹・環境整備	試掘調査	48m		本報告VII
01-5-14	0103	京町町舗面正アーバン改修工事	立会調査	89.5m	道橋・遺物なし	年報8
01-7-9~26	0102	(黒北) 奈幹・環境整備	発掘調査	418.5m	魂文 魂文土器・瓦・木板・ 防護柵	年報8
01-7-1~10-29	0104	(本庄北) 周囲施設奈幹・環境整備(奈幹施設)	発掘調査	1,023.8m	魂文・住居跡・漢・鐵器・馬糞跡 ・瓦・古墳・古 青瓦跡	本報告VII
01-7-13	0105	(京町) 正門改修工事	立会調査	7.12m	道橋・遺物なし	年報8
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育付属センター等改修工事	立会調査	3907m	道橋・遺物なし	年報8
01-7-31	0107	(大江) 奉書部共同実験棟改修工事	立会調査	972.4m	道橋・遺物なし	年報8
01-8-1/13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他の工事	立会調査	25m	道橋・遺物なし	年報8
01-8-2/21	0109	(黒北) キャンパス施設ネットワークその他の工事	立会調査	38m	道橋・遺物なし	年報8

01-8-27	0119	(大) 業学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	30ml	遺構・遺物なし	年報8	
01-9-4	0111	(本庄南) 医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	276ml	遺構・遺物なし	年報8	
01-8-22	0112	(黒北) 食堂施設ナラスク整備工事	立会調査	662ml	遺構・遺物なし	年報8	
9-4							
01-9-14	0113	(本庄南) 振付技術研究所大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	10ml	遺構・遺物なし	年報8	
10-1							
01-9-17	0114	(本庄北) 周辺施設キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38ml	遺構・遺物なし	年報8	
01-9-19	0115	(黒北) 理学部2号館周辺施設工事	立会調査	84ml	遺構・遺物なし	年報8	
01-10-22~	0116	(本庄北) 老健病院受付・環境整備(A ~ D 階区、ボイラー 及び更衣室)	立会調査	428ml	遺構・遺物なし	年報8	
02-2-19							
01-12-8~	0117	(本庄北) 医学部総合研究棟新施設整備工事	立会調査	1331ml 古代	住居址・柱基礎 土師器・埴輪器	年報8	
02-2-9							
01-12-12~	0118	(黒北) 基幹・福井橋復旧(荷高架改修等・植栽その他)	立会調査	1117ml	遺構・遺物なし	年報8	
02-2-1							
02-2-25~3-20	0119	(本庄北) 医療用ガス供給設備取扱工事	発掘調査	205.8ml	绳文・古墳 古代	住居址・溝・廻り柱建物址・绳文 土師器・土器足器・埴輪器・鐵器	本報告書
02-3-18	0120	(本庄北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,022.7ml	遺構・遺物なし	年報8	
02-3-18	0121	(本庄北) 聖隸病院西側(土上Ⅱ) 施設工事	立会調査	1,076ml	溝?・遺物なし	年報8	
02-3-22	0122	(本庄北) 聖隸病院西側電気改修工事(土上Ⅲ)	立会調査	54ml	遺構・遺物なし	年報8	

2023年度

02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟空調設備工事塗床及 び蜜料施設工事	立会調査	29.3ml	遺構・遺物なし	年報9
02-4-15~16	0202	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	199ml	遺構・遺物なし	年報9
02-4-17	0203	(黒北) インキュベーション施設新設工事	試掘調査	3ml		年報9
02-4-17	0204	(黒北) 合同研究棟新設工事	試掘調査	4ml		年報9
02-4-24	0205	(黒北) 食堂施設クリーンソイル工事	立会調査	0.73ml	遺構・遺物なし	年報9
02-5-20~29	0206	(黒北) 合同研究棟新設に伴う機械移設工事	発掘調査	28ml	先拂	報告書X
02-5-30~8-2	0203	(黒北) インキュベーション施設新設工事	発掘調査	810ml 古代	居住址	年報9
02-6-3	0207	(黒北) 合同研究棟新設に伴う電気工事	立会調査	32ml	遺構・遺物なし	年報9
02-6-12~8-14	0204	(黒北) 合同研究棟新設工事	発掘調査	2800ml 古代	居住址・溝・火葬墓・绳文土器・ 土師器・原窓器	報告書X
02-7-2	0208	(黒北) 国善前新宿学部駅前駐車場改修工事	立会調査	21ml	遺構・遺物なし	年報9
02-8-29	0209	(京町) 週刊学校システムズ取扱工事	立会調査	13ml	遺構・遺物なし	年報9
02-10-1~10-3	0210	(黒北) 工学部木造構築工事	発掘調査	61.19ml	伝令屋・绳文土器・石器	報告書X
11-18						
02-8-7	0211	(本庄北) 地下部合組抹接鉄筋工事(渡り廊下部分)	立会調査	32ml	遺構・遺物なし	年報9
02-12-3/5-11	0212	(黒北) 通路外壁抹工事	立会調査	48ml	遺構・遺物なし	年報9
02-12-3	0213	(本庄北) 総合研究棟新設電気改修工事	立会調査	21ml	遺構・遺物なし	年報9
02-12-7	0214	(本庄北) 部幹部職員登録外壁工事	立会調査	21ml	遺構・遺物なし	年報9
03-2-18	0215	(大) 業学部実験棟新設工事	立会調査	3.4ml	遺構・遺物なし	年報9
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5ml	遺構・遺物なし	年報9
03-3-7	0217	(本庄南) 作育教室(グレハフ)新設工事	立会調査	3ml	遺構・遺物なし	年報9
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27ml 古代	住居址・土師器・原窓器・砾石	年報9
03-3-11	0219	(本庄南) 新設工事	立会調査	36ml	遺構・遺物なし	年報9
03-3-26	0220	(黒北) 教育学部新農場畠場改善工事・畠境界線張り	立会調査	40ml 古代	住居址・溝・窓・溝・古代土器器・ 原窓器	年報9

2023年度

03-4-10	0301	(黒北) 工学部農芸草場整備工事	立会調査	2ml	遺構・遺物なし	年報10
03-4-10	0302	(黒北) 総合研究棟新設改修工事	試掘調査	9ml	土師器	年報10
03-5-20	0303	(黒北) 事務共同室改修工事	立会調査	16.8ml	遺構・遺物なし	年報10
03-6-2~7-2	0304	(本庄北) 食寮・喫茶場整備工事	発掘調査	333.5ml 古代	住居址・溝・绳文石器・土師器・ 原窓器・古代土器・漆器・鐵器・ 近代街頭組合・生糸・古代	本報告書 提出
03-7-18	0302	(黒北) 合組抹接鉄筋工事	立会調査	29ml	遺構・遺物なし	年報10
03-6-19	0305	(京町) 増築小・学生寮ファミレス改修工事	立会調査	44.3ml	遺構・遺物なし	年報10
03-8-6~9-12	0302	(黒北) 合組抹接鉄筋改修工事(1区)	発掘調査	188.2ml 古代	绳文・漆・ビット・土坑・遺物含糊層・ 本報告書 提出	本報告書 提出
03-9-4~9-8	0306	(本庄北) 医療技術別研究棟新設改修工事	立会調査	539.2ml	遺構・遺物なし	年報10
03-9-5	0307	(大) 大江ビル研究棟排水改修及び改修工事	立会調査	7.5ml	遺構・遺物なし	年報10
03-9-29	0308	(平尾毛) 小学校1・2番校舎排水改修工事	立会調査	3.6ml	遺構・遺物なし	年報10
03-10-2	0309	(本庄北) 教育部職員待合室改修工事	立会調査	4.02ml	遺構・遺物なし	年報10
03-10-1~10-10	0302	(黒北) 合組抹接鉄筋改修工事	発掘調査	253.5ml 古代	绳文・漆・ビット・雨舟器・土師器・瓶 漆器・織文土器・有形	本報告書 提出
03-10-27		(黒北) 教育部職工事	試掘調査	137.5ml	遺構・遺物なし	年報10
03-11-6		(黒) 記念施設改修工事	試掘調査	7.4ml 古代	土師器	年報10
03-11-17~28	0310	(本庄北) 先行医学研究センター整備事業	立会調査	557ml	遺構・遺物なし	年報10
03-11-26	0302	(黒北) 合組抹接鉄筋改修工事(2区)	立会調査	36ml	遺構・遺物なし	年報10
03-12-9		(本庄北) 先行医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58ml		
03-12-10	0311	(本庄北) 中央代理課(1階)改修工事	立会調査	4ml	遺構・遺物なし	年報10
03-12-13	0312	東洋館改修工事	立会調査	11.2ml	遺構・遺物なし	年報10
03-12-14	0302	(大) 大江ビル研究棟排水改修及び改修工事	立会調査	45.5ml	遺構・遺物なし	年報10
03-12-15~19	0313	(黒北) 教育部職工事	立会調査	306.8ml	遺構・遺物なし	年報10
04-1-23~27	0314	(本庄北) 郵便局改修・塗装・DI物販台取扱工事	発掘調査	1,000ml 古代	溝・ビット・土加部	本報告書
04-1-30	0315	(本庄北) 老健駒場改修工事	立会調査	307ml	遺構・遺物なし	年報10
04-2-9	0316	(黒北) 球子川号渠網改修及び等設置工事	立会調査	83ml		年報10

04-2-16

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

04-2-23	0317	(本庄北) 駅前の木構築	立会調査	16m		年報10
04-3-4	0318	(黒北) 民衆講習所門柱道手道遺構理工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし	
04-3-5~9	0319	(本庄北) 医学校部B校・三後・田山動物会場敷工事	立会調査	1.00m	中世・古代 調・ピット・両端部・土壌層	本報告題
04-3-9	0320	(黒北) 建物改修工事	立会調査	23m	遺構・遺物なし	
04-3-10	0320	(黒北) 駅前設置河川防護施設取扱工事	立会調査	13.9m	遺構・遺物なし	
04-3-10	0321	(黒北) 外灯設置工事	立会調査	34m	遺構・遺物なし	
04-3-10	0322	(黒北) 地下研究棧打設工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし	
04-3-10	0313	(黒北) 駅前新築工事	立会調査	10m	遺構・遺物なし	
04-3-10	0323	(黒北) 駅前新築工事(空洞復設工)	立会調査	44m	遺構・遺物なし	
04-3-11	0324	(4番南) 外灯設置工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし	
04-3-11	0225	(本庄北) 外灯設置工事	立会調査	11.2m	遺構・遺物なし	
04-3-15	0326	(黒北) 建設推進工事	立会調査	354m	現地土盤片	
04-3-16	0227	(黒) 外灯設置工事	立会調査	11.8m	遺構・遺物なし	
04-3-17	0328	(黒北) 駅前新築工事(傾斜)	立会調査	852m	古代 上耕層・出土品片	
04-3-22	0329	(京町) 教育学部附属小学校駅前踏切設置工事	立会調査	7m	遺構・遺物なし	
04-3-19	0329	(黒北) 消火栓立地整備	立会調査	108m	遺構・遺物なし	
2004年度						
04-4-7	0401	黒髪町北地区教堂新築工事(底面下設置)	立会調査	33.8m	遺構・遺物なし	年報11
04-4-9		本庄北地区中央歩道橋(橋) 設置工事	試掘調査	10.44m	古代 砂・土跡器	年報11
04-4-13~5-31	0402	本庄北地区南北歩道橋の研究センター建設工事	立会調査	1211.8m	古代 土跡器・出土器・純文土器	年報11
04-5-26		黒髪町北地区西原田大学院社会文化科学研究科研究系別新築工事	立会調査	7.76m	古代 ピット・土跡器	年報11
04-5-14	0403	本庄北地区北地区中央歩道橋(橋) 設置工事	立会調査	150m	古代 土跡器	年報11
10-14						
04-5-21	0404	衛生部施設施設面開拓支はり設置工事	立会調査	3.3m	遺構・遺物なし	年報11
04-6-5	0405	衛生部施設官舎記念館新築施設設備及びその施工工事	立会調査	68.48m	遺構・遺物なし	年報11
04-6-28		本庄北地区北地区(医病) 基幹・環境整備工事	試掘調査	10m	古代・純文 土跡器・純文土器・土層	年報11
04-5-21	0406	衛生部施設官舎記念館(仮称) 建設工事(底建物削去・樹木移植)	立会調査	1332.4m	遺構・遺物なし	年報11
5-26						
6-4						
10-26~28						
11-12						
11-29						
04-7-26	0408	宇宙電気施設小屋新設高水槽配管改良工事	立会調査	26.2m	遺構・遺物なし	年報11
04-7-29	0409	黒髪町北地区記念館新築工事	立会調査	72m	遺構・遺物なし	年報11
8-6						
8-20						
04-9-23		黒髪町北地区理学部施設取扱工事	試掘調査	11m	古代 穴・遺物・土跡器	年報11
04-9-9	0410	黒髪町北地区西原田大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370m	遺構・遺物なし	年報11
8-10~11						
11-5						
11-11						
04-8-17~19・23	0411	本庄北地区北地区(医病) 基幹・環境整備(ポンプ室・旧美術館取扱・ダム留替・水道プラグ北・周辺設置開削)工事	立会調査	420m	土跡器・出土器・純文土器・塗穴・住居址・諸・ピット	年報11
9-3						
9-14~22						
05-1~27						
04-9-16	0412	本庄北地区北地区湖岸部ガス配管修理工事	立会調査	5.7m	遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0413	京葉地区環状線中央学台校舎裏庭における排水渠工事	立会調査	8m	遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0414	黒髪町北地区北地区駅付近の樹木起し	立会調査	30m	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0415	衛生部施設官舎記念館新築施設設備及びその施工工事	立会調査	10m	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-1	本庄北地区北地区駅付近の樹木起し	立会調査	8m	遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-2	本庄北地区北地区医学部附属病院北側にによる樹木起し	立会調査	15m	遺構・遺物なし	年報11
04-10-12	0417	黒髪町北地区重要文化財耐震化施設工事	立会調査	0.5m	遺構・遺物なし	年報11
04-10-19	0418	黒髪町北地区夏日氷泉記念館耐震化施設工事	立会調査	6.2m	遺構・遺物なし	年報11
04-10-22		本庄北地区北地区西原田病院耐震化施設引込配管工事	立会調査	220m	遺構・遺物なし	年報11
04-11-1~28	0411	本庄北地区北地区(医病) 基幹・環境整備	発掘調査	551m	純文・古墳 墓穴・祭祀・獨立往対址址・諸・古代 烟・土跡跡・遺物跡・純文土器・民族・勾玉・石器	年報11
04-11-26	0420	衛生部地区ニシコート整備工事	立会調査	69m	遺構・遺物なし	年報11
04-11-29	0421	黒髪町北地区さくら記念館工事	立会調査	43m	遺構・遺物なし	年報11
04-12-6	0422	本庄北地区北地区中央歩道橋工事	立会調査	66.2m	遺構・遺物なし	年報11
04-12-15		黒髪町北地区駅付近ネットワーク施設工事	試掘調査	18m	立耕跡・柱穴・痕跡器・土跡器	年報11
04-12-24	0423	黒髪町北地区記念館(木造) 取扱工事	立会調査	75m	遺構・遺物なし	年報11
05-1-11	0424	本庄北地区北地区シバク記念館工事	立会調査	14.5m	遺構・遺物なし	年報11
05-2-1~2.7~9	0425	黒髪町北地区駅付近ネットワーク施設工事(配管工事)	立会調査	160.08m	古代 土跡器・痕跡器	本報告題
05-2-21~3-30	0425	黒髪町北地区駅付近ネットワーク施設工事	発掘調査	1170.4m	古代 土跡器・痕跡器	本報告題
5-9~6-30						
05-2-1,8~9	0426	本庄北地区北地区(江戸木構取扱工事)	試掘・発掘 調査	84m	諸・土跡跡・痕跡器・馬骨・陶瓶・本報告題	
05-2-4	0427	黒髪町北地区資料館雨水導排雨水排水渠工事	立会調査	15m	遺構・遺物なし	年報11
05-2-21~22	0428	黒髪町北地区駅付近木製移工事	立会調査	29m	遺構・遺物なし	年報11
05-2-21	0429	衛生部施設衛生課清掃工事	立会調査	428m	遺構・遺物なし	年報11
05-2-28~3-14	0430	本庄北地区駅付近車庫場整備工事	立会調査	1840m		
4-1						
05-3-1	0431	黒髪町北地区教育局庫新設工事	立会調査	12m	遺構・遺物なし	
05-3-1	0432	教育学部附属小学校卒業記念館新設等工事	立会調査	0.945m	遺構・遺物なし	
05-3-1	0433	教育学部附属幼稚園面半蔵設置工事	立会調査	0.61m	遺構・遺物なし	

05-2-2	0434	黒聖南地区工学部施設改修工事(仮称)	立会調査	192.5m ²	遺構・遺物なし
05-2-9	0435	黒聖南地区さくら館改修工事(追加)	立会調査	56m ²	遺構なし・土器部
05-2-10~15-16~18	0436	黒聖南地区工学部施設改修工事	立会調査	6214m ²	遺構なし
05-2-14~16	0437	大江原地区工学部施設改修工事	立会調査	8.1m ²	遺構・遺物なし
05-2-22	0438	教育学部附属幼稚園施設改修工事	立会調査	414m ²	遺構・遺物なし
05-2-23	0439	黒聖南地区工学部施設改修工事	立会調査	6m ²	遺構・遺物なし
05-3-24	0440	教育学部附属中学校施設改修工事	立会調査	遺構・遺物なし	
05-3-24	0441	教育学部附属小学校施設改修工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし
05-3-24	0442	(本庄北) 市議会議場利便化改修工事	立会調査	916m ²	遺構・遺物なし
05-3-24	0443	(本庄北) 中学校施設改修工事	立会調査	0.6m ²	遺構・遺物なし
05-3-25	0444	黒聖東地区教育学部附属幼稚園施設改修工事	立会調査	1.74m ²	遺構・遺物なし
05-3-26	0445	黒聖南地区教育施設改修工事	立会調査	3335m ²	遺構・遺物なし
2005年度					
05-10-19~4-20	0501	本庄北地区施設改修工事(追加)	立会調査	28m ² 古代	土師器・須恵器 年報12
05-1-27	0502	医学部附属病院改修工事	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-2-4~6-10	0425	(黒聖) 損傷チャットガード補修工事	発掘調査	1005.2m ² 開文、古代	聖火供給所、掘立柱建物、礎文土器、土師器、須恵器、黑色土器 本報告3
05-5-30 6-1~6-5 6-14	0503	(本庄) 発生汎用理化学センター施設整備事業(外構)	立会調査	2337.2m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-6-7 6-10	0504	小堀前倉櫛型ガス配管埋設工事	立会調査	7m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-6-9~6-10	0505	(医病) 基壇・環境整備(施設・先史家屋)	立会調査	55.96m ²	遺構・遺物なし 年報12
6-12					
05-6-30	0506	(大江) 薬学部テニスコートフェンス取扱	立会調査	228m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-6-21	0507	(本庄中) 教職員寮ヨットコート改修工事	立会調査	103m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-7-8	0508	(黒聖) 基盤・チャットガード埋設工事	立会調査	409m ² 古代	土師器・須恵器 年報12
05-7-13~7-14 7-19~9-30	0509	(医病) 基盤・環境整備(玄室・移築先)	発掘調査	1147m ² 開文・古代	玄室・住居址・溝・土師器・須恵器 本審
05-7-19	0511	本庄北地区北区雨水配管埋設	立会調査	76m ² 古代	瓦陶器・土師器・須恵器 年報12
05-8-1	0512	教育学部附属施設改修工事	立会調査	0.96m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-2~8-3	0513工①	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	97m ² 古代	土師器・須恵器 年報12
05-8-2~8-25	0513工②	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	198.75m ² 古代	土師器・須恵器 年報12
05-8-5	0514	医学部附属地区ユニバーカー内給水施設工事	立会調査	199.4m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-5~8-10	0513工③	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	178m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-8~8-18	0513工④	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	発掘調査	8048m ² 古代	住居址・土師器・須恵器 年報12
05-8-18	0514	本庄北地区(西地区) 玄室場施設整備工事(その2) 追加	立会調査	235.98m ² 古代	住居址・土師器・須恵器 年報12
05-8-18~8-23	0515工①	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業-2	立会調査	147m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-19~8-29	0515工②	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業-4	立会調査	259m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-24	0516	本庄北地区道路区画改修工事	立会調査	114m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-23~9-29	0511工③	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	172m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-25	0513工⑤	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	147m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-25	0512工⑥	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	86.6m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-25	0513工⑦	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	65m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-25	0519工⑧	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	立会調査	120.25m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-29~9-30	0513工⑨	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	216m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-8-30~9-1	0513工⑩	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-2	立会調査	204m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-1~9-13	0513工⑪	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-1	発掘調査	67.6m ² 開文、古代	聖火供給所、礎文土器、土師器・須恵器・須恵器
05-9-1 9-20	0517	(医病) 基盤・環境整備(丸之字・周在地)	立会調査	1337m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-4~9-5	0519工⑫	工学部地区改修施設整備等事業-1	立会調査	48.75m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-12~9-27	0513工⑬	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業-2	立会調査	439m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-13	0518	附属病院庭園ガラス埋設改修工事	立会調査	29m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-14	0519	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業	立会調査	157.26m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-15	0513工⑭	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業-5	立会調査	0.79m ²	包含層・ピット 年報12
05-9-15	0513工⑯	(黒聖) 工学部地区改修施設整備等事業-3	立会調査	40.6m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-15	0520	本庄北地区(北地区) 茅根草埋設シローパ取扱工事	立会調査	17.18m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-15	0521	本莊北地区(北地区) 白鳳廻り引鉢	立会調査	2.35m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-16~10-2	0511工⑯	(黒聖) 工学部無形文化財出張點検等事業-2	立会調査	97.31m ² 古代	土加部・須恵器 年報12
05-9-16	0522	医学部附属施設改修施設整備パルプ取扱工事	立会調査	2.25m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-9-27	0523	(医病) 中央浴場棟(社上)	立会調査	57.6m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-10-11~11-7	0513工⑰	(黒聖) 工学部施設改修施設整備等事業-3	立会調査	150m ² 古代	住居址・溝・土師器・須恵器 年報12
05-10-11	0524	本庄北地区(北地区) 莊革グート整備工事	立会調査	251.33m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-10-13~10-14	0525	(黒聖) 基盤・チャットガード埋設工事	立会調査	73.6m ² 古代	柱穴・土師器・須恵器 年報12
10-17~10-18					
05-10-14	0526	埋蔵調査(内部)改修施設工事	立会調査	20m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-10-19~10-20	0527	(黒聖) 文化学部新スクロープ整備工事	立会調査	44m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-10-21	0528	工学部ものづくり実習室改修工事	立会調査	810m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-10-25	0529	(医病) 外来診療室改修工事(開口環境整備工事)	立会調査	384.12m ²	透構・遺物なし 年報12
05-10-26	0530	寄宿舎風呂室(薬湯温泉) 修繕工事	立会調査	5.6m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-11-4	0531	田径競技場センターピット改修工事	立会調査	9m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-11-7	0532	教育学部附属義務学校校舎改修工事	立会調査	35m ²	遺構・遺物なし 年報12
05-11-7	0533	(医病) ゲイター室改修工事	立会調査	11m ²	遺構・遺物なし 年報12

3. これまでの調査と本書収録の道路

05-11-16 11-21	0531 黒斐南地区道路改修工事	立会調査	124.3m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-11-29 12-15	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	48m ² 古代	住居址・柱穴	年報12
05-11-29~12-5	0513地区 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	発掘調査	24m ² 古代	住居址・傍・ビット・土師器・頸	年報12
05-12-4	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	117.4m ² 古代	土師器	年報12
05-12-7	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	45m ² 古代	ビット・土師器・焼瓦器	年報12
05-12-9	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	25m ² 古代	袋合器・土師器・焼瓦器	年報12
05-12-12	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2, 5	立会調査	5m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-12	0535 教育部新宇都御島町内敷地根	立会調査	455.7m ²	柱穴	年報12
05-12-13	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	0.5m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	3m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	47.5m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	18m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	96.6m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0536 地下部弓道施設改修工事	立会調査	82.75m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-15	0513地区 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1, 2	立会調査	295.6m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-16	0537 球技部プレーパーク改修工事	立会調査	167m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-19~12-21 12-26	0538 (黒斐) 情報ネットワーク前設施工事 (追加)	立会調査	70.235m ² 古代	土師器・須恵器	年報12
06-1-4~1-11 2-27~3-2					
05-12-22	0539 本蔵周辺 (中地区) ゴミ置き場取設	立会調査	48.54m ²	遺構・遺物なし	年報12
05-12-26	0513地区 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	10m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-4~1-19	0513地区 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	発掘調査	60m ² 古代	住居址・土師器・焼瓦器	年報12
06-1-5	0513地区 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	70m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-10 1-25	0540 本蔵周辺 (中地区) 道ガス改修工事	立会調査	61.86m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-17	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 7	立会調査	1m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-20	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 7	立会調査	70.8m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0541 (黒斐南) 球技部施設改修工事 (追加・再追加在り)	立会調査	1110.6m ² 古代	土師器・須恵器	年報12
2-2					
2-10					
2-27					
06-1-23	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 7	立会調査	454m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-24	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	立会調査	12m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	49m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-27	0542 (医院) 基幹・臨床診療 (受託・連絡経路)	立会調査	1464m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-1-30	0513工沖 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 3	立会調査	656.5m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-2-13	0543 調査前対象地周辺生産地層剖面確認	立会調査	338.9m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-2-16	0544 (医院) 基幹・環境整備 (設備・曳き家屋)	立会調査	20m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-2-17	0545 教育部港域衛生施設ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-2-21 3-7~3-8	0546 (黒斐) 給水ホットワータ新設新工事に伴う外構工事	立会調査	187.6m ² 古代	住居址・土師器・焼瓦器	年報12
3-13					
3-16~3-17					
06-3-10	0547 (黒斐) 北地区学生自捕捕鷹バライブタ釣場設置工事	立会調査	48m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-3-13	0548 本蔵周辺 (中地区) 芝刈り下地設置	立会調査	55m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-3-21	0549 (販売) 外来化学薬品センター・屋外引水配管工事	立会調査	192m ²	遺構・遺物なし	年報12
06-3-30	0550 さ木壁修理工事	立会調査	951m ²	遺構・遺物なし	年報12
2006年度					
06-4-11	0601 政治部班組中学校テニスコート移設	立会調査	594m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0602 (黒斐南) 接地工事	立会調査	6m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0603 (黒斐北) 看板箱改修工事	発掘調査	321m ² 古代	土師器・焼瓦器	本報告書
06-4-11~4-12	0604 (黒斐北) 料理施設工事 (屋外排水)	発掘調査	2512m ² 古代	住居址?・溝・道路・ビット	本報告書
06-4-12	0606 工部隊研究実験用車庫取設工事	立会調査	40.05m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-13	0608 遠足大和内原施設工事	立会調査	15m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-18~4-19	0607 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 9	立会調査	5.2m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-21	0608 (黒斐北) 前庭歩道改修工事	立会調査	13m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-4-24	0609 球技部駐輪場ダスマス丸埋設	立会調査	17m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-5-2	0610 教育部港湾施設小屋器具新設	立会調査	0.98m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-5-11	0611 (黒斐) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	22m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-5-22	0611(2) (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	22m ²	遺構・遺物なし	年報13
5-25					
06-5-22	0612 (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 2	発掘調査	1.1m ² 古代	柱穴・土師器	年報13
(6-5-22)~5-24	0612(2) (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 6	発掘調査	24m ² 古代	柱穴・土師器・焼瓦器	年報13
06-6-12	0614 (黒斐) 関係安全ヒンジ・防水配管設置	立会調査	0.67m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-6-19	0615 関係病院中央浴槽換装前底氷詰め工事	立会調査	72.4m ²	遺構・遺物なし	年報13
06-6-22	0615 関係病院中央浴槽換装前底氷詰め (南) 工事	立会調査	153m ² 古代	土師器・焼瓦器	年報13
7-3					
06-6-27 7-7	0612(3) (黒斐南) 工部隊後伐改修施設整備等事業 - 1	立会調査	21.98m ² 古代	土師器・焼瓦器	年報13

06-8-7	0616	教育学部附属中学校給水装置修理工事	立会調査	17ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-11	0617	(黒葉) プール周囲施設環境改修工事(アスベスト処理) 工事	立会調査	0.56ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-11	0618	医学部附属病院駐車場埋立修理	立会調査	825ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-21	0619	教育学部附属医療系施設学生入室エレベータの施工工事	立会調査	420.5ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-24~9-25	0611③	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 3	立会調査	207ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-31~9-1	0611④	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 4	立会調査	61ml 古 代	土 庫 部	年報13
06-9-7	0620	教育学部附属中学校「アーチ型耐震化改修工事	立会調査	28ml	道橋	年報13
06-9-11	0615	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 10	立会調査	49.6ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-12	0616	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 10	立会調査	14ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-11~9-15	0611⑤	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 10	立会調査	32.6ml	道橋・物置なし	年報13
06-9-20~9-21	0618	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 10	立会調査	55.1ml	道橋・物置なし	年報13
06-10-2	0619	(黒葉南) 工学部施設改修改修施設整備等事業 - 2	立会調査	105ml	道橋・物置なし	年報13
06-10-2	0621	(黒葉) プール周囲施設環境改修工事(アスベスト処理) 工事	立会調査	41ml	道橋・物置なし	年報13
事作その他						
06-10-2	0622	(医系) 地盤整備(西側駐車場等) 工事	実地調査	8,077.5ml 古 代 (5068ml)	土 庫 部、解底部、地盤土器	本報告牌
10-16						
10-27						
10-30						
11-13						
06-10-10	0623	(黒葉) 地盤外打設設置その他の工事	立会調査	2679ml	道橋・物置なし	年報13
10-12						
06-10-13	0624	腎臓病対応看護管理アキュームレーラー導入導出修理	立会調査	216ml	道橋・物置なし	年報13
06-10-16	0625	(医系) 看護・看護施設(外付) 工事	立会調査	296.1ml	道橋・物置なし	年報13
06-10-19	0626	(医系) 看護施設(ボイラー設備機更衣) 工事	立会調査	1067.5ml	道橋・物置なし	年報13
06-10-25	0627	(大河内) 水道設備工事	立会調査	924ml	道橋・物置なし	年報13
06-11-2	0628	医学部附属病院改修修理地盤外打設電気設備工事	立会調査	28ml	道橋・物置なし	年報13
06-11-17	0629	(本庄) 医学部附属病院改修修理地盤外打設電気設備工事	立会調査	2394ml 古 代	土 庫 部	年報13
11-27						
12-4						
06-11-22	0630	黒葉南地区工事部通用門扉取扱	立会調査	15ml	道橋・物置なし	年報13
06-11-30	0631	廻送道路排水用雨水ポンプ工事	立会調査	569ml	道橋・物置なし	年報13
06-12-1	0632	事務司正門前木樁接え	立会調査	326ml	道橋・物置なし	年報13
06-12-15	0612③	(黒葉南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 6	実地調査	1627ml 古 代	土 庫 部、解底部、動物骨	年報13
12-22~12-28						
07-1~4~1~9						
06-12-19	0633	本庄北地区南側駐車場歩道周辺整備工事	立会調査	2943.75ml	道橋・物置なし	年報13
06-12-25	0634	(本庄) 医学部保健学科社会実習施設改修工事	立会調査	1133ml	道橋・物置なし	年報13
07-4-2						
07-1~10-1~11	0635	附属養護学校ダム掘削緊急立会	立会調査	13.45ml	道橋・物置なし	年報13
1~19						
07-1~18	0636	理学部4号宿舎昇降機取扱工事	実地調査	3035ml 古 代	土 庫 部、解底部、障	年報13
1~22~1~23						
07-1~30	0637	(本庄) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	311.2ml	道橋・物置なし	年報13
07-2-1	0638	(宇摩毛) ゴミ置き場設設工事	立会調査	35ml	道橋・物置なし	年報13
07-2-23	0639	(本庄) 医学部保健学科改修CCT 明接地工事	立会調査	435ml	道橋・物置なし	年報13
07-2~26	0640	東原里排水池地盤改良工事ガス刃鋸削工事	立会調査	122ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-1	0641	(本庄) 萩中地区門面取りし工事	立会調査	524ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-6	0642	宇智原地区火災復旧工事	立会調査	1342ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-8	0643	(黒葉南) 教育部基礎取扱工事	立会調査	1017ml 古 代	土 庫 部	年報13
07-3-8	0644	(本庄) 西側廻路改修工事	立会調査	55.28ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-12	0645	本庄地区南北カルス漏水設設設備管配管工事	立会調査	765ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-20	0646	(医系) 廻送新管(底流改修) 施工(医系) 廻送新管工事	立会調査	57ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-22	0647	(菊) 廻送新管開削改修工事	立会調査	25.7ml	道橋・物置なし	年報13
07-3-26	0648	(医系) 廻送整備(本庄記念館外部改修) 工事	立会調査	115ml	道橋・物置なし	年報13
2007年度						
07-4-19	0701	(本) 清流美化化成工事等改修工事	立会調査	2ml	道橋・物置なし	年報14
07-4-12	0702	(本) 西側廻路改修構造工事	試験調査	古 代	壁・柱・土 壁	年報14
07-4-13	0702	教育学部附属医療系施設小配管改修工事	立会調査	1821ml	道橋・物置なし	年報14
07-4-16	0703③	(黒葉南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 6	立会調査	61ml	道橋・物置なし	年報14
4~23						
07-5~7~5~8	0704	(黒葉南) 新宮工事に伴う木根移植工事	立会調査	446ml 古 代	土 庫 部、宿泊室	年報14
07-6-7	0705	(医系) 宿泊施設改修工事	試験調査	7ml	道橋・物置なし	年報14
07-6-13	0706	(医系) 宿泊施設改修工事	試験調査	435ml	道橋・物置なし	年報14
07-6-19	0703③	(黒葉南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 13	立会調査	469.2ml	道橋・物置なし	年報14
6~21						
07-6-23	0706	本庄南地区保養字通門門檻	立会調査	17.4ml	道橋・物置なし	年報14
07-6-20	0703	黒葉北地区保養字通門門檻	試験調査	柱・土 壁	年報14	
07-6-25	0703③	(黒葉南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 13	立会調査	31.4ml	道橋・物置なし	年報14
07-6-26	0707	(本庄) 医学部宿舎改修施設整備等工事	立会調査	1280ml	障害物撤去・一次削削	年報14
7~29						
7~19						
7~18~7~19						
07-6-26	0708	(黒葉北) 大政センター南側木板つまり修理	立会調査	15ml	道橋・物置なし	年報14
07-6-29	0709	(本庄) 路面修理下取工事	立会調査	435ml	道橋・物置なし	年報14
07-7-3	0703③	(黒葉南) 工学部施設改修施設整備等事業 - 6、 14	立会調査	26ml	道橋・物置なし	年報14

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

07-7-4	0710	(京町) 教育部附属小中学校校舎改修工事(変更)	立会調査	40m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-7-9~7-10	0703⑤	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	58.25m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0711	(医病) 基幹・現地整備(即ち中央診療所取り壇しに伴う電気立会調査	立会調査	8.31m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-7-17	0703⑥-1	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-12	立会調査	157.66m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-7-19	0703⑥-2	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.96m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-7-20~8-3	0707	(本庄) 医学部講義棟新工事	発掘調査	1500m ²	桃文、古代、古代の住居址、木組遺構、ビット、本報告題	
07-8-7	0712	(医病) 東病棟新工事	立会調査	25m ²	一枚調査	本報告V
07-8-10	0713	東病棟外壁板金取替修理工事	立会調査	1m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-8-22	0714	(黒鷺町) 程序1・2号館新小倉取扱工事	立会調査	157m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-8-23	0715	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-8-27~10-25	0712	(医病) 東病棟新工事	発掘調査	589.29m ²	桃文、古、古代、古代の住居址、木組遺構、ビット、石器類、瓦器、瓦骨、遺物、宋瓦	本報告V
07-9-3	0716	本庄南地区駐車場由入口監視	立会調査	244.66m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-9-11 10-3	0717	(医病) 基幹・現地整備(即ち中央診療所取り壇しに伴う電気設備)工事	立会調査	49.4m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-9-25~9-27 10-2	0703⑦	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-6、16	発掘調査	273.5m ²	古、古代、柱軸土、ビット、土師器、須恵器	年報14
07-9-27	0718	(大江) 葉學部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32m ²	古、古代、漆、土師器	年報14
10-1-10-2	0719	(京町) 教育部附属小中学校校舎改修工事	立会調査	308.68m ²	桃文、古代、ビット、桃文土器、土師器	本報告V
10-15~10-16 10-22 10-25						
09-1-20~1-31 2-13						
07-10-19	0720	事務所南端延長付水管箱体工事	立会調査	22m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-10-26~11-28	0719	(京町) 教育部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	250.3m ²	生土、古代、雙穴住居、ビット、漆、生土土器、土師器、打削石器	本報告V +古
07-12-3~12-4 12-6~12-7	0721	(京町附城小中) 校舎等換熱設備改修	立会調査	1309.95m ²	生土、古、堅穴住居、ビット、漆、生土土器、土師器、打削石器、近世、時器、須恵器、近世、近代陶器	本報告V
08-1-18						
07-12-5	0722	(医病) 工学部8号館内部改修その他の工事	立会調査	97m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-12-5 12-11	0723	(医病) 工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-12-7 12-10 12-12	0724	(本庄) 医学部系譜研究室(C棟取り壇し)工事	立会調査	1.00m ²	古、ビット、土師器	年報14
07-12-7	0725	(京町) 教育部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90m ²	遺構・遺物なし	年報14
07-12-10 12-17~12-18 08-1-16~1-17	0703⑧-1	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-6、18	立会調査	148.55m ²	古、代?、ビット	年報14
07-12-14~12-27	0721	(京町附城小中) 校舎等換熱設備改修	発掘調査	1126.5m ²	生、古、堅穴住居、ビット、古代土器、漆、古代、近世、生土土器、土師器、須恵器、近世、近代陶器	本報告
07-12-19	0726	医学部基礎研究棟北附属施設	立会調査	1m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-16~1-17	0703⑨	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-22	0727	(医病) 工学部8号館耐震改修機械室改修工事	立会調査	13m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-22	0728	(医病) 工学部8号館内部改修機械室改修工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-23	0703⑩	(医病) 工学部校舎改修施設整備等事業-6、18	立会調査	89m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-25	0703⑪	(医病) 工学部校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	29m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-1-29~1-30	0703⑫-3	(黒鷺町) 工学部校舎改修施設整備等事業-6、18	立会調査	96.7m ²	土師器	年報14
08-2-1 2-4	0703⑫-4	(医病) 工学部校舎改修施設整備等事業-6、18	立会調査	530.2m ²	土師器	年報14
08-2-14	0729	(黒鷺町) ポイラー等撤去工事	立会調査	38.8m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-2-25	0730	(医病) 教育部附属質員育成支援学校防災水槽改修工事	立会調査	4m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-2-27	0731	(黒鷺町) 領情伝承用セミナー改修	立会調査	112.5m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-2-29	0732	(本庄) 特別高専電気機器用具工事	立会調査	12m ²	土師器	年報14
08-3-11 3-26	0733	(医病) 即ち中央診療所取り壇し工事	立会調査	84m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-3-17	0734	(黒鷺町) 排水路側口部フェンス設置工事	立会調査	50.3m ²		年報14
08-3-21	0735	医学部基礎施設ホリデー用地下貯油タンク撤去工事	立会調査	40m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-3-21	0736	(大江) 術学部防災用木造撤去工事	立会調査	72.3m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-3-25	0737	(黒鷺町) ポイラー等究明室改修工事	立会調査	306m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-3-27	0738	(本庄) 医学部創設記念会館改修工事	立会調査	18m ²	遺構・遺物なし	年報14
08-3-31	0739	(黒鷺町) 出席注意灯改修工事	立会調査	1013.5m ²	遺構・遺物なし	年報14
2008年度						
08-4-2	0801	(医病) 内中央診療棟とりこわし工事(追加)	立会調査	20m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-5-7	0802	附属小中学校校舎改修工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-5-20	0803	薬学部薬草園管理ガス管改修工事	立会調査	18m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-5-26	0804	(本庄北) 豊輪駅駅舎改修工事	立会調査	11.1m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-6-5	0805	(黒鷺町) ポイラー廃止鋼筋水管埋設	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報15

08-6-6 6-19 6-23 6-26 7-4 7-10 7-18 7-28 8-25 12-1 12-8	0806 (黒斐) 南地区福利施設改修配管移工事	立会調査	306.46m ² 古代 土器類	年報15
08-6-20 6-25-7-1 7-28-7-30 12-1 12-18-12-19	0806 (黒斐) 南地区福利施設改修配管移工事	発掘調査	125.2m ² 古代 青・ピット・土器類、葉巻器、石器 代陶器器、石器	年報15
08-6-9-6-10 0807 (本荘) 医学部医書調査新宿機械設備工事	立会調査	29.6m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-6-18 0808 (黒斐北) 福井県産瓦修理施設瓦取扱水槽漏水修理	立会調査	0.3m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-6-23 (黒斐南) 福井施設研石移設工事(追加) 7-1 7-3-7-4 7-15-7-16	立会調査/ 発掘調査	23.5m ² 古代 青・往生器、土器類、石器	年報15	
08-7-10 0810 宇留毛田畠水槽整修工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-7-11 (黒斐南) 丸根桿第4号改修瓦設置工事	立会調査	2m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-7-14 (黒斐南) 指示板移設工事	立会調査	41.1m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-7-15 0813 (本荘) 医学部基礎構内廊ガス配管漏損修理	立会調査	24.02m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-8-18 0814 (北地区) 松樹新宮新工事	立会調査	8m ² 先生	未見	年報15
08-8-20-8-22 0814 (医科) 車庫新替工事	発掘調査	212m ² 先生、近世 先史時代・近世遺物 先史土器・石器・近世陶器	本報告書	
08-8-21 0815 (本荘) 二世と保育園改築馬鹿歴壁工事	立会調査	1m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-8-21 0816 (本荘) 医学部基礎構内木造配管器具修理	立会調査	17.7m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-8-29 0817 宇留毛田畠土管整修機械施工	立会調査	0.06m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-9-1 0818 (黒斐北) リング式保育園木造配管漏水修理	立会調査	21m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-9-9-9-10 0820 (黒斐北) 医学部本館改修施設瓦障壁撤去工事	立会調査	802m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-9-9 0821 本荘足道(北地区) 市課課役宿泊施設瓦修理	立会調査	7.4m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-10-6 0822 本荘区保育園新設施設整備	立会調査	30m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-10-9 0819 (造作) 体育館耐震改修その施工事	一次掘削/ 発掘調査	69.95m ² 青・古 神文土器・石器、古墳時代玉・土 器類、石器・人骨 壙・古代	年報15	
10-10-11-12-28 0823 教育学部附属特別支援学校深水調査修理工事	立会調査	48m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-10-15 0824 (本荘) 医学部医書調査新宿機械設備工事	立会調査	0.8m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-10-28 0825 (医科) 設計工事負担	立会調査	1305m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-10-29 0826 (黒斐南) 朝日保育園瓦剥き伐採・移植工事	立会調査	44.55m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-11-4 0827 五高周辺120周年記念碑	立会調査	0.25m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-11-6 0828 (本荘) こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-11-10 0829 (黒斐北) 教育学部バリアフリー改修施設設備工事	立会調査	25m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-11-18 0830 (本荘) こばと保育園新設施設設備工事(変更2) 11-19-11-21 11-25	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	20m ² 近代 未見 古代土器部、埴輪部、石器	本報告書	
08-11-18 0831 (渡作) 体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	1133m ²	遺構・遺物なし	年報15
11-20 12-24				
08-12-1 0832 文法学講堂北面給水管漏水調査	立会調査	104m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-12-3 0833 (黒斐北) 教育学部本館改修雨附耐震強化工事	立会調査	14m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-12-10 0834 (本荘) 朝日研究後記新宿工事(変更)	立会調査	14.13m ²	埴輪石	年報15
08-12-11 0835 (医科) 重荷新宿機械設備(衛生)工事(変更) 12-15-12-19 09-1-3-2-19	一次掘削/ 発掘調査/ 立会調査	580m ²	ピット、鉢形坑、土器部、埴輪 部、衛生土器、陶土土器、石器、 瓦	年報15
08-12-22 12-24-12-25 09-1-5-2-27 3-10	0836 (黒斐北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 一次掘削/ (変更その1、その2)	発掘調査	456.54m ² 古代 床・住居跡、ピット、土器部、埴 輪部、石器	年報15
08-12-24 0837 五高開校120周年記念碑(追加)	立会調査	9.3m ²	遺構・遺物なし	年報15
08-12-26 0838 (黒斐北) 教育学部本館改修雨附耐震強化工事	立会調査	60m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-1-20 0839 (黒斐南) 密着屋漆喰改修工事	立会調査	435m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-1-22 0840 (黒斐南) 施設ボイラー室改修工事	立会調査	5m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-2 0841 (黒斐南) ものづくり実習室新設工事に伴う支障樹木伐採・移 植工事	立会調査	8m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-4 0842 (本荘) 国学部医書調査新宿機械設備工事	立会調査	7.2m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-5 0843 (黒斐北) ボイラー室改修工事	立会調査	3m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-12 0844 (黒斐北) 教育学部本館改修電気設備工事	立会調査	9.6m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-12 0845 (黒斐南) 敷地施設新設工事	立会調査	16m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-13 0846 (城東) 職員福利施設改修工事	立会調査	1m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-13 0847-1-2 (黒斐北) 教育学部本館改修(変更) 2-19	立会調査	130.8m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-23-24 0848-1-5 (黒斐北) 文法学部本館改修(変更、変更その2)	立会調査	138.17m ²	遺構・遺物なし	年報15
09-2-27 3-4-3-5 3-13				
09-2-16 0849 黒斐沼田(北地区) 外灯設置その施工事	立会調査	3m ²	遺構・遺物なし	年報15

3. これまでの調査と本書収録の道路

09-2-16	0850	(黒発) 体育館耐震改修施設設備工事(追加)	立会調査 (立会調査)	13.32m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-17	0851	(黒発) 木造橋改修工事	立会調査	8m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-18	0852	(黒発) 埼玉ボンズ電源工事	立会調査	1m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-18	0853	(黒発) ものづくり実習室Ⅱ新設電気設備工事	立会調査	6m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-23	0857-3	(黒発) 教育学部1号施設改修(変更その2)	立会調査	244.6m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-24	0854	(黒発) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12m ²	土跡跡・既出部	年報15
09-2-26~3-12	0854	(黒発) 北地区ボイラー室改修工事	見舞調査	106m ² 古代	ピット・堅穴柱附近・透視道幅・土壤露・土跡跡・既出部・石製物 見本	本報告録
09-2-26	0855	(黒発) 田畠保育センター改修電気設備工事	立会調査	20.85m ²	道幅・道物なし	年報15
09-2-27	0856	(黒発) ものづくり実習室Ⅲ新設工事	立会調査	65.99m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-3	0857	(黒発) 田畠保育センター新設工事	立会調査 (立会調査)	33.114m ² 0.122m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-4~3-6 3-11	0858	(黒発) 教育学部本館改修東側構築工事	立会調査	117m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-6	0859	(黒発) 共用棧橋黒足川耐震改修施設工事	立会調査	36m ² (0.32m ²)	道幅・道物なし	年報15
09-3-6 3-13	0860	(黒発) ものづくり実習室Ⅲ新設電気設備工事	立会調査	115.54m ² (17.74m ²)	道幅・道物なし	年報15
09-3-9~3-11 3-17	0861	(黒発) 文化学部本館改修東側構築工事	立会調査	356m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-10~3-11 3-17	0862	(黒発) 奥町棧橋黒足川耐震改修電気設備工事	立会調査	21m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-10~3-11 3-17	0863	(黒発) ボイラー室改修改修施設工事	立会調査	98.5m ² (4.86m ²)	道幅・道物なし	年報15
09-3-16 3-23	0864	(黒発) 電気整備(排水所)等	立会調査	119.99m ²	住居部・ピット・土跡跡	年報15
09-3-17	0865	(黒発) 道路試験ダム一帯西側外側工事	立会調査	305.58m ² (1.12m ²)	道幅・道物なし	年報15
09-3-23	0866	(黒発) 学生会館北側井戸等工事	立会調査	18m ²	道幅・道物なし	年報15
09-3-27	0867	(黒発) 北地区ボイラー室周辺外側工事	立会調査	37.21m ² (16.1m ²)	道幅・道物なし	年報15
09-3-31	0868	(黒発) カーブミラー取付工事	立会調査	2m ²	道幅・道物なし	年報15
2009年度						
09-4-15 4-17	0901	(黒発) 西門改修移軸取工事	立会調査	18m ²	道幅・道物なし	年報16
09-4-10 4-22	0902	(黒発) 西門改修工事	立会調査	422m ²	内壁・塗装設に際し黒褐色の住居 だらし・道崩出 それ以外道崩・道物なし	年報16
4-23						
4-27						
4-30						
5-1						
5-25						
5-27						
5-28						
09-4-23	0903	(本添中) 中通棟内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19m ²	道幅・道物なし	年報16
09-5-8	0904	(中添毛) 学生寄宿舎敷地内管渠工事	立会調査	16m ²	道幅・道物なし	年報16
09-5-8	0905	(中添毛) 屋外排水管改修工事	立会調査	5.8m ²	道幅・道物なし	年報16
09-5-27	0906	(大口) 勉学部育苗園アスファルト工事	立会調査	0.8m ²	道幅・道物なし	年報16
09-5-28	0907	(医病) 基本整備(電話交換機置更換)工事 その1(変更)	立会調査	11.68m ²	道幅・道物なし	年報16
09-6-3	0908	(医病) 基本整備(電話交換機置更換)工事 その2	立会調査	1.6m ²	道幅・道物なし	年報16
09-6-4	0909	(大口) 勉学部樹木扶採・整枝工事	立会調査	10.58m ²	道幅・道物なし	年報16
09-6-11	0910	(黒発) バス停留所整備	立会調査	3m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-3 7-22	0911	(大口) 勉学部育苗園フロントアセンタ新設その他の電気設 備工事	立会調査	33.31m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-6	0912	熊本大学附属図書館(東地区)インフラ整備	立会調査	12m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-8	0913	(黒発) 非常警報器新設施設屋外給水管廊水修理	立会調査	0.6m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-8	0913	(黒発) 特別支援校校舎外給水管廊水修理	立会調査	0.8m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-13	0914	(黒発) 文化学部本館耐震改修フレース基礎より工事	立会調査	35m ²	道幅・道物なし	年報16
09-7-28	0915	(中添毛) 勉学生寄宿舎新宮寄宿費改修工事(追加その5)	立会調査	2m ²	道幅・道物なし	年報16
09-8-7	0916	(中添毛) 勉学生寄宿舎新宮寄宿費改修工事(追加その5)	立会調査	3m ²	道幅・道物なし	年報16
09-8-10	0917	(本添中) 棚内通路掘取工事	立会調査	0.44m ²	道幅・道物なし	年報16
09-9-4	0918	(黒発) 教育学部本館・文化学部本館Ⅱ期改修施設設備工 事	立会調査	50.37m ²	道幅・道物なし	年報16
09-9-4	0919	(黒発) 文化学部本館Ⅱ期改修外側工事(変更)	立会調査	464.8m ²	道幅・道物なし	年報16
09-9-4	0920	(黒発) 文化学部本館Ⅱ期改修和風外植工事	立会調査	3.56m ²	道幅・道物なし	年報16
10-2-21						
09-9-29	0921	(黒発) 教育学部本館・文化学部本館Ⅱ期改修施設設備工 事	立会調査	8.26m ²	道幅・道物なし	年報16
09-10-6	0922	(黒発) 工学部研究実験棟準備室至人接続工事	立会調査	36m ²	道幅・道物なし	年報16
09-10-13	0923	(医病) 重病棟新設械器具(衛生)工事(変更)	立会調査／ 工事(3.0m ²) 古代	15.9m ² (1.0m ²)	ピット・住居 土跡跡跡・既出部	本書
10-27~10-30 11-12 11-13						
09-10-19 10-23 10-27~30	0924	(医病) 東病棟新設器械設備(衛生)工事 通路その2	立会調査／ 免強調査	132.6m ² 古代	ピット	本書

09-10-27～10-30	0925	(医療) 東病院新営業施設設備(衛生)工事 追加その1	立会調査 / 工区3(15.9 古代 発掘調査 m(920m))	ピット・住居址、溝 土師窯、高井 土器群、須恵器	本書
11-12				8.72m	
11-13				3.72m	
11-19				23.76m	
11-24～11-26					
12-1～12-3					
09-10-13	0926	(医療) 基幹施設(自家発電設備更新)工事	立会調査	64m	土師器
10-28					年報16
09-10-20	0927	(医療) プロパン供給装置工事	立会調査	9.19m	土師器
09-10-21	0928	(医療) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	32m	遺構・遺物なし
					年報16
09-10-29	0929	(医療) 第6病棟スローペース改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
09-11-4	0930	(医療) 地質調査実験施設プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9m	柱部
09-11-10	0931	(医療) 東病院北側排水管等改修工事	立会調査	14m	A・C造遣・遺物なし
11-18					年報16
09-11-10	0932	(医療) 北側青砥工字部分改修工事	立会調査 / 地中試験 発掘調査	古代 ピット試 跡(198m) 改修工事 23.07m	溝 古代土師器・須恵器
11-30～12-3					本報告書
12-14					
09-12-9	0933	(医療) 職属小学校ブリル地盤改良施設工事	立会調査	18m	遺構・遺物なし
09-12-9	0934	(医療) 職属青砥工字部分改修電気設備工事	立会調査	14.61m	遺構・遺物なし
10-1-7	0935	(医療) 職属改修電気設備工事	立会調査 / 発掘調査	423.21m 古代・近代 土師器・須恵器	本報告書
1-12					
1-19					
1-28					
2-2					
10-1-12	0936	(医療) 旧こばと体育園駐車場整備	立会調査	12m	埋蔵
10-1-13	0937	(医療) 職務施設工字部分改修機械設備工事	立会調査	56m	遺構・遺物なし
2-23					年報16
10-1-14	0938	(医療) ニコロジッシュシステム実験施設工事	立会調査 / 発掘調査	10m 調 先 周辺土器・弥生土器	本報告書
2-17～2-19					
10-1-15	0939	(医療) 教育学部本館Ⅱ期改修西側構築工事	立会調査	12m	遺構・遺物なし
10-1-26	0940	(医療) 生徒生活環境改善施設新設工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし
10-1-29	0941	(医療) 教育学部改修外壁改修工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし
10-1-29	0942	(医療) 教育学部外壁水害修理	立会調査	1m	遺構・遺物なし
10-2-2	0943	(医療) 職属青砥工字部分改修外壁工事	立会調査	7m	V字型構造(?)
10-2-8	0944	(医療) 教育学部本館Ⅱ期改修外壁改修工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし
10-2-8	0945	(医療) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	3m	遺構・遺物なし
					年報16
10-2-8	0946	(医療) 文法学部本館・文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	72m	遺構・遺物なし
					年報16
10-2-12	0947	(大北) 美学講義施設改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-2-15	0948	(大北) 教育学部本館改修施設解体工事	立会調査	45m	遺構・遺物なし
10-2-15	0949	(大北) 教育学部本館室外壁工事	立会調査	0.5m	遺構・遺物なし
10-2-15	0950	(医療) 教育学部本館改修施設解体機械設備工事	立会調査	4m	遺構・遺物なし
10-2-15	0951	(医療) 教育学部本館改修施設解体電気設備工事	立会調査	0.5m	遺構・遺物なし
10-2-22	0952	(医療) 生徒生活環境改善施設新設機械設備工事	立会調査	15m	遺構・遺物なし
10-2-22	0953	(医療) 生徒生活環境改善施設新設機械設備工事	立会調査	1m	遺構・遺物なし
10-3-1	0954	(医療) 職員宿舎改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-3-1	0955	(医療) 職員宿舎改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-3-1	0956	(医療) 職員宿舎改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-3-2	0957	(大北) 教育学部改修外壁改修工事	立会調査	3m	遺構・遺物なし
10-3-3	0958	(大北) 教育学部改修外壁改修工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-3-4	0959	(医療) 教育学部本館B種類登録・送詮式保管工事	立会調査	2m	遺構・遺物なし
10-3-5	0960	(医療) 既存外壁改修工事	立会調査	17m	道筋裏・扶壁、計画変更により保 存、遺物なし
					年報16
10-3-8	0961	(医療) 職員宿舎改修工事	立会調査	0.85m	遺構・遺物なし
10-3-8	0962	(医療) 大学改修外壁改修研究科実験施設地盤探査工字部改修工事	立会調査	0.2m	遺構・遺物なし
					年報16
10-3-10	0963	(医療) 職員宿舎改修外壁改修工事	立会調査	0.6m 露 生	ピット(浅い底み 浜生時代焼口跡)
					年報16
10-3-11	0964	(医療) 職員宿舎改修電気設備工事(電気嵌合)	立会調査	1.2m	遺構・遺物なし
10-3-11	0965	(医療) 文法学部本館改修機械設備工事	立会調査	0.48m	遺構・遺物なし
10-3-12	0966	(医療) 職員宿舎改修外壁改修工事	立会調査	0.8m	遺構・遺物なし
10-3-15	0967	(医療) 職員宿舎改修外壁改修工事	立会調査	2.34m	遺構・遺物なし
10-3-16	0968	(医療) 職員宿舎改修外壁改修工事	立会調査	3.76m	遺構・遺物なし
10-3-19	0969	(医療) ソフトテニスコート設置工事	立会調査	0.21m	遺構・遺物なし
10-3-23	0970	(医療) 職員宿舎改修外壁改修工事	立会調査	0.12m	遺構・遺物なし
10-3-23	0971	(医療) 文法学部改修施設工事	立会調査	1.8m	遺構・遺物なし
10-3-26	0972	(医療) 学術部改修外壁改修工事	立会調査	0.7m	遺構・遺物なし
10-3-26	0973	(大北) 学術部改修外壁改修工事	立会調査	0.2m	遺構・遺物なし
					年報16
2010年度					
10-4-6	1001	(医療) ガスメータ付ガス栓埋設設備調査	立会調査	3.9m	遺構・遺物なし
10-6-25 9-1	1002	(医療) 文法学部本館改修グレース設置施工事	立会調査	2.2m	遺構・遺物なし
					年報17
10-6-30	1003	(医療) 生物生息環境監視解説看板設置工事	立会調査	0.18m	遺構・遺物なし
10-8-1	1004	(医療) 安全防災シャワー室改修工事	立会調査	11.04m	遺構・遺物なし
					年報17

3. これまでの調査と本書収録の道跡

10-8-9	1005	(京町) 田舎小学校耐震木造工事	立会調査	17m	道傍・遺物なし	年報17 本書
10-8-10	1006	(黒髪北) 文化学部本館延長改修外機工事	立会調査／発掘調査	1,210.86m 古代	ピット・住居跡・窓枠土 土間骨・須恵器	年報17 本書
9-3 9-8~10						
11-3-4						
10-8-10	1007	(黒髪北) 教育学部本館・文化学部本館周改修施設工事	立会調査	65.2m	道傍・遺物なし	年報17
9-3						
10-8-11	1008	(黒髪北) 高圧配管等改修工事	立会調査	13m	道傍・遺物なし	年報17
10-9-1	1009	(黒髪北) 教育学部本館・文化学部本館周改修電気設備工事	立会調査／発掘調査	16m 古代	ピット・遺物なし	年報17
9-3						
10-9-15	1010	(城東) 脚底地盤埋蔵場ガス漏れ修理	立会調査	2m	道傍・遺物なし	年報17
10-9-24	1011	(黒髪南) 地理学部1・2号館の庭植栽	立会調査	23m	道傍・遺物なし	年報17
10-10-4~10-5	1012	(黒髪北) 教育学部本館・文化学部本館周改修施設工事(追加)	立会調査	67.7m	道傍なし	年報17
10-7						
10-10-10	1013	(黒髪北) 教育学部本館延長移築等工事	立会調査	82m	道傍・遺物なし	年報17
11-11						
10-10-26	1014	(黒髪北) 教育学部本館延長費設置等工事	立会調査	91.63m	道傍・遺物なし	年報17
11-2-1						
2-10						
2-15						
2-22						
2-25						
3-2						
3-3						
10-10-7	1016	(黒髪北) 教育学部化粧等塗工事	立会調査	98.66m	道傍・遺物なし	年報17
10-12-6	1017	(本荘南) ニニストロ型難工事	立会調査	0.25m	道傍・遺物なし	年報17
10-12-20	1018	(黒髪北) 五高記念館耐震木造工事	立会調査	4m	道傍なし 須恵器・土間骨片	年報17
10-12-20						
10-12-27	1019	(黒髪北) 五高記念館耐震工事	立会調査	5m	道傍・遺物なし	年報17
10-12-27	1020	(本荘南) テニスコート整備工事(追加)	立会調査	0.8m	道傍・遺物なし	年報17
11-1-17	1021	(黒髪北) 五高記念館耐震工事(電気設備工事)	立会調査	2m	道傍・遺物なし	年報17
11-1-17	1022	(黒髪北) 五高記念館耐震工事(電気設備工事)	立会調査	30.2m	道傍・遺物なし	年報17
11-1-17	1023	(黒髪南) 地図改正工事	立会調査	6.65m	道傍・遺物なし	年報17
11-2-4	1024	(本荘北) キーブリッヂ取付工事	立会調査	0.25m	道傍・遺物なし	年報17
11-2-24	1025	(本荘北) 医学部基礎研究棟こわし工事	立会調査	175.5m	道傍・遺物なし	年報17
2-25						
11-3-2	1026	(黒髪北) 教育学部本館耐震木造修理工事	立会調査	10.3m	道傍・遺物なし	年報17
11-3-9	1027	(黒髪北) 区画内門柱大屋根電線設置工事	立会調査	9.6m	道傍・遺物なし	年報17
11-3-10	1028	(黒髪北) 教育学部本館正面入口前排水管修理	立会調査	2.7m	道傍・遺物なし	年報17
11-3-16	1029	(本荘北) 学生部室こわし工事	立会調査	3m	道傍・遺物なし	年報17
11-3-22						
11-2-17	1030	(黒髪南) 深度差壁(駒輪場等)工事	立会調査	1m	道傍・遺物なし	年報17
11-3-23	1031	(黒髪北) 教育学部本館西廊、文化学部本館北側耐震改修工事	立会調査	285.7m	道傍・遺物なし	年報17
2011年度						
11-4-18 4-19	1101	(黒髪南) 雨落水引込管改修工事	立会調査	12m	道傍・遺物なし	年報18
11-5-30	1102	(本荘北) 医学部基礎研究棟A棟こわし支障配管工事	立会調査	62m (8.2m)	道傍・遺物なし	年報18
11-6-17	1103	(黒髪北) 木接合緊急工事	立会調査	6.6m	道傍・遺物なし	年報18
11-6-6 6-21~9-22	1104	(本荘北) 球根植物研究センター(現存)整備事業	立会調査／試験孔2m	古代、近世 立会調査 発掘調査 空瓶5G19m	住居跡、墓地、ビット 土加厚・墓忠器、人骨・鉢・瓦 鏡子・懸垂	本報告区
11-6-22	1105	(黒髪南) 植生文化園調査排水管改修工事	立会調査	3.5m	道傍・遺物なし	年報18
11-6-24 10-17~10-19	1106	(本荘北) 医学部基礎研究棟(A棟)こわし工事	立会調査／発掘調査	1,506.9m 古墳・古 墳・ビット 代、近世 立会調査・埴輪器	本報告区	
11-1 11-4 11-10 11-21 11-24~11-25 11-28 12-9 12-12~12-14						
11-7-5	1107	(京町) 中堅派工事	立会調査	8.9m	道傍・遺物なし	年報18
11-7-11	1108	(黒髪北) 障害者解説施設改修工事	立会調査	71.3m (2m)	道傍・遺物なし	年報18
11-7-11 8-1 8-5						
11-7-26	1110	(黒髪北) 五高記念館前舞台シロアリ被害支柱緊急替え工事	立会調査	3.53m	道傍・遺物なし	年報18
11-8-18	1111	(黒髪南) 自然科學研究施設改修工事	立会調査	0.46m 15.2m	道傍・遺物なし	年報18
11-9-21 9-22 9-26~9-29	1112	(京町) 岩手・環境整備(第6号接水支障配管・配管替え)機械設置工事	立会調査／発掘調査	500m 古 墳・古 墳穴作成跡・漢状遺物・ビット 代、近世 立会調査・埴輪器	本報告区	
10-4 10-11 10-26~10-28 10-31						

11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替)	立会調査／発掘調査	26483m ²	1112調査地直上同様	本報告区
11・10・11～10・13 10・17 10・18 11・1 11・11	1114	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟等支障配線・配管替) 機械設備工事の2	立会調査／発掘調査	18481m ²	古代・近世・住居址・溝・ピット・遺物なし	本報告区
11・10・24～10・25 12・12 12・1・27	1115	(黒斐北) サギビー場供給水管接続工事	立会調査	23m ²	遺構・遺物なし	年報18
11・10・24～10・27 12・14	1116	(黒斐北) 文化学部講義棟廻廊所増築等改修工事	立会調査／発掘調査	30m ² 古代	聖穴住居址?・ピット・古代土器等・組合器	本報告区
11・10・24～10・25 12・12 12・1・27	1117	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7m ²	遺構なし 土器碎片	年報18
11・11・15	1118	(大沢) 電柱架設撤去及び支柱設置	立会調査	0.42m ²	遺構・遺物なし	年報18
11・11・22	1119	(医病) 基幹・環境整備(即ち中央診療棟等とりこわしに伴う支障解消等) 工事	立会調査	407m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・1・17～1・18						
11・11・24～11・25	1120	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟北側平屋部とりこわし)	立会調査	728m ²	遺構・遺物なし	年報18
11・11・28～12・6・4	1121	(黒斐南) 基幹・環境整備(糞井排水設置等) 工事	立会調査／発掘調査	77486m ²	碑文・坐生・住居址?・土坑・溝・洗浄施設・古墳・古墳・古墳・古墳・ピット・土坑(追跡)・追跡(馬)・中世・盛岡・楢木土器等・土器碎片・埴輪・近現代・瓦片・石器・圓錐形石器・圓錐形石器・瓦・黑石片・圓錐形石器・散石?	本報告区
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備(地政照査管理室等とりこわし) 工事	立会調査	165.6m ²	遺構・遺物なし	年報18
11・12・5	1123	(医病) 基幹・環境整備(中庭支障解消工事)	立会調査	216m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・3						
11・12・9	1124	(黒斐北) 北地区食文化専門会館工事	立会調査	154m ²	遺構・遺物なし	年報18
11・12・19 12・20	1125	(大沢北) 北門周辺環境整備(積木・竹林) 工事	立会調査／発掘調査	837m ² 古代	溝・土坑等・土器碎片・瓦片	本報告区
11・12・19	1126	(大沢北) 北門周辺環境整備(道路等) 工事	立会調査	477m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 政府施設棟ヨリテ原ドレン配管撤除改修工事	立会調査	8.1m ²	遺構なし 土器碎片	年報18
12・1・16	1128	(黒斐北) 北地区食文化・保健センター新館ガラス配管修理	立会調査	5.22m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・1・17～1・18 1・29 2・3 2・6～7 2・16～2・17 2・29～2・21 2・27	1129	(医病) 基幹・環境整備(即ち中央診療棟等とりこわし) 工事	立会調査／発掘調査	7160m ² 古墳・古代・溝・土坑・ピット・古代土器等・組合器・石製品	本報告区	
11・12・9 12・13～12・14 12・21 1・26～1・27 2・8・15	1130	(本荘中) 医学部基礎研究棟(B・D棟)とりこわし工事	立会調査／発掘調査	11096m ² 中世以降 土器碎片・骨物骨	本報告区	
12・1・25	1131	(京町団地) 環境整備(法曲保護) 工事	立会調査	4.3m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1 2・6	1132	(医病) 基幹・環境整備(洗面下Cとりこわし)	立会調査	146m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・8 12・2・16～2・17 2・21	1133	(本荘中) 医学部B号ビルA号改修施設改修工事	立会調査	46.6m ²	遺構・遺物なし 住居址・もしくは遺とと思われる遺構	年報18
12・2・16～2・17 2・21	1134	(黒斐南) 理学部周辺整備の施工事(その1)	立会調査	747m ²	プラン 遺物なし	年報18
12・2・16	1135	(黒斐南) 理学部周辺整備その施工事(その2)	立会調査	1mf (128m ²)	遺構・遺物なし	年報18
12・2・16 2・20～2・21	1136	(黒斐南) 理学部周辺整備その施工事(その3)	立会調査	608m ²	住居址・遺構? 土器碎片・瓦片	年報18
12・2・20	1137	(黒斐北) 理学部3号スロープ取放工事	立会調査	115.6m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・22	1138	(伊達中) 道路名表示看板設置	立会調査	0.8m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	(黒斐北) 道路名表示看板設置	立会調査	6.65m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	(医病) 環境整備(洗面整備) 工事	立会調査	1.8m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	(京町) 環境整備(雨樋取替) 工事	立会調査	20m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	(大沢) 美草原種植園地外排水設置工事	立会調査	16m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	(本荘中) ガス供給施設取替	立会調査	218m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	(本荘中) エイズ学習セミナー・生命資源研究・支援センター・測量官宿舎改修工事	立会調査	75m ²	遺構・遺物なし	年報18
12・3・25～3・27 4・2 4・4 8・21～8・23	1145	(医病) 基幹・環境整備(第6病棟とりこわし) 工事	立会調査／発掘調査	427.20m ² 古代・中世 以降 土器碎片・瓦の枚数・組合器	本報告区	
2012年度						
12・4・10	1201	(黒斐南) 事務所南側荷物搬入本棟工事	立会調査	0.9m ²	遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	(京町) 将属小学校倉吉セントリー館裏二段沙利丼調査	立会調査	7.1m ²	遺構・遺物なし	年報19
12・6・14・15 6・18 7・9・10 10・15・16	1203	(本荘北) 本荘北地区駐車場配管工事(新設)	立会調査	1587m ²	砂部	年報19
12・6・20・29 7・3・26 7・31 8・6・17	1204	(本荘北) 旗木導管等工事	立会調査	1360m ²	砂部	年報19

3. これまでの調査と本書収録の道跡

12-6-19~7-19	1205	(本庄) 医学部基礎研究棟(住民側) とりこむし工事	立会調査/発会調査	756m ²	古代・近世 ピット・土器群・瓶底器・陶器・報告書X 組物・板瓦
12-6-25	1206	(黒巣北) 五郎記念館周辺外壁補修等施工事	立会調査	186m ²	造営・造物なし
12-6-29	1207	(本庄) 木根宿定系草津温泉区域排水施設改修工事・渠蓋調査	立会調査/発会調査	100m ²	古代・近世 破片・瓦器・瓦・清・報告書X ピット・土器群・瓶底器
12-7-3~5					
12-7-9~10	1208	(本庄) 木根宿草津温泉改修工事	立会調査	73.7m ²	造営・造物なし
12-7-9~6~9	1209	(本庄) 木根宿草津温泉改修工事	立会調査	92m ²	造営・造物なし
12-7-12					
12-7-17	1210	(京町) 周囲小学校水害修理工事	立会調査	33m ²	造営・造物なし
12-7-23~24	1211	(京町) 教育学部附属中学校耐震フェンス改修工事	立会調査	32m ²	造営・造物なし
12-7-31	1212	(医科) 西病院西側周辺改修工事	立会調査	69m ²	造営・造物なし
12-8-17~20	1213	(本庄北) 木根宿北口周辺改修配管工事	立会調査	49m ²	造営・造物なし
12-8-16~17	1214	(本庄北) 木根宿新宮その他の工事	立会調査	224.3m ²	組物・土器群
8-20 9-5					
12-8-21	1215	(城東) 教育学部附属幼稚園外壁改修ガス配管改修工事	立会調査	35m ²	造営・造物なし
12-8-26	1216	(京町) 周囲小学校水害修理改修工事	立会調査	295m ²	造営・造物なし
12-8-30	1217	(医科) 管理事務室改修工事改修施設改修工事	立会調査	41m ²	造営・造物なし
12-9-3~4	1218	(黒巣北) 五郎記念館・スケルトン改修工事	立会調査	103.3m ²	ピット・土器・陶器類
12-9-12~13	1219	(大口) 屋外各井戸修理	立会調査	39.9m ²	造営・造物なし
12-9-14~15	1220	(黒巣北) プロテクション改修工事	立会調査	12m ²	造営・造物なし
12-9-19	1221	(京町) プロテクション改修工事	立会調査	171m ²	造営・造物なし
12-9-20~21	1222	(京町) 外来棟改修等構造改修工事	立会調査	40m ²	造営?
12-9-26~28	1223	(本庄中) 国際先端医学研究施設設計監修工事	立会調査/発会調査	3029m ²	古代・近世 暫・廃物・柱脚柱・瓶底器・土器群・石器品・瓦器・報告書X 組物・陶器類・土器品・鉄製品・骨器
10-1~					
12-10~15 19-23,24	1224	(黒巣南) 理学部温泉寮Aとりこむし工事	立会調査	14.6m ²	造営・造物なし
12-11~9	1225	(医科) 西病院西側改修工事	立会調査	31.6m ²	造営・造物なし
12-11~13	1226	(本庄北) 外来棟改修等施設工事	立会調査/発会調査	22m ²	造営?
12-11~19,20 11-21	1227	(本庄北) 交番駐車場新設その他工事(追加)	立会調査	27.6m ²	造営・造物なし
12-11~26,27 12-20	1228	(黒巣南) 理学部團地倉庫新設工事	立会調査	25.6m ²	吉・代 跋文は伴走社?
12-12~10	1229	(黒巣北) 教育学部本館樹木整備工事	立会調査	25m ²	造営・造物なし
12-12-18,19	1230	(黒巣北) 教育学部北側改修等改修工事	立会調査	52m ²	吉・代 ピット・土器群・瓶底器
13-1~28,29	1231	(大口) 理学部A棟南側改修等屋根取扱工事	立会調査	35.6m ²	造営・造物なし
13-1~30	1232	(大口) 大口地区A棟改修等屋根取扱工事	立会調査	12m ²	造営・造物なし
13-2~7,8 12-13	1233	(本庄中) 医学部旧寮A棟アモニウム塗壁工事	立会調査/発会調査	93m ²	吉・代 ピット・土動器
13-2~21,22	1234	(本庄北) 医学部駐輪場改修工事	立会調査/発会調査	241m ²	古代・近世 土坑・土器群・瓶底器・陶器 組物
13-2~21	1235	(京町) 墓内付帯管路改修工事	立会調査	1.1m ²	造営・造物なし
13-2~27	1236	(黒巣南) 教育学部南側改修等工事	立会調査	0.6m ²	造営・造物なし
13-2~27	1237	(黒巣南) 理学部3号館南側光触媒施設等工事	立会調査	90m ²	造営・造物なし
13-2~28	1238	(黒巣南) 理学部駐車場事務官工事	立会調査	112m ²	造営・造物なし
13-3~5	1239	(医科) 管理事務室改修等工事	立会調査	80m ²	造営・造物なし
13-3~6	1240	(黒巣北) 工務部駐車場等工事	立会調査	27m ²	造営・造物なし
13-3~7	1241	(京町) 教育学部附属小学校校舎A棟改修等改修設置工事	立会調査	22m ²	造営・造物なし
13-3~11,14	1242	(本庄中) 地質資源研究実験施設建設工事	立会調査	29.8m ²	造営・造物なし
13-3~21,25	1243	(本庄北) 係官室改修等東面改修等改修設置工事	立会調査	29m ²	造営・造物なし
13-3~26	1244	(本庄北) 係官室改修等南面改修等改修設置工事	立会調査	18m ²	造営・造物なし
2013年度					
13-3~21~27~7	1301	(黒巣北) 附属図書館南側中央棟改修工事	立会調査	2980m ²	造営・造物なし
13-3~25~7~19	1302	(黒巣北) 附属図書館中央棟改修等改修工事	立会調査/発会調査	3950m ²	吉・代 柱頭・柱・土器群・瓶底器
13-3~21~6~12	1303	(黒巣北) 附属図書館南側中央棟改修電気設備工事	立会調査	97.6m ²	造営・造物なし
13-3~25~31	1304	(黒巣北) 五郎記念館改修等改修工事	立会調査	0.45m ²	造営・造物なし
13-3~17,21~35	1305	(黒巣北) 国際革新技術研究拠点施設改修工事	立会調査	12780m ²	造営・造物なし
13-6~16~7~12	1306	(黒巣北) 財團法人大阪府立改修工事	立会調査/発会調査	13660m ²	吉・代 漆
13-7~17~7~19	1307	(黒巣南) 事務所本館西側改修工事	立会調査	4.1m ²	造営・造物なし
13-7~19	1308	(大口) 医学部寮A棟とりこむし工事	立会調査	47.65m ²	造営・造物なし
13-8~6~10~7	1309	(黒巣南) 国際革新技術研究拠点施設改修工事	立会調査/発会調査	63200m ²	近現代 系・昭和造物
13-8~6~13~3~20	1310	(黒巣南) ライフライン再生(給排水設備等)工事	立会調査	327560m ²	近・古 吉・代 漆 柱・柱頭・柱・土器群・瓶底器・陶器 組物
13-9~24~10~4	1311	(黒巣南) 地質資源研究実験施設改修工事	立会調査	101.00m ²	造営・造物なし
13-9~11~11~11	1312	(黒巣北) 知恵袋水質管理水精製工事	立会調査	0.815m ²	造営・造物なし
13-9~13~13~13	1313	(黒巣北) テンスコット改修工事	立会調査	6.48m ²	造営・造物なし
13-9~2~13~13	1314	(黒巣北) 地質資源研究実験室改修工事	立会調査	41.45m ²	造営・造物なし
13-9~12~13~14~14	1315	(黒巣北) 黒巣北都立看護学校C棟・E棟・F棟・G棟工事	立会調査	540m ²	元・近 代 漆 柱・柱頭

13-10-28	1316	(西面) 中央複数排水渠水溝蓋設置工事	立会調査	0.50m	道構・遺物なし	年報20
13-11-1~12-18	1317	(本面) 基幹整備(自家発電設備)工事(地下タンク)	立会調査	100.00m 古代	住居・溝・柱穴、土加厚、植生帯	年報20
13-11-1~12-18	1318	(本面) 基幹整備(自家発電設備)工事(発電機設備)	立会調査	236.40m 古代	住居・溝・柱穴、土加厚、植生帯	年報20
13-11-1~12-18	1319	(本面) 基幹整備(自家発電設備)工事(発電機設備)	立会調査	155.00m 古代	住居・溝・柱穴、土加厚、植生帯	年報20
13-11-20	1320	(西面) 地盤整備(底盤敷設場等)工事(舗装・構造物関係)	立会調査	2309.00m	道構・遺物なし	年報20
13-11-15~	1321	(東面) 地盤整備(東側駐車場等)工事(人化・表面関係)	立会調査	989.50m 古代	住居・溝・柱穴、土坑	年報20
14-12-9			立会調査		立会調査	
13-11-15~	1322	(西面) 地盤整備(東側駐車場等)工事(舗装関係)	立会調査	73.00m	道構・遺物なし	年報20
14-12-2			立会調査		立会調査	
13-11-23	1323	(西面) 作業室改修施設改修工事	立会調査	37.00m	道構・遺物なし	年報20
13-11-19	1324	(西面) 訓練管理便りデータ収集等工事(配管工事)	立会調査	17.50m	道構・遺物なし	年報20
13-11-20~11-13	1325	(西面) 基幹整備(底盤敷設)工事	立会調査	468.10m 古代	柱穴、土加厚	年報20
13-11-21~22	1326	(西面) 田舎交換室改修施設工事	立会調査	137.00m	道構・遺物なし	年報20
13-11-21~22	1327	(西面) 田舎交換室改修工事	立会調査	36.00m	道構・遺物なし	年報20
13-11-23~26	1328	(西面) 調査宿舎外ガス配管改修工事	立会調査	30.50m	道構・遺物なし	年報20
13-11-29	1329	(本花北) 駐車場ゲートインサー・ホン設置工事	立会調査	22.00m	道構・遺物なし	年報20
13-11-28~	1330	(校庭南) 教育学部附属施設改修施設改修その他の工事	立会調査	208.69m	道構・遺物なし	年報20
14-2-7			立会調査		立会調査	
13-12-9~	1331	(本花中) 国際先端学院研究用点検室改修工事	立会調査	83.51m	道構・遺物なし	年報20
14-1-14			立会調査		立会調査	
13-12-9	1332	(本花中) 国際先端学院研究用点検室改修工事	立会調査	75.26m	道構・遺物なし	年報20
14-2-25			立会調査		立会調査	
14-1-17~2-12	1333	(西面) 政府管理棲家ボーラー設置等工事(垂木地下シカ裏新削・新削、鉄骨土塀裏丸)	立会調査	101.56m 古代	柱穴、土加厚、植生帯	年報20
14-1-21	1334	(黒聖北・黒聖南) 交通安全施設改修工事	立会調査	128m 石現代	陶磁器	年報20
14-1-31	1335	(大江北) 門松更張改修工事	立会調査	0.61m	道構・遺物なし	年報20
14-2-5	1336	(城北) 教育学部附属施設改修施設改修その他の工事	立会調査	229.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-10	1337	(城北) 外部診療棟新規機械施設工事	立会調査	16.62m	道構・遺物なし	年報20
14-2-17	1338	(黒聖北) 全学教育(C棟) スロープ設置工事	立会調査	57.68m	道構・遺物なし	年報20
14-2-17~26	1339	(黒聖北・南) 星野イケノ庭改修工事	立会調査	196.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-28	1340	(黒聖北) 黒聖北宿舎A(外削入宿舎) 改修工事	立会調査	39.30m	道構・遺物なし	年報20
14-2-21	1341	(西面) 教育学部附属施設改修工事	立会調査	201.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-25 3-13~17	1342	(西面) 教育学部附属小学校体育施設改修その他の工事	立会調査	49.70m	道構・遺物なし	年報20
14-3-12~25	1343	(京町) 教育学部附属小学校体育施設改修その他の工事(機械工事)	立会調査	588.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-24 3-10~13	1344	(西面) 教育学部附属小学校体育施設改修その他の工事	立会調査	702.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-23~3-12	1345	(本花中) 基盤整備(給水設備)工事(本花中地区分)	立会調査	909.00m 古代	陶磁器・古鉢	年報20
14-3-6~3-17	1346	(黒聖南) 合成研究棟(工学系) 改修工事	立会調査	20.45m	道構・遺物なし	年報20
14-3-6	1347	(黒聖南) 合成研究棟(工学系) 改修工事	立会調査	132.90m	道構・遺物なし	年報20
14-2-27	1348	(黒聖南) 合成研究棟(工学系) 改修機械設備工事	立会調査	48.76m	道構・遺物なし	年報20
14-2-27~3-17	1349	(黒聖南) 合成研究棟(工学系) 改修機械設備工事	立会調査	265.00m	古墳・古代 陶磁器・瓦・泥画子	年報20
14-2-28	1350	(京町) 文庫削本削去	立会調査	57.40m	道構・遺物なし	年報20
14-3-10	1351	(京町) 塔若山廬新設	立会調査	141.00m	道構・遺物なし	年報20
14-2-28	1352	(城北町) 教育学部附属施設改修機械設備工事	立会調査	272.00m	道構・遺物なし	年報20
14-3-6	1354	(黒聖北) 黑聖北宿舎A改修機械設備工事	立会調査	0.60m	道構・遺物なし	年報20
14-3-6	1355	(黒聖南) 健康自衛施設	立会調査	83.50m	道構・遺物なし	年報20
14-3-7	1356	(大江北) 壁学部北門人口徇設置工事	立会調査	4.00m	道構・遺物なし	年報20
14-3-7	1357	(大江北) 健康自衛施設	立会調査	24.50m	道構・遺物なし	年報20
14-3-7	1358	(大江北) 文庫削本削去	立会調査	16.80m	道構・遺物なし	年報20
14-3-22	1359	(黒聖北) 仮設駐車場設置工事	立会調査	42.00m	道構・遺物なし	年報20
14-3-19	1360	(黒聖南) 重要文化財五高記念館蔵書収容庫	立会調査	30.40m	近・古代 陶磁器	年報20
14-3-19,20	1361	(黒聖南) 重要文化財五高記念館計画台設置工事	立会調査	4.00m	陶磁器	年報20
14-3-27	1362	(京町) 教育学部附属中学校卒業記念会計台設置工事	立会調査	4.00m	道構・遺物なし	年報20
14-3-28	1363	(黒聖南) 新屋ガスメーター取替工事	立会調査	22.00m	道構・遺物なし	年報20

II 黒髪北地区の調査

1. (黒髪北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事に伴う発掘調査 (1006調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(黒髪北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事は、文法学部本館の北側周辺に排水溝・雨水樹・スロープ・来客用駐車場・駐輪場などを設置する工事である。改修工事は、熊本大学の黒髪北地区に所在する文法学部本館周辺で実施された。本調査地点は、カタカナの「ヨ」の字のような形をした文法学部本館のもっとも北に位置する校舎北側の縁地帯である(図2)。校舎に沿って排水溝を設置と、駐車場および歩道を設置のために掘削した範囲において、遺物包含層と造構面が検出された。掘削範囲のはば全面で造構面が検出されたが、造構の密度は非常に低かった(図3)。

本書では、一連の工事のうち造構を検出した箇所について報告する。

b. 調査の経過

- 2010年9月3日 立会調査開始。文法学部本館北側の排水溝設置部分を、東から掘削する。
- 2010年9月6日 来客用駐車場部分で住居検出、発掘調査に切り替える。
- 2010年9月7日 発掘調査開始(台風接近中)。擾乱除去、造構掘削。
- 2010年9月9日 来客用駐車場部分の全景写真撮影、測量。11号住居の竈処理。排水溝部分を並行して掘削、18号住居を検出、掘削、測量、写真。
- 2010年9月10日 来客用駐車場通路部分を並行して掘削、19号住居検出、掘削、測量、写真。調査終了。

c. 調査の組織

調査員: 小畠弘己・大坪志子

事務担当: 村田知聖

発掘作業員: 北村一成・庄村弘幸・畠中儀介

整理作業員: 井上裕美・江口路・鬼塚美枝・小山正子・甲斐郁・金子真夕・柴田亮・首藤優子・末吉美紀・高松あゆみ・増井弘子・宮崎大和・安田未来・山㟢早苗・與嶽友紀也

(2) 調査区の基本層序

黒髪北地区は数段にわたる河岸段丘上に位置し、県道337号から北へ向かって次第に標高が高くなる。黒髪北地区構内では、場所によっては段丘の名残を把握することができる。後述するが、文法学部棟は段丘崖と高い方の段丘面の一部を削平した位置に造営されたようで、本調査地点は高い方の段丘上に位置する。大学敷地として整地された際には、段丘面は削平されたようで、本調査地点の土層は、植樹のための盛り土や部分的に砂利が敷かれるなどしている箇所もあるが、古代の遺物包含層が地表に表れている所もあった。このため、遺物包含層は削平されている場合は10~20cm、遺存の状態が良ければ40cm程度の厚さである。表層も含めて、50~70cmで造構面に達する。ただし、今回の調査地点の東側に位置する19号堅穴住居と西側に位置する18号堅穴住居では、造構面の深さに差がある。造構面は西に向かって低く傾斜していると考えられる。

1. (黒髪北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事に伴う発掘調査(1006調査地点)

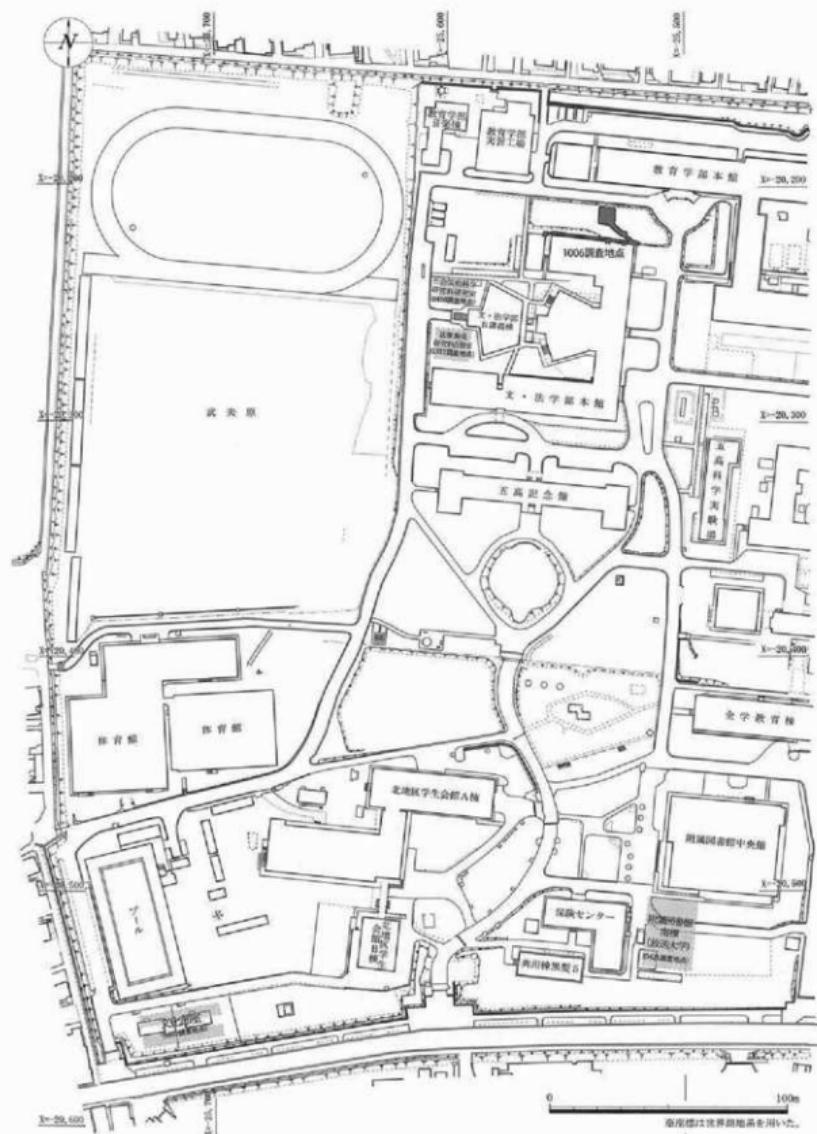


図2 黒髪北地区西半における調査地点位置図 (1/2000)

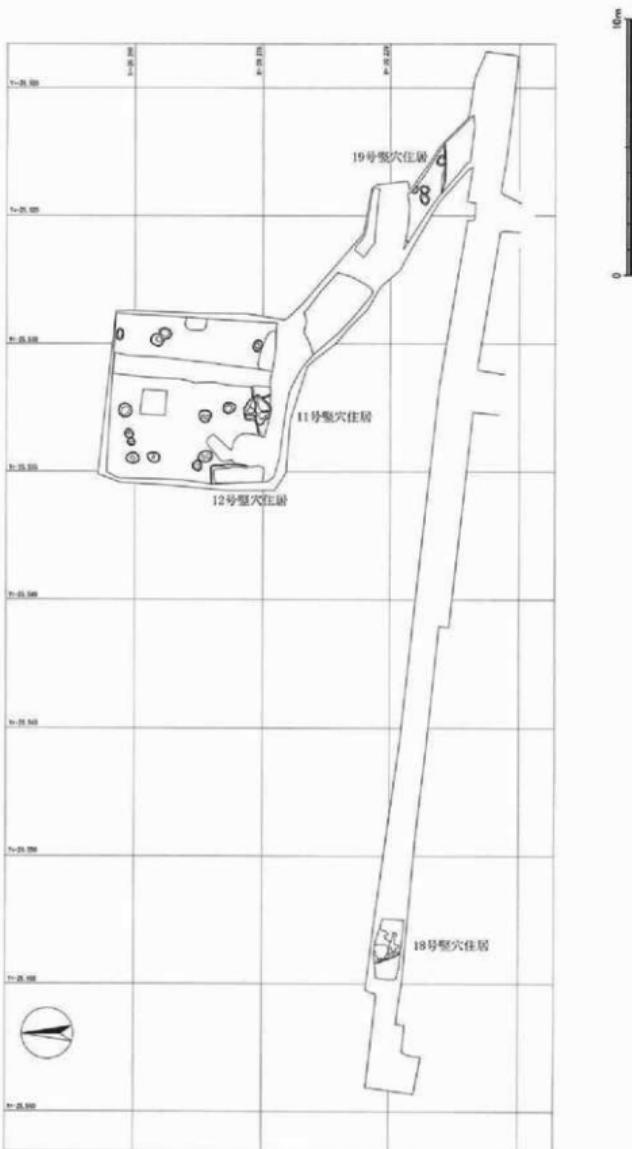


図3 1006調査地点遺構配置実測図 (1/200)

(3) 検出遺構

検出した遺構は、住居が4基、溝状遺構1条、ピットが10数個である。

<住居>

11号住居（図4）

11号住居は、約7×7mの方形の駐車場設置予定調査区の南側に位置する。調査区の南側は、幅約1mで搅乱を受けており、またゴミ穴などのため、11号住居は北辺の中央、丁度窓部分を残した状態である。現状では、南北約1m、東西約1.9m、深さは0.2mで、主軸は南北でやや西に振れている。粘土と焼土を除去すると、土器と砂岩製の袖石、支柱が検出された。

12号住居（図4）

調査区の南西隅で検出された。西側の大半が調査区外であり、また南側は搅乱により削平されている。現状では、南北約2.1m、東西約1.2m、深さは0.35~0.4mで、主軸は南北でやや西に振れる。住居の北東隅部分に相当すると考えられるが、硬化面や土器などは検出されなかった。

18号住居（図4）

文法学部本館北側を東西に掘削した溝設置予定箇所の西部に位置するこれより東側は遺構面を検出しても遺構が無い、もしくは搅乱である。当該箇所は樹設置のため、約2.4×1.8mの範囲を調査した。住居は西壁と考えられる立ち上がりを検出したのみで、全体の規模は不明である。現状では深さは0.15m程度である。これによると、住居の主軸は南北でやや西に振れるようである。粘土と焼土の塊が検出されたが、除去したあとからは窓の痕跡は確認されなかった。住居の床は硬化面が広がっており、土器が数点出土した。

19号住居（図4）

駐車場設置予定地の南東に位置する。駐車場への通路（スロープ）部分である。住居の北側は搅乱により破壊され、他は調査区外である。現状では南北約1.4m、東西約4.1m、深さ0.06mで、主軸は南北である。住居の床には硬化面が広がっていた。確認範囲の北西角に、焼土が溜まった窓があり、西壁中央付近に窓があったと考えられる。窓穴の深さがほとんど残されておらず、削平により窓や遺物は失われたと考えられる。

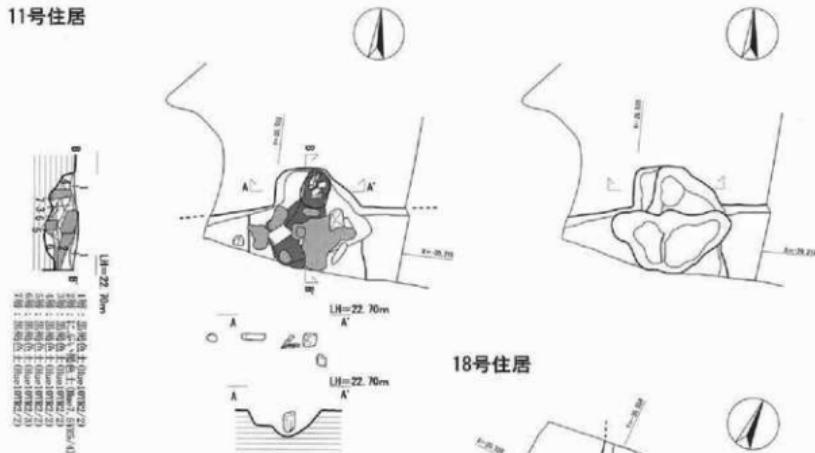
<ピット>

駐車場設置部分のピットは、獨立柱建物の柱のような配列は無い。また、19号住居内のピットも、住居に伴うものかは不明である。

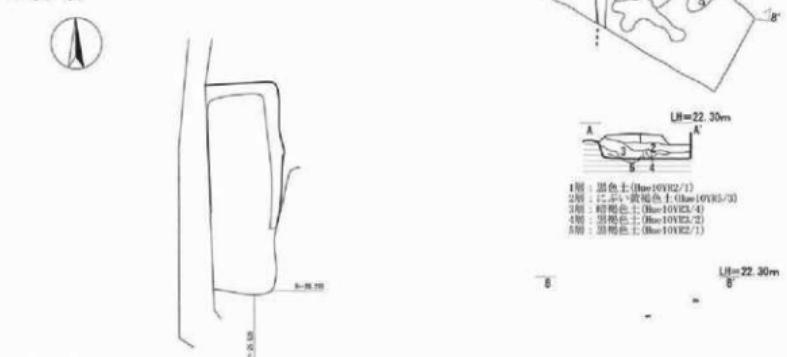
(4) 出土遺物（図5）

遺物は古代土師器・須恵器が出土している。図5：1～2は11号住居出土である。いずれも土師器の壺である。1の壺は口縁が歪んでいるが、片口のように意図的に成形されたものではない。2は大きく外反する、厚手の壺である。3～4は12号住居出土である。3は土師器壺、4は土師器壺である。4の壺は薄手で上向きになっている。5は18号住居出土の土師器碗である。高台が低く大きく外に開き、身は丸味を帯びて立ちあがっている。6～7は19号住居出土の須恵器壺と碗である。7は直線的に大きく開き、高台と身の境がほとんどなく一体化している。8～15は溝状のくぼみと包含層出土の

11号住居



12号住居



19号住居

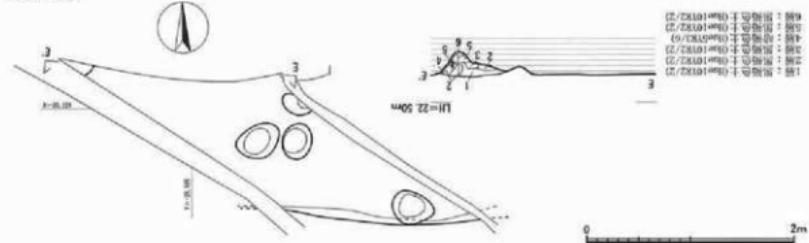


図4 11・12・18・19号竪穴住居実測図 (1/50)

1. (黒髪北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事に伴う発掘調査 (1006調査地点)

土師器の壺・碗・甕、須恵器碗・壺の頸部である。10は大きく外反するものの、薄手になっており、2や12よりは新しく、4よりは古手である。12は厚手で屈曲部に明瞭な稜がある。11の土師器壺はやや古く、8世紀前半～中葉に、その他の遺物は8世紀後葉～9世紀前半に属すると考えられる。

(5) まとめ

黒髪北地区では、1994年のくすのき会館（9407調査地点）と附属図書館南棟（0425調査地点）を建設する際に発掘調査を実施し古代の住居と多数の土器の出土を確認しているが、その他は五高記念館前に外灯を設置する際に基礎部分の非常に狭い範囲で竈の跡を確認した以外は、立会調査で遺物包含層やピットなどを確認するのみであった。本地点は、黒髪北区において古代の住居を確認したものとも北の地点で、黒髪北地区の北端付近まで、古代の集落が広がっていたことが判明した。前述したが黒髪北地区には東西に横切るかたちで段丘がいくつか存在しており、キャンバスは階段状と言える。少なくとも3段の段丘上に立地していると考えられ、古代の集落も各段丘上に形成されていたようである。0603調査地点・0604調査地点の報告の際に、西側に低く傾斜している可能性を指摘した。今回の調査地点は一つ上の段丘に位置するが、11号住居と19号住居の床のレベルと18号住居の床のレベルを比較すると、西側に位置する18号住居の方が低く、前の指摘を補強する成果となった。

本調査地点は、9407調査地点と同様の年代に所属し一連の集落であると考えられる。段丘の最下段に位置する0425調査地点は7世紀末から集落が形成され、また、9407調査地点の成果では集落の中心はさらに北側にあるのではないかと予想されることから、集落は次第に北側の高い方へ拡大・移動したと考えられる。

黒髪北地区での調査事例は少なく、ようやく集落の立地と形成時期が分かってきたにすぎない。今後は、段丘の中段の様子、7世紀代の遺構の有無などの解明が課題である。

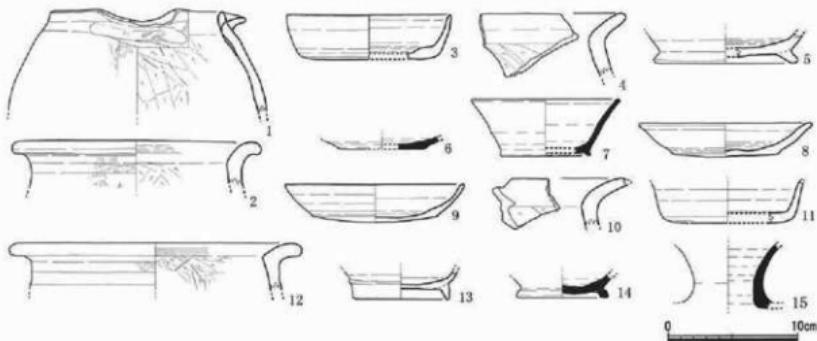


図5 1006調査地点出土遺物実測図(1/4)

表3 1006調査地点出土遺物一覧表

図 番 号	遺 物	種類(断片)	法 長(cm)	残存率	特 徴	色 調	出 土 遺 跡	備 考
5	片口瓶土器 甕	口縁 先端 部高	13.6	口縁 ～剥離片	内：ナダ、削り 外：ナダ、輪ナダ、 ハナ目	Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	11号柱跡	内外面にスヌ付赤土
2	土師器 甕	口縁 底径 部高	19.6	口縁 部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り、ハナ目 外：回転ナダ、ナダ、 削り、ハナ目	Hue 25Y7/2 Hue 25Y7/2	11号柱跡S1.2	
3	土師器 甕	口縁 底径 部高	13.0 10.6 3.5	約1/5	内：回転ナダ、ナダ、 削り 外：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 7SYR6/6 Hue 7SYR6/6	12号柱跡	内外面にスヌ付赤土化粧土
4	土師器 甕	口縁 底径 部高	13.0	口縁 部片	内：回転ナダ、削り 外：回転ナダ、ナダ	Hue 25Y7/4 Hue 25Y7/3	12号柱跡	
5	土師器 甕	口縁 底径 部高	11.2	底部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り 外：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	18号柱跡S1.1	赤化粧土
6	粗志器 甕	口縁 底径 部高	6.6	底部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 7SY7/2 Hue 7SY7/1	19号柱跡	
7	粗志器 甕	口縁 底径 部高	11.6 7.0 4.5	1/4	内：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 10YR6/1 Hue N3/0	19号柱跡	
8	土師器 甕	口縁 底径 部高	13.4 8.4 3.0	約1/4	内：回転ナダ、ナダ、 削り 外：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	溝・住・粘土出し	赤化粧土
9	土師器 甕	口縁 底径 部高	14.2 10.0 3.0	1/4	内：回転ナダ、削り 外：回転ナダ、削り	Hue 25Y7/6 Hue 25Y7/6	溝・住・粘土出し	赤化粧土
10	土師器 甕	口縁 底径 部高	14.2	底部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 25Y7/3 Hue 25Y4/2	溝部包含層	
11	土師器 甕	口縁 底径 部高	14.2 9.0	剥離～底部片	内：回転ナダ、削り 外：回転ナダ、削り	Hue 25Y7/6 Hue 25YR6/6	駐車場部包含層	
12	土師器 甕	口縁 底径 部高	23.0	口縁部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り、ハナ目 外：回転ナダ、ナダ、 削り、ハナ目	Hue 10YR7/4 Hue 10YR6/2	駐車場部包含層	
13	土師器 甕	口縁 底径 部高	7.6	底部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り 外：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 10YR6/4 Hue 5YR6/6	スロープ部包含層	赤化粧土
14	粗志器 甕	口縁 底径 部高	7.2	底部片	内：回転ナダ、削り 外：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 25Y7/3 Hue 25Y7/2	スロープ部包含層	
15	粗志器 甕	口縁 底径 部高	7.0	底部片	内：回転ナダ、ナダ、 削り	Hue 7SY7/2 Hue 25GY7/1	スロープ部包含層	

III 本荘北地区の調査

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査 (0509調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)は、本荘北地区の熊本大学附属病院敷地内にある山崎記念館を移築する事業である。山崎記念館は、熊本大学医学部の前身である熊本医科大学の学長山崎正董の功績を記念して建設された旧熊本医科大学図書館である。現在は国指定登録有形文化財となり、記念館として活用されている。病院敷地の環境整備に伴い、山崎記念館を中心診療棟の西側から敷地南西隅へ移築することとなり、移築先の発掘調査を行った。

前年の2004年には、本調査地点の南側に近接する地点(0411調査地点)において発掘調査を実施し、本調査地点にかかる障害物の撤去等も行った。一帯はポンプ施設などがあったが、病棟などの大きな建物の建設の歴史もなく、駐車場として利用されていた。0411調査地点の調査成果とこのような環境から、遺跡の遺存状態は良好であることが予想された。0411調査地点および関係工事の調査成果をもとに、地表下18mまでの土壌は重機により撤去して遺物包含層の上面を検出したのち、人力によつて調査した。

発掘調査は、搅乱を撤去したのち、古代の遺物包含層に埋り込まれた近世以降の遺構の掘削から開始した。本調査区を南西隅から北東隅に貫く大溝は、上部が近世、下部が古代の溝であり、この掘削に3週間ほどを要した。この古代の遺物包含層上面を第一面として写真・測量を行ったのち、遺物包含層を除去し、古代及び古墳時代の遺構の調査を行った。

b. 調査の経過

- 2005年7月13日 一次掘削開始。
- 2005年7月19日 作業員による調査開始。搅乱除去、第一面(遺物包含層)を検出・清掃し、近世～近代の遺構確認。
- 2005年7月21日 搅乱除去、遺物包含層検出作業とともに、調査区西半の近世以降の土坑墓と思われる遺構、大溝などの遺物包含層上面の遺構掘削開始。
- 2005年7月28日 搅乱除去がほぼ終了。調査区東半の遺構包含層上面の遺構掘削、測量、写真記録など開始。
- 2005年8月2日 大溝(18号・33号溝)掘削開始(～19日)。その他の遺構掘削測量、写真記録など並行して実施。
- 2005年8月24日 第1面(遺物包含層上面)全体写真、調査終了。
- 2005年8月25日 西側から遺物包含層掘削、第2面(遺構面：地山)の古墳時代および古代の遺構調査開始。遺構検出、掘削・記録など順次開始。
- 2005年9月30日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子・小畠弘己

事務担当：前田知聖

発掘作業員：今村明美・押方富江・川越キヤウ子・河野義勝・小畠工洋子・児玉洋平・白石美智子・

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

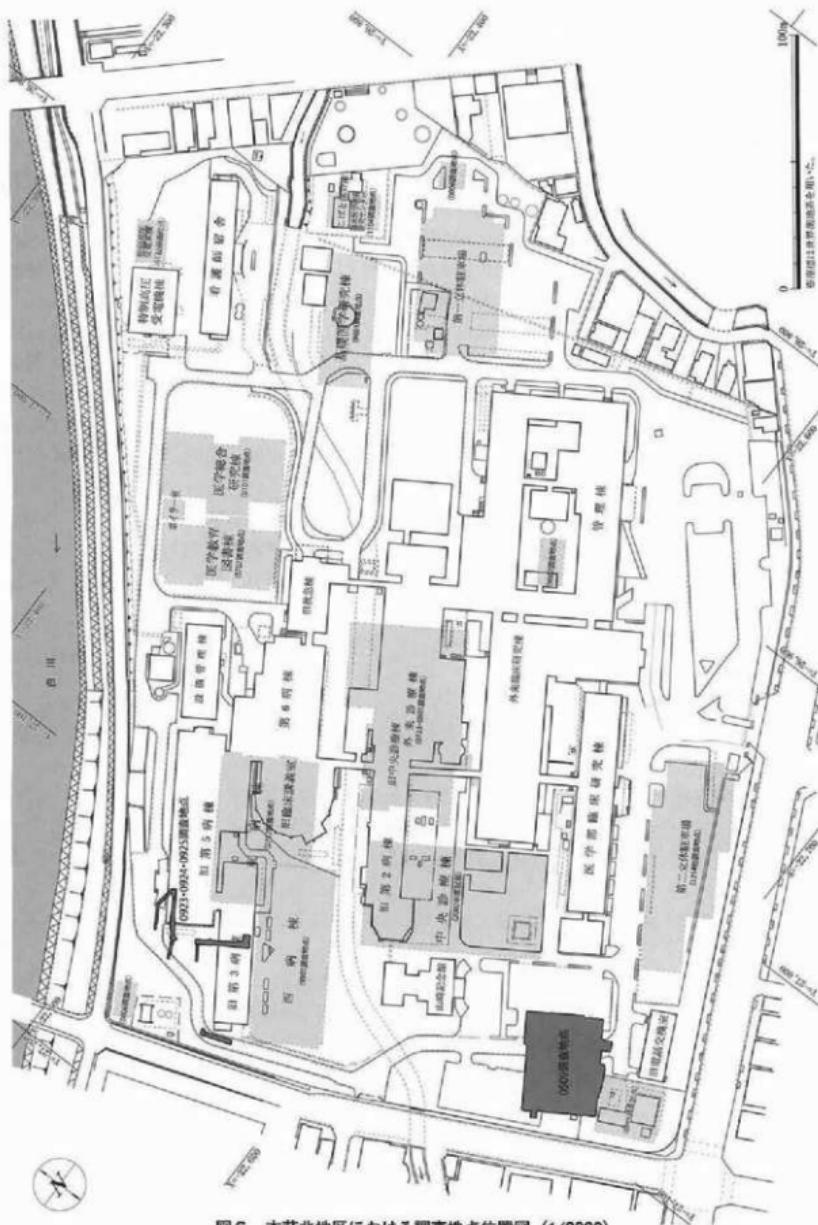


図6 本荘北地区における調査地点位置図 (1/2000)

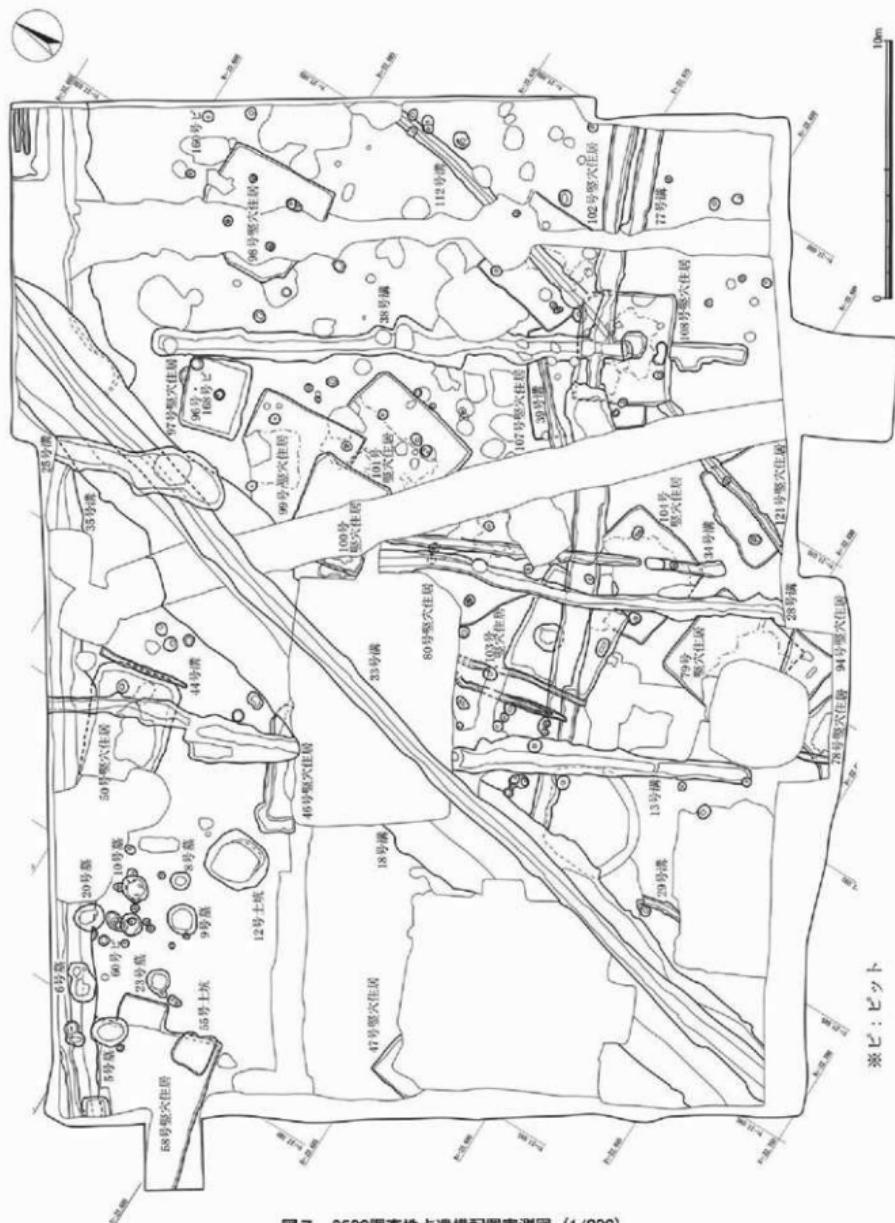


図7 0509調査地点遺構配置実測図 (1/200)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)



図8 0509調査地点遺構配置実測図(満) (1/200)

早田咲百合・福田久美子・堀川貞子・前田和子・前田宏一郎・前田日出男・松井昭子・松本和徳・桃井哲夫・森川征子・森川 譲・森田 登

整理作業員：伊藤千代子・井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・泗水直子・首藤 優子・末吉美紀・瀬潤俊子・長谷智子・増井弘子・山崎早苗

(2) 調査区の基本層序（図9）

本調査の遂行にあたって、廃土置き場が調査区付近に確保できなかつたが、調査期間の短縮のためうつて返しはせず調査区内の一部に廃土を仮り置きしつつ、定期的に搬出することになった。また、調査区北側・東側では他の工事のために大型重機が稼働するため、調査区壁は矢板による土留めが必要となつた。このため、搅乱等を避け、もっとも基本的な土層を観察できる場所が限られた。そこで、本調査区では調査区北西隅から南側の西壁、西側に突出した部分の北壁までの土層を記録した。

駐車場として利用されていた本調査区は、アスファルト（厚さ5cm）、バラス（採石）（厚さ30cm）、その下5層までが現代埋土や搅乱である。5層はシルト質（Hue10YR4/3）の層で厚さが30cmあり、近代の白川氾濫に因つて形成された可能性が考えられる。6層は20cm前後の暗褐色土（Hue10YR3/3）で、近年の調査成果から近世・近代の文化層である可能性がある。7層以下は、古代の遺物包含層である。9層は遺構面（地山）との暗褐色の漸移層（Hue7.5YR3/4）である。10～16層は古墳時代の58号住居の埋土、17～24層は古代の35号溝の埋土である。

(3) 検出遺構

検出した主要な遺構は、5世紀前半の住居が8基、5世紀後半～6世紀の溝が1条、7世紀～8世紀後半の住居が11基、8世紀後半～9世紀前半の溝が2条、9世紀中葉～後半の土坑が1基、9世紀後半～12世紀の溝が1条、近世・近代の溝が6条、墓と考えられる土坑7基である。なお、遺構の位置の説明にあたつては、調査区の白川側長辺を北壁、その反対が南壁、短辺を東壁・西壁と呼称する。

<豎穴住居>

古墳時代

46号豎穴住居（図10）

46号豎穴住居は、調査区中央にある大きな四角形の搅乱坑の北西隅に位置する。大半を搅乱により破壊され、住居の東側は18号溝に切られているため、住居の北西隅と北壁部分が残るのみである。現状では、約4.5×4.1m、深さは約0.5mである。住居の主軸は北北西～南南東を向いており、白川の堤防から低くなる傾斜に対して直行する向きである。北壁は途中に段がつき、階段状となっている。住居からはわずかに土師器の高杯の坏部と甕の口縁部（図25：1～2）が出土した。

47号豎穴住居（図10）

47号豎穴住居は、調査区西壁中央に位置する。この住居も大きな搅乱坑によって大半を破壊されており、また、一部は調査区外に伸びる。現状では約2.1×1.8m、深さは0.3mである。主軸はほぼ南北方向を向いている。出土遺物は無い。

50号豎穴住居（図11）

50号豎穴住居は、調査区北壁中央付近に位置する。住居の西側を破壊されている。現状では約4.6

1. (医病) 基幹・環境整備（現き家・移動先）に伴う発掘調査（0509調査地点）

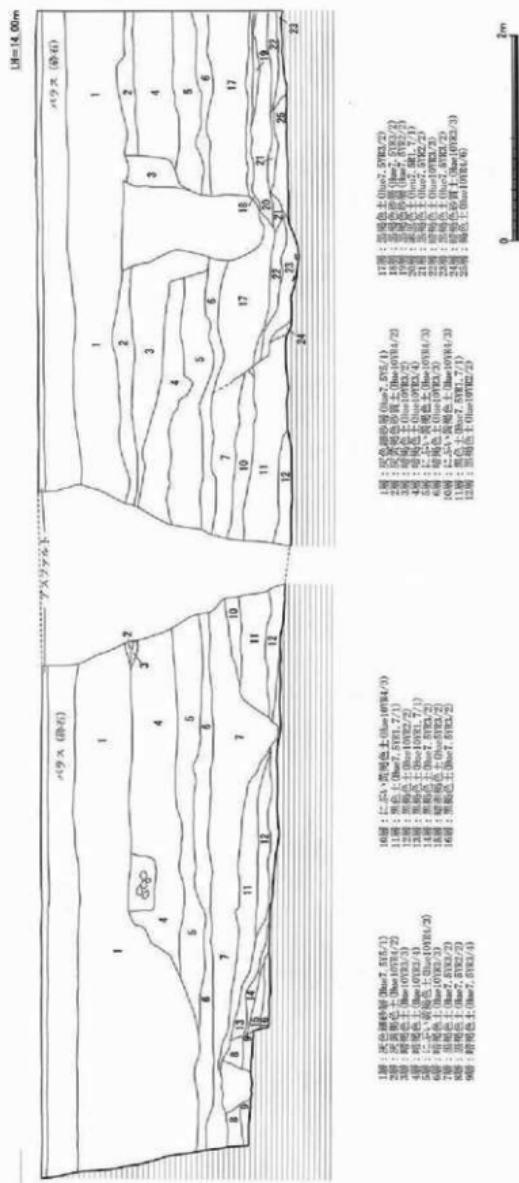
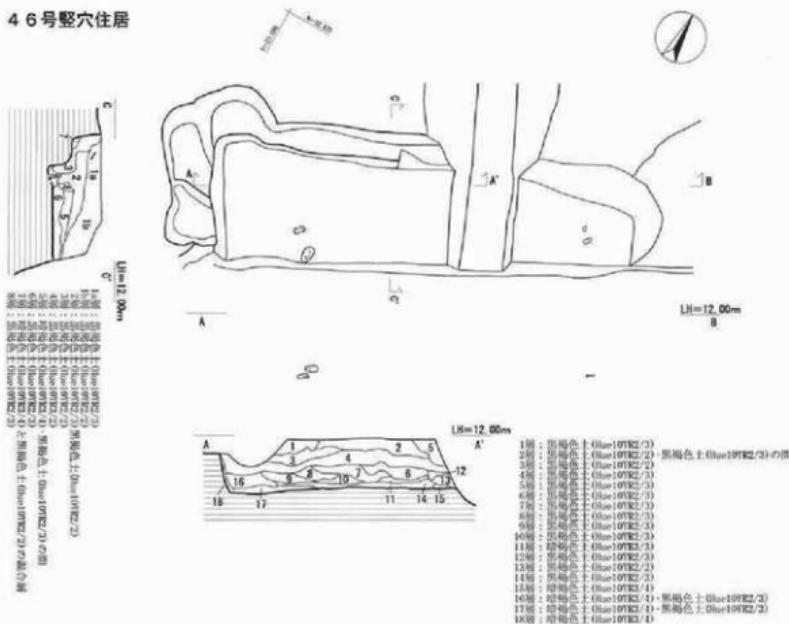


図9 西盤土層断面実測図 (1/50)

4 6号竪穴住居



4 7号竪穴住居

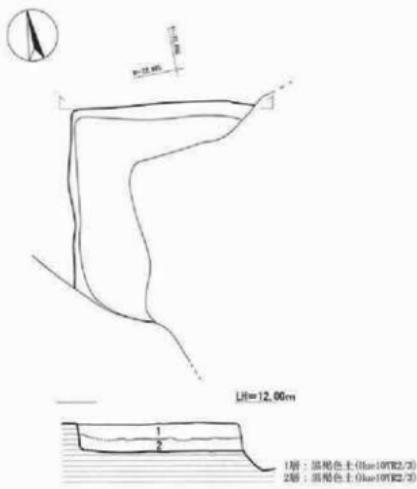


図10 46・47号竪穴住居実測図 (1/50)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

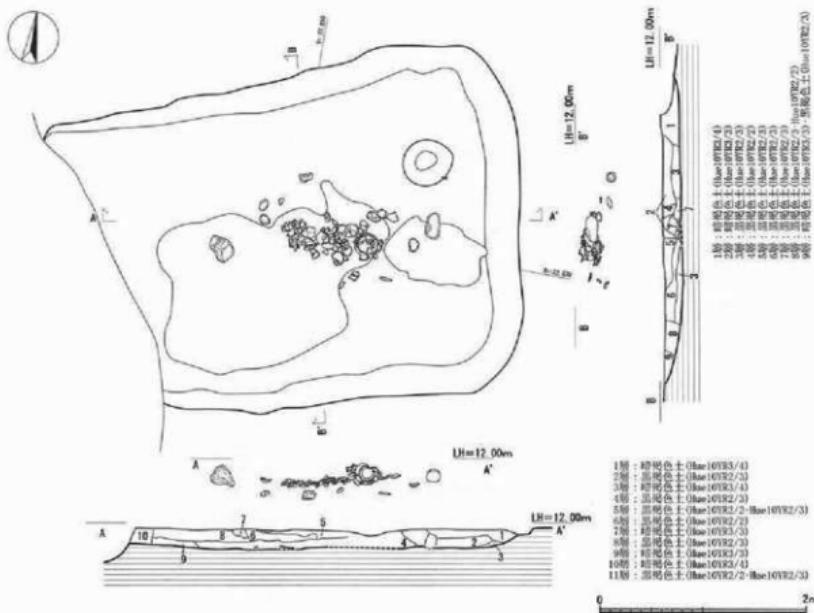


図11 50号竪穴住居実測図 (1/50)

×3.5m、深さは約0.2mで、長方形を呈している。北北西-南南東を向いており、46号竪穴住居と同様に白川の流れに対して直行する向きであるが、46号竪穴住居よりは北を向いている。北壁の西端は住居の北西隅と思われるカーブを描いており、本来もおおむねこの規模であったと考えられる。住居の中央やや東からは、土師器の高壺や小型丸底壺、甕(図25:3~11)や石器(図44:454~455)が集中して出土した。土器群の周辺の床では、硬化した床面が検出されたが、炉跡は確認されなかった。

58号竪穴住居(図12)

58号竪穴住居は、調査区の北西隅付近に位置する。住居の北側は古代の35号溝によって切られており、西側は調査区外へと伸びる。東壁には突出した箇所がある。58号竪穴住居と埋土が同様で区別が無かったことと、出土遺物の時期差も無かったことから、58号住居の一部とした。現状では約7.2×5.0m、深さは約0.2mである。主軸は北北西-南南東を向いており、50号竪穴住居とはほぼ同じ向きである。住居の南東隅と、突出部付け根の北側は後世の土坑などにより切られている。硬化した床面は確認されなかった。現状では住居のやや北側寄りで土師器が出土した(図25:12~26:33、図38:335)。また、突出部の南東隅に集められた状態で土師器の高壺や小型丸底壺が出土した。遺物は、突出部の丁度に西側に分布しており、突出部が住居東壁の中央に作られたものとすると、遺物も住居の中央付近に分布していると考えられる。それであれば、住居の東壁は6.6m程度と推定される。住居の主軸とともに、東西方向に長い住居という点でも、50号住居と同様である。石器は敲石(図44:456~457)が出土した。

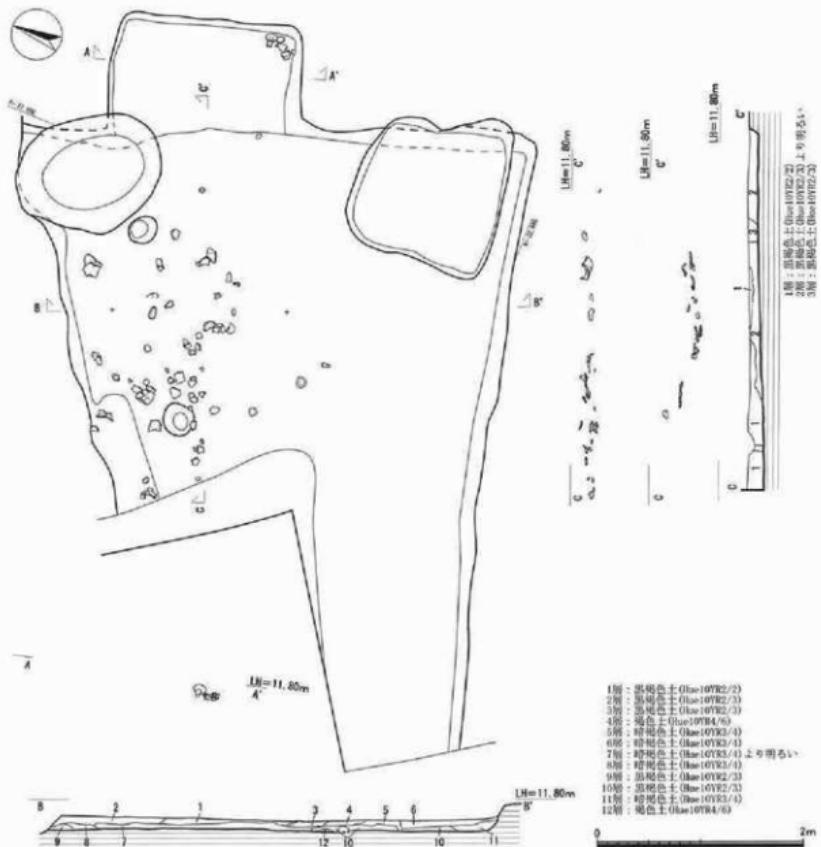


図12 58号竪穴住居実測図 (1/50)

97号竪穴住居 (図13)

97号竪穴住居は、調査区の北、38号溝の北端の西側で18号溝との間に位置する。現状では約2.9×2.5m、深さは約0.4mであり、長方形を呈する。住居の主軸は北北西-南南東を向いており、50号竪穴住居や58号竪穴住居とはほぼ同じである。炉の北側、住居の中央からは土器（図26：34～図27：50）や石器（図44：459～462）が出土した。

100号竪穴住居 (図13)

100号竪穴住居は、調査区のはば中央に位置し、18号溝の東側に位置する。調査区中央を北西-南東に走る溝状の擾乱によって、住居の西側の大半は破壊されている。住居の南西隅はかろうじて残されており、おおよそその形と規模は把握することができる。現状で約3.85×3.2m、深さは約0.4mで、長方形を呈する。住居の主軸は北北西-南南東を向いているが、50・58・97号竪穴住居よりは北より

1. (医療) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

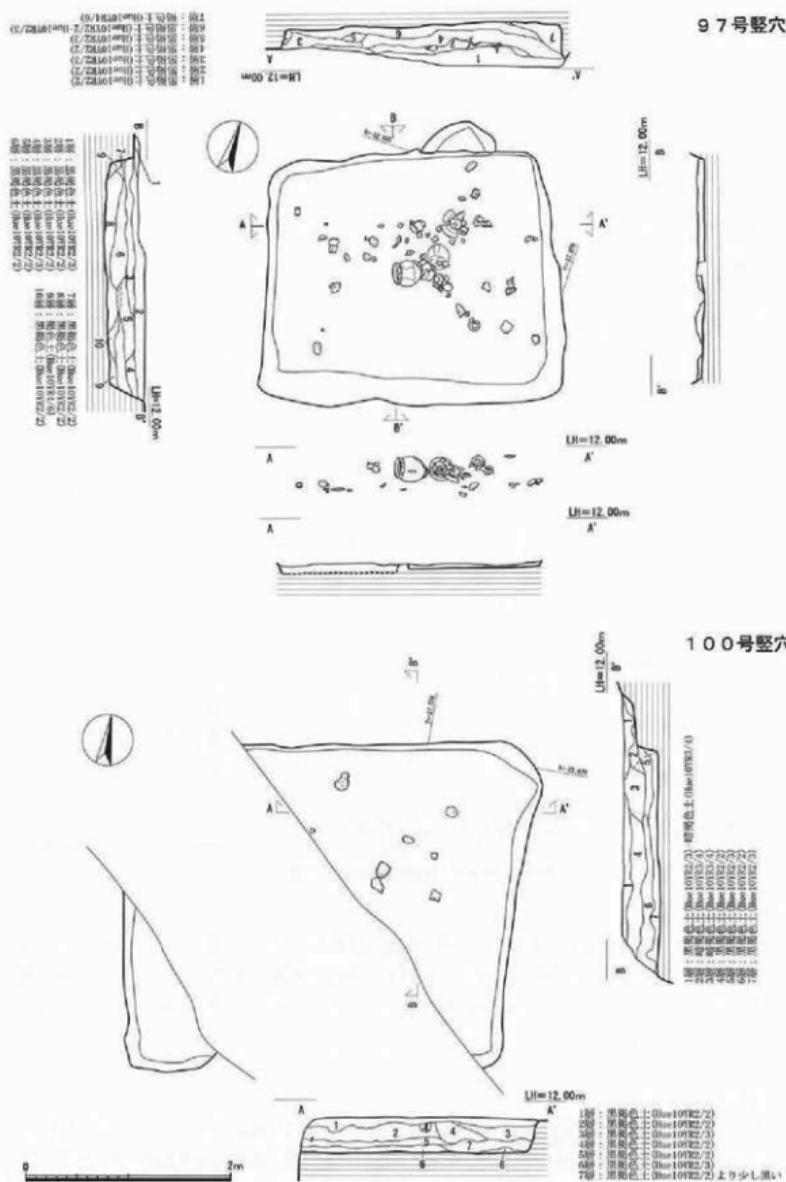


図13 97・100号竪穴住居実測図 (1/50)

である。7世紀後半～8世紀後半と考えられる99号竪穴住居および101号竪穴住居により切られるが、100号住居の掘り込みの方が深いため、おおよその遺構プランを把握することができた。炉などは検出されなかった。住居からは土師器（図27：51～60）と石器（図45：465）が少量出土した。

103号竪穴住居（図14）

103号竪穴住居は、調査区中央、やや南壁寄りに位置する。古代の77号溝と近世～近代の28号溝により、十字に切られている。現状では約4.2×3.6m、深さは約0.3mで、長方形を呈する。住居の主軸は北北西～南南東を向いており、100号竪穴住居と同じである。住居中央やや北壁寄りには炉穴と考えられる浅い皿状の掘り込みが検出され、周囲からは土器（図27：61～図28：80）や石器（図45：466～467）が出土した。

108号竪穴住居（図14）

108号竪穴住居は、調査区の東側に位置する。近世～近代の38号溝と77号溝が交差する地点である。このため、住居の北側半分はこれらの溝と、後世の102・107号竪穴住居に切られ、失われている。現状では約4.3×3.6m、深さは約0.4mで、長方形を呈する。住居の大きさは103号竪穴住居とほぼ同じである。住居の主軸は北北西～南南東を向いており、古墳時代の住居の中では46号竪穴住居と同じである。住居中央やや南寄りでは炉穴と考えられる浅い皿状の掘り込みが検出され、周囲には硬化した床面が広がっていた。炉の西側から集中して土器（図28：81～90）や石器（図45：469～470）などの遺物が出土した。

古代（7世紀前半～8世紀後半）

78号竪穴住居（図15）

78号竪穴住居は、調査区南壁の中央に位置する。北側に直径4mほどの大きな円形の擾乱があり、この擾乱と調査区壁とのわずかな間にある。住居の大半は調査区外であり、擾乱による破壊も受けている。現状では約2.2×2.2m、深さは約0.15mである。住居の主軸は南北方向で、やや東に振れる。調査区南壁に接して焼土と、竈の部材である砂岩ブロックが検出された。本来は住居の西壁に竈が作られていたと考えられる。遺物は土器（図28：91）や石器（図44：463～464）などが出土した。

79号竪穴住居（図15）

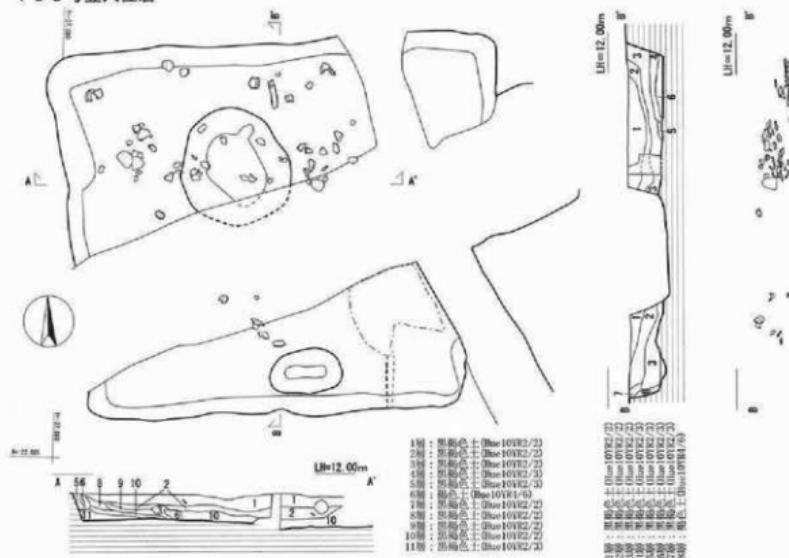
79号竪穴住居は、調査区南壁の中央に位置する。擾乱を挟んで78号竪穴住居の北側である。住居の南西側1/4と北東隅付近は擾乱によって破壊を受けており、南東側は別の遺構によって切られている。現状では約4.2×3.3mである。住居の主軸は南北方向で、やや東に振れ、78号竪穴住居とほぼ同じである。住居の南側で硬化した床面と焼土を確認した。焼土は竈に伴うものと考えられ、78号住居と同じく西壁に竈が作られていたと考えられる。遺物は土器（図28：92）が出土した。

80号竪穴住居（図16）

80号竪穴住居は、調査区の中央に位置する。北・東・南側の三方向を擾乱によって破壊され、近世～近代の28・34号溝が住居を縦断しており、残存状況はよくない。現状では約4.1×4.8mである。住居の主軸は北北東～南南西を向いており、79号竪穴住居よりさらに東に振れている。北壁で竈が検出された。焼土や埋土を除去すると、南西側、向かって左の袖石と中央の支柱は立った状態で出土した

1. (医病) 基幹・環境整備（曳き家・移動先）に伴う発掘調査（0509調査地点）

103号竖穴住居



108号竖穴住居

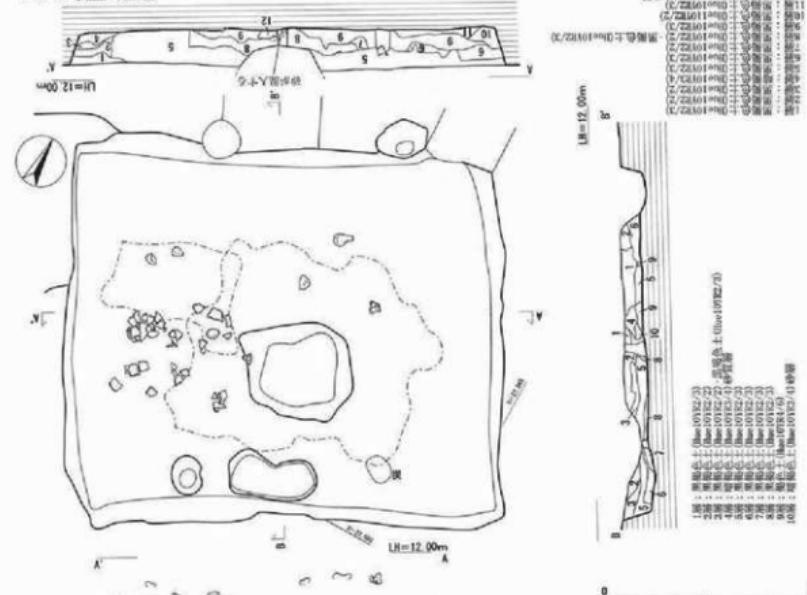
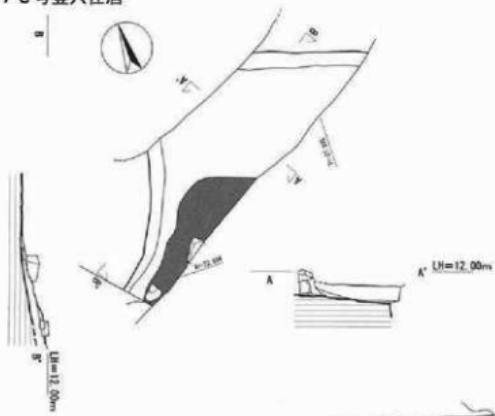


図14 103・108号竪穴住居実測図 (1/50)

78号竪穴住居



79号竪穴住居

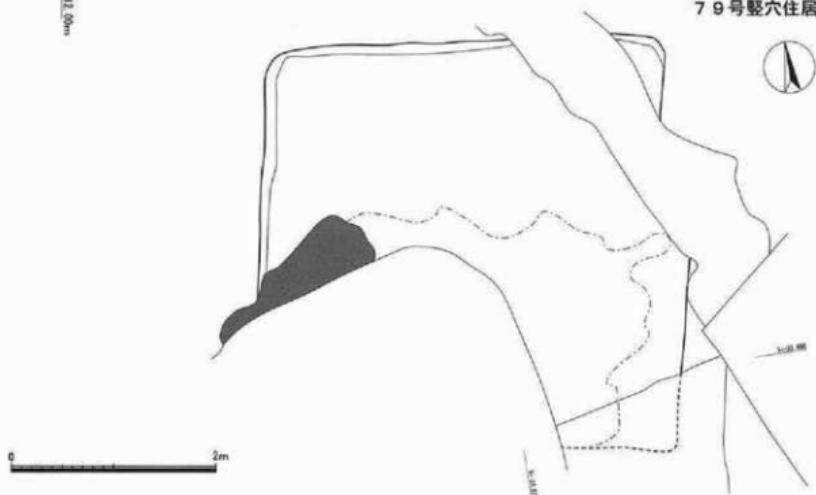


図15 78・79号竪穴住居実測図 (1/50)

が、右側は後世の溝により破壊されていた。本住居の4つの柱穴を検出したが、配置はいびつである。30cm～50cmの深さである。住居の中央から南東側には、硬化した床面が広がっていた。遺物は土器（図29：93～96）が出土した。

94号竪穴住居（図17）

94号竪穴住居は、調査区南壁の中央に位置する。79号竪穴住居の南側に隣接している。79号竪穴住居と切り合っており、78号竪穴住居のプランと位置関係も含め、94号竪穴住居のプランを把握するのが困難であった。このため、プランが不整形になっているが、本来は正方形に近い形であったと考えられる。現状では約22×1.9m、深さは約0.2mである。主軸は東壁と南壁の向きから考えると、78・

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0503調査地点)

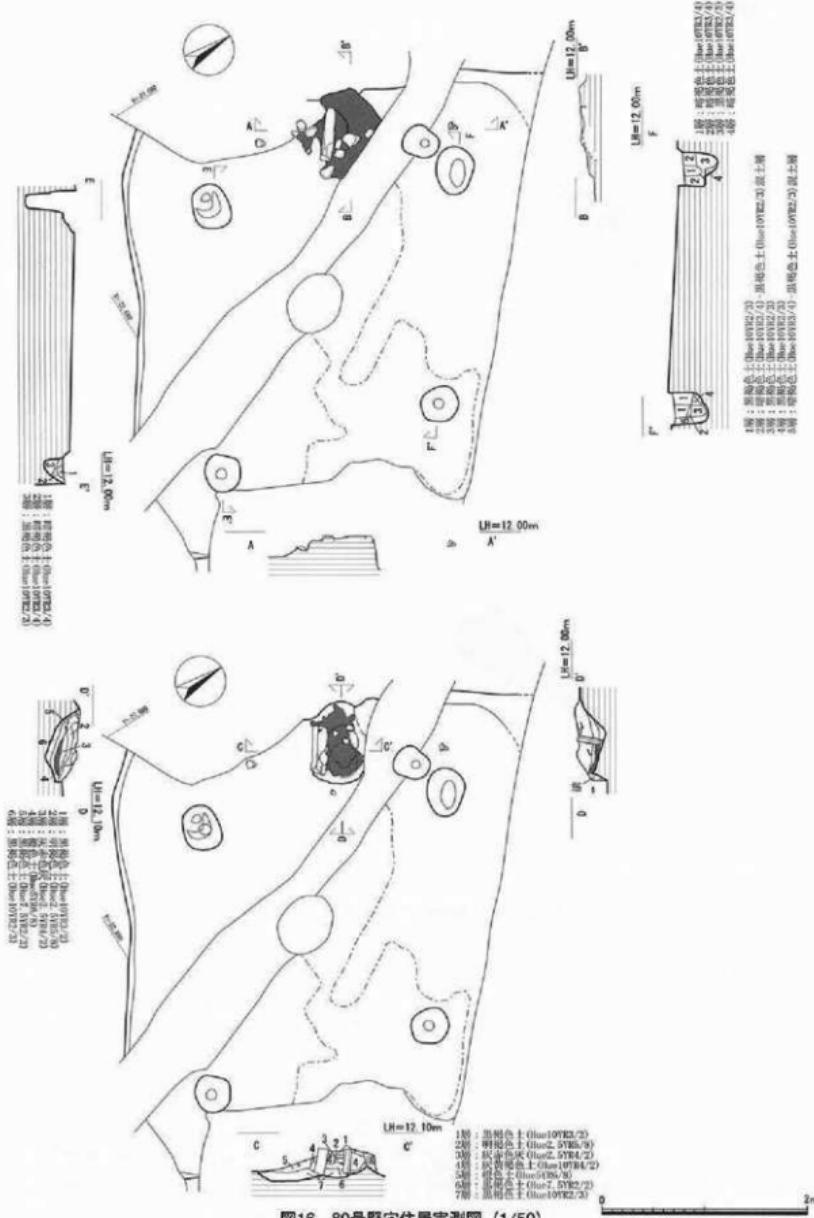


図16 80号竖穴住居実測図 (1/50)

79号竪穴住居とはほぼ同じ向きで、南北を向いているが、わずかに東に振れている。東壁と南壁の関係から南北は一辻22mと推定され、東西も同様程度であろう。そうすると、住居としては非常に小さく、住居であるかは疑問も残るが、硬化した床面が一部確認されており、ここでは住居とした。遺物は石器（図45：468）が出土した。

98号竪穴住居（図18）

98号竪穴住居は、調査区の北東隅付近に位置する。住居の中央を擾乱が通っており西側の半分程度が破壊を受けている。現状では約4.5×4.35m、深さ約0.45mである。住居の主軸は南北を向いている。住居の北壁では竪が検出された。焼土や埋土を除去すると楕円形の掘り込みの両脇には、袖石が立ったまま検出された。竪内からは、竪の部材や焼土と遺物が出土した。本住居では4つの柱穴が検出された。柱穴はほぼ正方形に配置されており、深さは0.2～0.4mである。遺物は土器（図28：97～103）や石器（図44：463～464）などが出土した。

99号竪穴住居（図17）

99号竪穴住居は、調査区中央のやや北西寄りに位置する。西側は18号溝と擾乱に切られ、南側は古墳時代の100号竪穴住居址と切り合っている。検出時は100号竪穴住居との前後関係が明確ではなく、土壤の確認のために5cm程度と一緒に掘り下げた。しかし、99号竪穴住居の掘り込みが浅く、ほぼ99号竪穴住居の床が検出され、より深く掘り込まれた100号のプランを確認した。このため、100号竪穴住居との切り合い部分の99号の南壁立ち上がりは捉えられなかった。現状では4.6×4.4mである。住居の主軸は南北方向で、やや西に振れる。北壁中央で竪が検出された。焼土や埋土を除去すると、左側の袖石の下部が原位置で検出された。竪の前面では硬化した床面が検出された。柱穴は2つが確認できた。遺物は無い。

101号竪穴住居（図19）

101号竪穴住居は、99号竪穴住居の南東に位置し、99号竪穴住居に西側の一部を切られている。南側は擾乱によって破壊され、西側南部は100号竪穴住居と切り合っている。現状では3.75×4.86mである。住居の主軸は南北を向いており僅かに東に振れている。78・79号住居と同じである。北壁中央で竪が検出された。焼土や粘土の上部は99号竪穴住居により切られていたが、下部の掘り込みは残されており、右側の袖石の一部は立ったままの状態で検出された。住居の中央には広く硬化した床面が広がっていた。柱穴は3つ確認できた。西側の柱穴は竪に近すぎる感があり、99号の柱穴の可能性も考えられる。遺物は土器（図29：107～112）が出土した。

102号竪穴住居（図20）

102号竪穴住居は、調査区の東側に位置する。古代の77号溝と近世～近代の38号溝が交差する地点の北側に位置する。住居の東側半分は擾乱によって破壊を受けており、南東隅は77号溝により切られている。現状では3.9×3.9mである。掘り込みの残りはほとんど無い。住居の主軸は南北を向いており僅かに東に振れている。78・79号竪穴住居と同じである。南・西・東の三方向の住居の壁には竪が無いことから、99号や101号竪穴住居と同じく竪は北壁に作られていたと考えられる。住居の中央では硬化した床面が検出された。遺物は土器（図29：113～115）が出土した。

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

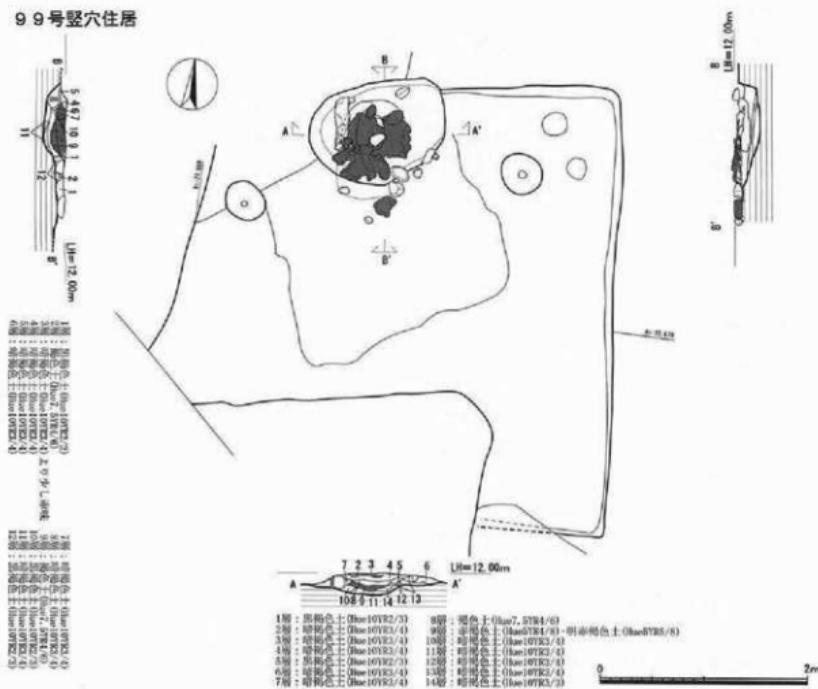
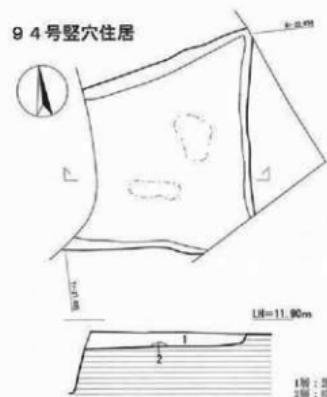
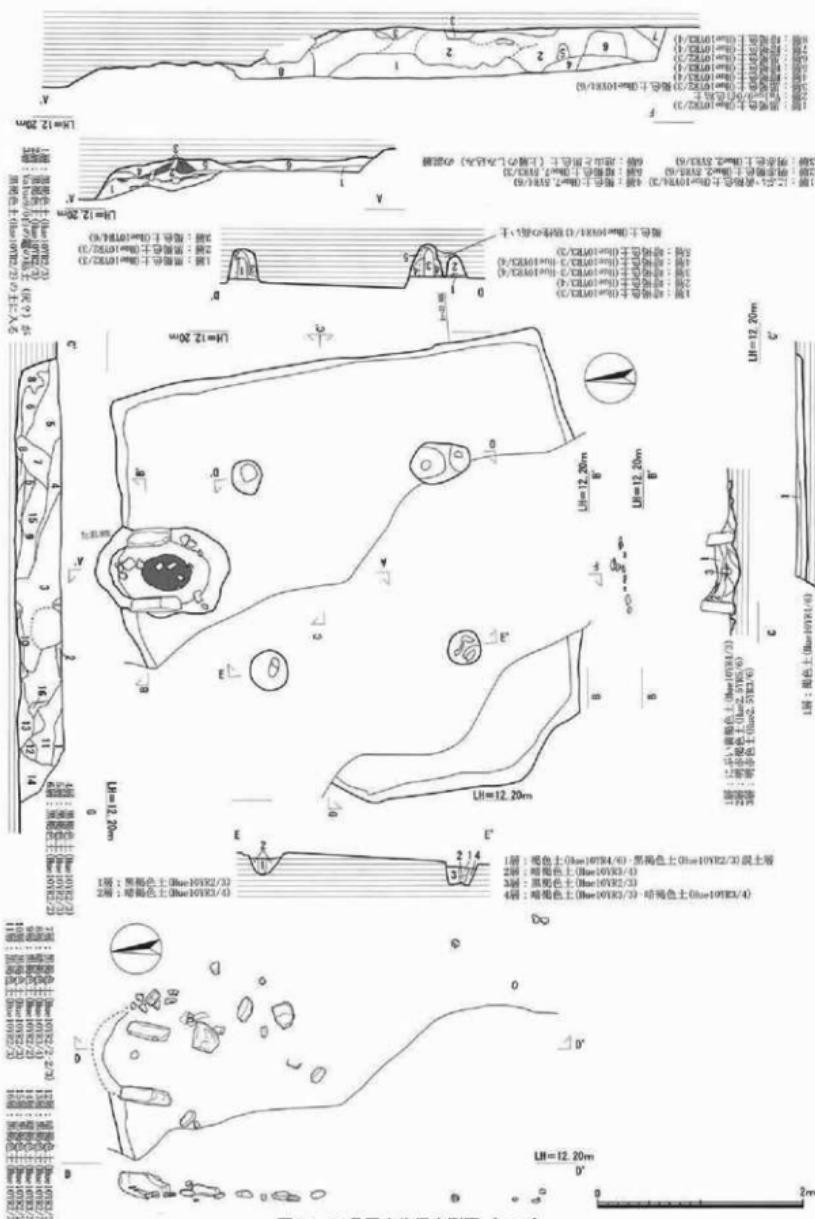


図17 94・99号竪穴住居実測図 (1/50)



1. (医療) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

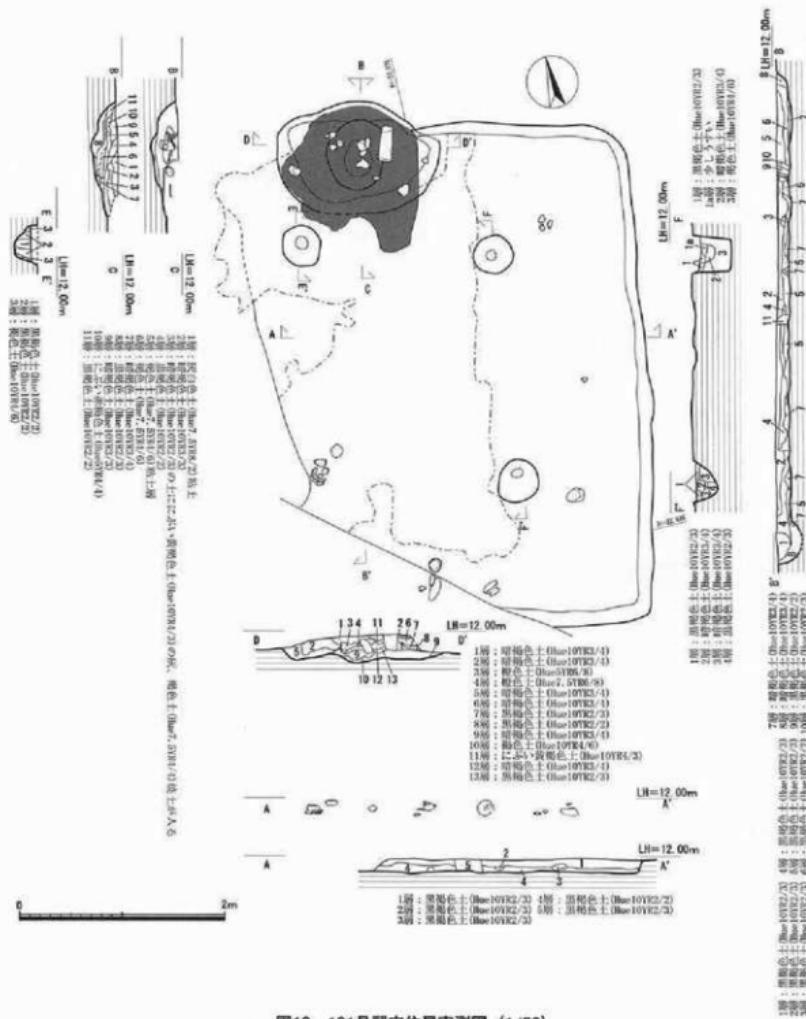


図19 101号竪穴住居実測図 (1/50)

104号竪穴住居（図20）

104号竪穴住居は、調査区中央のやや南に位置する。古代の77号溝と近世～近代の28・34号溝が交差する地点に位置する。住居の北西隅は77号溝によって切られており、西側は28号溝と擾乱によって一部が破壊されている。現状では 4.35×3.85 mである。掘り込みの残りはほとんど無い。住居の主軸は南北を向いておりわずかに東に振れている。101・102号竪穴号住居と同じである。西壁で竪穴が検出された。擾乱などにより破壊されていたが、焼土などを除去すると支柱が立った状態で検出された。

住居の中央には広く硬化した床面が広がっており、住居の3か所で柱穴が確認できた。遺物は主に竪付近から出土した。土器（図30：116～121）や石器（図45：468）などが出土した。

107号竪穴住居（図21）

107号竪穴住居は、調査区の東側に位置する。38号溝と77号溝が交差する地点で、102・108号竪穴住居と重複している。住居の東側は古墳時代の108号竪穴住居と切り合っていたが住居の埋土がほとんど残されておらず、切り合い関係と南壁の立ち上がりを確認することができなかった。108号竪穴住居址は掘り込みが深く、全体のプランを把握することができた。現状では約4.5×4.3mである。住居の主軸は北西-南東を向いており、古代の住居としてはめずらしい。東壁付近で竪の残骸と考えられる焼土の塊が散乱しているのを検出した。本調査区で検出される古代の住居では、竪は北壁か西壁に作られており、南壁に作られる可能性が低いことから、切り合う102号竪穴住居址のものではなく、また、108号竪穴住居址は明らかに古墳時代の住居で竪を持たないことから、これらの焼土は本住居のものであり、本住居では北壁に本来は竪が作られていたと考えられる。遺物は土器（図30：125～126）が出土した。

121号竪穴住居（図22）

121号竪穴住居は、調査区南壁の中央、やや東寄りに位置する。住居の中を掘乱坑が北東から南西に走っており、また東側1/3ほどは調査区外に延びる。現状では約4.25×3.6mである。住居の主軸は北北東-南南西を向いており、古代の住居の中では80号竪穴住居とともに大きく東に振っている。住居の西壁に竪が作られていた。焼土などを除去すると、袖石と支柱が立ったままの状態で検出された。竪の前面には硬化した床面が検出され、竪の両側では柱穴が二つ確認できた。遺物は土器（図30：122～124）や石器（図45：471）などが出土した。

<溝>

古墳時代

112号溝（図8・23）

調査区の東壁中央から、調査区南壁の中央付近にかけて南北に走る溝である。幅約0.6m、深さ約0.35mの、断面が逆台形の溝である。遺物は土器（図30：127～128）が出土した。南北に走っているが、この溝が埋没した後に102号竪穴住居が営まれており、それ以前に掘削・使用されたものである。

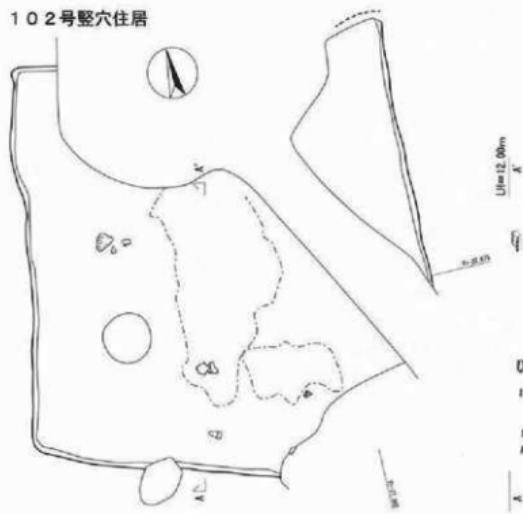
古代

33号溝（図8・23）

調査区を南北にまっすぐに横断している。上部は同じルートを再度掘り返され、近世～近代の18号溝として使用されている。上部での幅約0.8～1.3m、底部では約0.45mで非常に狭い。図23の土層断面では、20～26層までが18号溝の埋土であり、33号溝の西側の肩は削平された可能性が高い。東側の肩を参考にすると造構面（地山）から底部までの深さは約2.2mである。原地表面からは4.6mに達する。部分的に、溝の壁を階段状に掘り込んだ部分がある。8世紀後半～9世紀前半のものと考えられる。遺物は土器（図30：129～図33：209）や石器（図43：449～450）などが出土した。

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

102号竪穴住居



104号竪穴住居

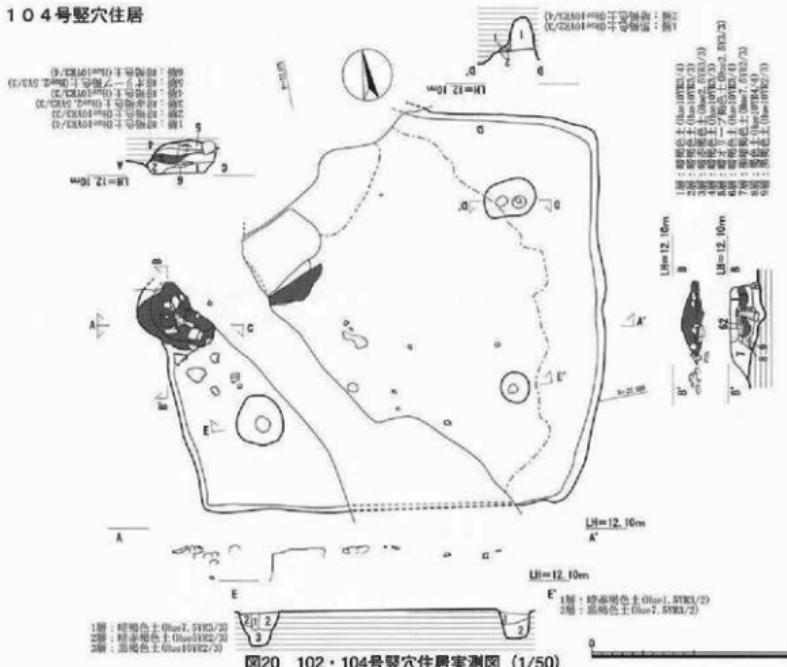


図20 102・104号竪穴住居実測図 (1/50)

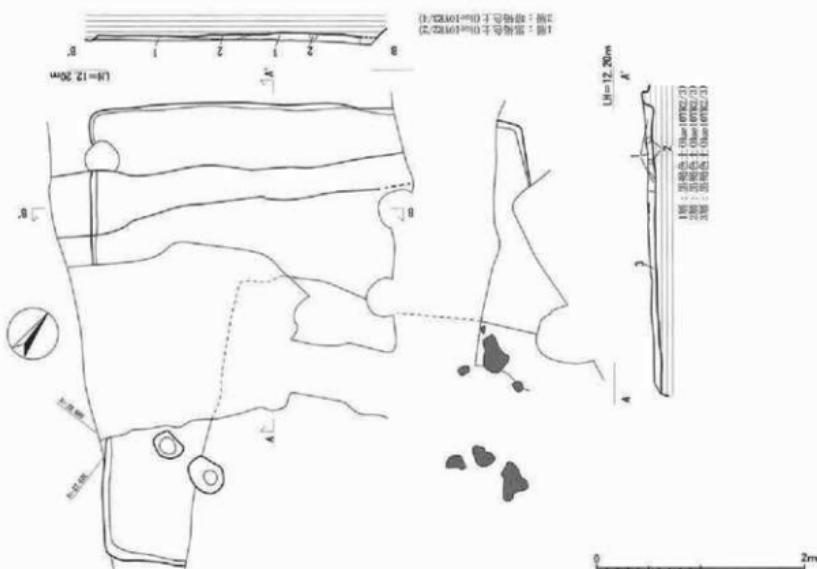


図21 107号竪穴住居実測図 (1/50)

35号溝 (図8・23)

調査区の北壁に沿って走る溝である。北西側の溝の肩は調査区外である。調査区北壁は、東壁側で若干北西に突き出るが、ここでも北西側の溝の肩や立ち上がりは検出していない。現状では溝の幅は約3.4m、深さは約0.9mである。33号溝よりは幅が広い、大きな溝である。33号溝と同じく8世紀後半～9世紀前半のものと考えられる。遺物は土器（図33：210～図35：254）や石器（図44：451～453）などが出土した。

77号溝 (図8・23)

調査区の南側を縦断する溝である。北東・南西方向である。西側で18号・33号溝にぶつかる。その先の西側は擾乱によって破壊されている。東側では2条に分かれていたが、途中からは1条しか確認されなかった。現状では東壁側で二本あわせて1.9m、中央付近の1条の部分で幅約1.2m、深さ約0.4mである。33号溝や35号溝よりは新しく、近世の溝には切られている。古代の住居を切るが、中世の遺物は無い。9世紀前半～12世紀のものと考えられる。遺物は土器（図35：255～261）などが出土した。

近世～近代**13号溝 (図8・23)**

調査区の中央やや西寄りを横断する溝である。擾乱の北側で流路がざれため北側の細い溝を14号、南側で西よりの溝を13号として掘削したが、最終的に一連のものと判断した。南端は調査区南壁まで

1. (区画) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査 (0509調査地点)

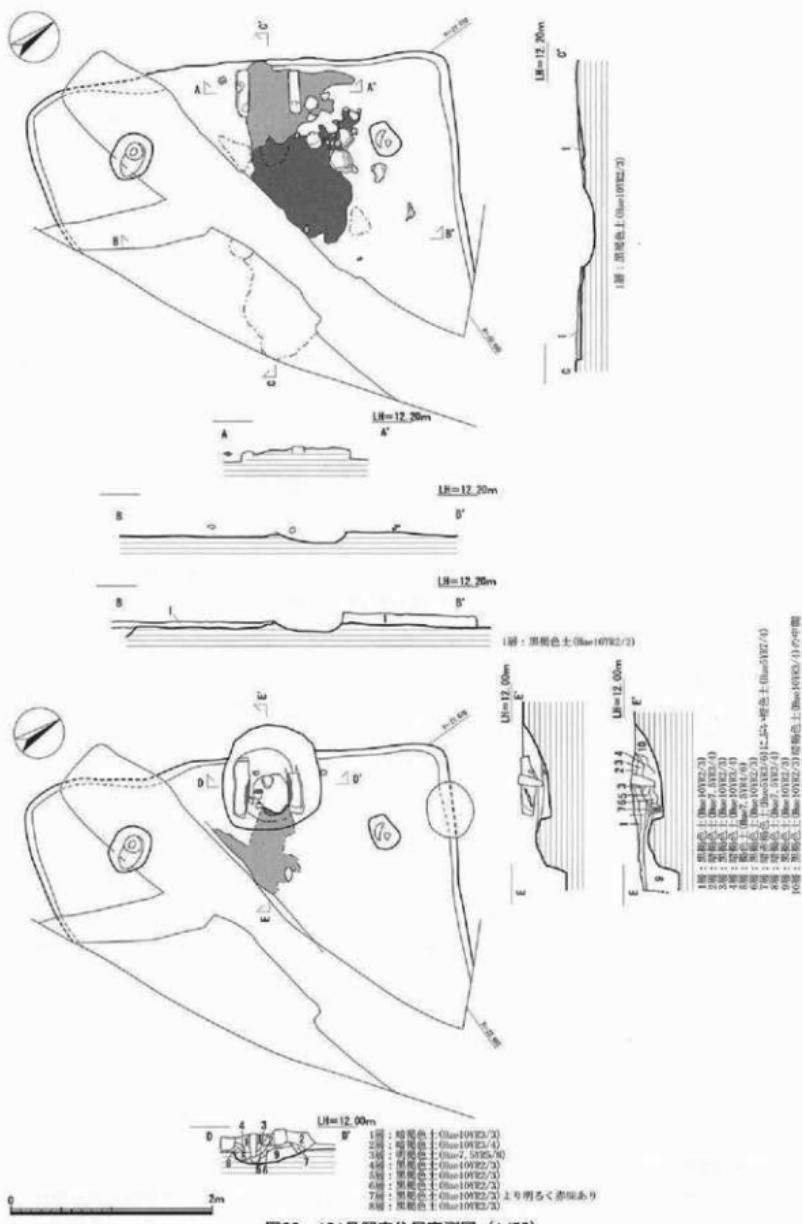


図22 121号竖穴住居実測図 (1/50)

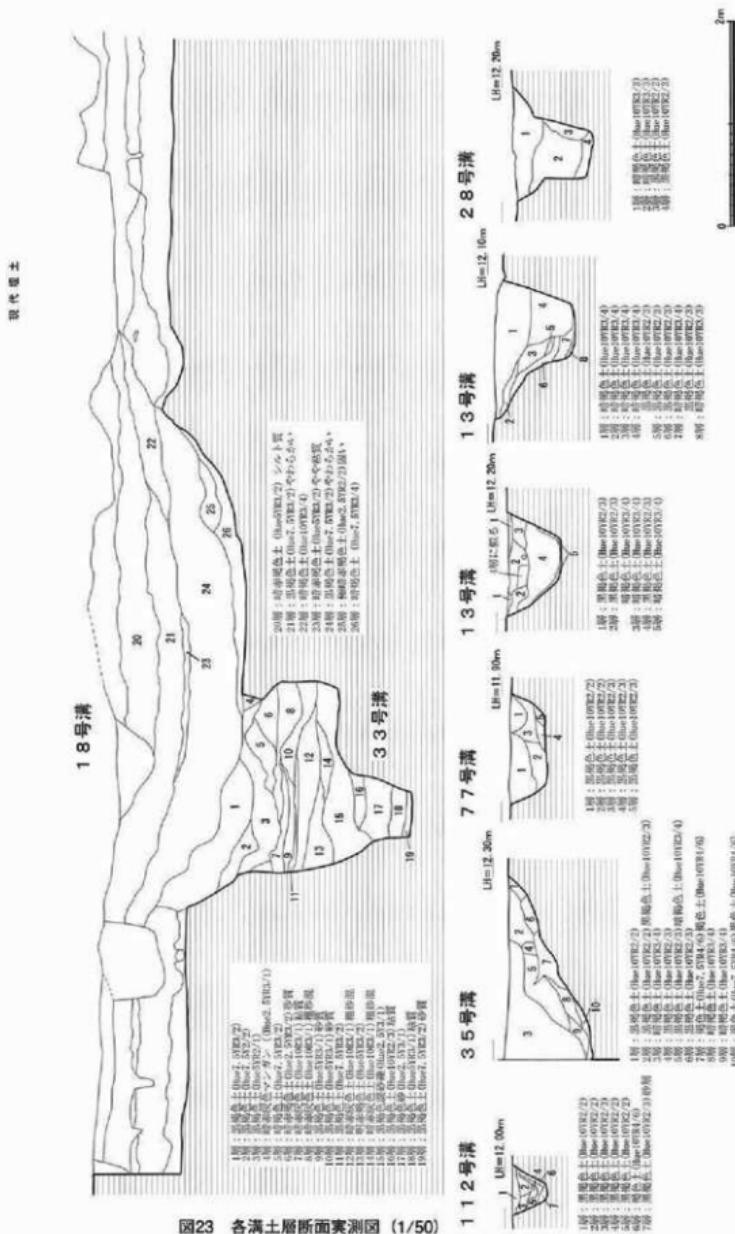


図23 各溝土層断面実測図 (1/50)

は到達せず、途中で切れている。現状では幅約0.7~1.9m、深さ0.8mである。遺物は土器(図35:262)や石器(図43:440)などが出土した。

18号溝(図8・23)

調査区の南西隅から北壁中央に向かって、南北にまっすぐに走る溝である。幅は約4~5.5mあり、深さは1.2m程度である。33号溝を再度掘り直しており、33号溝の西側へ大きく幅を拡張している。溝の底は、鉱物の沈着により硬化しており、豊富な水量と長期間の利用がうかがえる。遺物は土器(図36:276~293)や石器(図43:442~448)などが出土した。

25号溝(図8)

調査区の北壁中央やや西東寄りに、舌状に南に延びる溝状の遺構である。18号溝より南側では検出されなかった。現状では幅約1.1~1.9m、深さは約0.5~0.6mである。遺物は土器(図38:326~327)のほか、古代~近世・近代までの土師器・陶磁器類が出土している。

28・34号溝(図8・23)

調査区の中央を横断する溝である。13号溝の東側を平行して走っている。現状では28号は幅約0.7m、深さ約0.8mで、34号は幅約0.5m、深さは約0.3mである。調査区中央付近、80号竪穴住居付近では2条の溝は近接して平行しているが、南に行くにしたがい一定の距離を持つ。28号は調査区南壁まで到達しているが、34号は次第に浅くなり途中で切れている。北側では続きを検出できなかったが、続いていると考えられる。25号と繋がる可能性もある。遺物は28号溝からは土器(図38:328~331)が、34号溝からは土師器片・須恵器片・近世~近代陶磁器片が出土した。

38号溝(図8)

調査区の東寄りをまっすぐ横断する溝である。28・34号溝の東側を平行して走っている。18号溝より南側では検出されなかった。現状では幅約1.0m、深さは約0.2~0.3mである。北端と南端は、途中で切れているが、北側は延長線上に擾乱として掘り上げた箇所があり、溝の続きであった可能性がある。この擾乱は18号溝の上に形成されたものであるため、18号溝より新しい時期と推定される。13号溝と28・34号溝と38号溝の3本の溝はほぼ等間隔で並んでいる。遺物は土器(図37:294~295)などが出土した。

<土坑>

古代

12号土坑(図24)

調査区の西、46号竪穴住居の北西隅の間に位置する。すり鉢状の円形土坑で、現状では約2.18×2.2m、深さ0.64mである。底から20cmほど浮いた埋土中から、土器片が出土した。住居としては狭く、深さがある。類似する事例は、本荘南地区の9801地点で検出されている。深さのある土坑から、土師器壺と鉄器(鎌)が出土し、祭祀行為を行ったのではないかと考えられている。本土坑も、同様の遺構と考えられる。9世紀前半以降のものと考えられる。遺物は土器(図37:296~306)や石器(図43:439)が出土した。

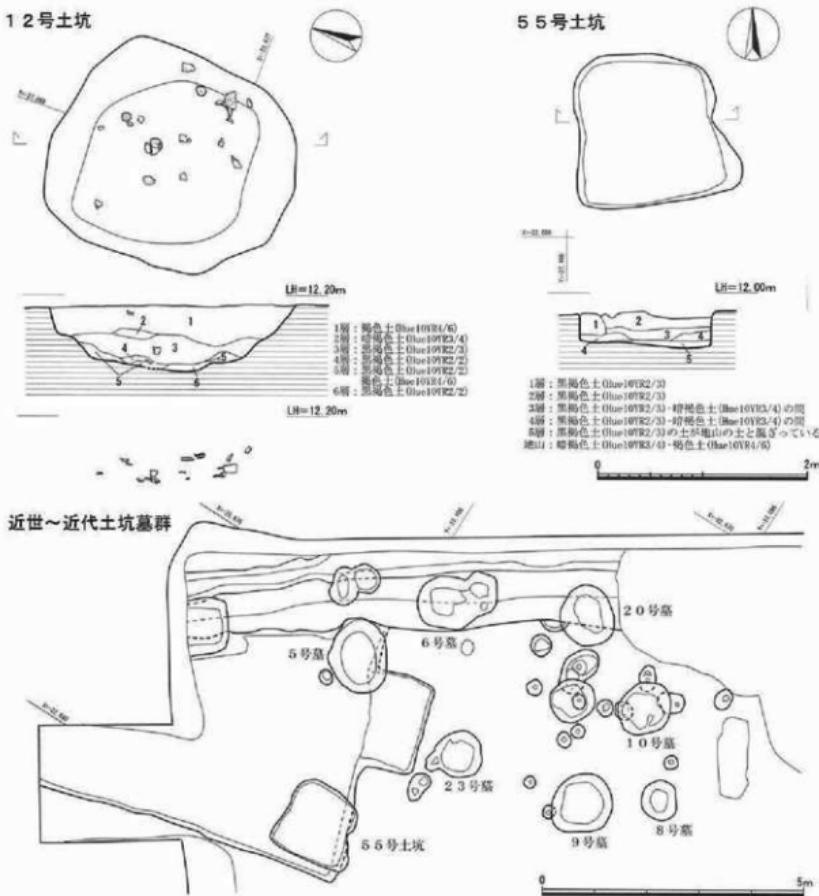


図24 12・55号土坑実測図・近世～近代土坑墓群実測図 (1/50・1/100)

55号土坑 (図24)

調査区の北西隅、58号堅穴住居の南東隅に位置する。現状では約 $1.6 \times 1.48\text{m}$ 、深さは0.3m前後である。58号堅穴住居周辺を精査中、この部分の土壤が地山を掘削して埋め戻したような土であったため、遺構として掘削したが、遺物は出土しなかった。遺構の性格は不明である。

<近世～近代墓> (図24)

調査区の北西隅、35号溝の南側で、土坑群が検出された。 $0.7 \times 0.8 \sim 1.15 \times 1.5\text{m}$ の、円形～楕円形の穴である。人骨は出土しなかったが、近世～近代の墓壙の可能性が考えられる。9号墓からは土瓶の蓋の破片(図38:310)が出土しているが、副葬品としての出土状態ではなく混入である。他の墓

坑からの遺物の出土は無かった。

(4) 出土遺物 (図25~45)

出土遺物は近世・近代の陶磁器類、古代土師器、須恵器、古式土師器、弥生土器、縄文土器、石器、鉄器類が出土している。ここでは、國化が可能であったものを主として記載する。

図25：1~2は46号竪穴住居出土の土師器の高壺と甕である。甕の口縁はまっすぐに開く。古墳時代中期前葉と考えられる。

図25：3~11は50号竪穴住居出土の土師器の高壺、小型丸底壺、甕である。3・4の高壺は浅く大きく開く。6・7の小型丸底壺の胴部は球形ではなく扁平である。甕のなかでは11の口縁がやや内湾して立ち上がる古相を呈している。全体としては古墳時代中期前葉と考えられる。

図25：12~25、図26：26~33は58号竪穴住居出土の土師器の高壺、小型丸底壺、甕である。13の壺部はあまり開かず直線的に立ち上がり、下部には明瞭な段がある。12・14・15は緩やかに立ち上がる。14は壺部の段が痕跡化しつつある。16~19は高壺の脚部である。1・17は脚はスカートのように広がるが、18・19は屈曲が明瞭である。21・22の小型丸底壺は胴部が若干扁平であるが、6・7と比較すると球体に近い。20はかなり扁平化している。23~25は直口甕である。26は屈曲が緩い二重口縁甕、27は直口甕である。28は口縁が内湾しながら開き気味に立ち上がる甕で、古墳時代前期末葉のころと考えられる。30の甕の口縁は立ち上がり、古墳時代中期初頭のころと考えられる。58号竪穴住居出土の遺物は、50号竪穴住居出土の土師器より、古相を呈するものがあり前期末葉~中期前葉の範囲である。

図26：34~図27：47~50は97号竪穴住居出土の土師器の高壺、小型丸底壺、甕である。34~36の高壺は、壺部が緩やかな碗状で、段は沈線状で痕跡化しつつある。37は外反しながら立ち上がり、古相の体もあるが脚部は屈曲がなく広がる。37と43以外の高壺の脚は屈曲している。大きく開き短脚化した傾向は見られない。45の小型丸底壺は、口縁は直立気味に立ち上がり、肩が張っている。胴部はやや扁平である。47は二重口縁甕の口縁部である。山陰系と考えられる。48の甕は、口縁が直線的に立ち上がる。49の甕は外反気味に口縁が開く。これらの土師器は古墳時代前期末葉~中期初頭のころと考えられる。

図27：51~60は100号竪穴住居出土の土師器の高壺、甕である。51の高壺は壺部と脚部の接合部のみで全体は不明であるが、壺部はやや立ち上がり気味と予想される。52~54の高壺の壺部は大きく浅く広がり、口縁は如意形状に外反する。布留2式に相当すると考えられる。56は複合口縁の甕の口縁部か、わずかな屈曲の跡がある。57は直口の甕。58は立ち上がった口縁を持つ壺で、肩が張らず、胴部下方に最大径があり洋梨のような形状である。59は甕の胴部と考えられ、長胴で平底気味の形状で、時期はほかのものより下る。全体としては、古墳時代前期末葉~中期初頭のころと考えられる。

図27：61~73、図28：74~80は103号竪穴住居出土の土師器の高壺、小型丸底壺、甕である。61は手捏ねの小型の鉢形をした土器である。62は大きく斜めに開く高壺の壺部の口縁部、63は高壺壺部と脚部の接合部分で、壺の下部に段が明瞭にある。あまり開かないと思われる。64は高壺の壺部の一部と脚部である。壺は横に広がり開くと予想される。脚は太く開き気味で、裾は屈曲して開く。65~67は高壺の脚部である。65は直線的で裾では屈曲すると考えられる。66はやや太鼓状に膨らみを持つ。67はあまり開かず細身で直線的な脚である。68~71の小型丸底壺はいずれも肩が張り尖底気味で、やや扁平の胴部である。72は直行甕の胴部と考えられ、かなり扁平である。73の直口甕も、小型丸底壺と同様の形態である。75の甕の口縁部は、頭部の屈曲がかなり緩やかで6世紀代と考えられる。76~

77の壺の口縁は、直線的で立ち上がり気味、78の壺の口縁はやや内湾しているがやはり立ち上がり気味である。79の壺の胴部は、図27:59と同様に長胴で平底気味になると予想される。他のものよりは時期が下るため、重複する104号竪穴住居のものの可能性がある。これらは古墳時代前期末葉～中期初頭のころと考えられる。

図28:81～90は、108号竪穴住居出土の土師器の高坏と壺である。81の高坏は、坏は碗状に丸く立ち上がり、脚の裾は屈曲を持つものと考えられる。坏の下部には段がつく。5世紀前半のものか。83の高坏は、坏部は屈曲して外反するやや深い坏で、坏部と脚部の接合部が非常に厚くなっている。脚は太く、明瞭な屈曲は持たず裾が広がる。この高坏はかなり新しい形態で、7世紀前半に属すると考えられる。84は小型丸底壺で、口縁は強く外反すると予想される。85・86は二重口縁壺の口縁である。85は屈曲が緩やかになり内湾気味に開く。86は直線的な口縁である。87は肩が張り尖底気味で、壺の胴部と考えられる。88～89の壺の口縁は開かずにはほぼ垂直に立ち上がる。90はやや内湾する口縁である。これらは、83の高坏以外は5世紀代の古墳時代中期に属すると考えられる。

図28:91は78号竪穴住居出土の土師器壺の口縁部片である。端部にはつまみ上げが見られ、古式土師器の壺と考えられる。このほかにも古墳時代に属すると考えられる壺や遺物が出土している。78号竪穴住居は住居の主軸の向き、附属施設（竈）などからは古代の住居と推定している。

図28:92は79号竪穴住居出土の土師器で、壺の口縁部片と考えられる。厚さが均一で頸部の屈曲がほとんどなく緩やかである。このほかにも、多くの土師器の破片が出土している。

図29:93～96は80号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。93は土師器の移動式壺の上部である。94は須恵器の坏身で、深さがあり、尖底気味の丸底である。底部外面には一筋の範記号がある。95は土師器の坏身で、やや浅く屈曲部上半は直線的に立ち上がる。96は壺の口縁である。このほか、壺の把手等も出土している。7世紀中葉～8世紀代と考えられる。

図29:97～103は98号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。97は土師器の壺の口縁部、100～103は壺である。98は須恵器の坏蓋、99は壺の胴部で、球形に近いが底は平底である。6世紀後葉～7世紀中葉と考えられる。102の壺の口縁は薄く、上向きに外反しており9世紀代に下ると考えられる。

図29:104～106は99号竪穴住居出土の土師器である。104と106は壺、105は壺である。このほか、須恵器摸倣坏の影響を受けたと考えられる土師器坏も出土している。7世紀前半～中葉のころと考えられる。

図29:107～112は101号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。107は手捏ねの鉢形土器である。108は高坏の坏部か、内外面を丁寧に磨いている。109は高坏の坏部で、わずかに段がついている。110は須恵器の坏蓋である。111と112は壺である。これらは7世紀前半のころと考えられる。

図29:113～115は102号竪穴住居出土の土師器である。113は壺、114と115は壺である。6世紀末葉～7世紀前半のころと考えられる。

図30:116～121は104号竪穴住居出土の土師器である。116～118土師器の坏である。屈曲と口縁部の肥厚が残っている。119は須恵器の坏である。120は壺の口縁部、121は壺の下部である。棧や多孔の底は無いタイプである。7世紀中葉～後半のころと考えられる。

図30:122～123は107号竪穴住居出土の土師器と須恵器である。125は土師器の壺の口縁部で、厚みのある口縁である。126は須恵器の壺の胴部である。7世紀後半～8世紀中葉の頃と考えられる。

図30:124～126は121号竪穴住居出土の土師器である。122と123は高坏、124は小型丸底壺で古墳時代中期後半である。このほか、固化しなかった古代の土師器や須恵器片が出土しており、住居は古代と考えられる。

図30: 127~128は112号溝出土の土師器と須恵器である。127は薄く長い口縁が強く外反する壺である。7世紀後半か。128は須恵器の壺の口縁部である。このほか、古墳時代の土師器も出土している。

図30: 129~図33: 209は33号溝出土遺物である。このうち、図30: 129~図31: 163は溝の上半の埋土層出土、図31: 165~図32: 187は溝の下半の埋土層出土である。図32: 188~図33: 209は接合状態などからどちらとも言えず、一括資料とした。上半の埋土層出土の土師器は概ね8世紀後半~9世紀後半に属すると考えられる壺・皿・鉢・高壺・壺などが出土している。高台を持つ土師器の碗は無い。須恵器は、壺蓋・壺身・高壺・鉢・壺・壺が出土している。壺蓋は器高が高く返りが長い146や147、扁平で端部を折り返す149や150などがある。壺身は返りが付いたものから高台を持つ碗まである。146・147・151はやや古く7世紀中葉~後半であろう。155の碗の底には、「大」の字の刻書がある。下半の埋土層出土の土師器は壺・碗・皿・壺・壺などである。概ね8世紀末葉~9世紀前半のころと考えられる。175の高壺の脚部は5世紀代であろう。須恵器は壺蓋・壺身・皿・壺・壺である。8世紀後半のものと考えられる。溝の上下の層の出土破片が接合した一括の土師器と須恵器も上述と同様の器種や、無頬壺と横瓶も出土している。192はいわゆるかわらけで、灯明皿である。芯を受ける台が中央にあり、口縁よりも低くなっているタイプで、これは近世の品である。18号溝の掘削時に混入したと考えられる。33号溝の出土遺物は8世紀後半~9世紀前半を中心年としならが、7世紀代のものも含まれる。

図33: 210~図35: 254は35号溝出土の土師器と須恵器である。土師器は蓋・壺・碗・皿・鉢・高壺・壺・瓶(把手)等の器種がある。8世紀後葉~9世紀前半に属すると考えられる。216の壺の底部には「×」のヘラ記号がある。壺は厚手で横に屈曲するタイプから、薄手で上向きになるタイプまでがある。須恵器は壺蓋・壺身・碗・皿・壺・器台・壺などの器種がある。33号溝とほぼ同じ8世紀後半~9世紀前半を中心とする時期である。232の壺蓋は器高が高く返りが下方に伸びるタイプでやや古い。244は台付壺の底部と考えられ、245の壺ととともにやや時代は下がると考えられる。壺は248や249のように長頸のものと、250や251のような長胴で小さな頸がつくものとがある。252は大型器台である。器台の口縁部は如意形に外反することが多いが、252は外反しない。6世紀中葉に属するものと考えられる。

図35: 255~261は77号溝出土の土師器と須恵器で、古墳時代中期末葉~後期前葉に属するものである。77号溝は古墳時代の数基住居を切って掘削されていることから、本来はこれら古墳時代の住居に伴うものであったと考えられる。

図35: 262~図36: 275は13号・14号溝出土の遺物である。262は土師器の壺で底面には「#」のような細いヘラ器号がある。272は布目瓦である。ほか270や271の須恵器の碗や皿などの古代の遺物がある。263~269はいわゆるかわらけで、264~267は燈明皿である。皿の中央には芯を受ける台があるが、口縁よりもだいぶ低い形態のものである。274は火鉢、275は焜炉である。図36: 276~図37: 293は18号溝出土遺物である。18号溝は古代の33号溝に沿って再掘削・拡張した溝であるため、古代の遺物が多量に含まれ、土師器や須恵器、布目瓦などがある。278は、土師器の壺や碗の破損品の底部を再加工したものかと考えたが、破損面に相当する周縁にも化粧土がかけられており、当初からこのように製作されたと考えられる。18号溝は近世以降の遺物は少なく、近世陶磁器のほか青銅製品・鉄製品などが数点である。293は火鉢である。

図37: 294~295は38号溝出土の土師器の高壺と近世の燈明皿である。このほか、古墳時代・古代の遺物と近世陶磁器類が出土している。

図37: 296~306は12号土坑出土の土師器と須恵器である。296・297・299の土師器の壺は器高が高

く大きく開き、9世紀後半に属すると考えられる。298・300はハの字に開く高台で、底部から丸く立ち上がる。301須恵器の碗は高台から一続きに直線的に立ち上がる。9世紀中葉のころと考えられる。302は高く大きな高台が付く、大型の皿と考えられる。303は鍋、305は鉢に近い形態の壺である。304・306の壺は9世紀前半～中葉に属すると考えられる。

図38：307は60号ピット出土の土師器の高坏脚部、308は160号ピット出土の須恵器の坏蓋である。309は168号ピット出土の須恵器の壺の肩部である。310は近世墓群のなかの9号墓から出土した土瓶の蓋である。

図38：311～335は、13・14号溝、25号溝、28号溝、33号溝、35号溝、58号竪穴住居から出土した近世以降の陶磁器類である。碗、いわゆる湯のみ、鉢、皿、花瓶、土瓶などが多量に廃棄されていた。312・314・328と搅乱出土の図42：433・434・435は、18世紀に広く用いられた文様で、433は熊本市教育委員会が調査をおこなった古町遺跡でも出土がある。これらは18世紀～19世紀にかけての肥前窯（佐賀県）のものと考えられるが、435は肥前窯のうち長崎県波佐見焼のなかに同例が確認でき、335もその可能性が高い。絵付けは筆によっており、型刷りや転写は無い。

図38：336～346は金屬製品である。336は古墳時代の鉄鎌、337は刀子かと考えるが不明である。338は鎌で右端が折り返されている。339～341は煙管の吸い口と雁首である。雁首は火皿が小さく首も短く、18世紀末葉～19世紀初頭のものではないかと考えられる。342は刀子である。343は一錢硬貨、344・346は寛永通寶、345は祥元通寶である。

図39：347～384は包含層出土の古墳時代・古代の遺物である。365は土師器の齒釜、372は木の葉漿である。368は丸瓦で、玉縁の段差の部分である。

図40：385～397は0509調査地点出土の弥生土器である。385～389は弥生の壺の口縁部、390～395は壺形土器の底部である。390・391は縄文時代後期の土器底部の可能性もある。396は壺の頸部で、縦方向に粗い磨きが施されている。397は壺の口縁部である。

図40：398～図41：413は0509調査地点出土の縄文土器である。398は縄文時代後期後葉の御領式の深鉢形土器の口縁部、399と400は晩期の黒川式の壺形土器の口縁部、401は上首生B式平行期の深鉢形土器の口縁部である。402は御領式か天城式の深鉢形土器の胴部、403は後期の終わり頃の深鉢形土器の胴部、404は天城式の深鉢形土器の胴部である。405は天城式の浅鉢の口縁部、406・407は御領式の浅鉢の口縁部である。408・409は古闕2式の深鉢形土器の口縁部、410も古闕式の深鉢形土器の口縁部である。411は上首生B式平行期の浅鉢形土器の口縁部である。412・413は後期の深鉢形土器の胴部片と考えられる。

図41：414～図42：437は搅乱出土の遺物である。422・423・424は近世の焜燄、425は浅い鍋形で縁の2か所に耳が付くタイプの焜燄、426はフライパン形の焜燄の把手である。429は乗燭である。

図43：439～図45：473は0509調査地点出土の石器である。凹石・敲石・磨り石・砥石などである。458は85号ピット出土の管玉で、緑色凝灰岩製である。古墳時代に属するものである。445は軽石製のように非常に軽いが、表面・断面は土製品のようである。

このほか、写真のみであるが泥面子などを掲載している。図版31：479～485・487～489は、陶磁器片を面子状に加工した破片面子である。486は土製で、古代の碁石と考えられる。495～498は泥面子で、オタフクや武士などがある。499～501は泥人形である。499は女性の頭部、500は鳥居、501は獅子の置物である。

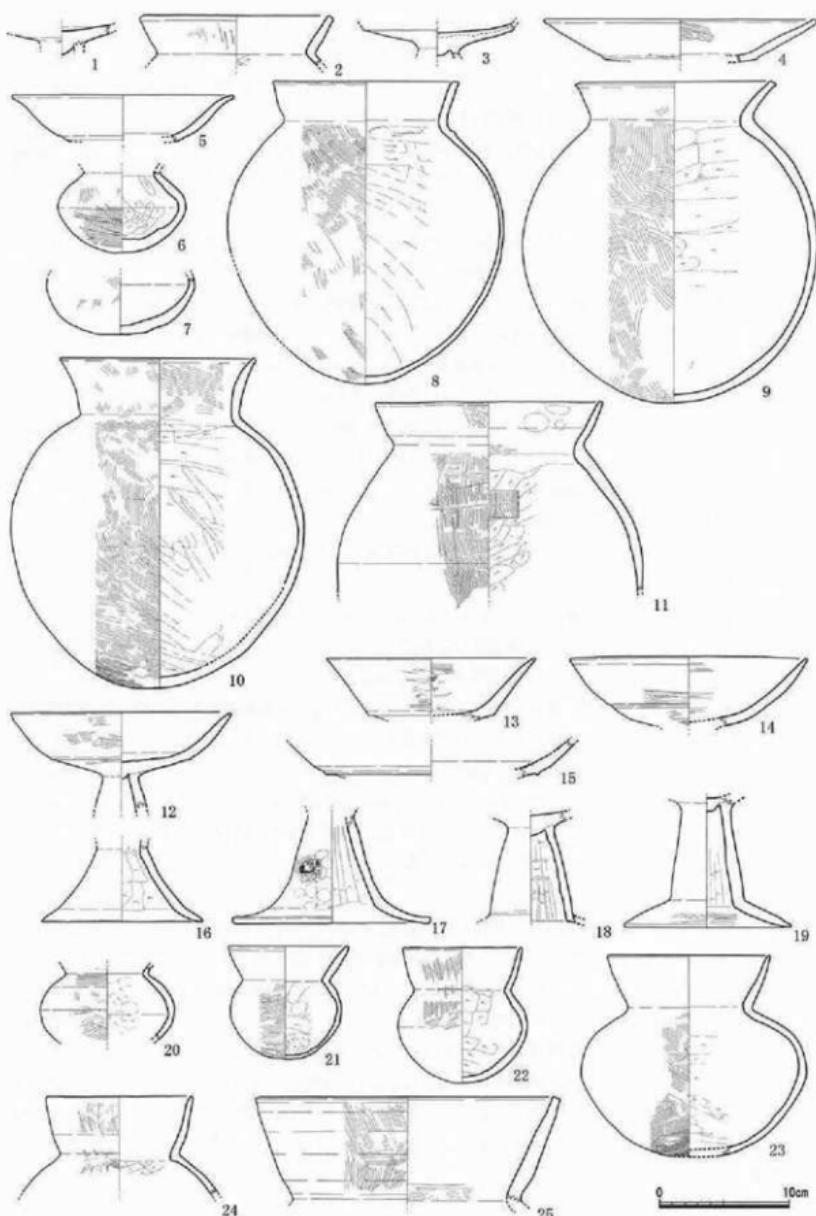


図25 0509調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

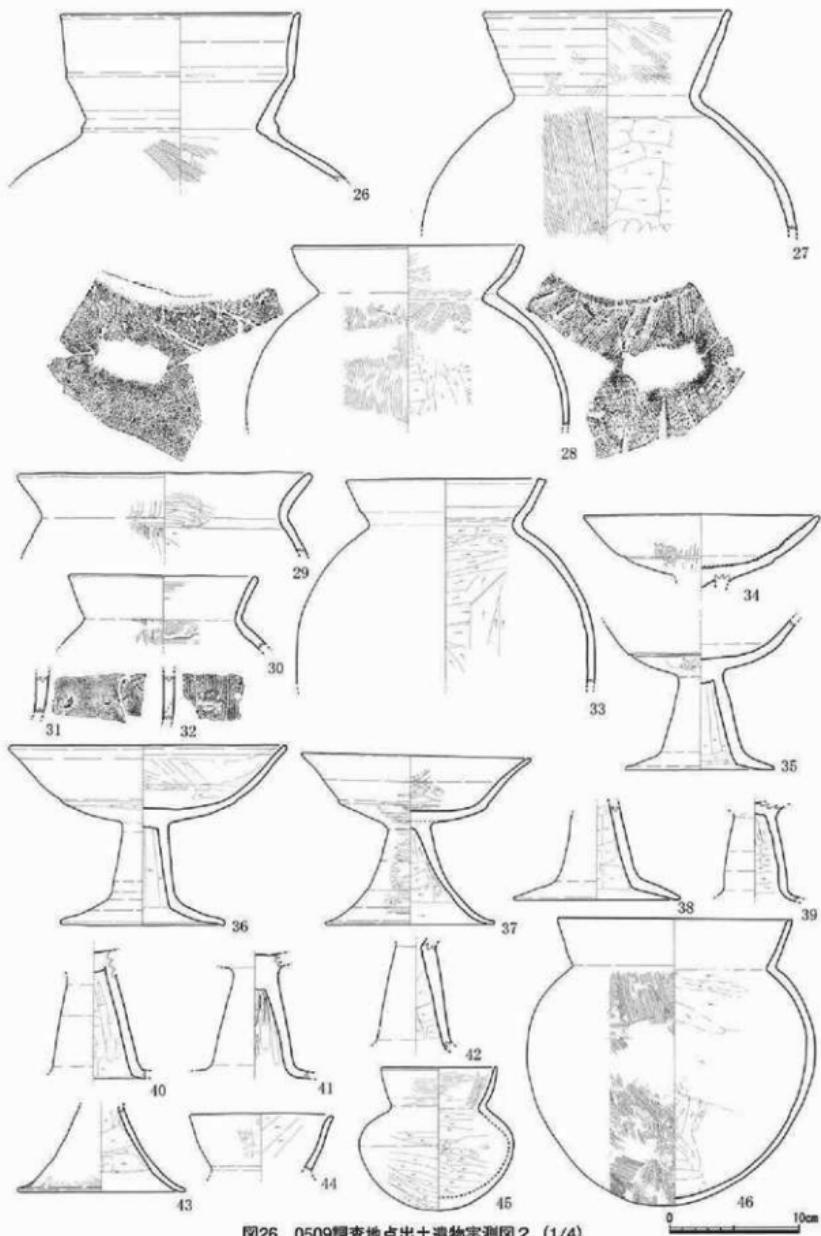


図26 0509調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

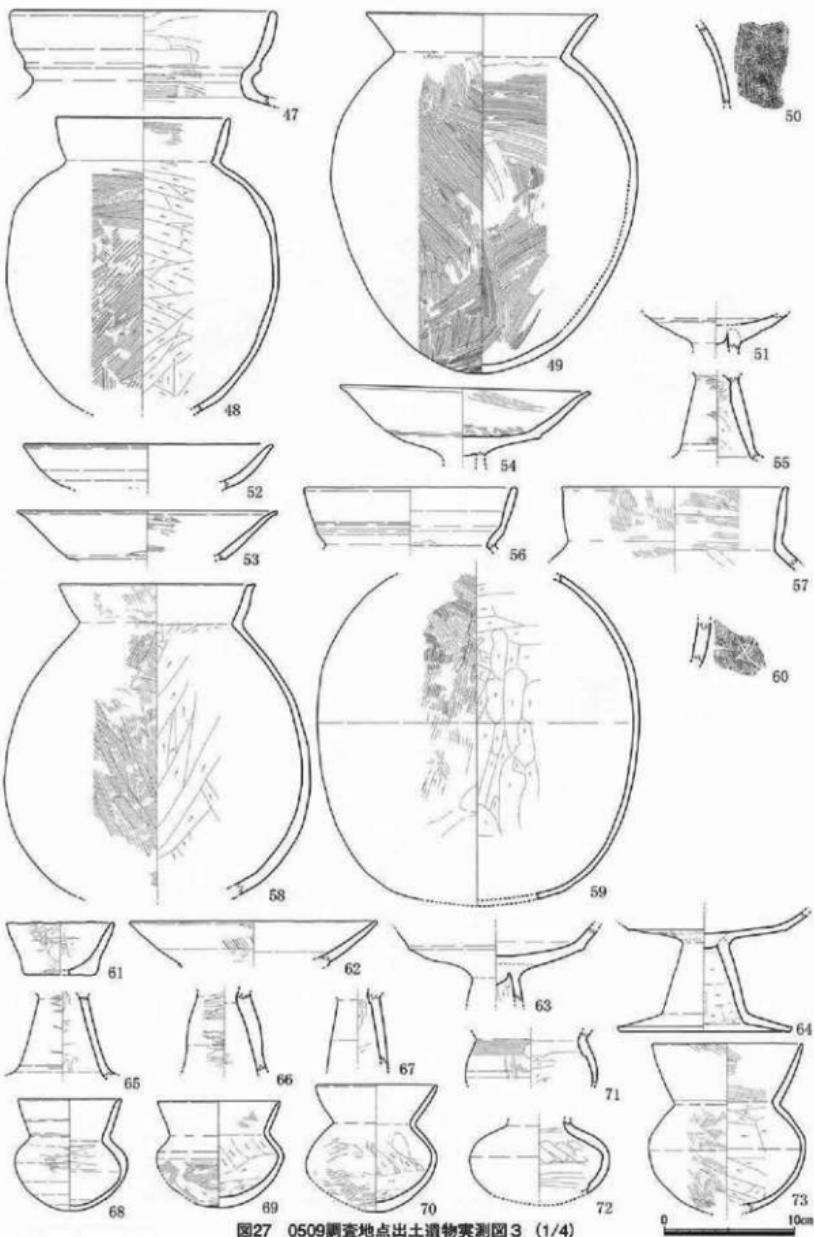


図27 0509調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

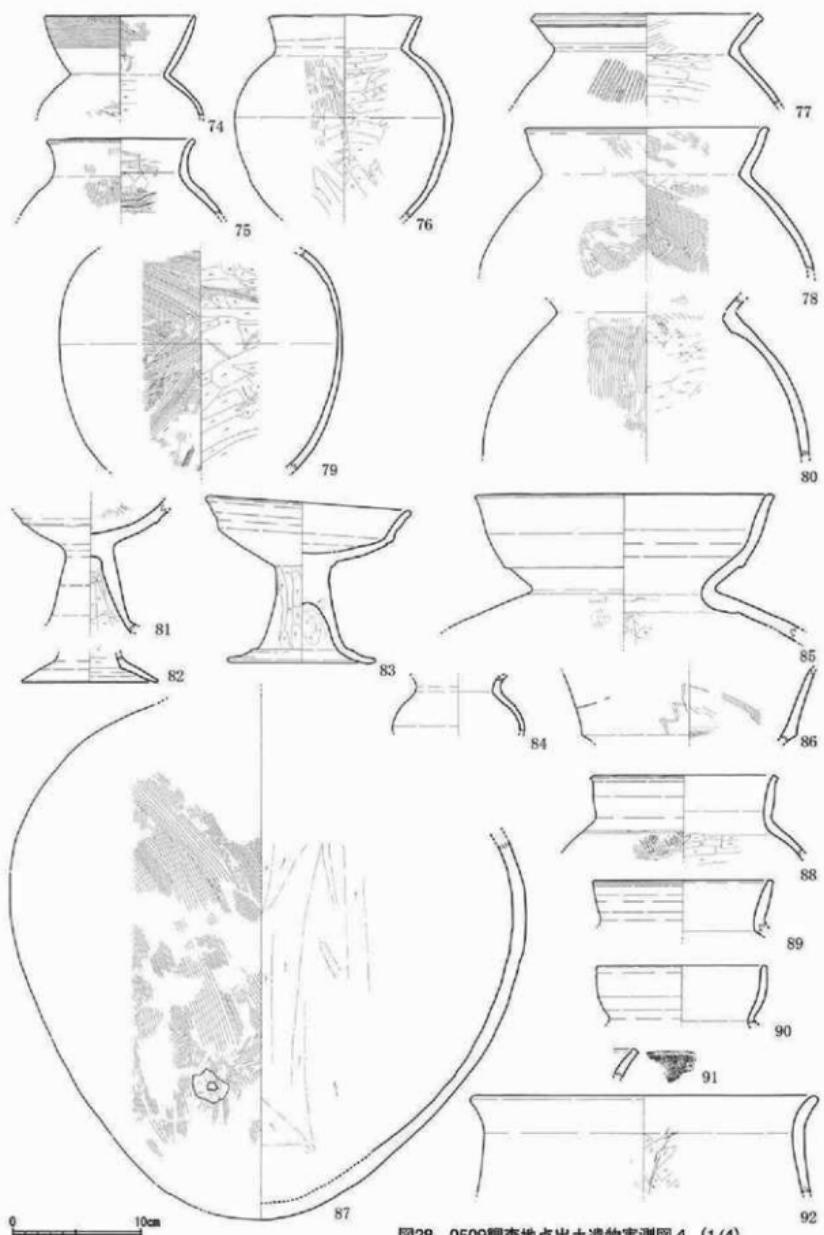


図28 0509調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

1. (医明) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査 (0509調査地点)

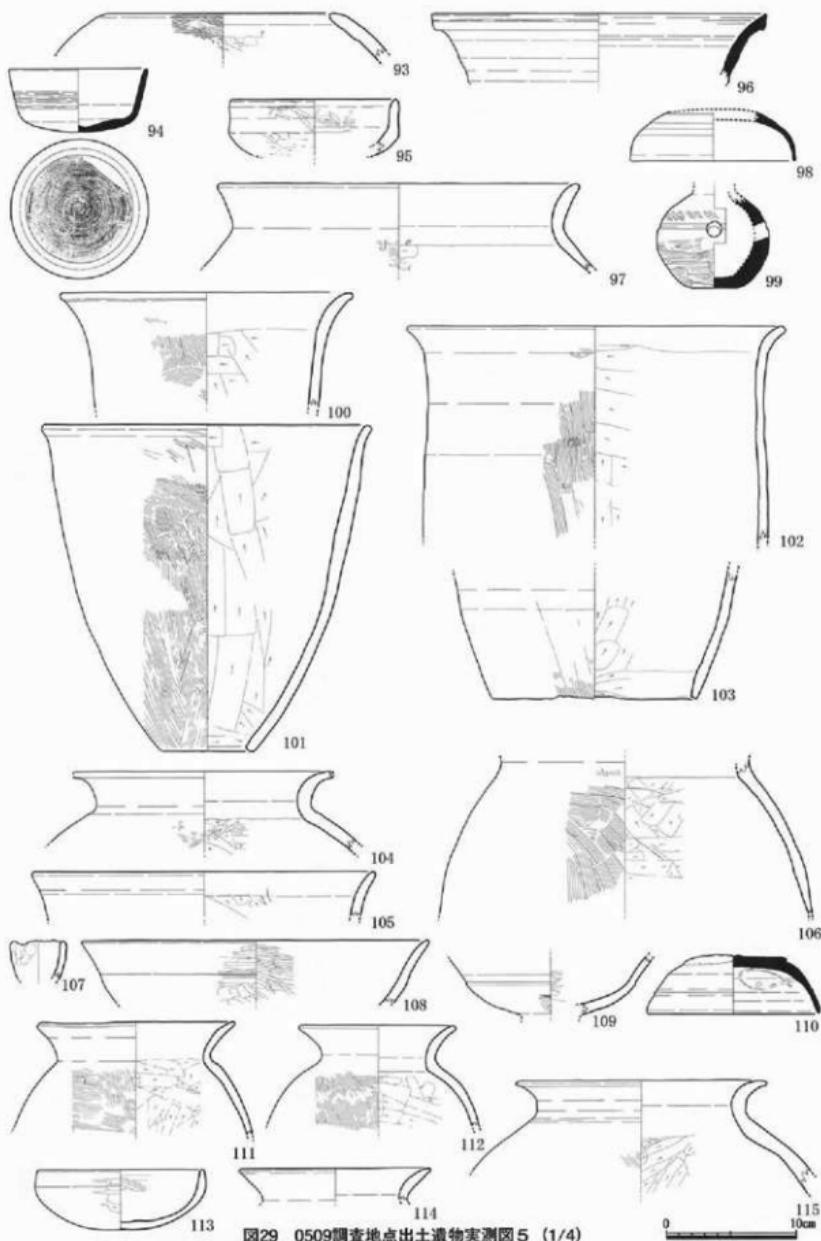


図29 0509調査地点出土遺物実測図5 (1/4)



図30 0509調査地点出土遺物実測図 6 (1/4)

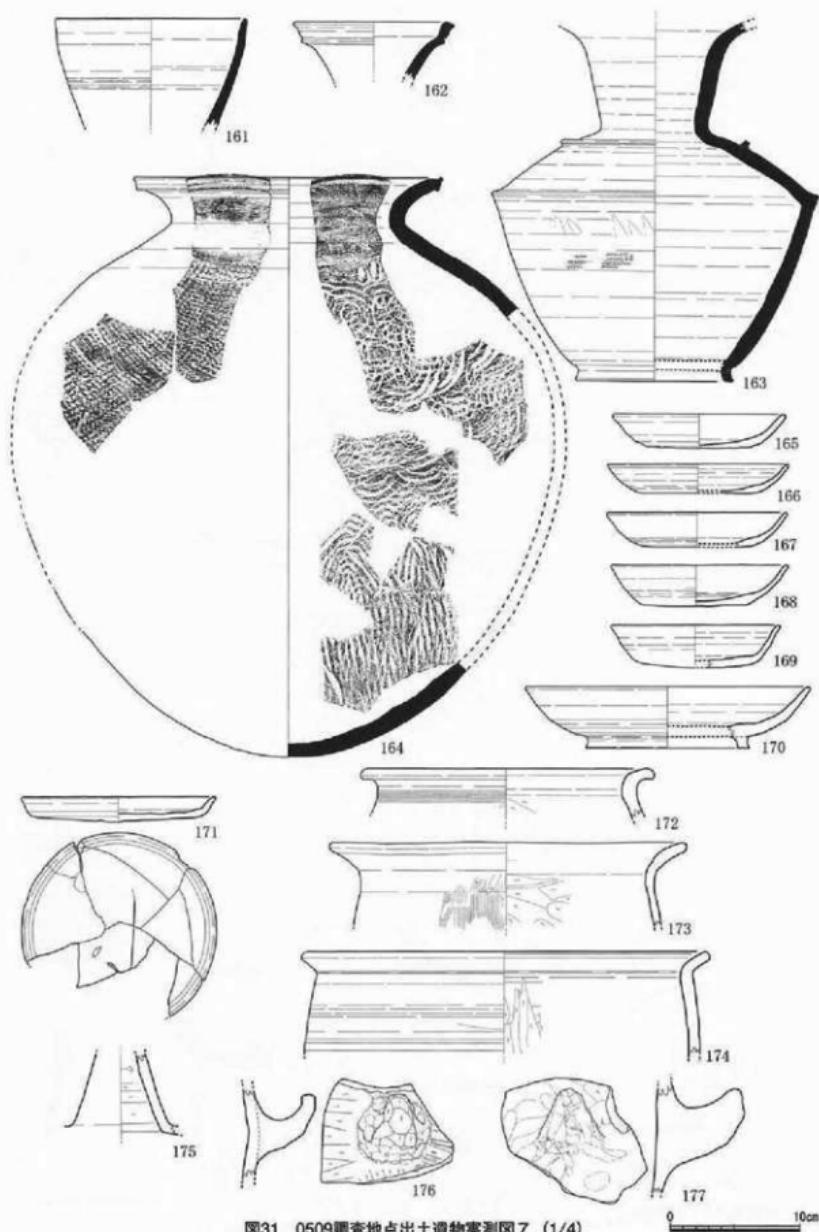


図31 0509調査地点出土遺物実測図7 (1/4)

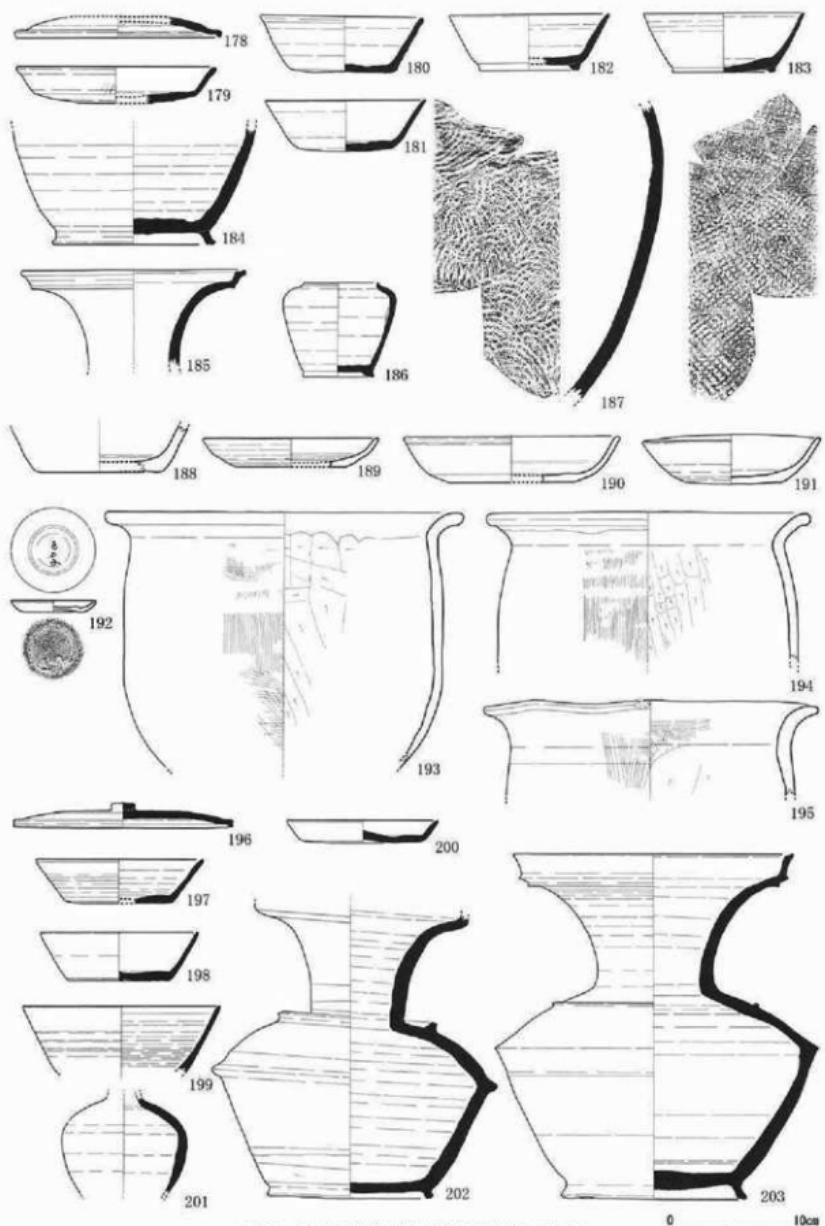


図32 0509調査地点出土遺物実測図8 (1/4)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

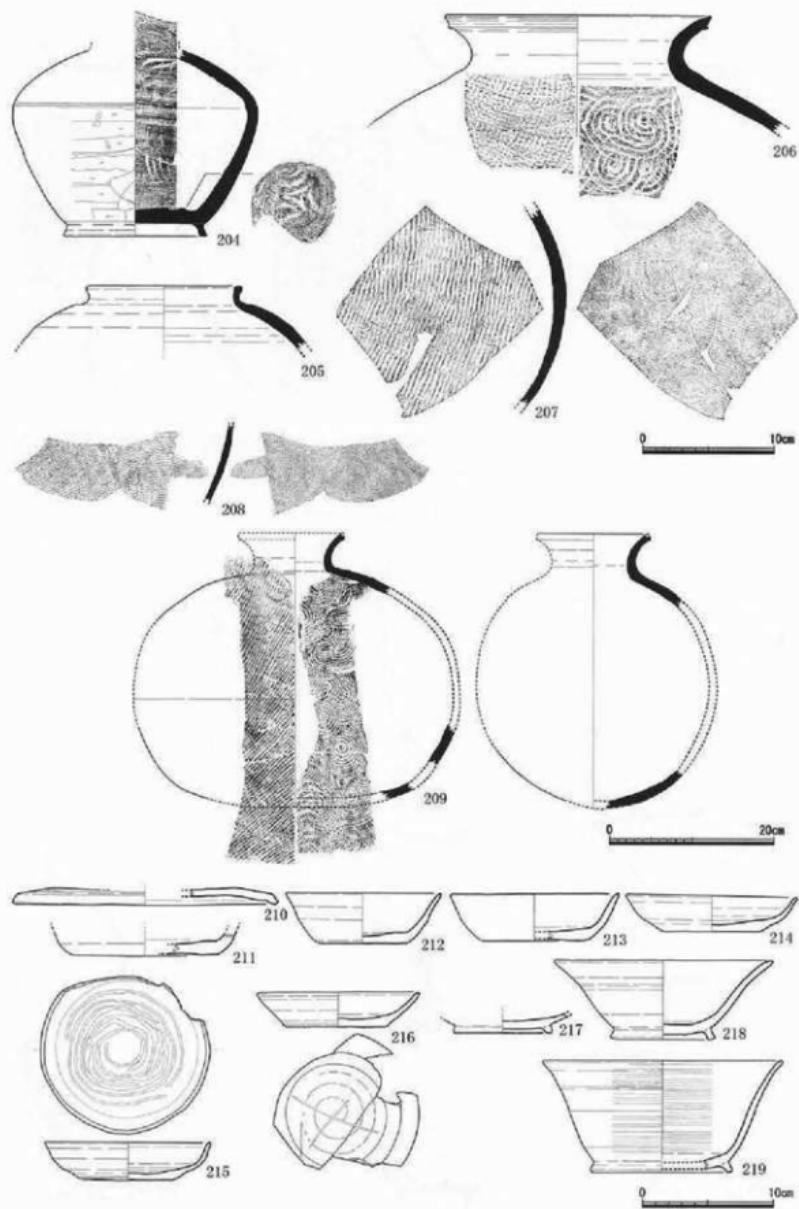


図33 0509調査地点出土遺物実測図9 (1/4・1/6)

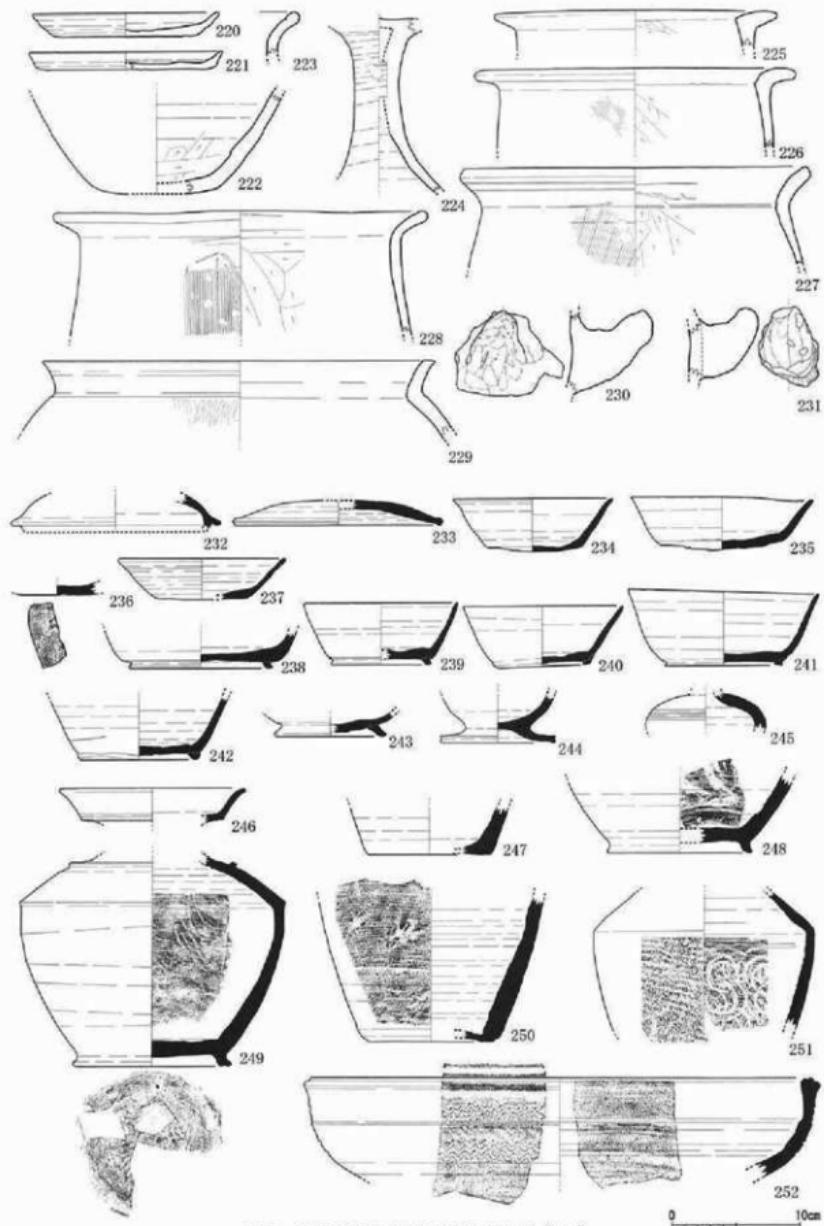


図34 0509調査地点出土遺物実測図10 (1/4)

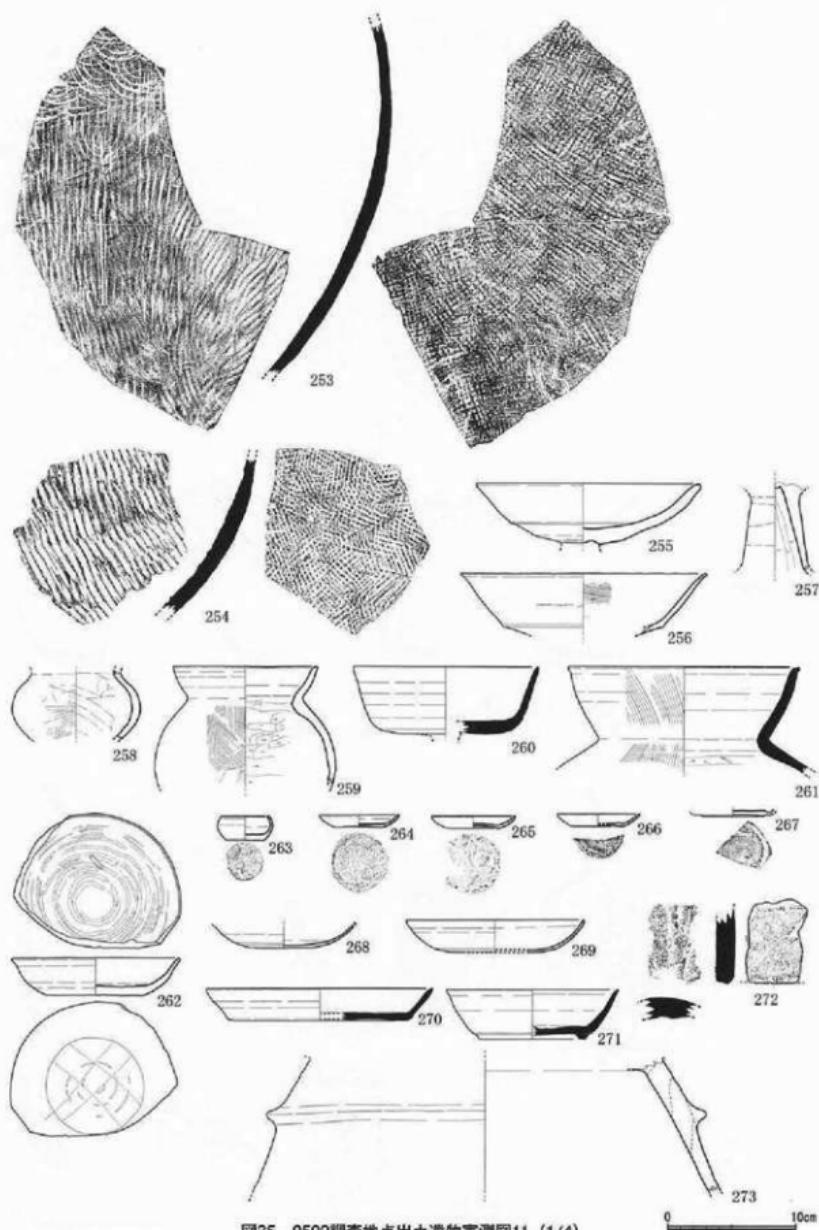


図35 0509調査地点出土遺物実測図11 (1/4)

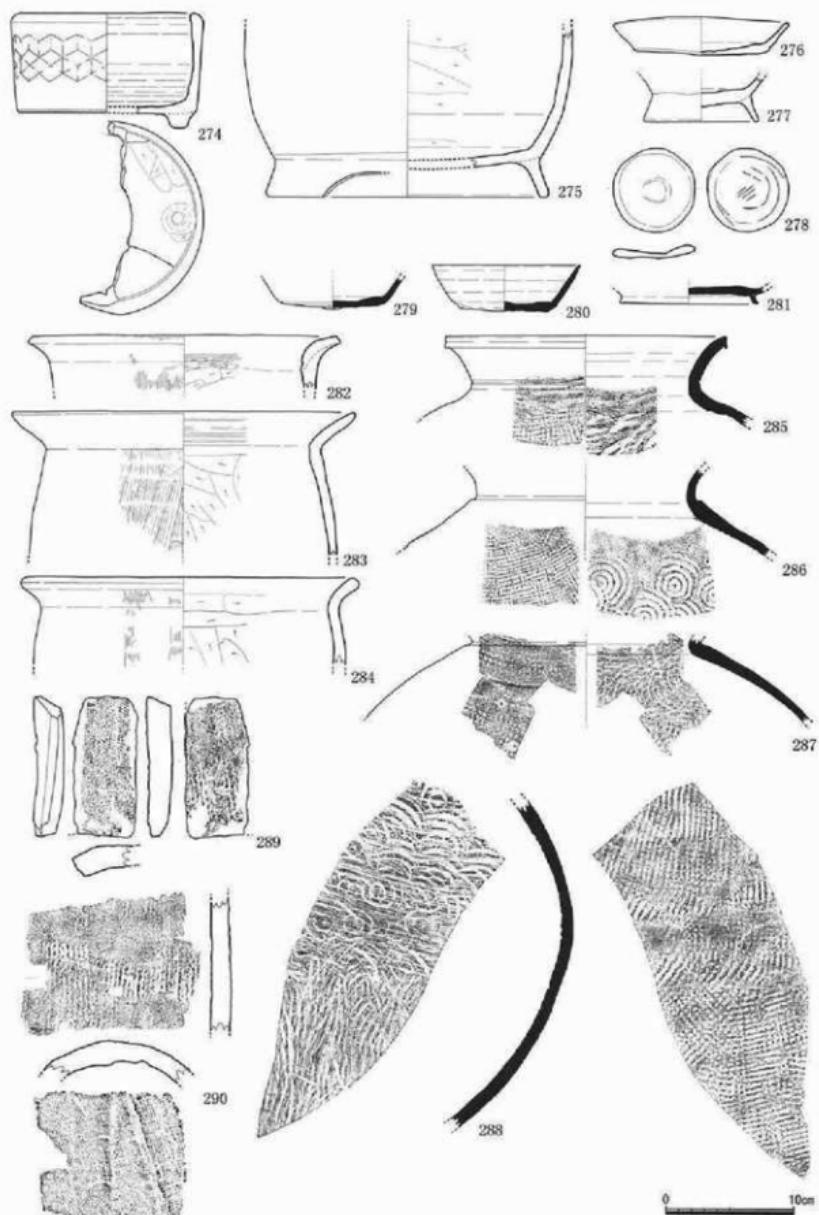


図36 0509調査地点出土遺物実測図12 (1/4)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

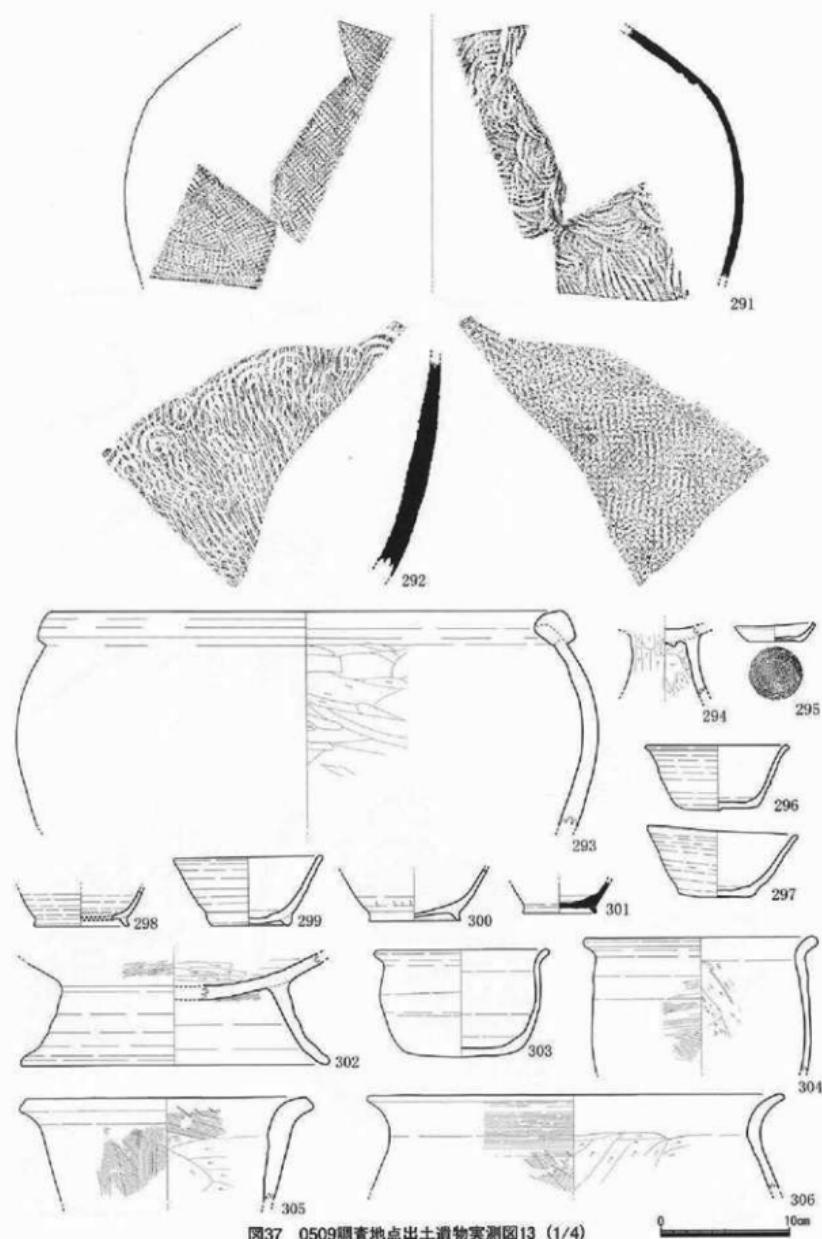


図37 0509調査地点出土遺物実測図13 (1/4)

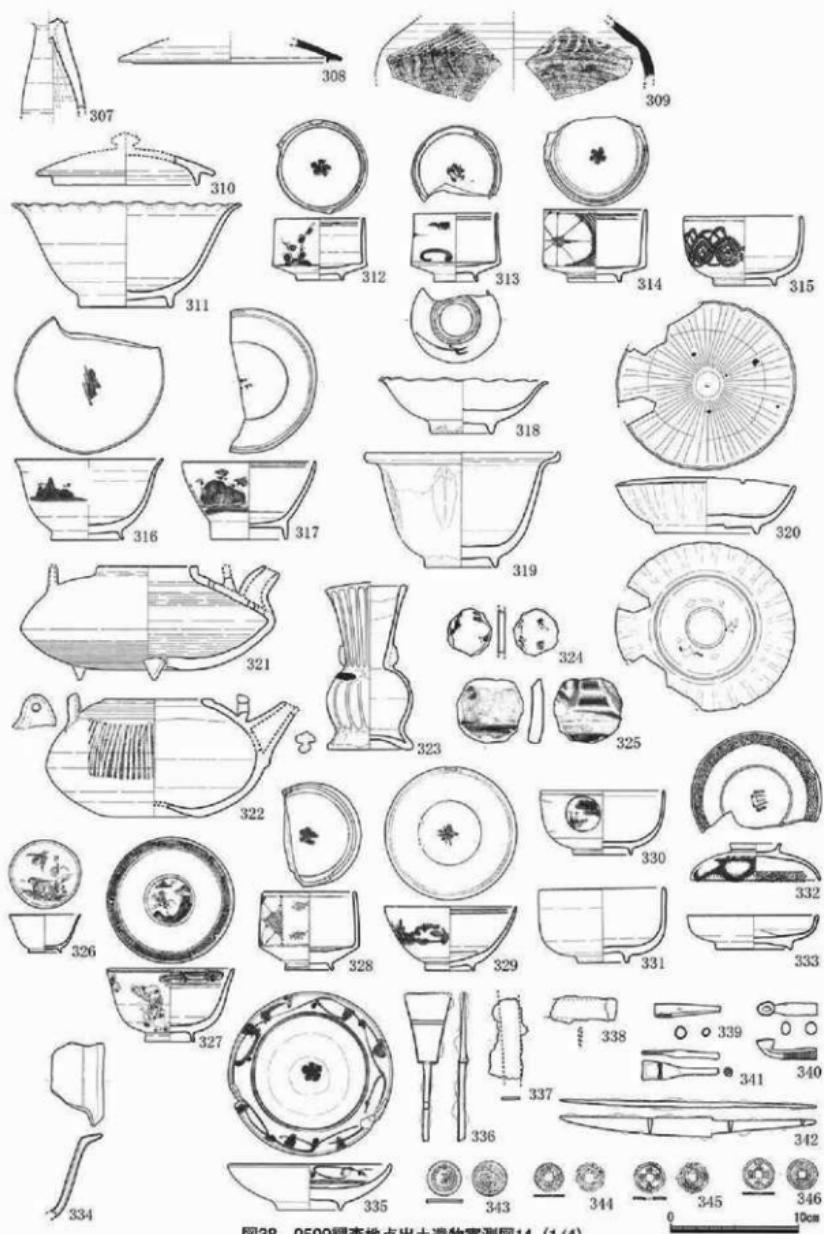


図38 0509調査地点出土遺物実測図14 (1/4)

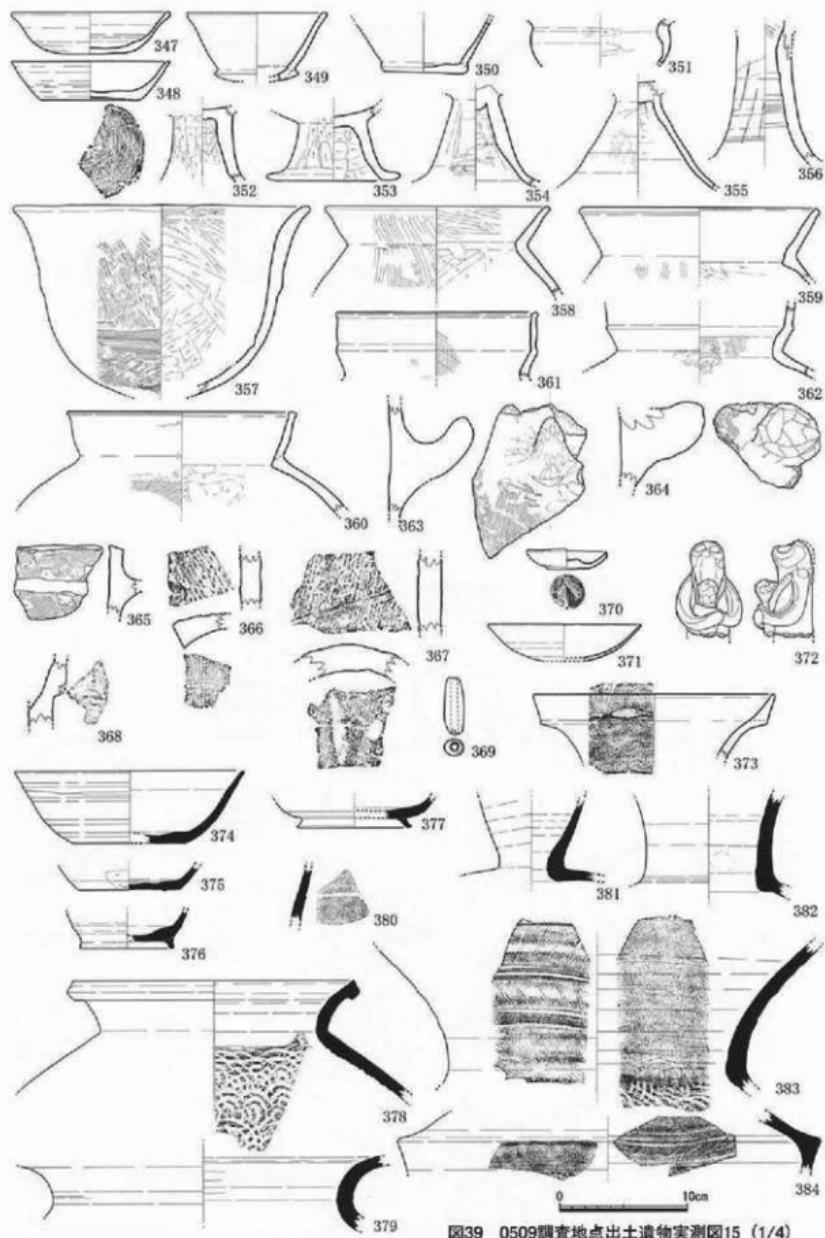


図39 0509調査地点出土遺物実測図15 (1/4)

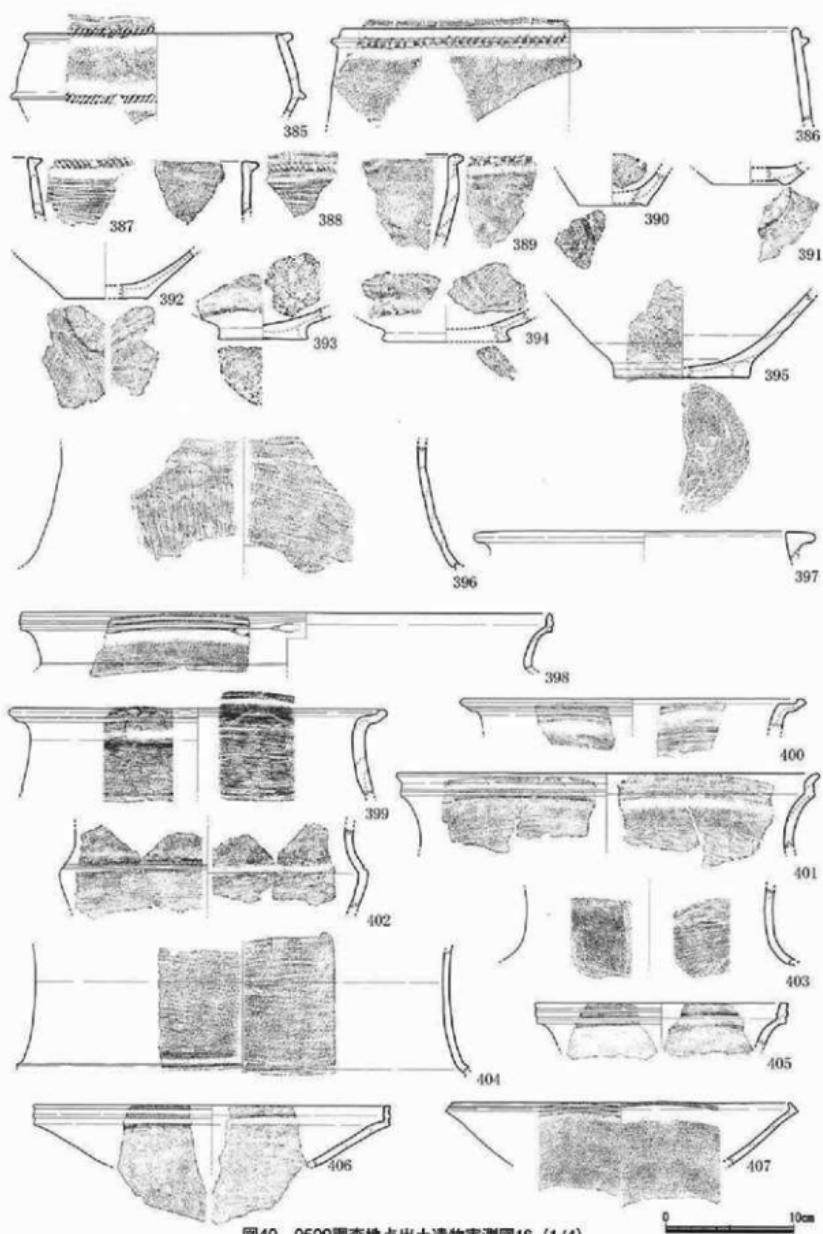


図40 0509調査地点出土遺物実測図16 (1/4)

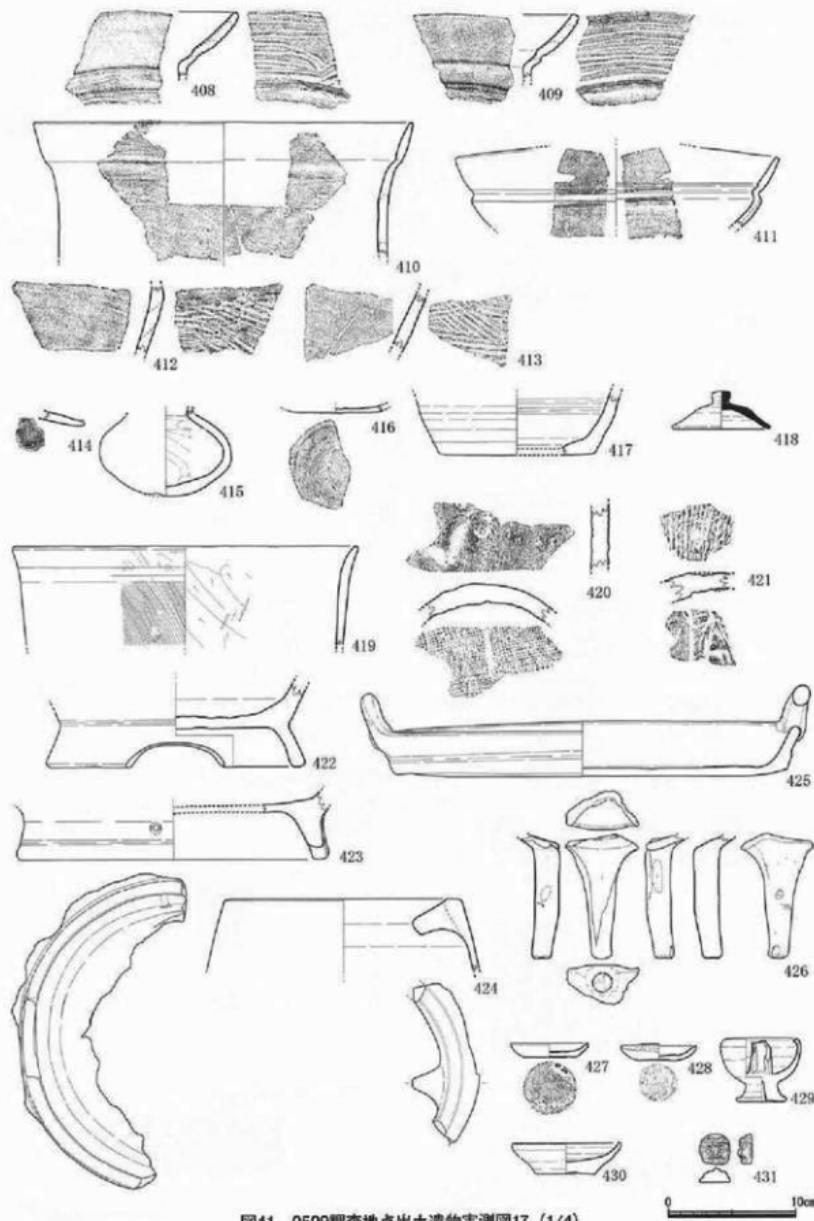


図41 0509調査地点出土遺物実測図17 (1/4)

0 10cm

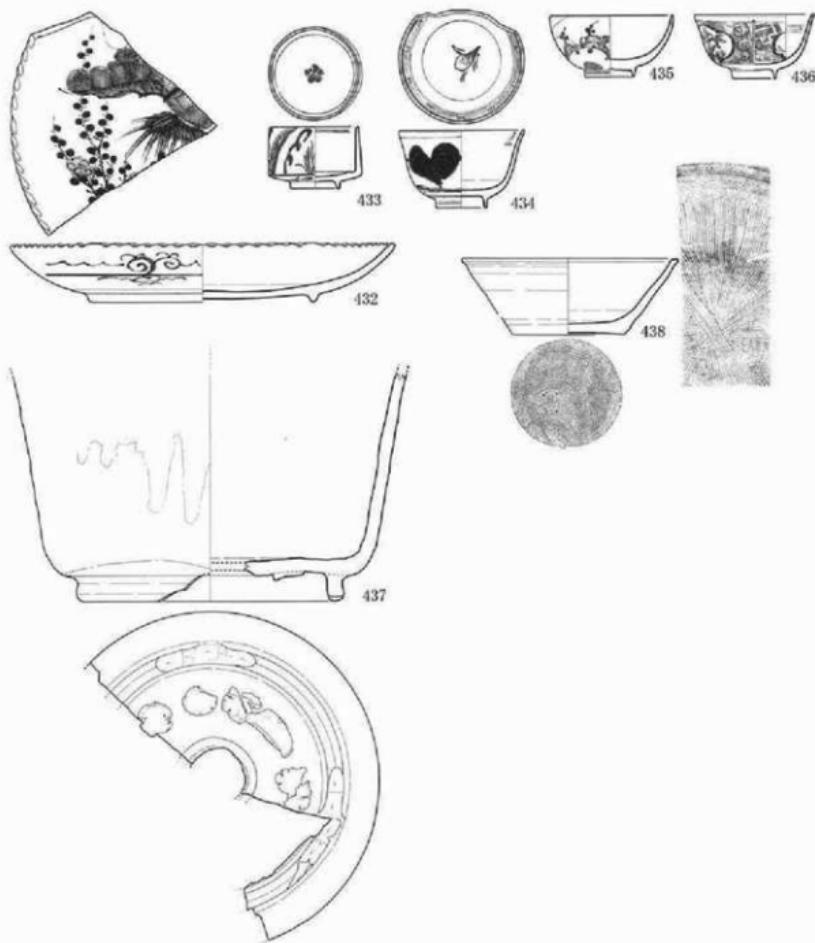


図42 0509調査地点出土遺物実測図18 (1/4)



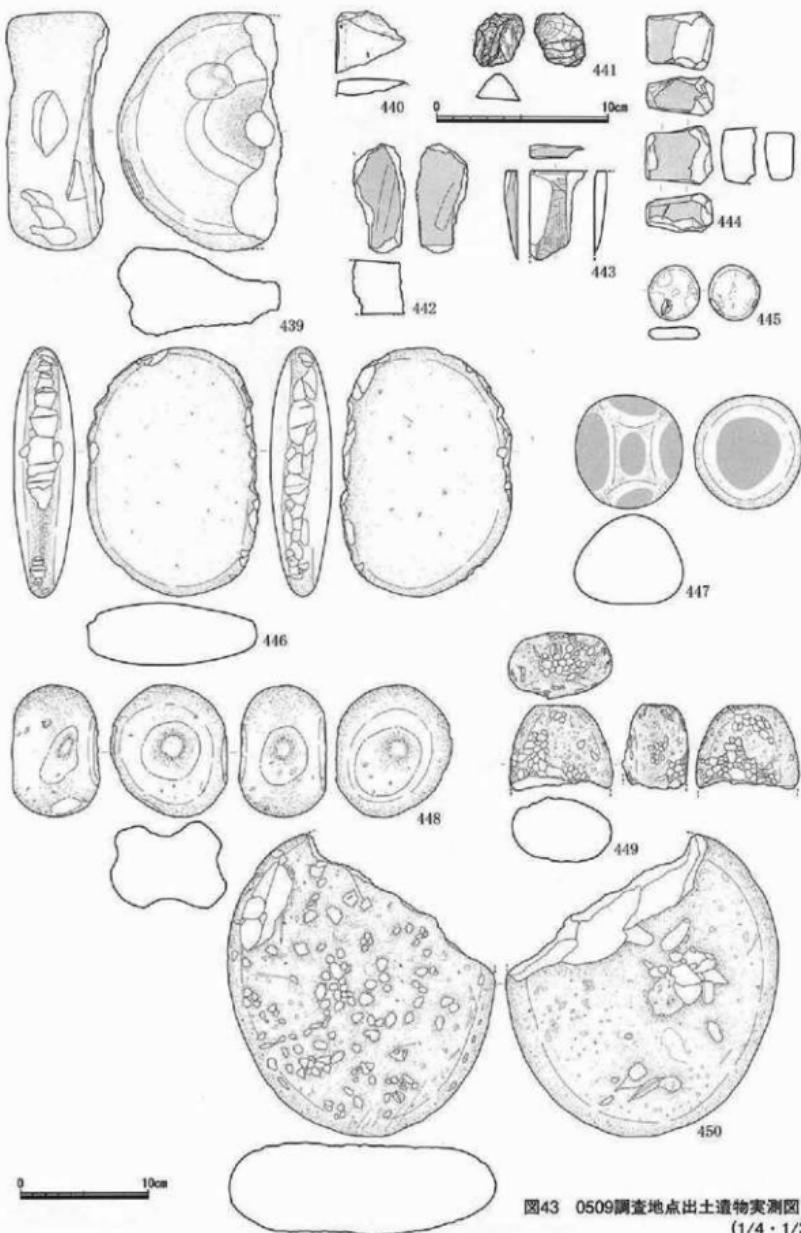


図43 0509調査地点出土遺物実測図19
(1/4・1/3)

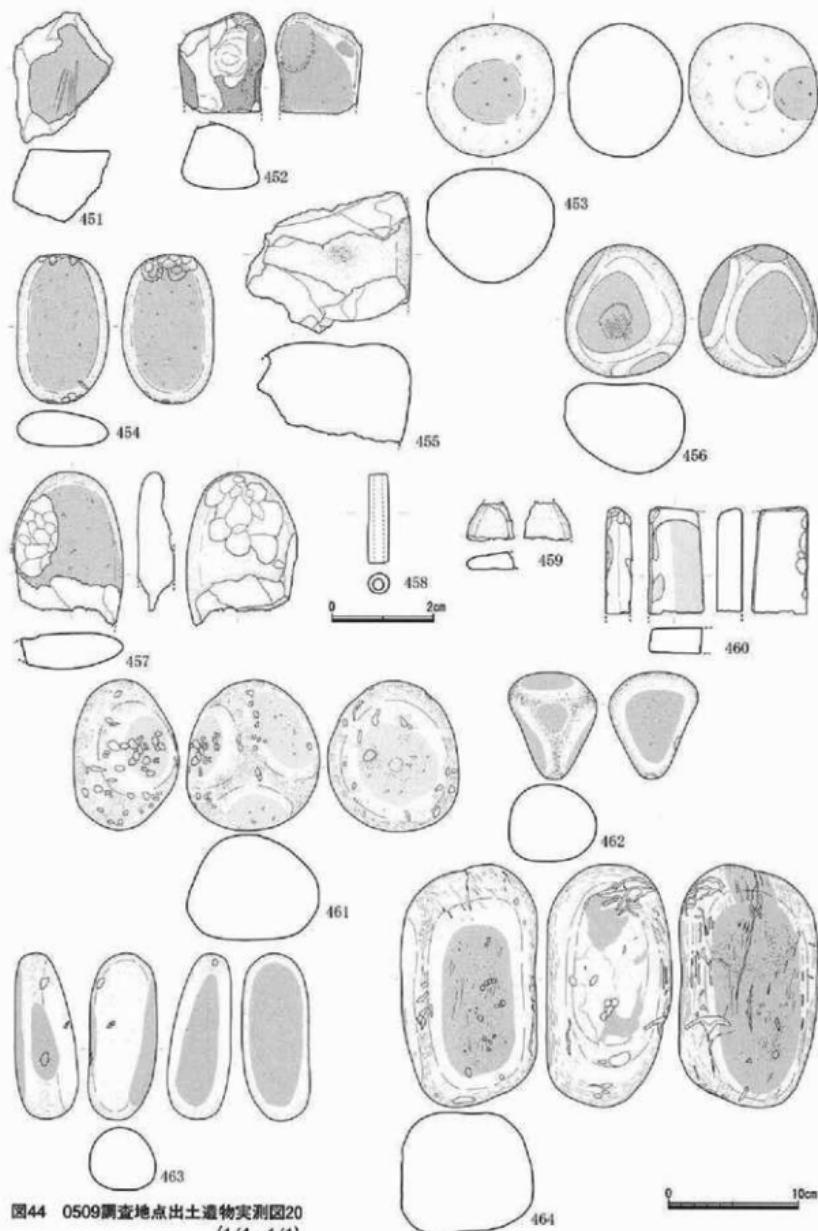


図44 0509調査地点出土遺物実測図20
(1/4 · 1/1)

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

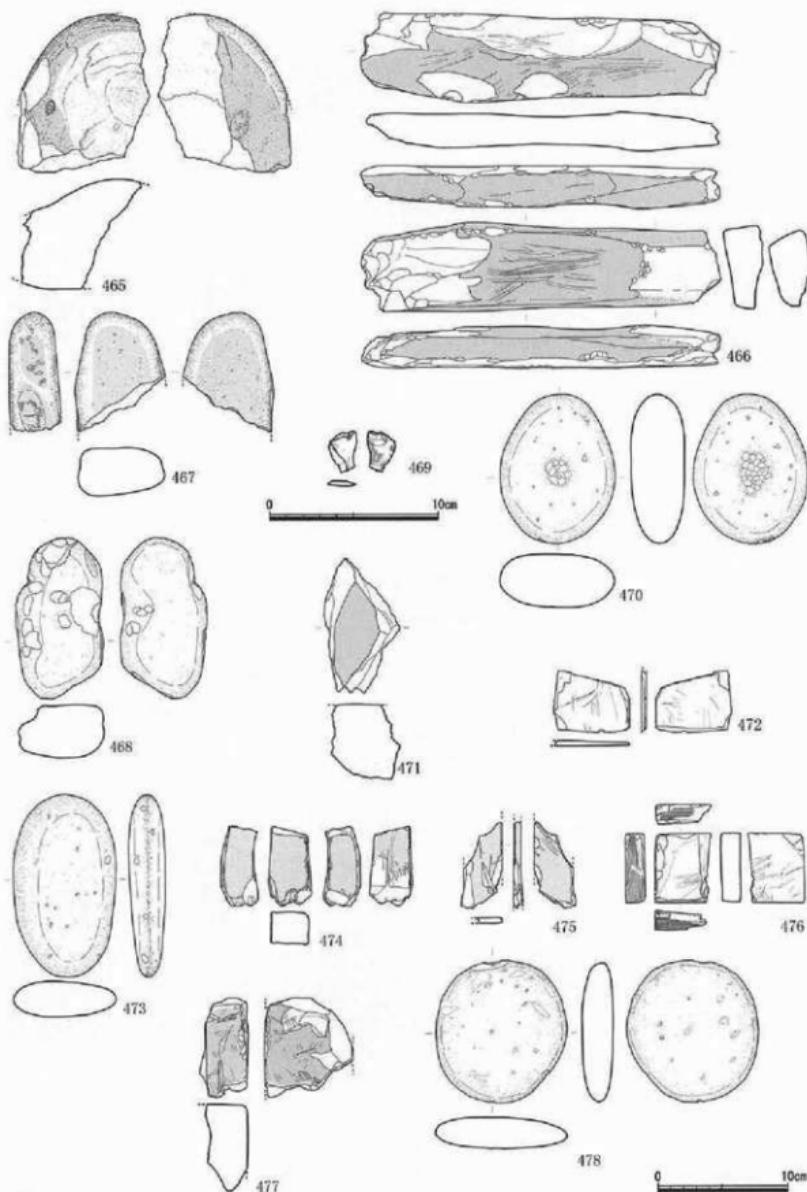


図45 0509調査地点出土遺物実測図21 (1/4・1/3)

(5) まとめ

0509調査地点は、冒頭述べたように本学医学部附属病院敷地の西南側における、最も広い面積を持つ調査区である。2004年に実施した0411調査地点の調査成果から、遺構の遺存状態は良好であると想定されたが、その想定通り古墳時代と古代を中心に近世までの様々な遺構と遺物が確認された。

古墳時代の住居としては、これまで北側に位置する9901調査地点や0006調査地点、0104調査地点、0119調査地点で確認されていた。それらは古墳前期後葉と考えられていたが、近年各地点の土師器を精査したところ、古墳時代前期末～古墳時代中期初頭という年代観が与えられた。本調査地点の古墳時代の住居群も古墳時代前期末葉～古墳時代中期初頭にかけての住居が確認され、当該時期の住居は、附属病院敷地の北端から南までかなり広範囲に展開していたことが明らかとなった。また、古墳時代中期の住居（55号・108号堅穴住居）も確認できた。0119地点では、タタキを持つ古墳時代前期の甕が出土しており、病院敷地内においては古墳時代前期から中期にかけて、約200年の古墳時代の集落変遷を具体的に把握できるようになった。古墳時代後期の様子は明確ではないが、98号堅穴住居や102号堅穴住居は古墳時代後期後葉に遡るならば、このころから、堅穴住居の主軸は北を向くようになったと考えられる。そうであるならば、遺物は片断で時期の特定は難しいが、古墳時代のものと考えられる79号や78号は古墳時代後期の遺構で、既に堅穴住居の主軸が北に向くようになった頃のものと考えられる。このような現象は溝でも追認できる。112号溝は多くの遺構と切り合っており、出土遺物は古墳時代・古代のものを含むため時期の特定は困難である。方向は南北を向いているが、6世紀末～7世紀前半と考えられる102号堅穴住居は112号溝が埋没した後に構築されていることから、古墳時代後期頃に掘削・利用されたと考えられる。この時期に南北を意識して掘削され、後に西側に大きな33号溝が掘削されたと考えられる。ただ、同じく古代の35号溝は南北方向ではなく、白川に並行する流れであり、北に位置する9901調査地点でもやはり古代の大溝は南北ではなく白川に並行していた。こうした大きな溝は0101調査地点、1423調査地点でも確認されており、各地点の溝の関係や稼働時期は、本遺跡の集落変遷と水田化、集落内の建物構成・配置に大きく関わると考えられ、大きな検討課題である。

本調査地点の古代の住居は、この33号溝より南東側で検出されており、西北側には無い。西北側には9世紀の12号土坑があるのみで、土地の利用には何等かの規制があった可能性がある。また、本調査地点では、掘立柱建物などの大型建物の跡は検出されなかった。9901調査地点は数棟の建物が確認され、それより北側の地点でも確認されていることからすれば、こうした公的な建物が建立される範囲が限定されているようである。現段階では、9901調査地点を白川と並行にながれる大溝より南ではこうした建物が見られないといえる。これは敷地内の東側でも同様で、集落や大型建物は白川寄りに展開しており、白川から離れた位置では確認されない傾向にある。9901調査地点と本調査地点との間には未調査の空間があるが、古代において次第に白川沿いに公的施設が集約していくとともに、古代の一般集落も白川寄りに展開する傾向を考えておきたい。

医学部附属病院敷地内における発掘調査は1996年から実施され、主に敷地の北側と西側をL字状に調査してきた。敷地の中央は既に近代に建設された病棟により破壊されている場合がおく、調査の機会には恵まれていないが、周辺部となるL字状の調査地点では、多くの遺構と遺物が確認され、敷地の東西および南北の様相がある程度把握できたと言えよう。

これまで本センター（旧調査室）が行ってきた各調査地点の遺物・遺構の考察が整いつつあり、上述した各地点の溝とそれらの繋がりや稼働時期、大型建物や住居の配置が総合的に検討できるようになってきており、集落変遷、廃絶と水田化、周辺の大江遺跡群や古代託麻郡との関連について、近く

総括したい。

【参考文献】

- 網田龍生 1994「奈良時代肥後の土器」『先史学・考古学論究Ⅰ』197-254 龍田考古会
網田龍生 2003「古代荒尾産須恵器と宇城三須恵器」『先史学・考古学論究Ⅳ』357-386 龍田考古会
江戸遺跡研究会編 2001『図説 江戸考古学研究事典』柏書房
財団法人 大阪府文化財センター 2006『古式土師器の年代学』
九州近世陶磁学会 2000『九州陶磁の編年』九州近世陶磁学会10周年記念
九州前方後円墳研究会 2002『古墳時代中・後期の土師器－その編年と地域性－』第5回九州前方後
円墳研究会発表要旨資料
熊本市教育委員会 2004『古町遺跡Ⅰ』
熊本市教育委員会 2009『戸坂遺跡Ⅱ』
佐々木達夫 1977「19世紀中葉の灯器」『金沢大学法文学部論集』史学篇25 金沢大学法文学部
関根達人 2000「江戸時代の喫煙に関する考古学的検討」『文化』93-112 東北大学文学会
船山亮一ほか編 1996『須恵器集成図録』第5巻 西日本編 雄山閣
水ノ江和同 1997「北部九州の縄紋後・晩期土器－三万田式から刻目突帯文土器の直前まで－」
『縄文時代』8号 縄文時代研究会
山崎純男 1980「弥生文化成立期における土器の編年的研究」『鏡山猛先生古稀記念古文化論叢』
117-197 鏡山猛先生古稀記念論文集刊行会

入江由真氏(熊本市教育委員会)、柴田亮氏(大村市教育委員会)、檀佳克氏(八女市教育委員会)、に
は遺物に関するご教示をいただいた。記して感謝申し上げます。

表4 0509調査地点出土遺物一覧表

回	番号	遺物	種類(器種)	量(cm)	埋存量	特徴	色調	出土遺構	備考	
25	1	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	環部分	内:ナガ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目	内:Hue 107R6/4 外: Hue 107R6/4	46号壁穴居居		
	2	土師器	甕	口径 底径 厚さ	口縁部分	内:圓柱ナダ、開口 外:圓柱ナダ、ナダ、 ナカ目	内: Hue 107R6/2 外: Hue 25R6/6	56号壁穴居居ベルト	赤化粧土	
	3	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	环部1/2	内:圓柱ナダ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 107R6/6 外: Hue 107R6/6	59号壁穴居居No13		
	4	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	口縁~側部分	内:圓柱ナダ、前口 外:圓柱ナダ、前口 ナカ目	内: Hue 107R6/6 外: Hue 107R6/6	59号壁穴居居No5		
	5	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	口縁部分	内:圓柱ナダ、ナダ 外:圓柱ナダ、ナダ、 前口	内: Hue 107R6/6 外: Hue 25R6/6	59号壁穴居居棒上		
	6	土師器	小型丸壺	口径 最大径10.0 厚さ	側部1/2	内:ナダ、前口、開口 外:ナダ、前口、ハケ 目	内: Hue 107R6/4 外: Hue 107R6/6	59号壁穴居居、33号溝 上、58号壁穴居居北東		
	7	土師器	小型丸壺	口径 底径 厚さ	底部片	内:ナダ、前口 外:ナダ、ハケ目	内: Hue 107R6/8 外: Hue 107R6/4	59号壁穴居居No9		
	8	土師器	甕	口径 底径 厚さ	4.5	内:圓柱ナダ、ハフ筋 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 25R6/6 外: Hue 25R6/7	59号壁穴居居No4 一括	内面コゲ、外面にスス材着	
	9	土師器	甕	口径 底径 厚さ	15.6 大底22.95 厚さ	3/4	内:圓柱ナダ、前口 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 107R6/4 外: Hue 107R6/4	59号壁穴居居No7 一括	
	10	土師器	甕	口径 底径 厚さ	はほ堀	内:ヨコナダ、ハケ目 外:ヨコナダ、ハケ目	内: Hue 25R7/4 外: Hue 107R7/2	59号壁穴居居No2・No3		
	11	土師器	甕	口径 底径 厚さ	17.5	約1/2	内:圓柱ナダ、前口 外:ヨコナダ、ハケ目	内: Hue 25R7/4 外: Hue 25R7/4	59号壁穴居居No1・No 3・No6・一括、14号	
	12	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	17.2	環部1/2	内:圓柱ナダ、ナダ 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 25R6/6 外: Hue 25R6/6	59号壁穴居居No2 内面2.3段剥離している	
	13	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	16.4	環部1/2	内:圓柱ナダ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目 前口	内: Hue 25R5/6 外: Hue 25R5/6	59号溝(59号壁穴居居 内)	
	14	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	18.4	環部1/2	内:圓柱ナダ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 25R6/6 外: Hue 25R6/6	59号壁穴居居No2	
	15	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	17.5	側部片	内:圓柱ナダ 外:圓柱ナダ	内: Hue SYR3/2 外: Hue SYR3/2	59号壁穴居居	内面剥離
	16	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	12.6	側部1/2	内:圓柱ナダ、ナダ、 前口 外:圓柱ナダ、ナダ	内: Hue 107R6/4 外: Hue 107R6/4	59号壁穴居居P57-6	内外面にスス付着
	17	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	15.6	3/4	内:圓柱ナダ、ナダ、 前口 外:圓柱ナダ、ナダ、 前口	内: Hue 107R6/6 外: Hue 107R6/6	59号壁穴居居P57-6	西頭莊脇あり 瓦ぬ(イネ)あり
	18	土師器	高 坛	口径 底径 厚さ	16.5	側のみ	内:ナダ、前口 外:ナダ	内: Hue 7.5R6/4 外: Hue 107R6/3	59号壁穴居居A3	
	19	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	12.9	側部のみ	内:前口 外:ナダ	内: Hue 7.5R5/6 外: Hue 7.5R5/6	59号壁穴居居A3	
	20	土師器	小型丸壺	口径 底径 厚さ	10.6	1/3	内:ナダ、前口、開口 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue N2/0 外: Hue N2/0	59号壁穴居居、58号型 穴居居No10	
	21	土師器	小型丸壺	口径 底径 厚さ	9.2	約1/2	内:圓柱ナダ、ナダ、 前口 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 7.5R6/4 外: Hue 7.5R6/4	59号壁穴居居1、A3 瓦(A3)、85分ピット 通路、102号壁穴居居	
	22	土師器	小型丸壺	口径 底径 厚さ	9.4	2/3	内:ナダ、前口 外:ナダ、ハケ目	内: Hue 7.5R6/6 外: Hue 7.5R6/6	59号壁穴居居、58号型 穴居居No2	
	23	土師器	甕	口径 底径 厚さ	12.6	約1/2	内:圓柱ナダ、ナダ、 前口 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 7.5R6/6 外: Hue 107R6/4	59号壁穴居居家室	
	24	土師器	甕	口径 底径 厚さ	11.8	口縁4.5~ 側部分	内:圓柱ナダ、前口 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 5T8/8 外: Hue 5T8/8	59号壁穴居居No6	
	25	土師器	甕	口径 底径 厚さ	24.1	口縁部約1/6	内:ナダ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 7.5R4/6 外: Hue 7.5R4/4	59号壁穴居居No11	
26	26	土師器	二重口縁壺	口径 底径 厚さ	18.8	口縁~側部分	内:圓柱ナダ、ハケ目 外:圓柱ナダ、ハケ目	内: Hue 107R8/4 外: Hue 7.5R8/8	59号壁穴居居、包合層	
	27	土師器	甕	口径 底径 厚さ	21.0	口縁~側部分 約1/3	内:ナダ、前口 外:ナダ、ハケ目	内: Hue 7.5R6/4 外: Hue 107R7/4	59号壁穴居居No20	外面にスス付着
	28	土師器	甕	口径 底径 厚さ	18.4 大底25.4	口縁部約1/4	内:ヨコナダ、前口 外:ヨコナダ、ハケ目	内: Hue 5V4/2 外: Hue 25J7/4	59号壁穴居居No20、理 金露母と角閃石を含む	
	29	土師器	甕	口径 底径 厚さ	23.2	口縁部約1/4	内:前口、開口 外:ナダ、前口	内: Hue 7.5R6/6 外: Hue 107R6/4	59号壁穴居居、混合層 外間にスス付着	
	30	土師器	甕	口径 底径 厚さ	15.9	口縁部2/3	内:圓柱ナダ、前口 外:圓柱ナダ、ナダ、 ハケ目	内: Hue 107R6/3 外: Hue 107R4/4	59号壁穴居居No2	

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

区	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	埋存率	特 記	色 調	出土遺構	備考
26	31	土師器	甕	口径 底径 厚さ	剥離部	内:ハケ目 外:刷毛	内:Hue 23YR4/4 外: Hue 23YR4/2	58号壁穴住居北東	ヘラ記号(判読不明)
	32	土師器	甕	口径 底径 厚さ	剥離部	内:削り 外:ハケ目	内: Hue 23YR5/1 外: Hue 23YR2/1	58号壁穴住居北東	正直(不明性質)あり
	33	土師器	甕	口径 底径 厚さ	1/4	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ, ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR5/3	58号壁穴住居北東	外面にスス付着
	34	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	18.3	環部のみ	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, ナガ, ハセ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	58号壁穴住居No.3, No.3
	35	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	11.5	3/4	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	97号壁穴住居No.19
	36	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	21.8 13.0 14.1	口沿部定形	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	97号壁穴住居, 97号壁 穴住居No.14
	37	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.5	2/3	内:回転ナガ, 圓卓 外:ハセ目, 剥離 内:ナガ, ハケ目, 剥 離	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/6	58号壁穴住居
	38	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.0	約1/2	内:ヨコナガ, 圓卓 外:ヨコナガ, ナガ	内: Hue 10YR6/6 外: Hue 10YR7/6	58号壁穴住居No.26
	39	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.0	剥離部定形	内:ナガ 外:回転ナガ, ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	58号壁穴住居
	40	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.0	剥離部2/3	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, ナガ	内: Hue 2.5YR7/3 外: Hue 10YR7/4	58号壁穴住居, 97号壁 穴住居No.21
	41	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.0	剥離部3/4	内:回転ナガ, ナガ 外:工具によるナガ 内:回転ナガ, ナガ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	97号壁穴住居No.1, ベルト, 100号壁穴住居, 104 号壁穴住居No.1
	42	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.0	剥 部	内:ナガ, 刻り 外:ナガ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 10YR7/4	97号壁穴住居No.2
	43	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	13.2	約1/2	内:ヨコナガ, 圓卓 外:ヨコナガ, ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR6/6 外: Hue 10YR7/6	58号壁穴住居No.13
	44	土師器	小型灰陶器	口径 底径 厚さ	11.2	口沿部のみ	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ, ハセ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	58号壁穴住居No.12, ベルト
	45	土師器	小型灰陶器	口径 底径 厚さ	9.2	4/5	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, ナガ, 剥 離	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	58号壁穴住居No.15, ベルト
	46	土師器	甕	口径 底径 厚さ	18.15 22.6	口沿部定形	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, ハセ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 10YR5/4	外側は剥離下半のみ
27	47	土師器	二重口沿部	口径 底径 厚さ	20.9	口沿部	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR7/3	58号壁穴住居No.16
	48	土師器	甕	口径 底径 厚さ	13.4	約1/3	内:回転ナガ, 圓卓 外:回転ナガ, ナガ, ハセ目	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/5	58号壁穴住居No.28
	49	土師器	甕	口径 底径 厚さ	18.1	口沿部定形	内:ヨコナガ, ナガ, ハセ 外:ヨコナガ, ナガ, 剥 離	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	58号壁穴住居No.30
	50	土師器	甕	口径 底径 厚さ	28.0	剥離部	内:削り 外:ナガ	内: Hue 7.5YR6/3 外: Hue 7.5YR5/3	58号壁穴住居
	51	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	18.1	環部-剥離部1/8	内:ナガ 外:ナガ, 剥離	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR5/2	100号壁穴住居
	52	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	19.6	剥離部1/8	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, 圓卓	内: Hue 2.5YR6/4 外: Hue 10YR7/4	100号壁穴住居No.6
	53	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	20.4	口沿-剥離部	内:回転ナガ, ハセ目 外:回転ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR7/5	100号壁穴住居ベルト
	54	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	19.4	环部3/4	内:回転ナガ, ナガ, ハセ目 外:回転ナガ, ナガ, ナガ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	100号壁穴住居ベルト, 頸管
	55	土師器	高 环	口径 底径 厚さ	19.6	剥離部1/6	内:ナガ, 刻り 外:ナガ, 剥離	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	100号壁穴住居
	56	土師器	甕	口径 底径 厚さ	16.8	口沿部	内:回転ナガ, ナガ 外:回転ナガ, 剥離	内: Hue 2.5YR6/4 外: Hue 2.5YR6/4	100号壁穴住居
	57	土師器	甕	口径 底径 厚さ	17.4	口沿部5/6	内:ナガ, ハセ目 外:ナガ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5YR7/6	100号壁穴住居
	58	土師器	甕	口径 底径 厚さ	18.3	約1/4	内:回転ナガ, 剥離 外:回転ナガ, ハセ目	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR6/6	100号壁穴住居
	59	土師器	甕	口径 底径 厚さ	24.0	1/4	内:削り 外:ナガ, ハセ目	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 10YR6/3	内外面にスス付着
	60	土師器	甕	口径 底径 厚さ	25.3	1/4	内:削り 外:ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	100号壁穴住居
	61	手捏ね土器	棒	口径 底径 厚さ	8.4 5.4 4.1	約1/6	内:ナガ, 剥離 外:ナガ, ハセ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR7/4	100号壁穴住居No.15

番号	地名	階級(標高)	延長(cm)	残存率	特徴	色	出土遺物	備考	
27	土加部	高 坡 低傾斜 谷底	19.4	口縁～側面部 内：斜板ナメ、ハケ目	内：斜板ナメ、ハケ目 外：斜板ナメ、ハケ目	白：Hue 7.5YR7/3 外：Hue 7.5YR7/4	103号壁穴住居		
43	土加部	高 坡 低傾斜 谷底		環部2/3	内：斜板ナメ、ナメ、 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR5/6	103号壁穴住居No.10 77号溝	内面削離	
44	土加部	高 坡 低傾斜 谷底	13.1	約1/3	内：ナメ、削り 外：ヨコナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 2.5YR9/3 外：Hue 7.5YR5/6	103号壁穴住居No.1 57号壁穴住居		
45	土加部	高 坡 低傾斜 谷底		側部2/6	内：削り、滑走 外：削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 2.5YR5/6	103号壁穴住居上		
46	土加部	高 坡 低傾斜 谷底		側部2/6	内：ナメ、削り 外：ナメ、滑走	内：Hue 7.5YR5/3 外：Hue 7.5YR5/3	103号壁穴住居		
47	土加部	高 坡 低傾斜 谷底		側部4/2	内：ナメ、削り 外：斜板ナメ	内：Hue 5Y3/1 外：Hue 7.5YR7/3	27号溝、103号壁穴住 居		
48	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	8.1	3/4	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 10YR8/4	77号溝、103号壁穴住 居、楕丸、鍍金器	外面にスス付着	
49	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	9.6	141号灰坑	内：ヨコナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 10YR7/6	103号壁穴住居		
50	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	9.3	141号灰坑	内：ヨコナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 5YR6/6	103号壁穴住居、103号 壁穴住居No.34・No.35		
51	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	10.2	明都町	内：ナメ、削り 外：ナメ、ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/3	103号壁穴住居No.3		
52	土加部	直口彫 底傾斜 谷底		側部1/2	内：ナメ 外：斜板ナメ、ナメ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR8/4	103号壁穴住居No.6、西 面露窓		
53	土加部	直口彫 底傾斜 谷底		1/3	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	103号壁穴住居上		
28	74	土加部	直口彫 底傾斜 谷底	11.6	口縁～側面部	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR7/6	103号壁穴住居No.2、No. 23、No.25、103号壁穴 住居、104号壁穴住居	
75	土加部	彌	11.6	口縁～側面部	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目、施ササ 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y6/3	28号溝、103号壁穴住 居、薄荷合葉	外面にスス付着	
76	土加部	彌	11.9	約1/2	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 10YR2/1 外：Hue 10YR2/3	103号壁穴住居、28号 溝、77号溝、西湖食糞	外側面にスス・コガ付着	
77	土加部	彌	18.0	口縁～側面部	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 10YR6/5 外：Hue 10YR6/3	103号壁穴住居(77号 溝べりト)		
78	土加部	彌	19.0	口縁部1/4	内：斜板ナメ、ハケ目 外：斜板ナメ、ナメ、 ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	27号溝、103号壁穴住 居No.2、103号壁穴住 居、薄荷合葉		
79	土加部	彌	商大傾22.2	1/3	内：削り、滑走 外：ハケ目	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 7.5YR6/4	103号壁穴住居、103号 壁穴住居No.8	外側面にスス・コガ付着	
80	土加部	彌	19.6	約1/6	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目、削り 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/3	103号壁穴住居、103号 壁穴住居No.6		
81	土加部	高 坡	1/2		内：ナメ、削り、ハケ目 外：斜板ナメ	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/5	108号壁穴住居、 108号壁穴住居No.14		
82	土加部	高 坡 低傾斜 谷底	10.7	側部1/8	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/4	108号壁穴住居		
83	土加部	高 坡	16.6	1/2	内：斜板ナメ、削り、 ハケ目、削り、 外：斜板ナメ、削り	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	109号、103号壁穴住 居上、107号壁穴住居 内側面、薄荷合葉		
84	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	10.4	約1/3	内：ナメ 外：ナメ	内：Hue 10YR2/1 外：Hue 2.5Y3/6	108号壁穴住居	外側面削離	
85	土加部	二重口彫 底傾斜 谷底	23.2	口縁2/3	内：斜板ナメ、ナメ 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR5/6	108号壁穴住居No.1・No. 11・No.21L、ベット、 鍋合葉		
86	土加部	二重口彫 底傾斜 谷底	11.6	口縁部1/2	内：斜板ナメ、クソ目 外：斜板ナメ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	108号壁穴住居、112号 溝(108号壁穴住居内)、 鍋合葉		
87	土加部	彌	22.8	約1/2	内：削り、削り 外：ナメ、ハケ目	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR7/6	103号溝上、77号溝、108 号壁穴住居No.8・No.12・No.13、薄荷合葉		
88	土加部	彌	12.0	口縁～側面部	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 10YR6/3	108号壁穴住居		
89	土加部	小型丸底圓 底傾斜 谷底	11.6	口縁部1/2	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR5/3	108号壁穴住居No.4ト		
90	土加部	彌	12.8	口縁部1/2	内：斜板ナメ、ハケ目 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR6/3	108号壁穴住居		
91	土加部	彌	12.8	口縁部1/2	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ、ハケ目	内：Hue 2.5YR1/5 外：Hue 10YR6/3	28号壁穴住居	正面あり 内部赤色化粧土	
92	土加部	彌	27.0	口縁～側面部	内：斜板ナメ、削り 外：斜板ナメ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 10YR7/4	29号壁穴住居裏土		

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

区	番号	遺物	種類(目録)	測量(cm)	残存率	特　徴	色　調	出土遺構	備　考
29	93	土器部	移動式壺	口径：15.8 底径：15.0 高さ：5.0	口縁部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 10YR4/2-3 外：Hue 7SYR4/1	80号堅穴住居	
	94	瓶	壺	口径：19.8 底径：15.0 高さ：5.0	約1/2	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 10YR4/2 外：Hue 7SYR4/1	80号堅穴住居	底面にヘラ記号あり
	95	埴輪土器	鉢形土器	口径：13.4 底径：12.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：磨き 外：磨き、削り、刷毛	内：Hue 7SYR4/2 外：Hue 7SYR5/3	80号堅穴住居	
	96	埴輪	甕	口径：12.5 底径：11.0 高さ：5.0	口縁部	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、削り	内：Hue SYR4/2 外：Hue 10YR4/1	80号堅穴住居	内外面に自然釉付有
	97	土器部	甕	口径：28.0 底径：25.0 高さ：5.0	CHE～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue SYR6/5 外：Hue 10YR7/4	80号堅穴住居No4	
	98	埴輪	甕	口径：12.6 底径：11.0 高さ：5.0	口縁～天井部分	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 2SYR5/1 外：Hue 10YR5/1	80号堅穴住居	外面に自然釉付有
	99	埴輪	甕	口径：3.25 底径：3.00 高さ：1.0	脚部～底部充てん部	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、ナラ ハク目	内：Hue NSR-3 外：Hue SYR5/1	80号堅穴住居No6	
	100	土器部	甕	口径：23.0 底径：20.0 高さ：5.0	CHE～脚部	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、ナラ、ハク目	内：Hue 7SYR6/6 外：Hue 7SYR6/6	80号堅穴住居No13	
	101	土器部	甕	口径：26.0 底径：21.0 高さ：5.0	約1/4	内：刮削ナラ、削り 外：ナラ、ハク目	内：Hue 7SYR6/6 外：Hue 7SYR7/6	80号堅穴住居No8-9 9-10-11-12-13-14-15 等柱穴(58号堅穴住居内)	内外面一部にスス付有
	102	土器部	甕	口径：29.4 底径：25.0 高さ：5.0	約1/8	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 2SYR7/3 外：Hue SYR6/5	80号堅穴住居No2-3 13-No16、難	一部低温あり
	103	土器部	甕	口径：15.8 底径：13.0 高さ：5.0	底部約1/4	内：削り 外：ハク目	内：Hue 20YR5/2 外：Hue 7SYR5/4	80号堅穴住居No1-N6 No17	内部一部にスス付有
	104	土器部	甕	口径：1.8 底径：1.5 高さ：1.0	口縁1/8～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：削サエ 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 2SYR5/8 外：Hue SYR6/6	100号堅穴住居	
	105	土器部	甕	口径：27.0 底径：24.0 高さ：5.0	CHE1/8	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 7SYR6/4 外：Hue 2SYR6/4	99号堅穴住居 80号堅穴住居	
	106	土器部	甕	口径：29.0 底径：25.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 2SYR5/6 外：Hue 2SYR5/8	80号堅穴住居No2-3 No3、難	
	107	手摺ねじ部	棒	口径：3.8 底径：3.0 高さ：1.0	約1/4	内：ナラ 外：ナラ、削サエ 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 10YR3/1 外：Hue 10YR4/2	101号堅穴住居	
	108	土器部	甕	口径：29.0 底径：25.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 7SYR6/4 外：Hue 7SYR6/4	101号堅穴住居 No9	
	109	土器部	甕	口径：13.2 底径：11.0 高さ：4.5	耳部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 80YR7/6 外：Hue 7SYR7/4	101号堅穴住居No8	
	110	埴輪	甕	口径：13.2 底径：11.0 高さ：4.5	ほぼ充てん	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、ハク目 内：刮削ナラ、ヘラ削り 外：ハク目	内：Hue 10YR6/1 外：Hue 10YR6/1	101号堅穴住居No3	
	111	土器部	甕	口径：15.6 底径：13.0 高さ：5.0	約1/3	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 20YR6/4 外：Hue 7SYR6/6	101号堅穴住居No1-N6	
	112	土器部	甕	口径：11.8 底径：10.0 高さ：5.0	約1/3	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 2SYR5/6 外：Hue 7SYR7/6	101号堅穴住居No5	
	113	土器部	甕	口径：12.8 底径：11.0 高さ：4.7	約1/4	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、削り 外：削り	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR6/3	102号堅穴住居No1 便きみつきあり	
	114	土器部	甕	口径：15.0 底径：13.0 高さ：5.0	口縁部	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ	内：Hue 2SYR5/4 外：Hue SYR5/4	102号堅穴住居	外面にスス付有
	115	土器部	甕	口径：19.4 底径：17.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 10YR5/8 外：Hue 10YR5/8	102号堅穴住居No2	前面口縁～脚部・外面に赤色化粧
30	116	土器部	甕	口径：11.1 底径：9.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 10YR5/2-3 外：Hue 10YR5/3	104号堅穴住居	
	117	土器部	甕	口径：13.0 底径：11.0 高さ：5.0	約1/4	内：刮削ナラ、削り 外：削り、削り	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 10YR5/2	104号堅穴住居	
	118	土器部	甕	口径：12.3 底径：10.0 高さ：5.0	約1/4	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 7SYR5/4	104号堅穴住居	外面にスス付有
	119	埴輪	甕	口径：10.9 底径：9.0 高さ：5.0	口縁～脚部1/8	内：刮削ナラ、ナラ 外：刮削ナラ、削り	内：Hue 7SYR7/1 外：Hue 10YR6/1	104号堅穴住居東下	
	120	土器部	甕	口径：14.0 底径：12.0 高さ：5.0	口縁～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ、ハク目	内：Hue 7SYR6/6 外：Hue SYR7/6	104号堅穴住居No1P	
	121	土器部	甕	口径：15.2 底径：13.0 高さ：5.0	耳部1/4	内：削り 外：ハク目	内：Hue 2SYR5/6 外：Hue 7SYR6/5	77号溝の交点 104号堅穴住居内a、内c	
	122	土器部	甕	口径：16.8 底径：14.0 高さ：5.0	口縁1/4～脚部	内：刮削ナラ、削り 外：刮削ナラ	内：Hue 2SYR5/2 外：Hue 7SYR7/2	107号堅穴住居	
	123	埴輪	甕	口径：16.8 底径：14.0 高さ：5.0	脚部分	内：刮削ナラ 外：刮削ナラ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y4/1	107号堅穴住居 - 108号 堅穴住居上面	

図	番号	遺物	種類(器種)	遺産(cm)	残存率	特徴	色調	出土遺構	備考	
									内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue SYR5/6 外:Hue SYR5/6
30	124	土師器	高 环	口径 底径 脚高	环部片	内:ナラ、楓 外:ナラ	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 10YR6/3	121号堅穴住居		
	125	土師器	高 环	口径 底径 脚高	脚部1/6	内:ナラ、楓 外:ナラ	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 10YR6/3	121号堅穴住居		
	126	土師器	小丸丸底圈足	17.8	脚部片	内:回転ナラ、ナラ、 外:ナラ、楓	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	121号堅穴住居床下		
	127	土師器	樂	19.0	口縁 底径 脚高	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 7.5YR6/4	112号溝	外側にコゲ付着	
	128	磁器器	樂	17.4	口縁~脚部片	内:回転ナラ、楓 外:青杉ナラ、楓	内:Hue 7.5Y5/1 外:Hue 7.5Y5/2	112号溝		
	129	土師器	高 环	19.0	环部1/4	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 10YR6/3	33号堅合層、裏塗施 物或駆除		
	130	土師器	耳	8.6 底径 6.0 脚高 3.4	口縁部1/8 脚部1/3欠	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue SYR6/6 外:Hue SYR6/6	33号溝上	丹赤り	
	131	土師器	环	12.9 底径 8.0 脚高	底部1/4	内:ナラ、楓 外:ナラ、楓、楓	内:Hue SYR6/6 外:Hue SYR6/6	33号溝上		
	132	土師器	环	12.4 底径 8.8 脚高 3.2	1/8	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 7.5YR7/4	33号溝上		
	133	土師器	环	13.2 底径 8.8 脚高 3.9	1/2	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 2.5YR6/6 外:Hue 2.5YR7/7	33号溝上	内外面赤色化粧土	
	134	土師器	耳	13.2 底径 7.3 脚高 3.2	約1/2	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	33号溝、33号堅合層、 此物在地層		
	135	土師器	环	12.9 底径 13.0 脚高 3.5	1/4	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue SYR5/6 外:Hue SYR5/6	33号溝上	内外面赤色化粧土	
	136	土師器	环	11.0 底径 6.8 脚高 4.7	約1/3	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue SYR5/6 外:Hue SYR5/6	33号溝上		
	137	土師器	耳	15.0 底径 12.0 脚高 1.6	口縁~底部片	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 2.5YR5/6 外:Hue 2.5YR5/6	33号溝上	内外面赤色化粧土	
	138	土師器	耳	22.2 底径 13.8 脚高 11.6	底部片	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 2.5YR6/6 外:Hue 7.5YR7/7	33号溝上	内外面赤色化粧土	
	139	土師器	耳	23.2 底径 13.8 脚高	1/3	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 10YR6/6 外:Hue 10YR6/6	33号溝上、33号底下、33 号堅合層、此物在地層		
	140	土師器	耳	17.9 底径 9.5 脚高	1/3	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 7.5YR7/4	33号溝上	33号溝上、33号底下、33 号堅合層、此物比照参考スミ付着(此物か) 有	
	141	土師器	耳	17.9 底径 9.8 脚高	1/8	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 7.5YR7/4	33号溝上		
	142	土師器	耳	17.9 底径 9.8 脚高	环部~脚部片	内:ナラ、楓 外:ナラ、楓	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 10YR6/2	33号溝上		
	143	土師器	耳	18.0 底径 9.5 脚高	口縁~脚部1/4	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ	内:Hue 2.5YR7/3 外:Hue 2.5YR7/3	33号溝上		
	144	土師器	樂	24.9 底径 13.8 脚高	口縁1/4~脚部	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue 10YR7/2 外:Hue 10YR7/2	33号溝上	外側にコゲ付着(此物か)	
	145	土師器	樂	24.9 底径 13.8 脚高	口縁~脚部片	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ	内:Hue SYR7/4 外:Hue SYR7/4	33号溝上		
	146	磁器器	耳	12.9 底径 8.4 脚高	約1/4	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 2.5YR5/1 外:Hue SYR6/1	33号溝上		
	147	磁器器	耳	17.8 底径 8.4 脚高	1/4	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 7.5Y6/1 外:Hue 7.5Y6/1	33号溝上	外側にヘア記号(特殊不可)あり	
	148	磁器器	耳	14.4 底径 8.0 脚高	約1/8	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue NT/2 外:Hue 2.5YV7/1	33号溝上		
	149	磁器器	耳	17.8 底径 8.4 脚高	1/3	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ、楓	内:Hue 10YR8/3 外:Hue 10YR8/3	33号溝上		
	150	磁器器	耳	15.1 底径 8.0 脚高	1/6	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue 2.5Y4/1 外:Hue 7.5Y3/1	33号溝上		
	151	磁器器	耳	14.4 底径 8.0 脚高	約1/5	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue SYR5/2 外:Hue SYR6/1	33号溝上	自然縫あり	
	152	磁器器	耳	17.8 底径 8.4 脚高	底盤4.5~ 脚部片	内:回転ナラ、楓 外:回転ナラ、楓	内:Hue NS/0 外:Hue N4/0	18号溝、33号堅合層、 此物沈殿層		
	153	磁器器	耳	17.8 底径 8.0 脚高	底盤2/3	内:回転ナラ、 外:回転ナラ、ナラ、 楓	内:Hue NS/0 外:Hue N4/0	18号溝、33号溝上		
	154	磁器器	耳	13.2 底径 7.0 脚高	1/6	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ	内:Hue SYR5/1 外:Hue SYR5/1	33号溝上		
	155	磁器器	耳	10.0 底径 8.0 脚高	1/2	内:回転ナラ、ナラ、 外:回転ナラ、楓	内:Hue NT/0 外:Hue SY/0	33号溝上、33号溝合 層前「大」あり 一部自然縫あり		

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

回	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土組織	備考
30	156	瓶	口径 底径 高さ	11.2	断面1/2	内: 回転ナデ、ナデ 外: ナデ、削り、削オ サク	内: Huc 25Y5/1 外: Huc 10Y1R4/2	33号溝上	内面に土片付着
	157	瓶	高 环		断部1/3	内: 回転ナデ	内: Huc 10Y1R6/3	33号溝上	
	158	瓶	高 环		断部3/4	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 10Y1R6/5 外: Huc 10Y1R5/4	33号溝上	
	159	瓶	高 环		断部1/2	内: ナデ 外: 回転ナデ、クシナ デ	内: Huc 10R1G1/1 外: Huc 10R1G1/2	33号溝上	内外面自然釉あり
	160	瓶	高 环		断部3/4	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y5/1 外: Huc 25Y5/2	33号溝上	自然釉あり
31	161	瓶	口径 底径 高さ	15.0	口縁部1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 5R-0 外: Huc 5A-0	33号溝上	
	162	瓶	口径 底径 高さ	11.2	口縁部1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y5/2 外: Huc 25Y4/1	33号溝上	
	163	瓶	長颈瓶		約1/3	内: 回転ナデ、削り タキナ 外: 回転ナデ、削り タキナ	内: Huc 25Y4/2 外: Huc 25Y4/1	18号溝、33号溝上、33 号溝下、16号溝、33号 溝の可能性発土中	
	164	瓶	瓶	24.4	約1/4	内: 回転ナデ、削り タキナ 外: 回転ナデ、削り タキナ	内: Huc 25Y4/1 外: Huc 25Y5/1	18号溝、33号溝上、33 号溝下、33号溝含む	
	165	瓶	环	13.0	約1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y4/4 外: Huc 25Y4/3	33号溝下	
	166	土器	环	14.0 底径 高さ	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Huc 5YR6/6 外: Huc 2YR6/6	33号溝下	
	167	土器	环	14.0 底径 高さ	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 5YR6/6 外: Huc 5YR6/6	33号溝下	
	168	土器	环	13.5 底径 高さ	1/2	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 5YR6/6 外: Huc 5YR6/6	18号溝上、33号溝下	
	169	土器	环	13.0 底径 高さ	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Huc 25Y5/6 外: Huc 5YR6/6	18号溝上、33号溝下	挽きムラあり
	170	土器	瓶	12.0 底径 高さ	1/6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y5/6 外: Huc 25YR5/6	33号溝下	内外面赤色化粧土
32	171	土器	瓶	15.3 底径 高さ	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Huc 5YR6/6 外: Huc 5YR7/6	14号溝(13号溝)、33 号溝上、下	ヘラ記号あり
	172	土器	瓶	25.0	口縁~朝部	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り ハケ目	内: Huc 25Y5/6 外: Huc 10Y1G/3	33号溝下	表面吹きこぼれ痕あり
	173	土器	瓶	28.0	口縁~朝部	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、ハケ目	内: Huc 25Y5/2 外: Huc 10Y1G/4	33号溝下	
	174	土器	瓶	32.0	口縁~朝部	内: ナデ 外: ナデ	内: Huc 25Y5/2 外: Huc 10Y1G/4	33号溝下	
	175	土器	高 环		断部1/4	内: 剥り 外: 回転ナデ	内: Huc 5YR6/6 外: Huc 5YR7/6	33号溝下	
	176	土器	瓶		把手のみ	内: ナデ、剥離底 外: ナデ、削り、削離 底	内: Huc 10Y1R7/6 外: Huc 25YR8/6	33号溝下	
	177	土器	瓶		把手のみ	内: 剥り 外: ナデ、削オイエ	内: Huc 25Y9/3 外: Huc 25Y9/4	33号溝下	
	178	瓶	瓶	36.0	1/8	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 10Y6/1 外: Huc 10Y6/1	33号溝下	
	179	瓶	瓶	15.6 底径 高さ	1/4	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ	内: Huc 25Y5/1 外: Huc 25Y5/1	33号溝下	
	180	瓶	环	12.2 底径 高さ	2.2	壳 附	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y7/1 外: Huc 25Y7/1	33号溝下
33	181	瓶	环	12.0 底径 高さ	1/2	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 5Y6/1	33号溝下 33号溝上、下 18号溝、底土中	
	182	瓶	瓶	12.4 底径 高さ	1/4	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ	内: Huc 5Y5/2 外: Huc 10Y1S/2	33号溝下	
	183	瓶	瓶	12.4 底径 高さ	1/3	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ、ナデ	内: Huc 5Y6/1 外: Huc 5Y6/1	33号溝下	
	184	瓶	瓶	12.8 底径 高さ	断部~底部	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 10Y5/1 外: Huc 10Y5/1	18号溝、18号溝下、33 号溝下、18号溝・33号 溝の可能性発土中	
	185	瓶	瓶	17.4 底径 高さ	口縁部 1/4	内: 剥離ナデ、削り 外: 回転ナデ	内: Huc 25Y4/3 外: Huc 25Y4/2	33号溝下	
	186	瓶	高台付 小 瓶	6.4 底径 高さ	口縁部~一部	内: 回転ナデ、削り 外: 回転ナデ、削り	内: Huc 25Y6/1 外: Huc 5Y4/1	33号溝下	外表面自然釉付着
	187	瓶	瓶	7.4	断部	内: 回転ナデ、タキナ 外: ナデ、タキナ	内: Huc 10Y3/2 外: Huc 37/6	33号溝下	内外面に自然釉あり

回	番号	道 物	埋植(断続)	測量(cm)	成 長 率	特 徴	色	圖	出土遺構	備 考
32	188	土師器	环	口径 36 底径 30 高さ 9.8	約1/8	内: 回転ナラ、ナラ 外: 亂引	内: Hoc 25YR7/4 外: Hoc 10YR7/3	23号溝上		
	189	土師器	环	口径 33.6 底径 24 高さ 8.4	約1/8	内: 回転ナラ、樹脂 外: 回転ナラ、崩り、 乱引	内: Hoc 5YR6/6 外: Hoc 5YR6/6	23号溝上		
	190	土師器	环	口径 37.0 底径 36 高さ 3.6	約1/2	内: 回転ナラ、崩き 外: 回転ナラ、崩り、 乱引	内: Hoc 25YR6/6 外: Hoc 25YR6/6	23号溝上・下、23号溝	外表面赤化粧土	
	191	土師器	环	口径 33.8 底径 7.5 高さ 2.5	HDP定形	内: 回転ナラ、崩き 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 25YR6/8 外: Hoc 25YR6/8	18号溝上、18号溝下、 下、33号溝下		
	192	土師器	灯明瓶	口径 45 底径 69	HDP定形	内: 回転ナラ、崩り 外: 回転ナラ、ナラ	内: Hoc 5YR6/6 外: Hoc 5YR6/6	23号溝	瓶底芯切り 内面に墨書き(判読不可)あり	
	193	土師器	甕	口径 28.2	約1.5	内: 回転ナラ、崩り 外: 回転ナラ、ナラ、 ハケ目	内: Hoc 25Y/3 外: Hoc 25Y/3	23号溝上、23号溝下		
	194	土師器	甕	口径 25.2	口縁~側部片	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ、 崩れ	内: Hoc 10YR8/4 外: Hoc 10YR8/4	23号溝上、23号溝下		
	195	土師器	甕	口径 25.0	口縁1/2~側部	内: 回転ナラ、崩り、 ハケ目	内: Hoc 25Y/3 外: Hoc 25Y/3	23号溝上、23号溝下		
	196	瓦窯器	蓋	口径 17.3 底径 20	約1/4	内: 回転ナラ、崩り 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 5Y/1 外: Hoc 5Y/1	14号溝(13号溝と同 じ)、33号溝上、33号 溝下		
	197	瓦窯器	环	口径 12.8 底径 8.4 高さ 2.5	1/3	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ	内: Hoc 5Y/1 外: Hoc 5Y/1	23号溝上、23号溝下		
	198	瓦窯器	环	口径 12.4 底径 8.0 高さ 3.8	約1/4	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ	内: Hoc 7SY/1 外: Hoc 7SY/1	23号溝上、23号溝下		
	199	瓦窯器	环	口径 15.5	口縁部1/8	内: 回転ナラ 外: 回転ナラ	内: Hoc 10YR5/4 外: Hoc 7SY/1	23号溝上、23号溝下		
	200	瓦窯器	甕	口径 11.0 底径 9.0 高さ 1.8	1/2	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ	内: Hoc 5Y/1 外: Hoc 5Y/1	23号溝上、23号溝下		
	201	瓦窯器	甕	口径 11.0 底径 9.0 高さ 1.8	約1/2	内: 回転ナラ、崩り 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 7SY/1 外: Hoc 7SY/1	23号溝上、23号溝下	自然釉あり	
	202	瓦窯器	甕	口径 最大径12.5 底径 13.0	約1/2	内: 回転ナラ 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 5Y/0 外: Hoc 4Y/0	15号溝、23号溝、23号 溝上、23号溝下、23号 溝22、23号溝此物化 粧土	外表面に自然釉あり	
	203	瓦窯器	甕	口径 21.8 底径 14.4 高さ 2.0	1/2	内: 回転ナラ、ナラ、 崩れ 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 25Y/5/2 外: Hoc 7SY/2.3	16号溝、23号溝上、23 号溝下、23号溝3N1・ N2、23号溝上東		
33	204	瓦窯器	瓦	口径 最大径19.8 底径 11.6	2/3	内: 回転ナラ、ナラ 外: ナラ、崩れ	内: Hoc 5Y/2.1 外: Hoc 25Y/4.2	15号溝、19号溝上、23 号溝上、23号溝下、23号 溝外部上部に朽の付痕あり		
	205	瓦窯器	瓦	口径 12.8	口縁1/2~ 側部片	内: 回転ナラ、崩り 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 10YR5/2 外: Hoc 10YR5/2	23号溝上、23号溝下		
	206	瓦窯器	瓦	口径 21.4 底径 19.8 高さ 2.0	口縁部約1/4	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ、 崩れ	内: Hoc 5Y/2 外: Hoc 5Y/2 Hoc 5Y/2.1 Hoc 5Y/2	23号溝上、23号溝下、 23号溝		
	207	瓦窯器	瓦	口径 21.8 底径 18.8 高さ 2.0	崩部片	内: ナラ、ナラ 外: ナラ、ナラ、 崩れ	内: Hoc 5S/0 外: Hoc 5S/0	23号溝上、23号溝下	自然釉あり	
	208	瓦窯器	瓦	口径 21.8 底径 18.8 高さ 2.0	崩部片	内: ナラ、 外: ナラ	内: Hoc 5S/0 外: Hoc 5S/0	18号溝、23号溝上、 23号溝黒盤合被		
	209	瓦窯器	檐	口径 13.3 底径 10.0 高さ 2.0	約1/2	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ	内: Hoc 25Y/8/1 外: Hoc 25Y/7/1	14号溝(13号)、18号 溝、23号溝上、23号 溝下、23号溝上、23号 溝此物化粧土		
	210	土師器	蓋	口径 21.4 底径 19.8 高さ 2.0	1/4	内: 回転ナラ、ナラ、 崩れ 外: 回転ナラ、ナラ、 崩れ	内: Hoc 5YR6/6 外: Hoc 5YR6/6	23号溝上	赤化粧土	
	211	土師器	环	口径 11.8		内: 回転ナラナラ 外: 回転ナラ、ナラ、 崩れ	内: Hoc 7SYR7/6 外: Hoc 7SYR7/6	23号溝上		
	212	土師器	环	口径 12.4 底径 7.3 高さ 4.1	HDP定形	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ	内: Hoc 25YR7/2 外: Hoc 25YR7/2 Hoc 7SYR6/3	23号溝上		
	213	土師器	环	口径 12.6 底径 8.4 高さ 2.9	1/2	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ 崩れ	内: Hoc 10YR7/4 外: Hoc 10YR7/4	23号溝下		
	214	土師器	杯	口径 12.5 底径 7.8 高さ 2.9	3/4	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ	内: Hoc 5YR6/6 外: Hoc 5YR6/6	23号溝上	赤	
	215	土師器	环	口径 13.3 底径 6.2 高さ 3.1	3/4	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ、 △状跡	内: Hoc 7SYR7/8 外: Hoc 7SYR7/8	23号溝上		
	216	土師器	环	口径 13.2 底径 8.2 高さ 2.8	2/3	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、ナラ 崩れ	内: Hoc 5YR6/6 外: Hoc 5YR6/6	23号溝上	「十」字へ記号あり 赤化粧土	
	217	黑色磨研土器	甕	口径 7.9 底径 6.4	1/4	内: 崩れ 外: 崩れ	内: Hoc 7SYR17/1 外: Hoc 7SYR7/3	23号溝		
	218	土師器	甕	口径 12.5 底径 8.4 高さ 6.4	2/3	内: 回転ナラ、ナラ 外: 回転ナラ、崩り	内: Hoc 25YR5/6 外: Hoc 25YR5/6	23号溝	外表面赤化粧土	

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(050)調査地点

区	番号	遺物	種類(品種)	法長(cm)	保存率	特 訴	色 調	出土遺物	圖 号
33	219	土師器	瓶	口径 19.2 底径 11.4 高さ 14.4	1/8	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 2SYR6-6 外: Hue 2SYR6-6	18号渠、35号渠乱立の 終点	内外面赤色化粧土
34	220	土師器	瓶	口径 14.4 底径 11.1 高さ 13.5	口径～底部	内: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 5YR6-6 外: Hue 2SYR7-6	35号溝上	
	221	土師器	瓶	口径 15.0 底径 12.2 高さ 14	1/2	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 5YR6-6 外: Hue 5YR6-6	35号溝上	赤彩
	222	土師器	壺	口径 16.0 底径 13.5 高さ 16.0	底部片	内: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃	内: Hue 10YR7-6 外: Hue 10YR7-6	35号溝	
	223	土師器	壺	口径 16.0 底径 13.5 高さ 16.0	口縁部分	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 10YR6-4 外: Hue 10YR4-1	35号溝中央部	
	224	土師器	壺	口径 16.0 底径 13.5 高さ 16.0	1/3	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 2SYR6-8 外: Hue 2SYR6-8	35号溝	郊部粘土片付 内外面赤色化粧土
	225	土師器	壺	口径 11.0 底径 10.0 高さ 11.0	口縁部分	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 10YR6-6 外: Hue 10YR6-4	35号溝上東端	
	226	土師器	壺	口径 25.0 底径 22.0 高さ 25.0	口縁～剥離部	内: 回転ナギ、ナギ、 ハサ目 外: 回転ナギ、ナギ、 ハサ目	内: Hue 10YR4-1 外: Hue 10YR6-4	35号溝中央部	内面にスヌ村番
	227	土師器	壺	口径 26.6 底径 23.5 高さ 26.6	口縁～剥離部	内: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 ハサ目、鋸刃	内: Hue 10YR7-6 外: Hue 10YR7-6	35号溝上、35号溝(中 央部)、35号溝ベルト	
	228	土師器	壺	口径 29.4 底径 26.5 高さ 29.4	口縁～剥離部	内: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 ハサ目	内: Hue 10YR7-6 外: Hue 10YR6-4	35号溝中央部	内面一部にスヌ村番
	229	土師器	壺	口径 30.8 底径 27.5 高さ 30.8	口縁部分	内: ニヨナギ 外: ニヨナギ、ハサ目	内: Hue 10YR7-4 外: Hue 10YR7-4	35号溝中央部	
	230	土師器	瓶	口径 36.4 底径 32.0 高さ 36.4	取手のみ	内: 鋸刃 外: ナギ	内: Hue 5YR6-6 外: Hue 5YR6-6	35号溝下	
	231	土師器	瓶	口径 36.4 底径 32.0 高さ 36.4	把手のみ	内: ナギ、鋸刃 外: ナギ、鋸刃、鋸子 等々	内: Hue 5YR5-3 外: Hue 2SYR5-3	35号溝下東端	
	232	土師器	瓶	口径 46.4 底径 42.0 高さ 46.4	口縁部分	内: 回転ナギ 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 5Y7/2	35号溝上	
	233	土師器	瓶	口径 56.4 底径 51.0 高さ 56.4	1/2	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 5Y6-2 外: Hue 5Y6-2	35号溝中央部	
	234	土師器	瓶	口径 12.2 底径 10.0 高さ 12.2	口縁～底部	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、ナギ、 ハサナギ	内: Hue 2SY5/1 外: Hue 5Y5/1	35号溝上	
	235	土師器	瓶	口径 14.0 底径 9.5 高さ 14.0	3/4	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 2SY8/6-4 外: Hue 5Y6-2	35号溝上	
	236	土師器	瓶	口径 14.6 底径 9.5 高さ 14.6	底部片	内: 回転ナギ 外: ナギ	内: Hue 2SY8/6-4 外: Hue 5Y6-6	35号溝下	ヘタ記号「十」あり
	237	土師器	瓶	口径 12.8 底径 7.2 高さ 12.8	1/6	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ	内: Hue 5Y6-1 外: Hue 5Y6-1	35号溝下東端	
	238	土師器	瓶	口径 11.2 底径 7.0 高さ 11.2	瓶底1/3 ～剥離部	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 2SY6-4 外: Hue 2SY6-4	35号溝中央部	自然転あり
	239	土師器	瓶	口径 12.0 底径 7.0 高さ 12.0	1/2	内: 回転ナギ、ナギ 外: 30板ナギ	内: Hue 5Y6-1 外: Hue 5Y6-1	35号溝中央部	
	240	土師器	瓶	口径 12.5 底径 7.0 高さ 12.5	1/2	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 2SY6-1 外: Hue 2SY6-1	35号溝下	
	241	土師器	瓶	口径 14.5 底径 8.9 高さ 14.5	3/4	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、ナギ	内: Hue 2SY6-1 外: Hue 2SY6-1	35号溝上	
	242	土師器	瓶	口径 9.6 底径 6.5 高さ 9.6	底部1/2	内: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃	内: Hue 7SY6-2 外: Hue 7SY6-2	35号溝上	
	243	土師器	瓶	口径 8.8 底径 6.5 高さ 8.8	底部片	内: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/2	35号溝	
	244	土師器	台付瓶	口径 9.0 底径 7.3 高さ 9.0	底部2/3 ～剥離部	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	35号溝上	
	245	土師器	瓶	口径 10.3 底径 8.9 高さ 10.3	1/6	内: 回転ナギ、ナギ 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 7SY5/1 外: Hue 7SY5/1	35号溝	
	246	土師器	二重口付瓶	口径 14.6 底径 9.5 高さ 14.6	口縁～剥離部	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 5Y4/4 外: Hue 5Y4/1	35号溝、18号溝交点付 内面に直熱転付着	
	247	土師器	瓶	口径 9.6 底径 7.0 高さ 9.6	底部片	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/2	35号溝中央部	
	248	土師器	瓶	口径 11.2 底径 8.5 高さ 11.2	瓶底～瓶底片	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、ナギ、 鋸刃	内: Hue 2SGY5-7 外: Hue 2SGY5-7	35号溝上、35号溝下 割り出し尚存	
	249	土師器	長脚瓶	口径 32.4 底径 26.0	約1/5	内: 回転ナギ、鋸刃 外: 回転ナギ、鋸刃	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y4/1	18号溝、18号溝上、35号 溝底付着、35号溝上 自然転あり	

図	番号	遺物	種類(基種)	法長(cm)	残存率	特徴	色	質	出土位置	備考	
										内	外
34	250	鏡	鏡	口径 底径 厚	9.8	側部～底部分	内：回転ナメ、削り、 外：回転ナメ、削り、 タクナメ	内：Hue 75N5/2 外：Hue 75N5/1	35号講下家雨		
	251	鏡	鏡	口径 底径 厚	17.0	鋸部	内：回転ナメ、削り、 外：回転ナメ、削り、 タクナメ	内：Hue 75N5/1 外：Hue 75N5/2	35号講上	外側に自然縫あり	
	252	鏡	鏡	口径 底径 厚	40.4	口径～鋸部	内：回転ナメ、削り、 外：回転ナメ、削り、 タクナメ	内：Hue 38N9/9 外：Hue 38N9/8	35号講下家雨	外側に文様あり	
35	253	鏡	鏡	口径 底径 厚	17.0	鋸部	内：ナメ、タクナメ 外：ナメ、タクナメ	内：Hue 75N6/2 外：Hue 75N5/1	35号講中央部		
	254	鏡	鏡	口径 底径 厚	17.2	鋸部	内：ナメ、タクナメ 外：ナメ、タクナメ	内：Hue 75N7/2 外：Hue 10YKG7/6	35号講中央部		
	255	土師器	壺	口径 底径 厚	17.2	口径部1/2分 鋸部又	内：回転ナメ、ナメ 外：ナメ、ハナ目	内：Hue 75N8/6 外：Hue 75N8/4	77号講		
	256	土師器	壺	口径 底径 厚	19.0	環部約1/4	内：回転ナメ、ハナ目 外：回転ナメ	内：Hue 25N8S/6 外：Hue 10RS/8	77号講		
	257	土師器	壺	口径 底径 厚	19.0	鋸部約2/3	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、ナメ、 削り	内：Hue 10YK6/4 外：Hue 10YK6/3	77号講		
	258	土師器	小型丸瓶	口径 底径 厚	16.1	鋸部	内：ヨコナメ、ナメ 外：ヨコナメ、ナメ、 ハナ目	内：Hue 10VH7/6 外：Hue 10VH5/4	77号講		
	259	土師器	壺	口径 底径 厚	11.3	約1/3	内：回転ナメ、削り、 外：回転ナメ、ハナ目	内：Hue 10VH6/6 外：Hue 31YH6/6	77号講		
	260	鏡	鏡	口径 底径 厚	14.6	1/2	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、鋸部へ 削り	内：Hue 75N6/1 外：Hue 23Y6/1	77号講、西側包含管		
	261	鏡	鏡	口径 底径 厚	18.0	口径1/4	内：回転ナメ、ナメ、 削り 外：回転ナメ、ハナ目	内：Hue 58S/4 外：Hue 10YK6/1	77号講		
262	262	土師器	壺	口径 底径 厚	13.2	3/4	内：回転ナメ、ナメ、 削り 外：回転ナメ	内：Hue 10YK7/6 外：Hue 59W6/6	14号講 (13号講)	東シムラアカ 底部外側にハナ記号あり	
	263	ミニチュア 土器	杯	口径 底径 厚	3.5	2/3	内：回転ナメ 外：回転ナメ	内：Hue 5YR2/6 外：Hue 5YR7/6	13号講ベルト下	表面赤切り	
264	264	土師器	壺	口径 底径 厚	6.4	111号講	内：回転ナメ 外：回転ナメ	内：Hue 25YR7/6 外：Hue 5YR7/6	14号講 (13号講)	表面赤切り 口唇部にスス付着	
	265	土師器	壺	口径 底径 厚	4.0	3/4	内：回転ナメ、削り 外：回転ナメ、ナメ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	14号講 (13号講)	表面赤切り	
266	266	土師器	壺	口径 底径 厚	4.0	約1/3	内：回転ナメ 外：回転ナメ、ナメ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	14号講 (13号講)	表面赤切り 口唇部にスス付着	
	267	土師器	壺	口径 底径 厚	4.7	底部1/3	内：回転ナメ 外：回転ナメ	内：Hue 25YR7/6 外：Hue 5YR7/6	14号講 (13号講)	表面赤切り	
268	268	土師器	杯	口径 底径 厚	5.8	1/2	内：回転ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 5YR7/4 外：Hue 25YR7/4	14号講 (13号講)	黒丸あり	
	269	土師器	杯	口径 底径 厚	14.0	2.6	内：回転ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	14号講 (13号講)	表面に黒斑あり	
270	270	鏡	鏡	口径 底径 厚	18.0	1/6	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ	内：Hue 25Y7/3 外：Hue 5Y8/4	14号講 (13号講)		
	271	鏡	鏡	口径 底径 厚	13.4	1/2	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/1	14号講 (13号講)		
272	272	瓦	瓦	長さ 幅 厚	7.4	1/3	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 25Y5/1 外：Hue 5Y5/1	14号講 (13号講)	要部三脚型の可能性あり	
	273	瓦	瓦	長さ 幅 厚	6.5	2.2	側部～鋸部	内：回転ナメ、削り 外：回転ナメ、削り	内：Hue 75Y5/1 外：Hue 75Y4/1	14号講 (13号講)	側部に抉り5～6ヶ所あり
274	274	瓦質土器	小型丸鉢	口径 底径 厚	9.0	1/3	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 25Y5/1 外：Hue 5Y5/1	14号講 (13号講)		
	275	瓦	瓦	長さ 幅 厚	22.2	側部～鋸部	内：回転ナメ、削り 外：回転ナメ、削り	内：Hue 75Y5/1 外：Hue 75Y4/1	14号講 (13号講)	側部に抉り5～6ヶ所あり	
276	276	土師器	壺	口径 底径 厚	13.6	4/5	内：回転ナメ、削り 外：回転ナメ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	14号講上、33号講上、 33号講下		
	277	土師器	壺	口径 底径 厚	9.0	鋸部1/2	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 75YR6/6 外：Hue 75YR6/6	14号講		
278	278	土製品	円盤状器	長さ 幅 厚	6.5	完形	内：ナメ	内：Hue SYR6/8 外：Hue SYR6/8	14号講	環境にも化粧土あり	
	279	鏡	鏡	口径 底径 厚	7.0	1/3	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り	内：Hue 75Y7/1 外：Hue 75Y7/1	14号講、33号講上		
280	280	鏡	鏡	口径 底径 厚	11.5	3/5	内：回転ナメ、ナメ 外：回転ナメ、削り、 タクナメ	内：Hue 10GGY6/1 外：Hue 10GGY6/1	14号講		

1. (医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動先) に伴う発掘調査 (0509調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土清掃	備考
36	281	環状器	瓶	口径 底径 高さ	10.8	底部のみ	内：回転ナデ、ナデ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 15YR6/4 外：Hue 15YR4/4	18号溝 自然堆积着
	282	土師器	瓶	口径 底径 高さ	24.5	口縁部	内：回転ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	18号溝
	283	土師器	瓶	口径 底径 高さ	27.0	口縁～腹部	内：回転ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 25Y9/6 外：Hue 25Y7/6	18号溝上
	284	土師器	瓶	口径 底径 高さ	27.6	口縁～腹部	内：回転ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR6/2	18号溝
	285	環状器	瓶	口径 底径 高さ	22.0	口縁/4 →縁部	内：回転ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、崩れ、 タカキ	Hue 25Y6/1 外：Hue 25Y5/1	18号溝上
	286	環状器	瓶	口径 底径 高さ	22.0	口縁～腹部	内：回転ナデ、タカキ 外：回転ナデ、タカキ、 タカキ	Hue NS/0 外：Hue 25GY5/1	18号溝
37	291	環状器	瓶	口径 底径 高さ	61.1	縁部	内：回転ナデ、タカキ 外：回転ナデ、タカキ	Hue 25YR3/1 外：Hue N7/0	18号溝上、33号溝上、 33号溝下、35号溝下
	292	環状器	瓶	口径 底径 高さ	61.1	縁部	内：ナデ、タカキ 外：ナデ、タカキ	Hue 25Y5/1 外：Hue 25Y5/2	18号溝
	293	瓦質土器	火 筒	口径 底径 高さ	42.2	約1/5	内：ナデ、板ナデ、 崩れ 外：ココナツ	Hue SY6/3 外：Hue 25Y3/1	18号溝上、東側(瓦質 層上層)
	294	土師器	高 瓶	口径 底径 高さ	42.2	胸部約1/3	内：ナデ、崩れ 外：ココナツ、崩れ	Hue 10YR7/6 外：Hue 10YR4/4	18号溝
	295	土師器	灯明瓶	口径 底径 高さ	5.9	111F形兜	内：回転ナデ、崩れ 外：回転ナデ	Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR7/3	瓦質糞切引 口縁にスヌ付着
	296	土師器	杯	口径 底径 高さ	10.6	口縁部 1/4欠	内：ナデ、 外：回転ナデ、ナデ	Hue 25YR2/4 外：Hue 25YR2/6	12号土坑No19
38	297	土師器	杯	口径 底径 高さ	11.6	2/3	内：回転ナデ、ナデ、 崩れ 外：回転ナデ、ナデ、 崩れ	Hue SYR6/6 外：Hue SYR6/4	12号土坑
	298	土師器	瓶	口径 底径 高さ	2.4	底部	内：回転ナデ、崩れ 外：回転ナデ、ナデ、 崩れ	Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/8	12号土坑 中砂化粘土付着
	299	土師器	瓶	口径 底径 高さ	11.4	口縁部 一部欠	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、ナデ	Hue SYR5/6 内：Hue 7.5YR6/6	12号土坑No8
	300	土師器	瓶	口径 底径 高さ	62.5	口縁部全欠 底部完全欠	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、崩れ	Hue SYR7/4 内：Hue 10YR5/2	12号土坑 No6
	301	土師器	瓶	口径 底径 高さ	53.5	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ、崩れ	Hue NS/0 内：Hue 25YS/1	12号土坑No2
	302	土師器	脚付瓶	口径 底径 高さ	85	底部1/3	内：崩れ 外：回転ナデ、崩れ	Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	12号土坑No12、 12号土坑車
39	303	土師器	湯 瓶	口径 底径 高さ	23.6	底部	内：回転ナデ、ナデ、 外：回転ナデ	Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR6/6	12号土坑 内外面にスス付着
	304	土師器	瓶	口径 底径 高さ	1.2	内：回転ナデ、ナデ、 外：回転ナデ、崩れ	Hue SYR6/4 内：Hue 5YR6/6	12号土坑 内外面にスス付着	
	305	土師器	瓶	口径 底径 高さ	1.6	内：ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 5YR6/4 内：Hue 5YR6/6	12号土坑 内外面にスス付着	
	306	土師器	瓶	口径 底径 高さ	23.0	口縁～腹部	内：回転ナデ、崩れ、 外：回転ナデ、ナデ、 ナデ	Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/6	12号土坑
	307	土師器	瓶	口径 底径 高さ	22.6	口縁～腹部	内：回転ナデ、崩れ 外：回転ナデ、ナデ	Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	12号土坑No8
	308	土師器	瓶	口径 底径 高さ	11.1	口縁～腹部 約1/6	内：回転ナデ、崩れ 外：回転ナデ、崩れ	Hue 10YR3/2 外：Hue 5Y3/4	9号土坑壁

回	番号	遺物	種類(器種)	法長(cm)	規 格	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
36	311	縄 器	鉢	口径 18.0 底径 7.4 厚さ 3.3	1/3	内：施釉外：施白釉	内：Hae 25GY7/1 外：Hae 25GY7/1	13号溝	白組
	312	縄 器	鉢	底径 6.8 底径 4.8 厚さ 4.8	1/2	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に乳頭で支撑を施く 1780~180年代（大正中期）
	313	縄 器	碗	口径 6.3 底径 3.2 厚さ 3.3	1/2	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に乳頭で支撑を施く 1780~180年代（大正中期）
	314	縄 器	碗	口径 7.5 底径 6.6 厚さ 6.6	1/2	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に乳頭で支撑を施く 1780~180年代（大正中期）
	315	縄 器	碗	口径 8.9 底径 4.4 厚さ 5.4	11.1R完形	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に乳頭で支撑を施く
	316	縄 器	碗	口径 11.5 底径 5.2 厚さ 5.3	3/4	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に乳頭で支撑を施く
	317	縄 器	碗	口径 16.2 底径 5.8 厚さ 6.1	1/2	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎に音符がかる透明釉あり コバルト青で落台
	318	縄 器	皿	口径 13.6 底径 4.4 厚さ 4.4	3/4	内：施釉外：施白釉	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	白組胎にビンタ色の釉が入る
	319	陶 器	鉢	口径 15.6 底径 5.4 厚さ 9.0	4/5	内：施釉外：施白釉、ヘラ割り	内：Hae 107RS-2 外：Hae 107RS-2 内：Hae 107RS-3 外：Hae 107RS-3	14号溝（13号溝）	内部 動土目あり 萬古引出し
	320	縄 器	皿	口径 13.9 底径 8.0 厚さ 4.4	11.1R完形	内：施釉外：施白	内：Hae 72GY9/1 外：Hae 72GY9/1	14号溝（13号溝） 14号溝（13号溝）	白組 動土目あり 萬古引出し
	321	陶 器	土 瓢	口径 7.6 底径 5.0 厚さ 2.9	約5.9	内：粗版ナマ 外：粗版ナマ、削り	内：Hae 107RS-2 外：Hae 5Y3-2	14号溝（13号溝） 櫻花上	
	322	陶 器	土 瓢	口径 7.3 底径 7.0 厚さ 9.4	11.1R完形	内：粗版ナマ 外：削り	内：Hae 72GY9/3 外：Hae 107RS-1/1	14号溝（13号溝） 櫻花上	
	323	陶 器	甕立て	口径 7.4 底径 6.8 厚さ 13.1	11.1R完形	内：ナマ 外：赤目、落輪	内：Hae 23GY8/2 外：Hae 107S-1	14号溝（13号溝） 赤目	赤目表面 落輪の内外面有目 銀部板の内付 分合ひ型の脚
	324	陶 器	瓶片調子	口径 5.7 底径 4.5 厚さ 0.6	完 形	内：	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	赤目表面 表裏有目 落輪の内付用
	325	陶 器	瓶片調子	口径 5.5 底径 5.3 厚さ 1.6	完 形	内：	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝）	赤目表面 内付有目 落輪の内付用
	326	縄 器	碗	口径 2.5 底径 2.4 厚さ 3.0	完 形	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	25号溝	内面白刷に色絞付
	327	縄 器	碗	口径 3.8 底径 3.7 厚さ 5.7	完 形	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	25号溝	白組胎に乳頭で支撑を施く
	328	縄 器	碗	口径 6.6 底径 3.4 厚さ 6.1	1/2	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	28号溝	白組胎に乳頭で支撑を施く 1780~180年代か
	329	縄 器	碗	口径 9.7 底径 3.6 厚さ 5.0	完 形	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	28号溝	白組胎に乳頭で支撑を施く
	330	陶 器	碗	口径 9.5 底径 4.4 厚さ 5.0	1/2	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	28号溝	全面上に細かな落入 白刷にやや青味を帯びる透明釉あり
	331	縄 器	碗	口径 9.5 底径 3.6 厚さ 5.8	1/2	内：施釉外：施白	内：Hae 72VS-2 外：Hae 107RS-1	28号溝	
	332	縄 器	蓋	口径 9.8 底径 3.8 厚さ 2.9	3/4	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	14号溝（13号溝） 33号溝	白組胎に内外コバルトで染付
	333	青 瓷	小 皿	口径 10.0 底径 5.4 厚さ 2.5	4/5	内：施釉外：施白、底部は削り出し	内：Hae 5GY7/1 外：Hae 5GY7/1	35号溝（13号溝）	純の日吉台
	334	青 瓷	杯	口径 12.6 底径 4.6 厚さ 2.6	1/6以下	内：施釉外：施白	内：Hae 72GY6-1 外：Hae 72GY6-1	植合層上面西側清掃	
	335	青 瓷	皿	口径 12.6 底径 4.6 厚さ 2.6	11.1R完形	内：施釉外：施白	内：Hae 外：Hae	28号溝	見出みは純の日吉台はさ やや青味を帯びた釉で南付部は 緑色に色 該付記手彌丸か（1730~1740年頃）
	336	执 器	鉢	長さ 11.75 幅 3.95 厚さ 1.30	尖端欠損	内：外：	内：Hae 外：Hae	33号溝の可能性大 兔土	重量29.2g
	337	执 器	刀子？	長さ 6.2 幅 2.2 厚さ 0.25	一部残存	内：外：	内：Hae 外：Hae	50号堅穴住居	重量11.2g
	338	执 器	鎹	長さ 5.15 幅 2.2 厚さ 0.25	刃部欠損	内：外：	内：Hae 外：Hae	50号堅穴住居	重量5.0g
	339	調製品	椎 管	長さ 5.15 幅 1.15 厚さ 1.15	吸口のみ	内：	内：Hae 外：Hae	植合層	重量4.1g 吉草文様あり
	340	調製品	椎 管	長さ 4.7 幅 1.1 厚さ 1.6	履着のみ	内：	内：Hae 外：Hae	不明	重量6.9g
	341	調製品	椎管吸い	長さ 5.59 幅 1.5 厚さ 0.6	完 形	内：外：	内：Hae 外：Hae	復合層 15号溝・13号溝開	重量4.6g
	342	执 器	刀 子	長さ 19.9 幅 1.95 厚さ 1.0	一部欠損	内：外：	内：Hae 外：Hae	16号溝	重量22.6g

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査 (0509調査地点)

固	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色・調	出土遺物	備考
38	343	青銅製品	鏡	径5.25 厚さ0.95 重さ0.92	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	包合層	重量6.6g 真鍮質
	344	青銅製品	鏡	径5.23 幅2.3 厚さ0.91	日本式定期	内: 外:	内: Hae 外: Hae	包合層	重量2.0g 真鍮・造賞
	345	青銅製品	鏡	径5.06 幅2.53 厚さ0.95	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	包合層	重量3.2g 真鍮元質(長崎貿易品)
	346	青銅製品	鏡	径5.05 幅2.45 厚さ0.91	完形	内: 外:	内: Hae 外: Hae	包合層	重量3.2g 真鍮造賞
39	347	土師器	环	口径124 底径79 高さ33	3/4	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ、ナデ	内: Hae 2.5YR5-6 外: Hae 2.5YR5-6	東側包合層上部	内側赤色化粧土
	348	土師器	环	口径124 底径76 高さ30.5	約1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hae 10YR7/4 外: Hae 10YR7/4	西側赤色土被	
	349	土師器	环	口径119 底径76 高さ30.5	約1/4	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ	内: Hae 7.5YR7/6 外: Hae 7.5YR7/6	西側包合層	
	350	土師器	环	口径69 底径69 高さ27	底部片	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ、ナデ	内: Hae 5YR6-6 外: Hae 5YR6-6	西側包合層	
	351	土師器	钵	口径102 底径89 高さ27	底部1/6	内: ナデ・削り 外: ナデ・ハケ目	内: Hae 7.5YR6/4 外: Hae 10YR6-3	901号竖穴作業坑 東側包合層	外側にスス付着
	352	土師器	高环	口径89 底径76 高さ27	底部約1/2	内: ナデ・削り・崩れ 外: ナデ・崩れ	内: Hae 7.5YR6-4 外: Hae 7.5YR6-4	包合層	
	353	土師器	高环	口径89 底径76 高さ27	底部4/5	内: ナデ・削り 外: ナデ・崩れ	内: Hae 10YR6-6 外: Hae 10YR6-6	包合層	
	354	土師器	高环	口径89 底径76 高さ27	底部2/3	内: 回転ナデ、ナデ 外: 回転ナデ、ハケ目 窓	内: Hae 5YR5-4 外: Hae 5YR5-4	東側包合層	
	355	土師器	高环	口径89 底径76 高さ27	底部1/2	内: ナデ・削り・ハケ 目 外: 回転ナデ、ハケ目 窓	内: Hae 7.5YR7/6 外: Hae 7.5YR7/6	包合層西側通路集中部	
	356	土師器	高环	口径89 底径76 高さ27	底部1/3	内: 回転ナデ、崩り 外: 回転ナデ、崩り	内: Hae 2.5YR5-6 外: Hae 2.5YR5-6	包合層上面	内側赤色化粧土
	357	土師器	高	口径233 底径200 高さ55	1/4	内: ナデ・ハケ目 外: ナデ・崩れ	内: Hae 7.5YR5-2 外: Hae 7.5YR5-4	外側一部にスス付着 底くらみあり	
	358	土師器	高	口径181 底径150 高さ55	口縁部約1/4	内: ヨコナデ・削り 前リ・ハケ目 外: ヨコナデ・ハケ目 前リ	内: Hae 10YR6-6 外: Hae 10YR6-6	西側包合層	
	359	土師器	高	口径186 底径150 高さ55	口縁部約1/5	内: ヨコナデ・崩り 外: ヨコナデ・崩り	内: Hae 10YR6-4 外: Hae 10YR6-4	西北端偏群	
	360	土師器	高	口径180 底径150 高さ55	口縁部約1/6	内: ヨコナデ・削り 前リ・指サエニ 外: ヨコナデ・ハケ目	内: Hae 7.5YR5-4 外: Hae 10YR6-4	西側包合層	
	361	土師器	二重口縁壺	口径160 底径128 高さ55	口縁部片	内: 回転ナデ・ナデ 外: 回転ナデ・ナデ ハケ目	内: Hae 10YR6-6 外: Hae 10YR6-6	西側包合層通路集中部	
	362	土師器	二重口縁壺	口径160 底径128 高さ55	口縁部片	内: 回転ナデ・崩り ハケ目 外: 回転ナデ・ハケ目	内: Hae 10YR6-4 外: Hae 10YR6-4	包合層上面清掃	
	363	土師器	壺	口径65 底径55 高さ55	把手のみ	内: 剥り 外: ナデ・指ナデ ハサ目	内: Hae 7.5YR6-6 外: Hae 7.5YR6-6	西側包合層、西側包合層	
	364	土師器	壺	口径65 底径55 高さ55	取手のみ	内: ナデ 外: ナデ・ハケ目	内: Hae 7.5YR6-6 外: Hae 7.5YR6-6	包合層上面	
	365	土師器	刃 簋	口径47 底径45 高さ215	破片	内: ナデ・指ナデ 外: ナデ・ハケ目	内: Hae 10YR7/3 外: Hae 10YR7/3	西側赤土層	
	366	单日瓦	平瓦	径8.42 幅4.5 厚さ1.9	破片	内: 有目 外: タキ	内: Hae 7.5YR7/4 外: Hae 10YR7/3	西北包合層下	
	367	单日瓦	丸瓦	径8.45 幅4.5 厚さ1.9	破片	内: 有目 外: タキ	内: Hae 2.5YR6-6 外: Hae 10YR7/3	包合層上面清掃	
	368	单日瓦	丸瓦	径8.60 幅4.0 厚さ1.9	破片	内: 有目 外: ナデ	内: Hae 10YR8-2 外: Hae 10YR7/4	包合層上面	
	369	土師器	土 釜	口径4.5 底径4.5 高さ1.5	完形	内: 外: ナデ	内: Hae 外: Hae 10YR6-4	包合層上面	重量5.0g
	370	土師器	打明皿	口径6.33 底径6.16 高さ1.6	完形	内: 回転ナデ・崩り 外: 回転ナデ	内: Hae 7.5YR6-4 外: Hae 5YR6-6	包合層上面	底面あ切り 口縁にスス付着
	371	土師器	瓶	口径12.0 底径11.5 高さ1.5	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hae 5YR6-6 外: Hae 5YR6-6	包合層上面清掃	底面に黒斑あり
	372	土製品	木製瓶	口径1.66 底径1.66 高さ1.66	日本式定期	内: ナデ・削り 外: ナデ・崩り・撒ナ デ	内: Hae 7.5YR5-2 外: Hae 7.5YR6-6	不明	重量29.0g 近代
	373	漆器類	壺	口径18.7 底径17.8 高さ32	口縁部約1/4	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ	内: Hae 7.5YR6-6 外: Hae 7.5YR6-6	西側包合層	外縁に流伏状あり
	374	漆器類	环	口径17.8 底径8.8 高さ32	1/4	内: 回転ナデ・ナデ 外: 回転ナデ・ナデ 回転ヘラ彫	内: Hae NS-0 外: Hae NS-0	18号道 包合層上面清掃	外縁口縁付近に自然地あり

回	番号	地物	種類(固有)	法縫(cm)	埋 穴 率	骨 物	色 調	出土遺構	備 考
39	375	土葬器	灰	11縫 底径 82	底部1/3	内：頭部ナデ・ナデ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 23Y4/1 外：Hue 57R4/3	混合層上面	
	376	土葬器	灰	11縫 底径 74	底部1/3	内：頭部ナデ・ナデ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 23Y7/2 外：Hue 57R4/1	混合層上面	
	377	土葬器	灰	11縫 底径 92	底部片	内：頭部ナデ・ナデ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 23Y7/2 外：Hue 75T7/1	東側混合層②	
	378	土葬器	灰	11縫 底径 223	口縫～側部 約1/4	内：頭部ナデ・ナデ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 23Y7/2 外：Hue 10T5/1	混合層 12T7-3、 西北合層	口縫内面・外縫部に自然軸あり
	379	土葬器	灰	11縫 底径 82	頭部約1/4	内：頭部ナデ・削り 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 10R5/1 外：Hue 10D5/1	西谷谷壁2号溝より車	
	380	土葬器	灰	11縫 底径 82	頭部片	内：頭部ナデ・削り 外：頭部ナデ・削り	内：Hue N4-0 外：Hue 23G4/1	西北合層(南壁)	ヘラ記号あり 自然軸あり
	381	土葬器	灰	11縫 底径 82	口縫～側部片	内：頭部ナデ・削り、 サクナ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 75T5/1 外：Hue 75V5/1	西谷合層	自然軸あり
	382	土葬器	灰	11縫 底径 82	頭部1/4	内：頭部ナデ・ナデ 外：頭部ナデ	内：Hue 75T5/1 外：Hue 75V5/1	混合層上面	
40	383	土葬器	灰	11縫 底径 82	口縫～側部片	内：頭部ナデ・削り、 サクナ 外：頭部ナデ・削り	内：Hue 75T5/1 外：Hue 75V5/1	車合層	前面に文様あり
	384	土葬器	灰	11縫 底径 82	頭部片	内：頭部ナデ・削り、 サクナ 外：頭部ナデ・削り、 サクナ	内：Hue 5T5/1 外：Hue 5V5/1	西(北) 包含層	
	385	浮生土器	豐野土器	11縫 底径 29.1	口縫部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10T10/4 外：Hue 10T10/4	西側包合層	
	386	浮生土器	灰	11縫 底径 36.0	口縫～側部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10T2/4 外：Hue 10T2/3	西側包合層	前面に重複あり
	387	浮生土器	豐野土器	11縫 底径 29.1	口縫～側部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 75T30/4 外：Hue 75T30/4	混合層	外面に重複あり 外縫にスス付着
	388	浮生土器	豐野土器	11縫 底径 29.1	口縫部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10T2/4 外：Hue 75T10/4	混合層上面	施口突起あり 外縫に施口あり
	389	浮生土器	豐野土器	11縫 底径 29.1	口縫部片	内：ナデ・施口サク 外：ナデ・施口サク	内：Hue 10T26/2 外：Hue 10T27/3	西側包合層	施口突起 外面にスス付着
	390	浮生土器	豐野土器	11縫 底径 54	底部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 5Y4/1 外：Hue 5Y3/3	混合層	
41	391	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 60	底部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 10T10/3 外：Hue 10T10/4	混合層	
	392	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 66	底部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T6/4 外：Hue 25T6/4	11号溝 (13号窓)	
	393	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 76	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10T10/1 外：Hue 10T10/4	107号窓穴頂層南面	
	394	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 102	頭部～底部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 10T10/1 外：Hue 10T10/4	西面混合層	内面堤防を設置 外縫に石舟あり
	395	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 106	底部1/2	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10T28/2 外：Hue 10T27/3	西北部包合層下	外面に施口あり
	396	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 226	頭部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T7/3 外：Hue 25T7/2	西側包合層、 西北部包合層下	延承か?
	397	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 416	口縫のみ	内：頭部ナデ 外：頭部ナデ	内：Hue 10T27/2 外：Hue 10T28/3	33号溝上下	
	398	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 29.8	口縫～側部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25Y6/3 外：Hue 25Y6/3	16号窓、33号窓下	黑色磨研土器 13号窓・14号窓・西側包合層 縫間に四隅を施す
42	399	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 27.9	口縫部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T5/2 外：Hue 25Y6/2	西側包合層	
	400	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 33.0	口縫部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T5/2 外：Hue 25Y6/2	西北部包合層下	
	401	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 33.0	口縫部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T6/3 外：Hue 25Y6/3	西北部包合層下	
	402	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 25.2	頭部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 25T6/4 外：Hue 10T10/4	25号窓上。混合層	側面風化層に焼締を施す
	403	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 28.9	頭部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 10T10/4 外：Hue 10T10/4	西側包合層	
	404	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 19.6	口縫部片	内：ナデ・施口 外：ナデ・施口	内：Hue 10T10/3 外：Hue 25T6/1	西側包合層 (ベルトワ ン付付)。焼締一例。	黑色磨研土器
	405	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 28.9	口縫部片	内：施口 外：施口	内：Hue 25N6/3 外：Hue 25N6/4	99号窓穴頂層Del	11縫部に沈線 (2条) を施す
	406	闕文土器	豊野土器	11縫 底径 28.9	口縫部片	内：施口 外：施口	内：Hue 10T10/2 外：Hue 10V6/2	西側包合層	黑色磨研土器

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	規 格	特 性	色 質	出土遺物	備 考
40	407	陶文土器	浅鉢形土器	27.4	口径~腹部 約1/4	内: 無き 外: 流さ	内: Hse 25Y2/1 外: Hse 25Y3/1	西側包含層	黒色磨研土器
41	408	陶文土器	浅鉢形土器	27.4	口縁部分	内: 無き 外: ナマ, 流さ	内: Hse 25Y7/2 外: Hse 25Y7/4	強含層上面	
	409	陶文土器	深鉢形土器	30.0	口縁部分	内: 無き 外: ナマ, 流さ	内: Hse 10Y8E/4 外: Hse 10Y8S/3	西側包含層	
	410	陶文土器	深鉢形土器	30.0	口縁~胴部	内: ナマ, 流さ, 頂付 外: ナマ	内: Hse 10Y8E/4 外: Hse 10Y8S/3	西北包含層下	外面にスス付着
	411	陶文土器	深鉢形土器	25.2	口縁~胴部	内: ナマ, 流さ 外: ナマ	内: Hse 25Y7/3 外: Hse 25Y7/3	104号櫛穴柱坑	波状江綾を施す
	412	陶文土器	深鉢形土器	25.2	胴部	内: ナマ 外: ナマ	内: Hse 25Y6/2 外: Hse 25Y4/2	強含層	外面に条痕あり 外側にスス付着
	413	陶文土器	深鉢形土器	25.2	胴部	内: ナマ	内: Hse 25Y6/4 外: Hse 25Y7/4	25号溝下	外面に条痕あり
	414	土器群	瓦 环	4.8	脚部	内: 回転ナマ	内: Hse 10Y8E/3 外: Hse 10Y8S/3	瓦乱	ハラ記号「十」あり
	415	土器群	小型丸瓦	10.35	脚部約2.3	内: ナマ, 直ナマ 外: ローナマ, 扇ナマ	内: Hse 5Y1/1 外: Hse 7.5YR5-6	東側挖亂	底部に内面からの穿孔が施される
	416	土器群	瓦	6.8	底部約1/2	内: 回転ナマ 外: 回転ナマ	内: Hse 10Y8E/3 外: Hse 10Y8S/3	瓦乱(逆代溝2号窓)	瓦面赤切り 外側底部に黒斑あり
	417	土器群	瓦	12.0	底部	内: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ 外: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ	内: Hse 25Y6/4 外: Hse 7.5YR5/4	瓦乱北側	
	418	積石器	集	2.6	口縁	内: 回転ナマ	内: Hse 25Y6/2 外: Hse 25Y7/2	瓦乱	
	419	土器群	瓦	25.4	口縁部分	内: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ 外: 回転ナマ, ハセナマ	内: Hse 7.5YR6/4 外: Hse 7.5YR6/4	25号溝上面, 西側挖亂層	瓦面あり
	420	布目瓦	瓦 瓦	12.0	底片	内: 布目 外: ナマ, タクモ	内: Hse N7/0 外: Hse N7/0	瓦乱	
	421	布目瓦	平 瓦	5.8	底片	内: 布目	内: Hse 10Y8E/3 外: Hse 10Y8S/2	瓦乱	
	422	土器群	瓦 砥	20.4	脚部のみ	内: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ 外: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ	内: Hse 10Y8E/4 外: Hse 10Y8S/4	外側一部に黒斑あり 脚部に持りこみ所あり	
	423	土器群	瓦 砥	21.9	底部約1/2	内: 回転ナマ, 脱り 外: 回転ナマ	内: Hse 7.5YR6/4 外: Hse 7.5YR6/4	瓦乱	内外側瓦隙
	424	瓦質土器	瓦 砥	18.8	口縁~胴部	内: 回転ナマ, ナマ, 脚ナマ 外: 回転ナマ, 脱り	内: Hse 25Y5/2 外: Hse 7.5Y5/4	瓦乱	
	425	土器群	瓦 砥	23.0	口縁完形	内: 回転ナマ 外: 回転ナマ, 脱り	内: Hse 7.5YR6/6 外: Hse 7.5YR6/6	瓦乱Nel-Nel2	
	426	土器群	社 備	5.7	把手の内	内: ナマ 外: ナマ	内: Hse 7.5YR6/4 外: Hse 7.5YR6/4	瓦乱北側中央	外側にスス付着
	427	土器群	社 備	6.1	口縁完形	内: 回転ナマ 外: 回転ナマ, ナマ	内: Hse 7.5YR6/6 外: Hse 7.5YR6/6	瓦面赤切り 11号溝にスス付着	
	428	土器群	瓦	5.9	3/4	内: 回転ナマ 外: 回転ナマ, ナマ	内: Hse 5YR6/4 外: Hse 5YR6/6	瓦乱北東部	瓦面赤切り 11号溝にスス付着
	429	陶 瓶	束 周	6.4	口縁	内: 脱り 外: ナマ, 脱り	内: Hse 25YR5/7 外: Hse 25YR5/6	瓦乱北側	内側と外側上面に施す
	430	陶 瓶	小 瓶	6.0	口縁	内: 旗縁 外: 回転ナマ	内: Hse 7.5YR3/2 外: Hse 10Y8E/2	瓦乱北マヌ底面	
	431	土製品	泥面子	5.2	口縁	内: -	内: Hse 7.5YR7/4	東南側瓦	重版5kg
42	432	陶 瓶	大 瓶	20.0	口縁~5.7 約1/4	内: ナマ 外: ナマ, 脱り	内: Hse 外: Hse	瓦乱東	外側で板竹箒を描く
	433	陶 瓶	瓶	6.9	完 形	内: 旗縁 外: 旗縁	内: Hse 外: Hse	瓦乱	白磁釉に当乳で支柱を施す 1780-1840年代(大正編年V期)
	434	陶 瓶	瓶	9.7	4/5	内: 旗縁 外: 旗縁	内: Hse 外: Hse	瓦乱	白磁釉にコバルト青で染付
	435	陶 瓶	瓶	6.0	1/2	内: 旗縁 外: 旗縁	内: Hse 外: Hse	瓦乱	白磁釉に乳頭で文様を施す 波紋模
	436	陶 瓶	瓶	5.8	3/4	内: 旗縁 外: 旗縁	内: Hse 外: Hse	瓦乱	白磁釉に乳頭で文様を施す 波紋模
	437	陶 瓶	瓶	9.0	3/4	内: 旗縁 外: 旗縁	内: Hse 10Y8E/3 外: Hse 5YR5/1	瓦乱北マヌ東側	外側に輪あり
	438	陶 瓶	瓶	8.6	1/3	内: 回転ナマ 外: 回転ナマ, ナマ	内: Hse 10Y8E/3 外: Hse 25YR3/1 10YR7/4	瓦乱	

回	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	堆存率	特徴	色	質	出土場所	備考	
										内:	外:
43	439	石斧	凹 石	長さ 185 幅 129 厚さ 69	約1/2	内: 外:	内: 外:	内: 外:	12号土塁No.11	重量148kg 鉄石	
	440	石製品	圓 石	長さ 55 幅 48 厚さ 13		破 片	内: 外:	内: 外:	13号清	重量35kg 瓦草紙G	
	441	石 器	石 手	長さ 31 幅 29 厚さ 15		破 片	内: 外:	内: 外:	14号清 (13号清)	重量15kg チャート	
	442	石 器	石 砕	長さ 415 幅 415 厚さ 42		破 片	内: 外:	内: 外:	14号清 (13号清)	重量22kg 安山岩	
	443	石 器	圓 石	長さ 695 幅 695 厚さ 11		破 片	内: 外:	内: 外:	15号清	重量29kg 安山岩	
	444	石 器	圓 石	長さ 52 幅 45 厚さ 30		破 片	内: 外:	内: 外:	18号清	重量91kg 4面に磨削面あり、瓦草紙石	
	445	土製品?	内側状製品	長さ 44 幅 39 厚さ 10		完 形	内: 外: ナメル: ナメル:	内: 外: ナメル: ナメル:	18号清	非常に軽い、不明	
	446	石 器	圓 石	長さ 1945 幅 1945 厚さ 46		完 形	内: 外:	内: 外:	18号清上	重量168kg 安山岩	
	447	石 器	圓 石	長さ 89 幅 83 厚さ 76		完 形	内: 外:	内: 外: ホウ:	18号清上	重量66kg 小石	
	448	石 器	凹 石	長さ 1025 幅 915 厚さ 67		完 形	内: 外:	内: 外:	18号清上	重量59kg 4面に凹凹あり、要灰岩	
	449	石 器	圓 石	長さ 65 幅 57 厚さ 54	約1/2	破 片	内: 外:	内: 外:	33号清上	重量23kg 鉄石	
	450	石 器	圓 石	長さ 232 幅 210 厚さ 72	3/4	破 片	内: 外:	内: 外:	33号清下	重量215kg 鉄灰岩?	
44	451	石 器	圓 石	長さ 102 幅 78 厚さ 66		破 片	内: 外:	内: 外:	35号清	重量37kg 瓦草紙石	
	452	石 器	圓 石	長さ 78 幅 67 厚さ 56	約1/2	破 片	内: 外:	内: 外:	35号南東斜	重量417kg 安山岩	
	453	石 器	圓 石	長さ 104 幅 100 厚さ 99		完 形	内: 外:	内: 外:	35号清中央部	重量115kg 安山岩	
	454	石 器	圓 石	長さ 1165 幅 1165 厚さ 75		完 形	内: 外:	内: 外:	50号壁穴住居No.10	重量36kg 安山岩	
	455	石 器	十日石白	長さ 110 幅 1295 厚さ 170		破 片	内: 外:	内: 外:	50号壁穴住居No.2	重量122kg 安山岩	
	456	石 器	圓 石	長さ 103 幅 93 厚さ 76		完 形	内: 外:	内: 外:	58号壁穴住居No.28	重量86kg 砂岩	
	457	石 器	圓 石	長さ 120 幅 85 厚さ 85	2/3	破 片	内: 外:	内: 外:	58号壁穴住居No.5	重量38kg 安山岩	
	458	石製品	管玉	長さ 18 幅 65 厚さ 04		完 形	内: 外: ナメル: ナメル:	内: 外: ホウ: ホウ:	65号壁穴	重量0.5kg 銀色端丸岩	
	459	石 器	圓 石	長さ 30 幅 37 厚さ 120		石器片	内: 外:	内: 外:	67号壁穴住居	重量19.2kg 不明	
	460	石 器	圓 石	長さ 8.3 幅 8.3 厚さ 2.0		破 片	内: 外:	内: 外:	67号壁穴住居	重量135g 砂岩	
	461	石 器	圓 石	長さ 118 幅 105 厚さ 82		完 形	内: 外:	内: 外:	67号壁穴住居系	重量115kg 安山岩	
	462	石 器	圓 石	長さ 83 幅 71 厚さ 50		完 形	内: 外:	内: 外:	67号壁穴住居No.6	重量40kg 安山岩	
	463	石 器	圓 石	長さ 15.1 幅 5.25 厚さ 4.5		完 形	内: 外:	内: 外:	68号壁穴住居系No.4	重量30kg 安山岩	
	464	石 器	圓 石	長さ 16.9 幅 10.2 厚さ 9.6		完 形	内: 外:	内: 外:	68号壁穴住居系No.8	重量2575g 安山岩	
45	465	石 器	圓 石	長さ 1235 幅 1135 厚さ 113		破 片	内: 外:	内: 外:	100号壁穴住居	重量1077kg 安山岩	
	466	石 器	圓 石	長さ 260 幅 170 厚さ 32		扇部欠損	内: 外:	内: 外:	103号壁穴住居No.40	重量91kg 鉄板岩	
	467	石 器	圓 石	長さ 62 幅 71 厚さ 40	約1/2	破 片	内: 外:	内: 外:	103号壁穴住居No.27	重量32kg 安山岩	
	468	石 器	圓 石	長さ 1235 幅 1135 厚さ 113		完 形	内: 外:	内: 外:	104号壁穴住居No.66	重量53kg 不明	
	469	石 器	劍 柄	長さ 24 幅 165 厚さ 0.35		完 形	内: 外:	内: 外:	108号壁穴住居	重量1.2kg 三脚石	
	470	石 器	圓 石	長さ 116 幅 88 厚さ 6.1		完 形	内: 外:	内: 外:	108号壁穴住居No.15	重量62kg 安山岩	
	471	石 器	圓 石	長さ 105 幅 60 厚さ 5.85		破 片	内: 外:	内: 外:	121号壁穴住居No.3	重量37kg 安山岩	

1. (医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動先)に伴う発掘調査(0509調査地点)

回	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色	質	出土場所	備考
45	472	石製品	板 石	長さ 4.85 幅 5.65 厚さ 0.45	完	片 内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	包含層上層表面	重量16.0g	
	473	石 刀	磨 石	長さ 14.2 幅 5.28	完 整	内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	这次解(PN2-5)	重量389g 刃口有	
	474	石製品	板 石	長さ 6.61 幅 3.44 厚さ 0.75	破	片 内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	埋立北東部	重量86.5g 泥岩	
	475	石製品	板 石	長さ 6.65 幅 3.22 厚さ 0.67	破	片 内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	表層擾乱	重量15.2g 砂質土	
	476	石製品	板 石	長さ 5.54 幅 2.95 厚さ 1.55	破	片 内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	埋立	重量64.5g 砂質土	
	477	石製品	板 石	長さ 2.8 幅 2.0 厚さ 0.65	破	片 内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	埋立	重量22.9g 夾砂土	
	478	石 刀	磨 石	長さ 11.2 幅 3.02 厚さ 0.24	完 整	内: 外: 縫:	内: Hue 外: Hue	埋立北東部	重量239g 泥岩	
46	479	土製品	破片断子	直径 3.69 厚さ 0.93	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue SYR4/3 裏: Hue SYR3/4	表面包被層	重量14.0g	
	480	土製品	破片断子	直径 3.38 厚さ 0.95	完 整	内: 外: 縫:	表: Hue SYR3/2 裏: Hue SYR2/2	14号溝(13号溝と同じ)	重量16.2g	
	481	土製品	破片断子	直径 4.32 厚さ 0.93	完 整	内: 外: 縫:	表: Hue SY3/4 裏: Hue SY3/2	13号溝	重量14.2g	
	482	土製品	破片断子	直径 2.9 厚さ 0.77	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 7SYR2/2 裏: Hue 7SYR2/2	13号溝	重量17.5g 表表面細面あり	
	483	土製品	破片断子	直径 3.28 厚さ 0.77	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 2SY3/3 裏: Hue 10YK3/3	13号溝	重量11.8g	
	484	土製品	破片断子	直径 3.19 厚さ 0.99	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 7SYR7/6 裏: Hue 7SYR7/6	表面包被層上位	重量8.5g	
	485	土製品	破片断子	直径 2.66 厚さ 0.96	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 7SYR2/3 裏: Hue 7SYR2/3	埋立	重量6.8g 表表面細面あり	
	486	土製品	善 石	長径 2.92 幅 1.9 厚さ 0.63	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue SY3/6 裏: Hue SY3/6	表面包被層上位	重量2.8g	
	487	土製品	破片断子	直径 1.4 厚さ 0.52	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 5GYR1/1 裏: Hue 5GYT1/1	5号層上面	重量1.7g 表表面細面あり	
	488	土製品	破片断子	直径 2.05 厚さ 1.86 厚さ 0.53	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 10Y7/1 裏: Hue 7SYT7/1	埋立	重量2.2g 表表面細面あり	
	489	土製品	破片断子	直径 2.77 厚さ 2.0 厚さ 0.53	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 7SY4/3 裏: Hue 10Y2/1	東南側面	重量5.8g 表表面細面あり	
	490	土製品?	不明	長径 3.59 幅 1.39 厚さ 0.78	内: 外: 縫:	内: Hue 10Y2/2/2 外: Hue 10Y2/3	不明		重量1.5g	
	491	土製品?	不明	長径 2.38 幅 1.92 厚さ 1.0	内: 外: 縫:	内: Hue 10Y2/4/1 外: Hue 10Y2/3	13号溝下		重量3.3g	
	492	土製品	土墻?	長径 4.39 幅 2.52 厚さ 0.39	一部	内: 外: 縫:	内: Hue 7SYR7/4 外: Hue 10Y2/7/3	108号堅穴住居	重量29.8g	
	493	土製品	土人形?	長径 7.83 幅 2.34 厚さ 0.22	内: 外: 縫:	内: Hue 2SY7/4 外: Hue 10Y2/7/4	30号溝上		重量25.6g	
	494	土製品?	不明	長径 6.69 幅 4.47 厚さ 0.94	内: 外: 縫:	内: Hue 10Y2/7/3 外: Hue 10Y2/7/3	33号溝下		重量26.4g	
	495	土製品	泥漬子	長径 4.09 幅 2.26 厚さ 0.75	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 5YR5/8 裏: Hue SY2/4 裏: Hue SYR6/6	埋立北壁中央	重量8.3g	
	496	土製品	泥漬子	長径 3.19 幅 2.39 厚さ 0.26	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 5YR2/4 裏: Hue SYR7/4	8号土坑墓	重量8.2g	
	497	土製品	泥漬子	長径 2.76 幅 2.15 厚さ 1.09	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 10Y2/4/4 裏: Hue 10Y2/7/4	埋立北壁中央	重量5.9g	
	498	土製品	泥漬子	長径 2.19 幅 1.83 厚さ 0.69	完 形	内: 外: 縫:	表: Hue 2SY3/5/4 裏: Hue 2SY3/2	9号土坑墓	重量1.7g	
	499	土製品	土人形	長径 2.85 幅 2.91 厚さ 1.02	一部	内: 外: 縫:	表: Hue 10Y2/7/6 裏: Hue 10Y2/6/4	8号土坑墓	重量42.2g 女性頭部	
	500	土製品	土人形	長径 3.35 幅 2.35 厚さ 2.43	101号形	内: 外: 縫:	表: Hue 5YR4/8 裏: Hue 5YB4/8	埋立北側(大きい) 周子	重量18.2g	

2. (医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0923調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事追加その2に伴う発掘調査(0924調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事追加その1に伴う発掘調査(0925調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

本地点は白川左岸の河岸段堤防上に位置する本庄遺跡内にある。調査地点の標高は13m前後である。本庄北地区である熊本大学医学部附属病院の敷地内の、北西に位置する。

本庄北地区では、基礎医学研究棟建設に伴う発掘調査(9601調査地点)をかわきりに、西病棟(9901調査地点)、医学部総合研究棟(0101調査地点)、共同溝(0104調査地点)、医学教育図書棟(0707調査地点)の建設工事に伴い発掘調査を実施してきた。その結果、古墳時代前期～古代にかけての集落や古代寺院の存在を示す成果が確認されている。本地点は西病棟(9901調査地点)、共同溝(0104調査地点)に隣接しており、旧第5病棟跡地から外れる範囲では、古墳時代～古代の遺構が検出されると予想された。

本調査は、東病棟の新営に伴い雨水樹・排水樹およびこれら繋ぐ配管工事に先立って実施された。着工にあたり、工事箇所・範囲に変更が生じ93条1項の届出が追加となった。本センターでは届出1件につき一つの調査番号を付すことから、本事業全体工事に対し0923・0924・0925の調査番号が付されている。一連の工事であるため、工事の都合上に合わせた掘削の単位で工区を設定している(図46)。工区の番号は0923・0924・0925の調査番号に関係なく通し番号である。

b. 調査の経過

2009年10月27日 調査開始。⑨工区から一次掘削開始。一部遺構検出。⑦工区掘削。

2009年10月28日 ⑨工区掘削継続、遺構確認、掘削、測量開始。⑦工区の記録終了。

2009年10月29日 ⑨工区調査終了。

2009年11月18日 ⑪工区の一次掘削開始。住居とピットを検出。住居の掘削、測量、写真。⑪工区調査終了。

2009年11月24日 ⑧工区の一次掘削開始。

2009年11月25日 ⑧工区、包含層掘削、住居とピットを検出。

2009年11月26日 遺構掘削、全体写真、測量等、⑧工区調査終了。

2009年12月1日 ⑩工区の一次掘削開始。包含層掘削。

2009年12月2日 遺構掘削、全体写真、測量等、⑩工区調査終了。全調査終了。

c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：村田知聖

発掘作業員：今村明美、河野義勝、後藤マヤ、笠野メイ子、柴田道子、白石美智子、庄村弘幸、溜

俊子、中村良一、畠中儀介、早田咲百合、松永一代、松本晋治、森田 登、建寄豊
美

2. (医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0923調査地点)・(医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事追加その2に伴う発掘調査(0924調査地点)・(医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事追加その1に伴う発掘調査(0925調査地点)

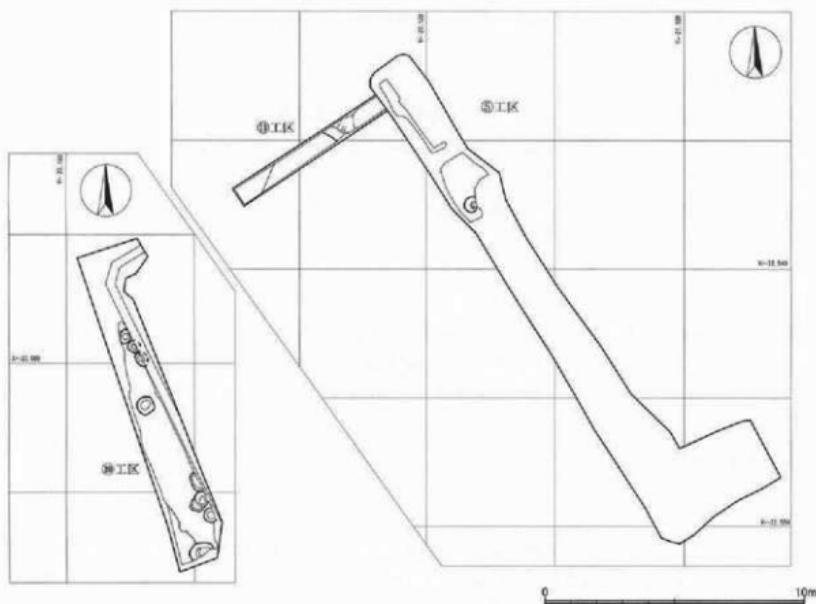
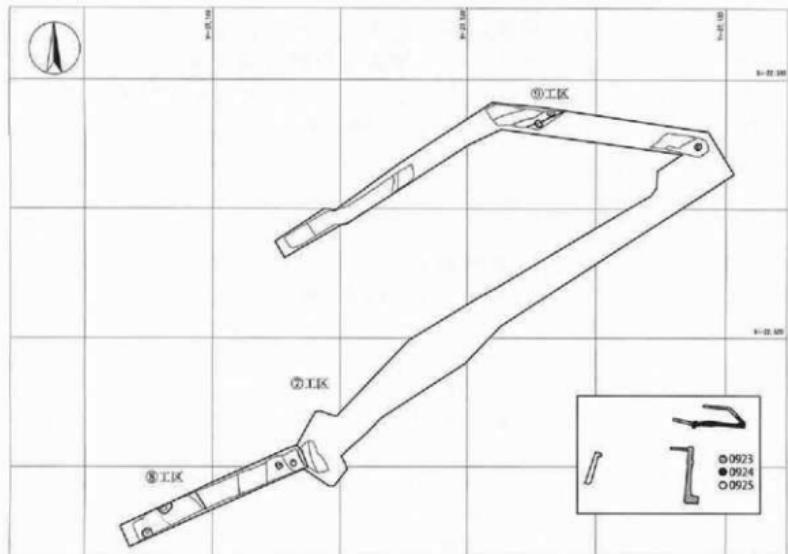


図46 0923・0924・0925調査地点造構配位置測図(1/200)

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・神川めぐみ・首藤優子・末吉美紀・高瀬
美来・田上 慶・谷川優子・増井弘子・宮崎大和・長谷智子・早川 翔・山崎早苗・
與嶽友紀也

(2) 調査区の基本層序

本荘北地区の旧地形は、白川側は北から南に向かって低く傾斜し、東西方向では、敷地の北側中央付近が包含層・遺構面ともにもっとも高く、西に向かって低く傾斜することが判明している。敷地北側の中央付近では、アスファルト舗装の直下が包含層や遺構面の場合がある。本調査地点は、敷地西側に位置しやや包含層や遺構面は低くなっている。

図47の⑧工区の土層断面実測図および⑩工区の土層柱のように、地表下0.5mで遺物包含層が検出され、1m前後で遺構面となる。⑧工区の土層断面実測図では、1層から3層までが現代埋土であり、4層以下が遺物包含層である。4層と5層では、5層の方が若干色調は暗い。6層は10号住居址の埋土である。

(3) 検出遺構

検出した遺構について、工区ごとにのべていくこととする。

⑥工区

⑥工区は、東病棟の北側に東西に長く設定された工事範囲の西端部に位置する。⑥工区の両端には既設の人孔があり、周囲は搅乱を受けている。⑥工区では、ピットと竪穴住居を確認した。

<住居>

10号住居（図47）

10号住居は、⑥工区の西端に位置する。東壁のプランが検出されたが、大半が調査区外で現況では南北約0.9m、東西約2.9m、深さは0.1mが確認できるのみである。住居の西側半分では硬化面を確認した。今回確認した範囲内では、炉または竈等は検出されなかった。出土遺物からは、古代の住居と考えられる。

⑨工区

⑨工区は、東病棟の北側に東西に長く設定された工事範囲から、北に逆「く」字状に延びる区間である。部分的に搅乱を受けていた。南東端部では、遺構面を確認しピットを一つ検出した。調査区が曲がる部分では、溝を1条検出した。西端部でも遺構面を確認したが遺構は検出されなかった。

<3号溝>（図47）

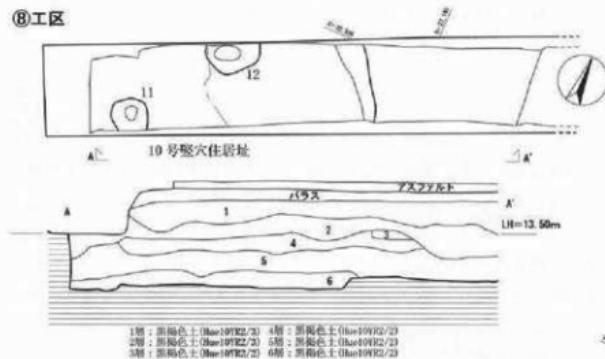
3号溝は、⑨工区がくの字状に曲がる箇所に位置する。北東-南西方向に流れる溝で、南西側の立ち上がりと肩の一部を検出した。これ以外の範囲は調査区外や搅乱により不明である。現況では、長さ約2.5m、幅約0.75m、深さは1.0~1.1mである。出土遺物から、古墳時代の溝と考えられる。

⑩工区

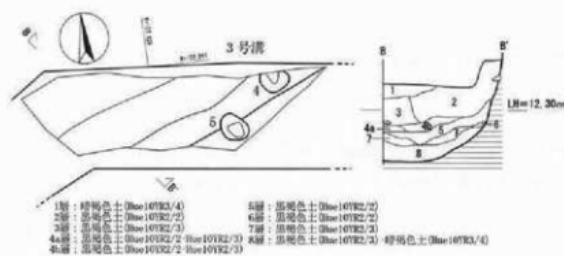
⑩工区は最も西に位置し、南北に長い調査区である。⑩工区の北側3mは、前年に別の事業に伴い

2. (医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0923調査地点)・(医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事追加その2に伴う発掘調査(0924調査地点)・(医病) 東病棟新宮機械設備(衛生)工事追加その1に伴う発掘調査(0925調査地点)

⑧工区



⑨工区



⑩工区

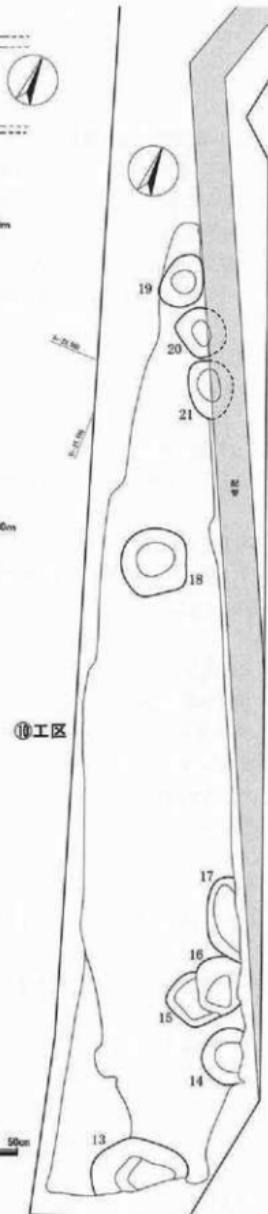
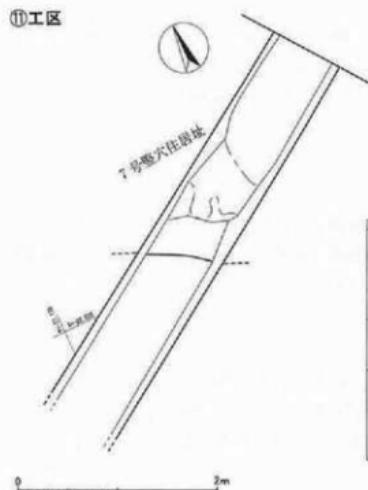


図47 ⑧・⑨・⑩・⑪工区遺構実測図および土層柱状図 (1/50・1/25)

調査（0835調査地点）が終了している範囲である。東側はほぼ重複するように既設の配管がある。このため、遺物包含層は大半が既に破壊され、南西隅にわずかに残るのみであった。遺構面は、ぎりぎり工事の影響をまぬがれており、ピットを数個検出した。

⑪工区

⑪工区は、⑧工区と並行に南側10mの地点に位置する。工区全面で遺構面を確認したが、西半分では遺構は検出されず、東側に広がる住居を確認した。

7号住居（図47）

⑪工区の東側に位置する。大半が調査区外であり、全体の規模は不明である。現況では南北0.7m、東西2.5m、深さは約0.1~0.2mである。本調査区は、遺物包含層から徐々に掘削して遺構を検出したが、土がやや砂質で遺構のプランは明瞭ではなかった。また、住居の壁の立ち上がりは非常にだらかで住居としては疑問な点もあるが、溝とするには深さが浅すぎ、硬化面は確認できたため住居として報告する。今回の調査範囲で、炉や竈、柱穴など住居に付随する設備は検出されなかった。

その他の工区

⑦工区は、⑧工区に隣接する西側の一部で遺構面を確認したが、遺構は検出されなかった。また、⑪工区の東に位置する⑤工区は、⑪工区で検出した7号住居が存在したはずであるが、搅乱により削平されていた。ピットを1つ確認したのみである。その他の工区では、それぞれ搅乱をまぬがれた遺構面を確認したがわずかであり、その範囲において遺構は確認されなかった。

（4）出土遺物（図48）

出土遺物は古式土師器、古代土師器・須恵器と縄文土器が出土している。

図48：1は⑤工区の搅乱から出土した土師器の壺である。2~8は⑧工区から出土した。2・3は10号住居出土の土師器壺と鍋である。2は強く外反し、内側に明瞭な稜があり古相を呈する。4~8は包含層出土遺物である。4は手捏ねの碗状の土器である。5は土師器壺、6・7は須恵器の碗と壺である。5は大きく直線的に開き、やや端部は如意形気味である。高台と身が一体化しつつあり、9世紀前半の頃と考えられる。6は器高が低く、高台が内側につく。8世紀前葉~中葉に属すると考えられる。8は縄文時代後期後葉の御領式の浅鉢の口縁部である。

9~22は⑨工区から出土した。9~15は3号溝出土である。9・10は小型丸底壺、11~13は高壺の壺部・脚部である。11の壺部は段が残っており、反らずに立ち上がる。13の脚部は裾との境が明瞭で、わずかに太鼓状に膨む。14・15は壺である。14の壺の口縁はつまみ上げがあり、肩は張らない。波状の沈線が施される。16~22は⑨工区の包含層出土遺物である。16の高壺は、段をわずかに持っており直線的に大きく開く。内外面ともに細かな磨きが施されている。17は壺の底部、18は直口壺の頭部、19は小型鉢である。20は二重口縁壺の口縁部である。口縁部が高く立ち上がり、下端には突出する稜がつく。下部には竹管文が施されている。山陰系と考えられる。21・22は須恵器の壺である。これら古式土師器は布留1~2式のころと考えられる。23~39は⑩工区から出土した。23は14号ピット出土の土師器蓋である。端部を丸く曲げている。24・25は15号ピットから出土した土師器蓋と壺の口縁部片である。26は16号ピット出土の須恵器壺である。27~31は包含層出土遺物、32~39は搅乱出土遺物である。27は底部に細い十字の籠記号状のものがある。図では十字に見えるが、太い方は発掘時のいい

2. (医病) 東病棟新營機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0923調査地点)・(医病) 東病棟新營機械設備(衛生)工事追加その2に伴う発掘調査(0924調査地点)・(医病) 東病棟新營機械設備(衛生)工事追加その1に伴う発掘調査(0925調査地点)

わゆるガジリである。34も同様に細い窓記号状のものがある。29の須恵器碗は身が丸味を帯びて立ち上がる。30は高台が低く、身は開き気味に立ち上がる。31の碗の高台はほぼ無いに等しい程小さい。36の土師器壺には、内外面ともに丁寧な磨きが施されている。37の壺は平底ではなく、やや緩やかに膨らむ。3の壺は直線的開き、高台が高いのが特徴的である。これらは概ね8世紀後半～9世紀前葉のころと考えられる。39は古式土師器の直口壺で、布留式期中葉であろう。40～44は⑩工区から出土した。40～41は7号住居から出土した。移動式竈の底部片と須恵器壺の口縁部片である。42～45は包含層出土遺物である。土師器壺の口縁部と壺、須恵器蓋である。44の土師器壺には、内外面ともに丁寧な磨きが施されている。8世紀後葉～9世紀前葉のころと考えられる。

(5)まとめ

1999年西病棟建設に伴う発掘調査で、本荘北地区の北西部に古墳時代と古代の遺構が濃密に分布することが判明した。その後2000年・2001年・2008年と西病棟周辺において小規模ながら発掘調査を実施し、古墳時代と古代の遺構が本荘北地区の敷地一杯に広がっていることを確認してきた。本調査地点も、そうした調査の一つである。旧第5病棟に隣接する0924調査地点はほぼ、病棟の掘り方等で破壊されていたが、病棟から北側や北西側に離れた0923・0925調査地点では遺構が残されていた。ただし、隣接する0104調査地点の調査成果と比較すると、遺構の密度は低いようである。また、0104調査地点で確認した遺構(溝)のなかには、本調査地点でも確認できるはずのものもあったが、実際には確認をしていない。0104調査地点では、S字に曲がり流路の方向や性格が不明な溝が検出されているため、想定外の遺構の配置や方向性についての検討が必要である。

本調査地点周辺における発掘調査は、次年度報告予定の0835調査地点が一つの区切りとなる。モザイク状になった調査成果を総括して、本地点の疑問点を解消したい。

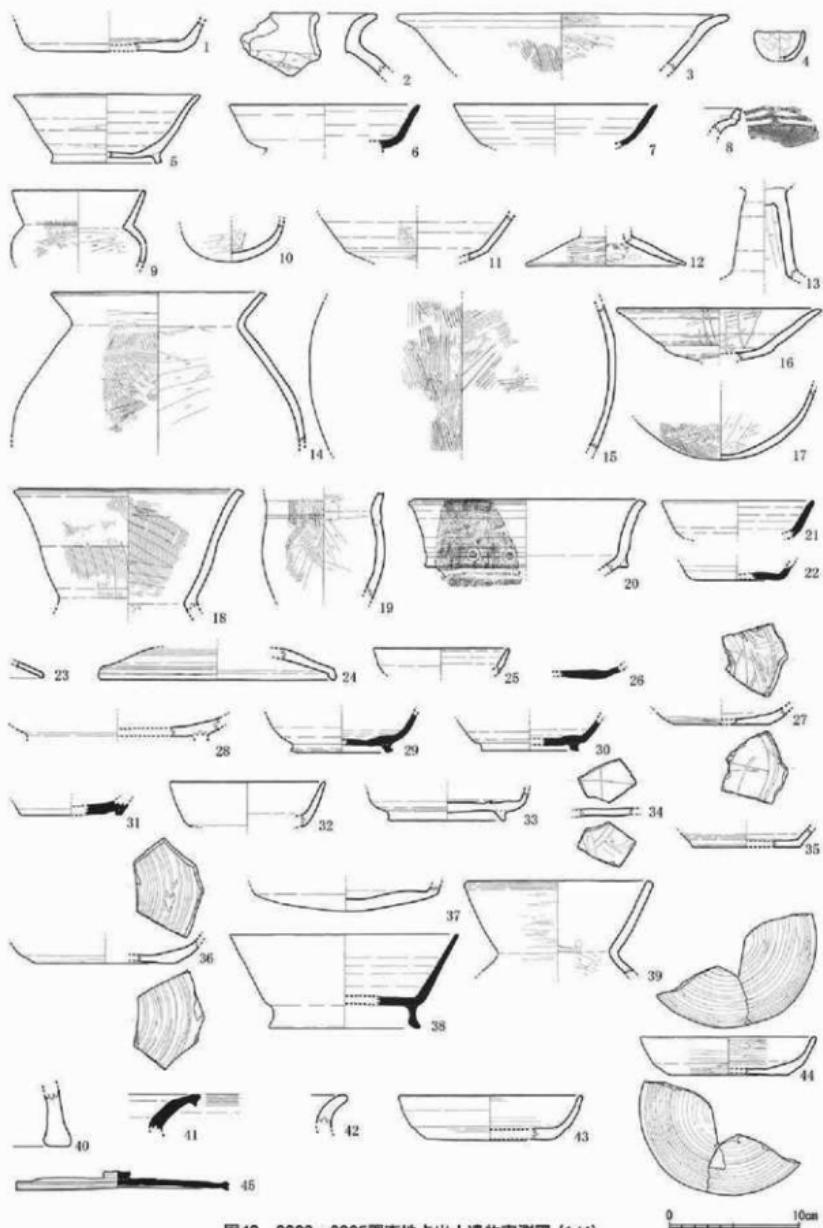


図48 0923・0925調査地点出土遺物実測図 (1/4)

0 10cm

2. (医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)に伴う発掘調査(0923調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事追加その2に伴う発掘調査(0924調査地点)・(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事追加その1に伴う発掘調査(0925調査地点)

表5 0923·0925調査地点出土遺物一覧表

番号	地物	種類(樹種)	法面(m)	標準率	特徴	色調	土壤構造	備考	
					内: 地被子テ, ナデ 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, リュウ ゼン	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン
46	土師器	壺	11.2	瓶部片				Hue 12YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区地盤上層 外表面赤化粧土
2	土師器	壺	11.2	口縁部片				Hue 5YV6/3 Hue 5Y7/3	④工区10号堅穴柱 P2 内表面赤化粧土
3	土師器	壺	36.0	口縁~瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, リュウ ゼン			Hue 7SYR6/4 Hue 5YR4/1	④工区10号堅穴柱 P2 内表面赤化粧土
4	手捏土器	鉢 形	4.0			内: ナデ, 脱サニ 外: ナデ, 脱サニ		Hue 10YR6/2 Hue 10YR5/2	④工区包含層
5	土師器	瓶	146 87 森高	1/5		内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン		Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区包含層 赤化粧土
6	磁器器	碗	15.0	口縁部片		内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン		Hue 7SY5/1 Hue 10Y2/1	④工区包含層
7	磁器器	碗	16.0	口縁部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 10RG4/1 Hue 5RG2/1	④工区包含層
8	陶土器	浅	1.5	口縁部片	内: ナデ, 脱リ 外: 地被子テ, リュウ ゼン			Hue NS7/0 Hue 10Y4/1	④工区包含層
9	土師器	小型丸底瓶 器高	10.5	口縁~瓶部片	内: 地被子テ, リュウ ゼン 外: ハクナ, リュウ ゼン			Hue 7SYR6/4 Hue 7SYR6/4	④工区3号溝 外表面赤化粧土
10	土師器	小型丸底瓶 器高	10.5	瓶部片	内: ナデ, 脱リ 外: ナデ, 脱リ			Hue 5YR6/6 Hue 7SYR6/6	④工区3号溝 外表面スヌ付着
11	土師器	高 壺	11.2	瓶部片	内: 地被子テ, リュウ ゼン 外: ハクナ, リュウ ゼン			Hue 10YR6/4 Hue 10YR5/3	④工区3号溝 内表面や少剥離 外表面に一部スヌ付着
12	土師器	高 壺	12.4	瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 10YR6/6 Hue 7SYR6/6	④工区3号溝
13	土師器	高 壺	12.4	瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, リュウ ゼン			Hue 10YR7/4 Hue 2SY7/3	④工区3号溝 P2
14	土師器	甕	16.8	口縁~瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 10YR7/2 Hue 10YR6/3	④工区3号溝 P3 外表面スヌ付着
15	土師器	甕	16.8	瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 10YR6/6 Hue 10YR7/4	④工区3号溝 外表面スヌ付着
16	土師器	甕	16.0	口縁部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 2SYR7/6 Hue 7SYR7/6	④工区1層
17	土師器	甕	16.0	瓶部片	内: ナデ, 脱リ 外: ハクナ, リュウ ゼン			Hue 7SYR6/6 Hue 2SY5/2	④工区3号溝 P3 外表面スヌ付着
18	土師器	甕	18.0	口縁部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 7SY5/4 Hue 7SY5/4	④工区1層 内表面スヌ付着
19	土師器	小型鉢	18.8	瓶部片	内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: ハクナ, リュウ ゼン 内: 地被子テ, ナデ, リュウゼン 外: 地被子テ, ナデ, リュウゼン			Hue 7SYR6/6 Hue 7SYR5/4	④工区包含層 (ハイブ リッド) 外表面スヌ付着
20	土師器	二重口縁壺	18.8	口縁部片	内: ナデ, 脱リ 外: ナデ, 脱リ			Hue 10YR6/6 Hue 10YR6/6	④工区1層 口縁部外間に骨文を施す
21	磁器器	壺	11.8	口縁部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 10Y5/1 Hue 10Y5/1	④工区包含層
22	磁器器	壺	7.2	瓶部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 7SY6/1 Hue 7SY6/2	④工区被覆
23	土師器	甕	11.2	口縁部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区14号ピット 赤化粧土
24	土師器	甕	18.8	口縁部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区15号ピット 赤化粧土
25	土師器	甕	19.8	口縁部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 7SYR6/6 Hue 7SYR6/6	④工区15号ピット 赤化粧土
26	磁器器	甕	18.8	瓶部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 7SY6/2 Hue 5YV6/2	④工区16号ピット 赤化粧土
27	土師器	甕	5.4	瓶部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区包含層 外表面にヘラ記号あり 赤化粧土
28	土師器	甕	5.4	瓶部片	内: 地被子テ, 脱リ 外: 地被子テ, 脱リ			Hue 5YR6/6 Hue 5YR6/6	④工区包含層 外表面赤化粧土

図 番 号	遺 物	種類(断縫)	法長(cm)	保存率	特 徴	色 調	出土場所	備 考
48	埴輪器	鏡	口径 80 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 550R6/1 外: Hse 550S/1	施工区包含層	斜面に自然軋みあり
30	埴輪器	鏡	口径 76 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 75Y5/1 外: Hse 75Y5/1	施工区包含層	
31	埴輪器	鏡	口径 80 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 85Y7/1 外: Hse 85Y7/1	施工区包含層	
32	土師器	环	口径 122 底径 100 高さ 20	口縁部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 10YR7/4 外: Hse 10YR7/4	施工区複数	
33	土師器	环	口径 93 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 5YR6/6 外: Hse 5YR6/6	施工区複数	赤化粧土
34	土師器	环?	口径 86 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 5YR6/6 外: Hse 5YR6/6	施工区複数	底部内面にヘア描きあり
35	土師器	环	口径 84 底径 76 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 7.5YR6/4 外: Hse 10YR6/4	施工区複数	赤化粧土
36	土師器	环	口径 108 底径 84 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り、 削り	内: Hse 5YR6/6 外: Hse 5YR6/6	施工区複数	赤化粧土
37	土師器	环	口径 142 底径 100 高さ 20	底部片	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 7.5YR6/6 外: Hse 5YR6/6	施工区複数	赤化粧土
38	埴輪器	鏡	口径 18.0 底径 12.0 高さ 7.4	1/3	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 10YR6/1 外: Hse 10EGS/1	施工区複数	
39	土師器	壺	口径 14.8 底径 10.0 高さ 7.0	口縁部片	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、ナギ、 削り	内: Hse 10YR6/3 外: Hse 10YR6/3	施工区複数	
40	土師器	壺	口径 14.0 底径 10.2 高さ 7.0	脚部片	内: ナギ、削り 外: ナギ、削り	内: Hse 10YR6/4 外: Hse 10YR6/4	施工区 7 号堅穴柱跡	一部スヌ付着
41	埴輪器	壺	口径 14.4 底径 10.2 高さ 7.0	口縁部片	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 5Y7/2 外: Hse 5Y5/3	施工区 7 号堅穴柱跡	
42	土師器	壺	口径 14.4 底径 10.2 高さ 7.0	口縁部片	内: 回転ナギ、ナギ、 削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 7.5YR7/6 外: Hse 7.5YR7/6	施工区包含層	
43	土師器	环	口径 14.4 底径 10.2 高さ 3.5	1/3	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 10YR6/6 外: Hse 10YR6/6	施工区包含層	
44	土師器	环	口径 13.6 底径 9.0 高さ 3.0	1/2	内: 回転ナギ、削り。 回転磨き 外: 回転ナギ、削り。 回転磨き	内: Hse 5YR6/6 外: Hse 5YR7/6	施工区包含層点上げ P3	
45	埴輪器	壺	口径 16.7 底径 15	1/2	内: 回転ナギ、削り 外: 回転ナギ、削り	内: Hse 25Y7/4 外: Hse 25Y7/3	施工区包含層点上げ P1 施工区包含層点上げ P2	

IV 京町地区の調査

1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)

(1) 調査の目的と経過

a. 調査地と調査経緯

熊本大学教育学部附属小中学校は、熊本市の北側中央に位置する京町台地上に立地する。京町台地は南北約15km、標高は約20~95mの舌状の台地で南端には名城熊本城が築かれており、附属小中学校は、熊本城の北側約1kmに位置する。附属小中学校の敷地は、旧肥後藩家老澤村家の屋敷跡であり、1994年に附属中学校コンピューター教育施設建設に伴い実施した発掘調査(9405調査地点)では、江戸時代の遺構を確認しているほか、弥生時代後期の竪穴住居も確認されている。また、2000年に実施した体育器具倉庫改修工事(0007調査地点)に伴う発掘調査の際にも古代の遺構と、弥生時代後期の遺物が検出されている。

(京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事は、附属中学校校舎・体育館・附属小学校校舎において、建物基礎・耐震補強基礎・フェンス設置・外フレーム・スロープ撤去および新設・階段の撤去および新設などの工事である。本書で報告する調査地点は、附属小中学校敷地の中央、中学校用グラウンドに面する附属中学校校舎の北側に位置し、建物基礎と外フレームを設置するための工事である(図49)。このため、校舎に沿って東西に長く掘削した。南側も同様に調査しており、遺物はそれぞれ0719-N、0719-Sとして分けた。校舎内部(床下)で実施した部分的な立会調査においては、既に基礎工事などで搅乱を受けていたが、埋め戻し土は包含層であり多量の土器細片が含まれていた。0007調査地点は、対象校舎の西に位置する。既往の調査成果や立会調査により、校舎周囲において校舎建設時の掘り方より外側に相当する部分では、遺構・遺物の検出が想定された。なお、校舎南側における調査成果については、熊本大学構内遺跡発掘調査報告Vにて報告しており、そちらを参照されたい。

本調査区は大坪志子が担当したが、後半体調不良により急遽江頭俊介と交代した。引き継ぎが万全ではなく、土層図等の記録に不備が生じたことをお断りしておく。

b. 調査の経過

- 2007年10月25日 一次掘削開始。
- 2007年10月30日 1区・2区・3区の包含層掘削・遺構検出開始。
- 2007年11月2日 1区の遺構掘削完了。21号住居の掘削開始。3区・4区の包含層掘削・遺構検出。
- 2007年11月8日 23号住居・柱穴等を掘削。遺構測量、記録写真など。
- 2007年11月14日 38号長方形土坑、ピットなど掘削。遺構測量、記録写真など。
- 2007年11月16日 23号住居遺物・土層実測。遺構測量、記録写真など。
- 2007年11月28日 調査終了。

c. 調査の組織

調査員: 大坪志子・江頭俊介

事務担当: 中川木綿子

発掘作業員: 井手泰代・大越忠一・大越貞子・川元敬子・建寄豊美・笹野スイ子・成瀬好子・林田恵子・福島実・松井昭子

1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)



図49 京町地区における調査地点位置図 (1/1500)

整理作業員：伊藤千代子・井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・瀬潤俊子・長谷智子・増井弘子・山崎早苗

(2) 調査区の基本層序

附属小中学校は、先述のとおり南北に長い舌状の台地上に位置している。昔から、緩やかな丘陵状の台地を平らに造成しながら、現在のような宅地となったと考えられる。附属小中学校敷地は台地のほぼ中央に位置しており、本調査地点は敷地内ではやや西側となる。敷地中央付近を丘陵の頂部と考えた場合には、西側斜面に位置する。これを裏付けるように、東西に長い本調査地点では、西側にいくほど遺物包含層および地山（造構面）の検出深度が深くなり、東西両端の造構検出面の比高差は1.1mである。2区では、現代埋土の下が黒色の古代の遺物包含層である。その下は上層より少し赤味のある黒色土であり、その下はブロックが入る粘性の高い土層である。その下は地山（造構面）であり、薄い遷移層が間に挟まる。3区と4区の境付近では、現代埋土が約60cm、古代の遺物包含層が約40cm、赤味のある黒色土層が約30cmの厚さで堆積していた。

(3) 検出遺構（図50）

検出した遺構は、古代の住居が1基、溝3条、長方形土坑状遺構1基、不定形土坑1基、柱穴・ピット等である。

<住居>

23号住居（図51）

23号住居は、4区中央に位置する。現状は2.4×2.0m、深さは0.1mで主軸は南北方向である。北側は調査区外であり、本来は2.4m四方の竪穴住居であったと考えられる。西側の不整形な部分は、遺構検出時に設定したトレチのためである。出土遺物から古代の住居と考えられるが、住居に伴うはずの竈は検出されなかった。トレチを掘削する際には焼土や粘土などは検出しなかったため、調査区外の住居北壁にあったと推定される。住居からは土師器・須恵器が多量に出土した。

<溝>

1号溝（図50）

2区の西側に位置する。調査区を南北に横断する、幅約3m、深さは約0.8~0.9mの溝である。東岸は階段状の掘り込みで、西岸は緩やかに立ち上がる。南北方向の流路であるため、古代の溝と考えられる。遺物は土師器・須恵器・陶磁器・弥生土器・縄文土器が出土している。

2号溝（図50）

2区のほぼ中央、1号溝の東側に位置する。1号溝と並行して調査区を南北に横断しており、幅約2.5m、深さは約0.25mである。1号溝と同様に、東岸がやや段状となり開き気味である。古代の溝と考えられ、土師器・須恵器が出土している。

21号溝（図51）

3区の東端に位置する。調査区を南北に横断しているが、流路の軸は1号溝、2号溝と異なり南北方向から若干東に振れている。東側は擾乱によって破壊されており、現状では幅0.8m、深さ約1.25mである。当初は住居と考えていたが、深さが深く東壁が検出できることから、溝であると判断した。

1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)

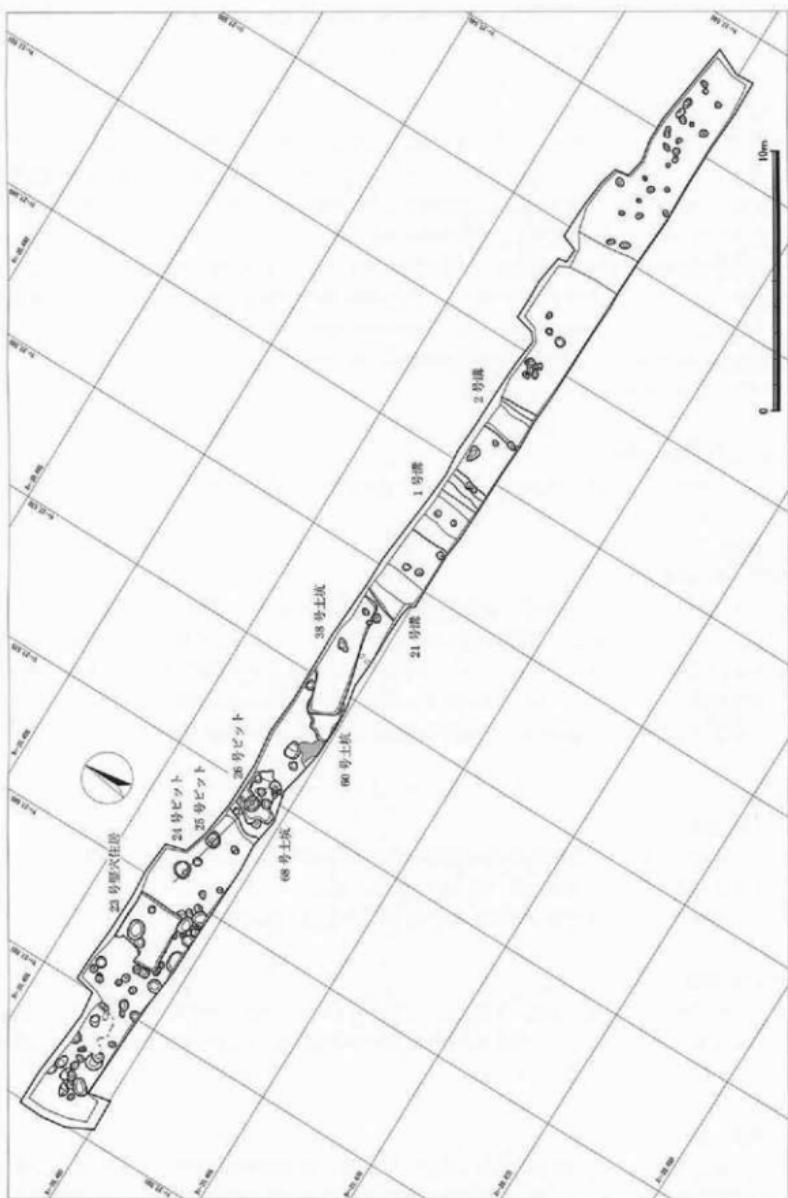


図50 0719調査地点遺構配置実測図 (1/200)

<柱穴?>

3区・4区の境付近に位置する。同程度の大きさのピットが並んでおり、検出時は掘立柱建物の跡の可能性があると考え、記録した。実際に掘削を行うと深さがかなり不揃いであり、東端の26号ピットは若干間が広いため、掘立柱建物とするには疑問もある。仮に掘立柱建物として主軸をみると、21号溝と同様に北から東に振れている。掘り込み面が確認できなかったため、本來は相応の深さのある柱穴だった可能性もある。

<土坑>

38号長方形土坑（図50）

3区の西側に位置する。長さ約4.8m、幅約1.2m、深さは約0.2mの長方形の浅い掘り込みである。長軸は北東～南西方向である。埋土は黒色の古代遺物包含層と同様の土であり、焼土を含むなどの特徴はない。また、遺物は土師器片が10点程度出土しているのみであり、性格は不明である。

その他（図50）

3区の38号長方形土坑の西側に隣接する60号土坑は深さ約0.1m、その西側に位置する68号土坑は深さ約0.1mで、いずれも不定形の浅い掘り込みである。60号土坑からは土師器の碎片が出土している。68号からの遺物の出土は無い。

（4）出土遺物（図52～54）

出土遺物は古代土師器、須恵器、弥生土器、縄文土器、石器が出土している。図52：1～26は23号住居出土である。1～10は土師器の壺、碗・鉢・甕・瓶？である。甕の口縁部は厚手のものである。図52：11～26は須恵器の蓋・壺・碗・甕である。これらは8世紀後葉～9世紀初頭に属すると考えられる。

図52：27～28は3区の遺物包含層出土である。27は土師器壺で、9世紀前葉以降と考えられ、ほかの遺物群よりはやや新しい。28は須恵器壺である。図52：29～49は4区の遺物包含層出土である。29は土師器蓋、30～39は土師器壺・碗である。34・35・39は9世紀前葉以降に属すると考えられる。40は土師器甕である。41～44は須恵器壺・碗で、45・46は蓋である。47は甕（壺？）の口縁部、48は甕の肩である。これらは概ね8世紀後葉から9世紀初頭に属すると考えられる。49は布目瓦である。図52：50～53は搅乱・包含層一括の遺物である。土師器壺・碗・須恵器甕・皿がある。

図53：54～78は弥生土器である。高壺・鉢・甕などの器種がある。全体としては弥生時代後期中葉～終末にかけての時期のもので、後期後葉が中心時期と考えられる。図53：54～55は高壺である。図53：56は脚付鉢の脚部である。図53：57～61は鉢である。57～60の丸底鉢は口縁が若干すぼまり、最大径が胴部の中位少し下にある。61の半球状鉢は胴部の張りは無いが屈曲はまだ無い。後期後葉の範囲に収まるであろう。図53：62～73は甕である。65・66は直線的に口縁が開き、肩は張らずに下方に伸びており、長胴甕の口縁～肩部である。66の口縁端部はつまみ上げておらず、外面にはタタキ痕がある。後期末～終末の所産であろう。図53：67～74は脚付甕の底部および脚部である。72は底部が薄くなっている、後期末頃と考えられる。図75～78は甕である。75は如意形の口縁で、最大径が底部近くにある器形である。76は丹塗りで丁寧に磨かれた長頭甕の頭部と考えられる。77は複合口縁甕で、口縁部に半円の装飾を施す。頭部は長大化しておらず、後期前葉のころと考えられる。78は甕の口縁部であろうか。ヘラ描きの半円を繰り返した波状文が口縁下とさらにその下の2か所にある。その間に

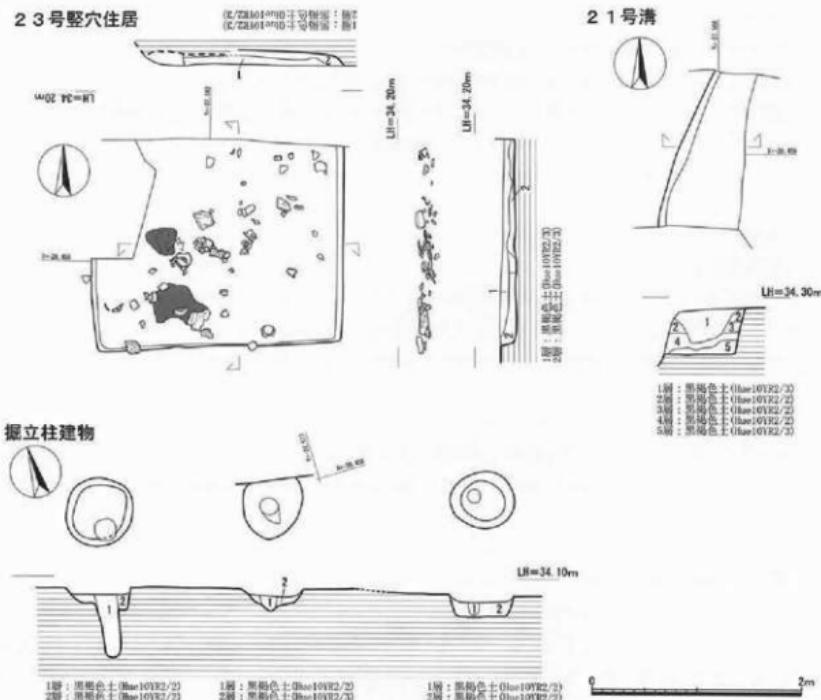


図51 23号竪穴住居・21号溝・堀立柱建物実測図 (1/50)

は、円点が貼り付けられている。図79~90は縄文土器である。79は格子状の沈線の文様帶の下に円弧文がある。円弧文の間には磨消波文が施されている。縄文時代後期前葉か。図53: 80~84は太郎迫式である。85・86は屈曲を持つ、鉢形土器の口縁部と考えられる。86・87は口縁端部に刻みが施されている。88・89・90は鉢型土器の口縁部か。90は大きく外反している。85~90は器形は縄文時代後期に属すると考えられるが詳細は不明である。図54: 91は敲き石、92~93は砥石、94~95は石皿である。92は上下両面が滑らかにすり減っており砥石の可能性もあるが、砥石としては石材がやや粗粒であり石皿とした。96~97は打製石器、98・99は使用痕のある剥片、100は小石核である。いずれも黒曜石製である。

(5)まとめ

京町地区では、先述したように1994年と2000年の調査が主要な調査であり、その成果からは本調査地点でも近世と弥生時代の遺構・遺物の検出が予想された。実際の成果では、近世・弥生時代の遺構は検出されず、古代の住居と溝が確認された。溝は本調査地点の北へと延びており、遺構群はさらに北へと展開していると考えられる。遺構が検出される深さを勘案すれば、本調査地点の北側に広がる運動場の下に遺されている可能があろう。本調査地点では、弥生時代後期の遺物は多量に出土したが、

住居などの遺構は確認されなかった。校舎南側の調査地点においても、弥生時代の遺構は確認されていない。これらのことから弥生時代の遺構の分布範囲の北限が、弥生時代の遺構が確認された9405調査地点から、0719調査地点（南側）までの間にある可能性が考えられる。また、9405調査地点では確認されていない古代の遺構が存在することも判明した。本調査地点で確認した溝の続きは、校舎南側の地点では確認されていない。2地点間で方向が変化したのか南側で検出ができなかつたのか、いずれかの原因が考えられるが、古代の遺構の分布範囲も確認する必要ができたといえる。

本調査地点の23号住居の北西部に設定したトレーナーでは、地山（遺構面）が西側に深く傾斜することを確認した。後任も4区西半を緩やかに掘削して調査を終えている。先述したように、立地条件から地山（遺構面）は西側に向かって低く傾斜するが、トレーナーでは急激に深くなってしまい、自然地形ではなく遺構の可能性があると考えている。2000年に実施した0007調査地点は、校舎の西側に位置し、本調査地点の4区に接する。0007調査地点では、現状で9×3mある半楕円形の掘り込みが確認されている。1号壙とされたこの大きな掘り込みは、東側（本調査地点側）に続きがあると考えられる。1号壙の復元は容易には考えられないが、本調査地点の西側の窪み（傾斜）は、1号壙の一部、あるいは同様の大きな掘り込みであった可能性があるのではないかと考える。

本調査地点の成果により、京町地区で検出される遺構とその時代、分布について新たな知見を得ることができた。弥生時代の遺構および古代の遺構は、その分布範囲の想定に手掛かりを得ることができた。今回は附属小中学校敷地の西側における様相の端緒を得たが、東側は依然として不明な点が多い。今後は、今回得られた成果を念頭におきながら調査に臨みたい。また、敷地東側における調査の機会があれば、その成果をあわせて、京町地区的構内遺跡の解明に努めたい。

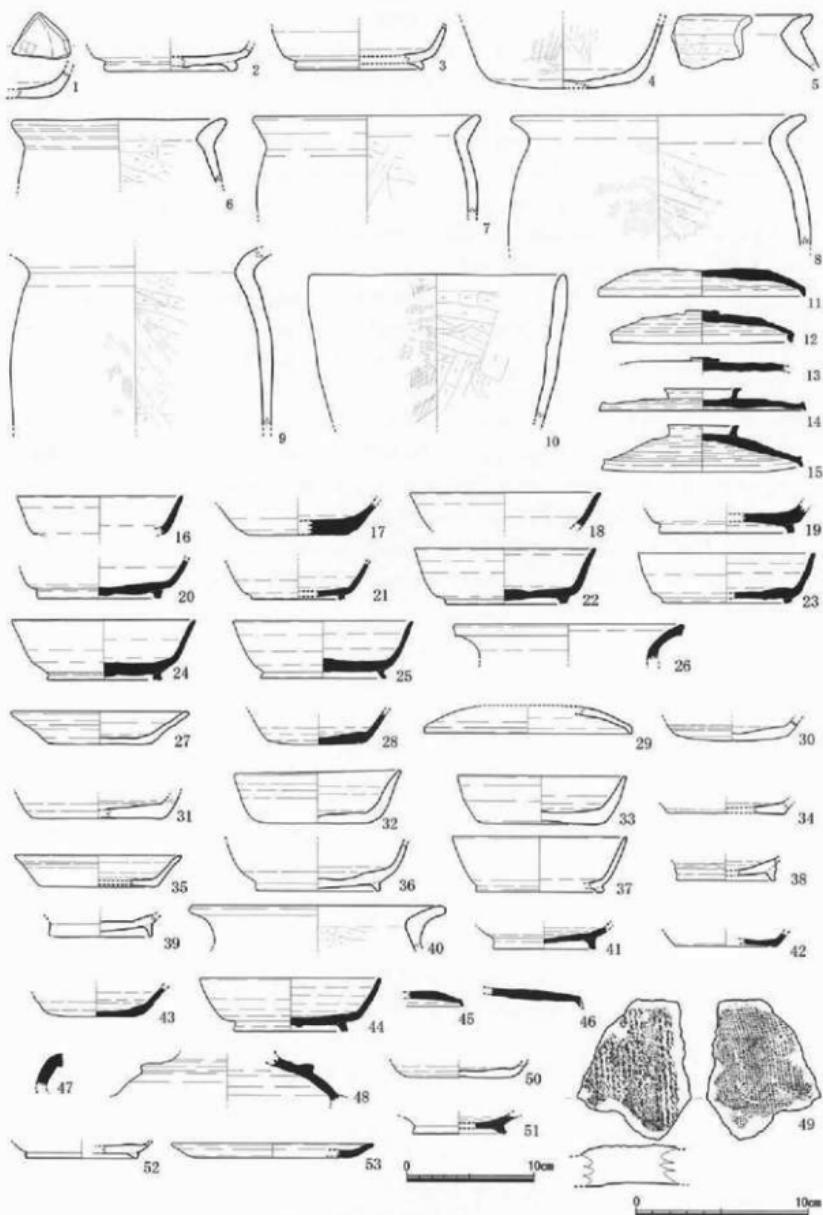


図52 0719調査地点出土遺物実測図1 (1/4・1/3)

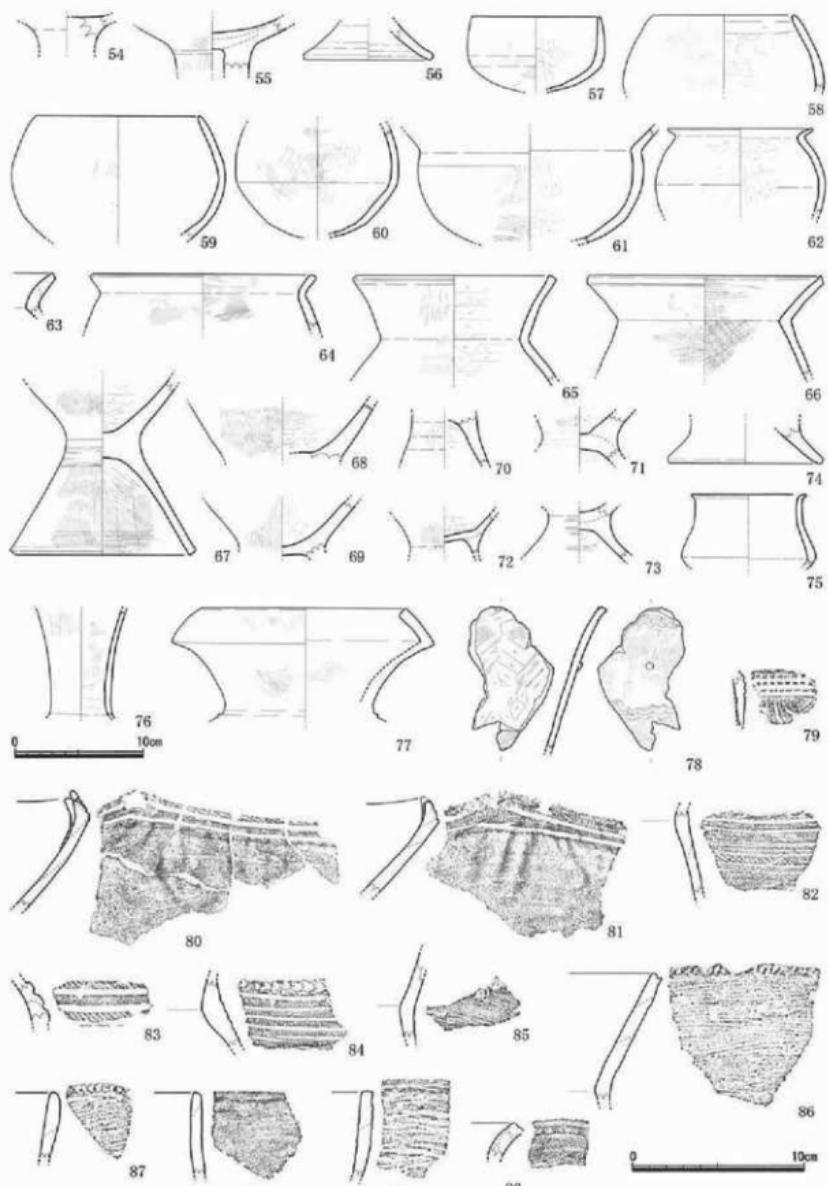


図53 0719調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)

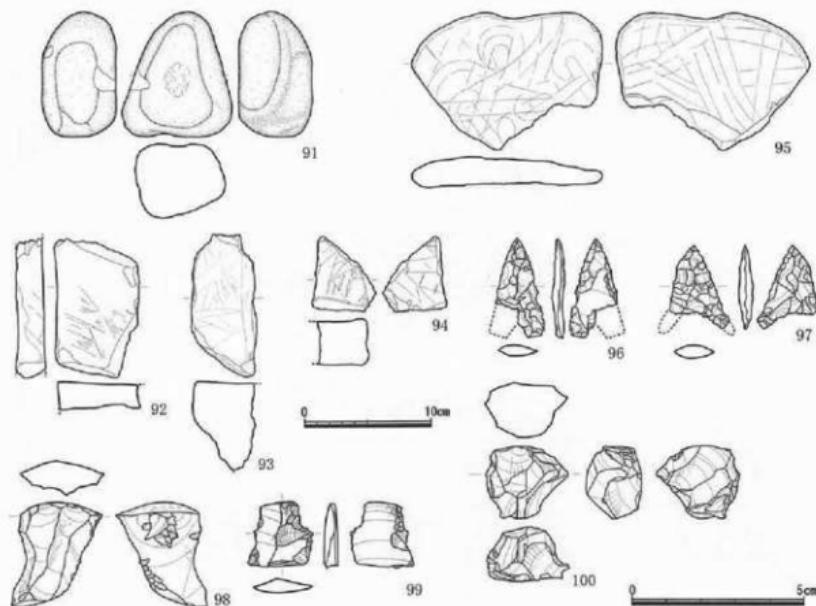


図54 0719調査地点出土遺物実測図 3 (1/4-1/3)

表6 0719調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(絞り)	基量(cm)	残存率	特徴	色	質	出土場所	備考
52	1	土器部	杯	口径 底径 高さ	13.5 13.5 10.5	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V168-4 外：Hue 10V168-4	23号住居地土2	内面断面にペラ書きあり
2	土器部	瓶	口径 底径 高さ	13.4 13.4 10.2	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75YR7-6 外：Hue 75YR6-6	23号住居5a6		
3	土器部	瓶	口径 底径 高さ	13.4 13.4 10.2	底部~腹部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75YR6-6 外：Hue 75YR6-6	23号住居5a30	内面一部に赤化粧土	
4	土器部	杯	口径 底径 高さ	11.6	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り、ハサ目	内：Hue 75YR7-6 外：Hue 75YR7-6	23号住居 23号住居5a35 23号住居5a51 23号住居5a56		
5	土器部	甕	口径 底径 高さ	13.8 13.8 10.5	口縁部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V86-6 外：Hue 75YR5-3	23号住居		
6	土器部	甕	口径 底径 高さ	15.8	口縁~底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75YR6-6 外：Hue 75YR7-6	23号住居5a26 23号住居地土1	内面に火炎付着	
7	土器部	甕	口径 底径 高さ	18.0	口縁部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V41-1 外：Hue 5V86-6	23号住居4a8 23号住居5a55		
8	土器部	甕	口径 底径 高さ	22.8	口縁~底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り、ハサ目 外：圓錐ナデ、ナデ、 ハサ目	内：Hue 10V87-3 外：Hue 10V87-4	23号住居5a1 23号住居5a2 23号住居5a47 中北4区気泡層	内面一部にスヌ付着	
9	土器部	甕	口径 底径 高さ	18.6	口縁~底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V85-4 外：Hue 10V86-4	23号住居地土2		
10	土器部	甕	口径 底径 高さ	20.0	口縁~底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り、ハサ目 外：圓錐ナデ、ナデ、 ハサ目、タキ目	内：Hue 75YR7-6 外：Hue 75YR7-6	23号住居5a20 23号住居5a21		
11	埴生器	蓋	口径 底径 高さ	16.0	1/6	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V95-1 外：Hue 5V7-1	23号住居5a5		
12	埴生器	蓋	口径 底径 高さ	14.0	1/2	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V7-2 外：Hue 10V95-1	23号住居上 23号住居5a26 23号住居5a2		
13	埴生器	蓋	口径 底径 高さ	13.0	1/4	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V7-2 外：Hue 5V6-1	23号住居5a42		
14	埴生器	蓋	口径 底径 高さ	16.0	1/2	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V5-2 外：Hue 25V3-3	23号住居 23号住居5a57		
15	埴生器	蓋	口径 底径 高さ	15.6	口縁部形	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 25V7-2 外：Hue 25V8-6	23号住居5a54		
16	埴生器	甕	口径 底径 高さ	13.0	口縁部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、削り	内：Hue 10V87-1 外：Hue 10V85-1	23号住居		
17	埴生器	甕	口径 底径 高さ	8.0	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75YR7-8 外：Hue 25YR6-8	23号住居5a41	壺焼	
18	埴生器	甕	口径 底径 高さ	15.0	口縁部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75YR6-2 外：Hue 10V6-1	23号住居地土1		
19	埴生器	甕	口径 底径 高さ	10.4	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V7-1 外：Hue 10V6-1	23号住居		
20	埴生器	甕	口径 底径 高さ	9.7	1/2	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V86-2 外：Hue 10V6-1	23号住居5a37		
21	埴生器	甕	口径 底径 高さ	7.4	底部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V87-1 外：Hue 10V6-1	23号住居5a60		
22	埴生器	甕	口径 底径 高さ	11.4	口縁部形	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 10V95-1 外：Hue 10V96-1	23号住居 23号住居5a27 23号住居5a33		
23	埴生器	甕	口径 底径 高さ	13.6	1/4	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 5V7-3 外：Hue 5V86-1	23号住居		
24	埴生器	甕	口径 底径 高さ	14.3	1/2	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75V7-2 外：Hue 75YR2-2	23号住居 23号住居5a2 中北4区領合削		
25	埴生器	甕	口径 底径 高さ	14.2	1/2	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 75V6-2 外：Hue 10V6-1	23号住居 23号住居5a25		
26	埴生器	甕	口径 底径 高さ	18.0	口縁部片	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、削り	内：Hue 5V6-1 外：Hue 5G7-1	23号住居 中北4区領合削	内面に自然釉あり	
27	土器部	皿	口径 底径 高さ	14.0	2/3	内：圓錐ナデ、ナデ、 削り 外：圓錐ナデ、削り	内：Hue 25Y6-2 外：Hue 25Y6-4	中北P-12 中北4区領合削(赤)		

1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)

固	番号	遺物	種類(器種)	法長(cm)	保存率	特 徴	色 調	出土面積	備 考
52	28	瓶型器	环	口径 底径 高さ	7.7	底部片	内: 回転ナチュラル 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 2AGY7-1 外: Hue 7SY7-2	中央北3区混合層(草)
	29	土器器	蓋	口径 底径 高さ	16.2 22	口縁部分	内: 回転ナチュラル 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y6/8 外: Hue 5Y7/8	中央北4区P5
	30	土器器	环	口径 底径 高さ	8.6 8.6 26	底部1/2	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 5Y8/5 外: Hue 5Y8/5	中央北4区P9 内斜面に赤色化粧土
	31	土器器	环	口径 底径 高さ	10.2	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 5Y8/8 外: Hue 5Y8/8	中央北4区清掃 赤色化粧土
	32	土器器	环	口径 底径 高さ	13.2 4.2	完形	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 7SYR7-6 外: Hue 10YR8/4	打明盤に鉢形
	33	土器器	环	口径 底径 高さ	13.2 13.2 3.8	1/2	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 10YR7-6 外: Hue 10YR7-8	中央北混合層P7
	34	土器器	环	口径 底径 高さ	9.0	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y8/6 外: Hue 5Y8/6	中央北4区混合層 赤色化粧土
	35	土器器	环	口径 底径 高さ	13.0 9.2 2.5	約1/5	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 7SY8/4 外: Hue 7SY8/6	中央北4区混合層
	36	土器器	瓶	口径 底径 高さ	9.8	3/4	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	中央北4区混合層
	37	土器器	瓶	口径 底径 高さ	13.6 10.9 4.4	1/3	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5B5/1 外: Hue 5B6/1	中央北4区P8
	38	土器器	瓶	口径 底径 高さ	7.6	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 5Y8/6 外: Hue 5Y8/6	中央北4区混合層 赤色化粧土
	39	土器器	瓶	口径 底径 高さ	8.1	底部のみ	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 7SY8/6 外: Hue 25Y8/6	外面にスズ背景 赤色化粧土
	40	土器器	盖	口径 底径 高さ	20.2	口縁部分	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 10YR8/6 外: Hue 7SY8/6	中央北4区混合層
	41	埴輪器	瓶	口径 底径 高さ	8.0	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 25Y6/4 外: Hue 25Y6/4	中央北4区混合層
	42	埴輪器	瓶	口径 底径 高さ	7.9	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 25GY7/1 外: Hue 7SY7/2	中央北4区清掃
	43	埴輪器	环	口径 底径 高さ	7.0	1/3	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/2	中央北4区混合層 強含層 丹波北部4区壁書あり
	44	埴輪器	瓶	口径 底径 高さ	14.3 9.0 6.2	1/3	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 10BG6/1	中央北4区
	45	埴輪器	盖	口径 底径 高さ	8.8	口縁部分	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 5Y6/1	中央北4区混合層
	46	埴輪器	盖	口径 底径 高さ	16.0	脇部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue SHG5/1 外: Hue 10BG4/1	中央北4区混合層
	47	埴輪器	盖	口径 底径 高さ	8.0	口縁部分	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 10BG5/1 外: Hue SHG4/1	中央北4区混合層
	48	埴輪器	盖	口径 底径 高さ	8.5	脇部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り、削り	内: Hue 25GY6/1 外: Hue 5BG6/1	中央北4区混合層
	49	瓦	帯目瓦	法長 底径 高さ	8.2 6.5 2.2	端片	内: 帯目 外: 端片	内: Hue 5H5/1 外: Hue 5BG7/1	中央北4区混合層
	50	土器器	环	口径 底径 高さ	8.0	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 5Y8/6 外: Hue 5Y8/6	中央北4区混合層 赤色化粧土
M	51	埴輪器	瓶	口径 底径 高さ	7.4	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 25Y8/4 外: Hue 10BG6/1	中央北4区混合層
53	52	土器器	瓶	口径 底径 高さ	8.8	底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 7SY7/2 外: Hue 7SY8/2	中央西側板混
	53	埴輪器	盖	口径 底径 高さ	16.0	口縁～底部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 25Y7/2 外: Hue 7SYK/1	中央複数箇所一部
	54	学生土器	高环	口径 底径 高さ	16.0	脚部片	内: ナチュラル、削り 外: ナチュラル、削り	内: Hue 25Y8/6 外: Hue 10YR7/4	中央3区混合層(赤)
	55	学生土器	高环	口径 底径 高さ	16.0	脚部片	内: ナチュラル、削り 外: ナチュラル、削り	内: Hue 10YR8/1 外: Hue 10YR8/1	中央2区混合層
	56	学生土器	高环	口径 底径 高さ	10.1	脚部片	内: 回転ナチュラル、削り 外: 回転ナチュラル、削り	内: Hue 25Y8/6 外: Hue 25Y8/6	中央3区混合層

回	番号	遺物	種類(基準)	直徑(cm)	埋 穴	質	色	地土種類	備 考
53.	57	衛生土器	鉢	口径 10.0 底径 厚さ	1/4	内：陶輪ナジ、ナジ、 外：縁	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/4	中北2区包含層	
	58	衛生土器	鉢	口径 11.0 底径 厚さ	口縁部分	内：陶輪ナジ、縁り、 縁オサエ、 外：陶輪ナジ、ナジ、 ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/6	包含層	
	59	衛生土器	鉢	口径 12.8 底径 厚さ	口縁部分	内：ナジ、縁り、 ナジ、ハケ日	内：Hue 5Y7/4 外：Hue 10Y7/1	中北2区包含層	
	60	衛生土器	鉢	口径 12.8 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、ハケ日、 縁オサエ、 外：ナジ、縁り、ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/4	中北2区包含層	内外面、底部にスス付着
	61	衛生土器	鉢	口径12.8 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、 縁オサエ、 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/3	42号ビット 中北2区包含層	
	62	衛生土器	鉢	口径 11.2 底径 厚さ	口縁～脚部片	内：ナジ、縁り、 縁オサエ、 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 5YR6/6	中北3区包含層	内外面一部にスス付着
	63	土器部	甕	口径 底径 厚さ	口縁部分	内：縁5 外：縁5	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR5/2	中北4区包含層	
	64	土器部	甕	口径 17.6 底径 厚さ	口縁～脚部片	内：陶輪ナジ、ナジ、 ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/4	中北3区包含層(卓)	外側一面にスス付着
	65	衛生土器	甕	口径 16.0 底径 厚さ	口縁部分	内：陶輪ナジ、縁り、 縁オサエ、ハケ日	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 10YR8/4	中北2区包含層	
	66	古式土器部	甕	口径 18.2 底径 厚さ	口縁部分	内：陶輪ナジ、縁り、 ハケ日、タクタ 外：陶輪ナジ、ハケ日、 縁オサエ、タクタ	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 10YR8/3	中北1区包含層 中北2区包含層	
	67	衛生土器	脚付甕	口径 14.5 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、ハケ日 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR7/4	包含層	内外側一面にスス付着
	68	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、ハケ日 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 25YR7/4	1号下限	内外面一面にスス付着
	69	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 25YR7/6	2号限	
	70	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 10YR8/4 外：Hue 10YR8/4	中北3区混亂	
	71	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 25YR7/3 外：Hue 25YR6/3	中北2区包含層	
	72	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、縁り、 外：ナジ、縁り、ハケ日	内：Hue 25YR6/3 外：Hue 25YR6/3	中北混亂	
	73	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：陶輪ナジ、ナジ、 ハケ日	内：Hue 25YR6/6 外：Hue 25YR6/6	中北4区P11	
	74	衛生土器	脚付甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、 外：ナジ	内：Hue 25YR7/6 外：Hue 10YR2/6	中北西側混亂	
	75	衛生土器	小型甕	口径 8.8 底径 厚さ16.0	1/3	内：陶輪ナジ、ナジ 外：陶輪ナジ、ナジ	内：Hue 25YR7/6 外：Hue 25YR6/6	中北2区包含層	内外面一面にスス付着
	76	衛生土器	瓶	口径 底径 厚さ	瓶部片	内：ナジ、縁り、ハケ日 外：ナジ、縁り、ハケ日	内：Hue 25YR6/6 外：Hue 25YR6/6	中北2区包含層	丹塗り
	77	衛生土器	袋狀口沿甕	口径 16.2 底径 厚さ	口縁～脚部片	内：ナジ、ハケ日 外：ナジ、ハケ日	内：Hue 25YR6/4 外：Hue 25YR6/6	中北4区P12	
	78	衛生土器	甕	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ、ハケ日 外：ナジ、縁り、ハケ日	内：Hue 25YR6/6 外：Hue 25YR6/6	中北3区包含層	或沈文主施 河岸支流付付
	79	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	脚部片	内：	内：Hue 10YR7/1 外：Hue 10YR6/1	中北4区混亂	
	80	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	口縁部分	内：縁5 外：縁5、磨削刷文	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/2	中北3区包含層(卓)	中北混亂
	81	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	口縁部分	内：縁5 外：縁5、磨削刷文	内：Hue 10YR7/6 外：Hue 10YR6/1	23号住跡No.3	
	82	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	脚部片	内：縁5 外：縁5	内：Hue 10YR7/6 外：Hue 10YR7/4	中北4区包含層	
	83	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	脚部片	内：ナジ 外：ナジ	内：Hue 25YR7/4 外：Hue 25YR7/6	中北4区包含層	
	84	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	脚部片	内：縁5 外：縁5	内：Hue 25YR7/6 外：Hue 25YR7/4	中北3区包含層(卓)	
	85	攜文土器	深型土器	口径 底径 厚さ	脚部片	内：縁5 外：縁5	内：Hue 10YR8/1 外：Hue 10YR8/2	中北4区包含層	

1. (京町) 教育学部附属小中学校校舎改修工事に伴う発掘調査 (0719調査地点)

番	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存率	特徴	色調	出土場所	備考
53	86	陶文土器	深鉢形 土器?	口径 底径 高さ	口縁部分	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	10YR7/4 10YR7/3	23号住居N61
	87	陶文土器	深鉢形 土器?	口径 底径 高さ	口縁部分	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	10YR2/7 25Y4/2	中北4区混合層
	88	陶文土器	深鉢形 土器?	口径 底径 高さ	口縁部分	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	10YR7/6 10YR5/3	23号住居N619
	89	陶文土器	深鉢形 土器?	口径 底径 高さ	口縁部分	内: ナマ 外: ナマ	内: Hoe 外: Hoe	25Y6/3 75Y7/6	中北3区混合層
	90	陶文土器	深鉢形 土器?	口径 底径 高さ	口縁部分	内: ナマ 外: ナマ	内: Hoe 外: Hoe	25Y5/1 10YR5/2	67号ピット
54	91	石器	砾石	長さ 幅 厚さ	完形	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	1号溝下層	重量474g
	92	石器	砾石	長さ 幅 厚さ	破片	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北3区混合層	重量230g
	93	石器	砾石	長さ 幅 厚さ	破片	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	23号住居(中北4区 P12)	重量500g
	94	石器	石核	長さ 幅 厚さ	破片	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	2号溝	重量147g
	95	石器	石核	長さ 幅 厚さ	破片	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北4区混合層	重量356g
	96	石器	石核	長さ 幅 厚さ	片脚欠損	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北3区S1	重量69g 碧璫石
	97	石器	石核	長さ 幅 厚さ	片脚欠損	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北4区S7	重量10g 碧璫石
	98	石器	剥片	長さ 幅 厚さ	内:	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北3区S2	重量54g 使用痕あり 碧璫石
	99	石器	剥片	長さ 幅 厚さ	内:	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北4区S1	重量14g 使用痕あり 碧璫石
	100	石器	石核	長さ 幅 厚さ	内:	内: 番号 外: 番号	内: Hoe 外: Hoe	中北4区S6	重量72g 碧璫石

写 真 図 版

図版1 1006調査地点



写真1 調査区全景（南より）



写真2 11号竪穴住居焼土検出状況（南より）

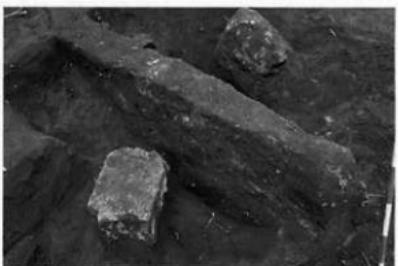


写真3 11号竪穴住居竪壁断面（南西より）



写真4 11号竪穴住居竪壁内遺物出土状況(南東より)



写真5 11号竪穴住居竪壁掘削状況（南より）

図版2 1006調査地点



写真6 18号竪穴住居掘削状況（東より）

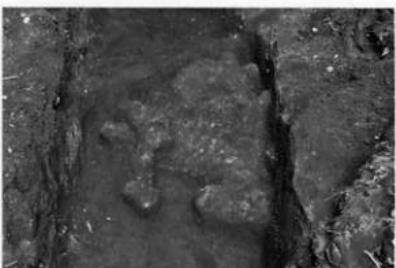


写真7 18号竪穴住居焼土検出状況（東より）



写真8 18号竪穴住居焼土土層断面（南より）

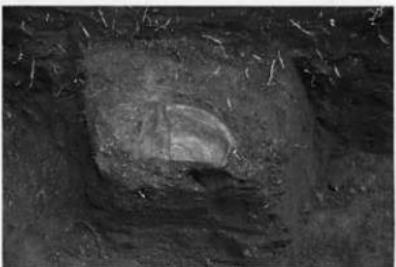


写真9 18号竪穴住居遺物出土状況（南より）



写真10 19号竪穴住居完掘状況（東より）

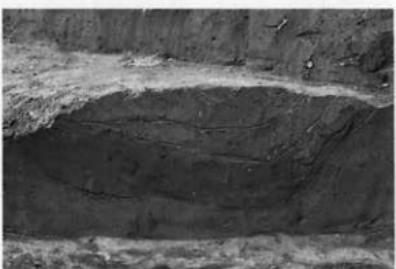
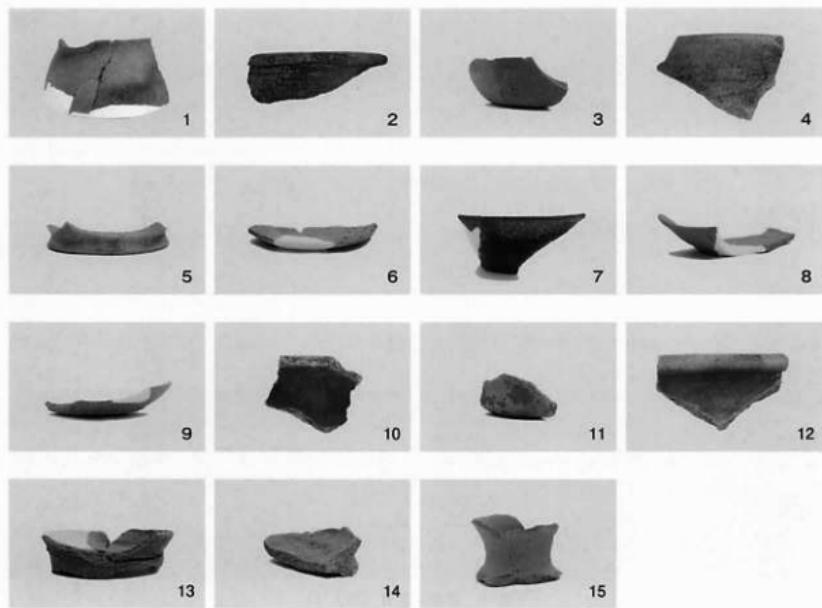


写真11 19号竪穴住居焼土土層断面（西より）

図版3 1006調査地点出土遺物



図版4 0509調査地点

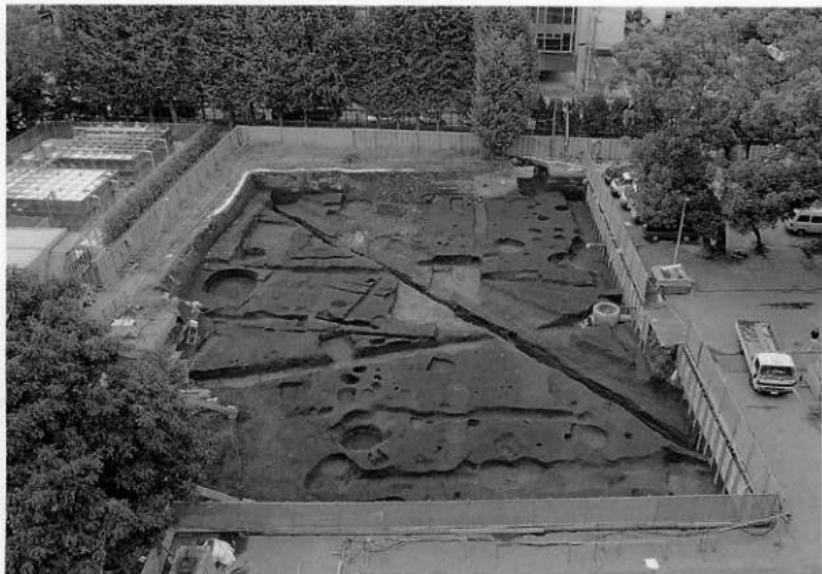


写真12 調査区全景（東より）



写真13 18号・33号溝発掘状況（南より）

図版5 0509調査地点



写真14 46号竪穴住居土層断面（南より）



写真15 46号竪穴住居遺物出土状況（南東より）



写真16 47号竪穴住居土層断面（南より）

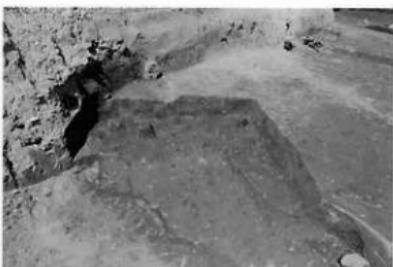


写真17 47号竪穴住居完掘状況（南より）

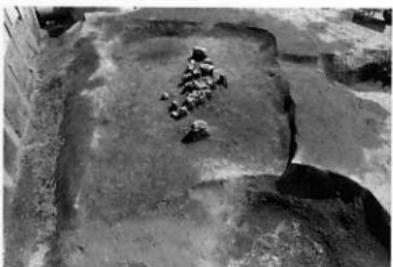


写真18 50号竪穴住居遺物出土状況（西より）



写真19 50号竪穴住居遺物出土状況（南西より）



写真20 58号竪穴住居掘削状況（東より）



写真21 58号竪穴住居遺物出土状況（北より）

図版6 0509調査地点



写真22 58号竪穴住居遺物出土状況（東より）



写真23 58号竪穴住居突出部掘削状況（西より）



写真24 58号竪穴住居突出部遺物出土状況（北西より）



写真25 97号竪穴住居土層断面（北西より）



写真26 97号竪穴住居遺物出土状況（南より）



写真27 97号竪穴住居遺物出土状況（南西より）



写真28 100号竪穴住居土層断面（西より）



写真29 100号竪穴住居掘削状況（南より）

図版7 0509調査地点



写真30 103号竪穴住居土層断面（南より）



写真31 103号竪穴住居掘削状況（南より）



写真32 103号竪穴住居遺物出土状況（西より）



写真33 103号竪穴住居完掘状況（南より）



写真34 108号竪穴住居土層断面（北西より）



写真35 108号竪穴住居遺物出土状況（北より）



写真36 108号竪穴住居完掘状況（南東より）



写真37 78号竪穴住居完掘状況（南東より）

図版8 0509調査地点



写真38 79号竪穴住居完掘状況（北より）



写真39 80号竪穴住居完掘状況（東より）



写真40 80号竪穴住居焼土・窓検出状況（東より）



写真41 80号竪穴住居窓裁ち割り状況（東より）



写真42 98号竪穴住居土層断面（東より）



写真43 98号竪穴住居掘削状況（南より）



写真44 98号竪穴住居焼土・窓検出状況（南より）



写真45 98号竪穴住居窓裁ち割り状況（南より）

図版9 0509調査地点



写真46 98号竪穴住居窓裁ち割り状況（南より）



写真47 99号竪穴住居掘削状況（南より）

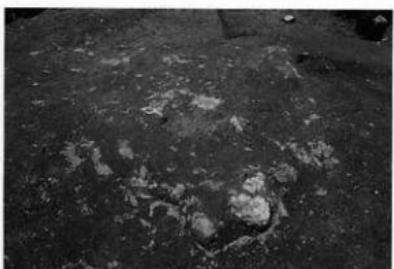


写真48 99号竪穴住居焼土・窓検出状況（南より）

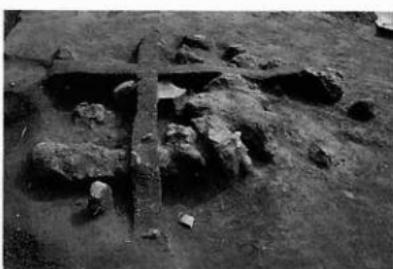


写真49 99号竪穴住居窓裁ち割り状況（西より）



写真50 101号竪穴住居掘削状況（南より）



写真51 101号竪穴住居焼土・窓検出状況（南より）



写真52 101号竪穴住居窓裁ち割り状況（南より）



写真53 102号竪穴住居掘削状況（東より）

図版10 0509調査地点



写真54 104号竪穴住居掘削状況（東より）



写真55 104号竪穴住居竈裁ち割り状況（東より）



写真56 107号竪穴住居掘削状況（南東より）



写真57 121号竪穴住居掘削状況（南東より）



写真58 121号竪穴住居焼土・竈検出状況（東より）



写真59 121号竪穴住居竈裁ち割り状況（北より）



写真60 121号竪穴住居竈裁ち割り状況（東より）



写真61 112号溝土層断面（南より）

図版11 0509調査地点



写真62 18号・33号溝掘削状況（南西より）



写真63 18号・33号溝土層断面（北より）



写真64 35号溝掘削状況（西より）



写真65 35号溝土層断面（西より）



写真66 77号溝掘削状況（東より）



写真67 77号溝土層断面（西より）

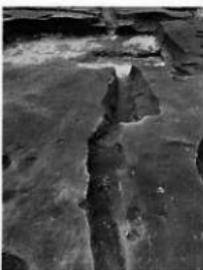


写真68 13号溝完掘状況（北より）



写真69 13号溝（北側）土層断面（南より）

図版12 0509調査地点



写真70 13号溝（南側）土層断面（南より）



写真71 調査区北西部土坑群（東より）



写真72 12号土坑土層断面（西より）



写真73 12号土坑遺物出土状況（北より）



写真74 55号土坑土層断面（北より）

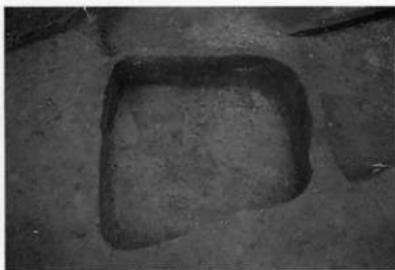
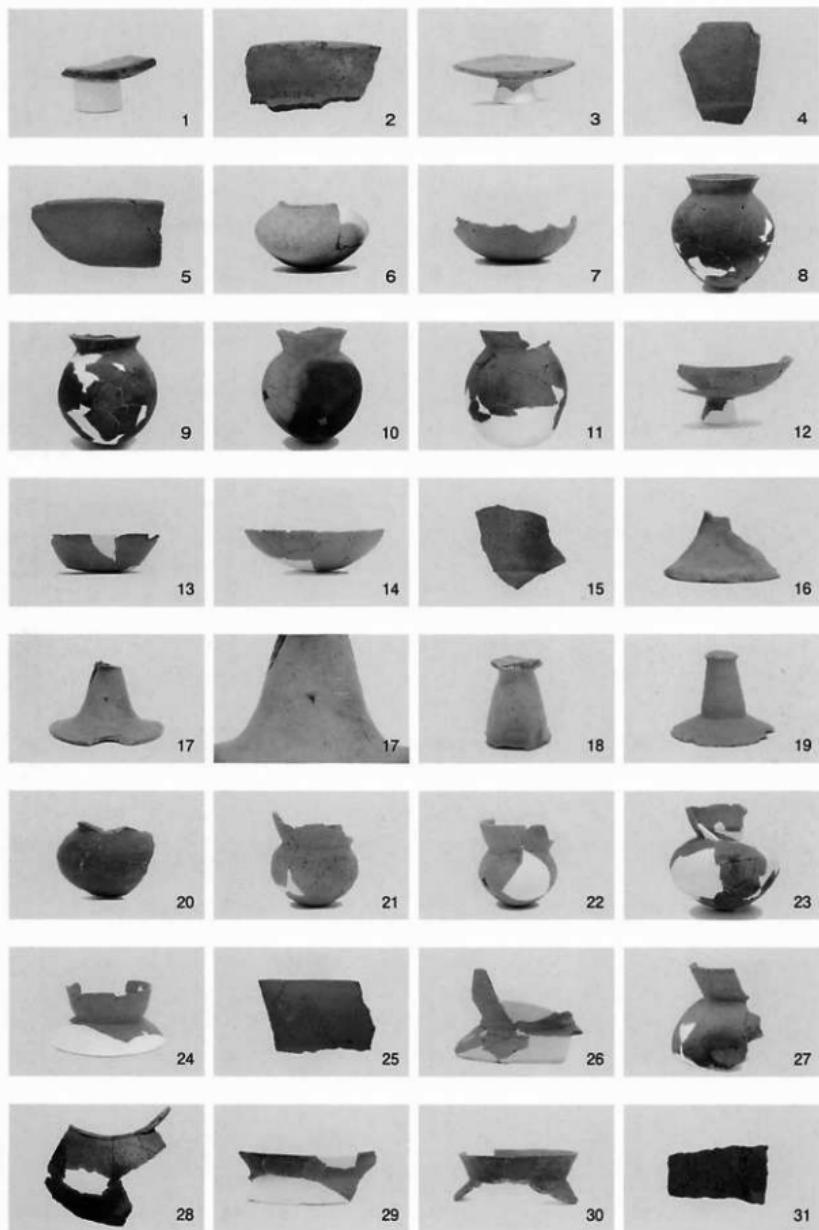
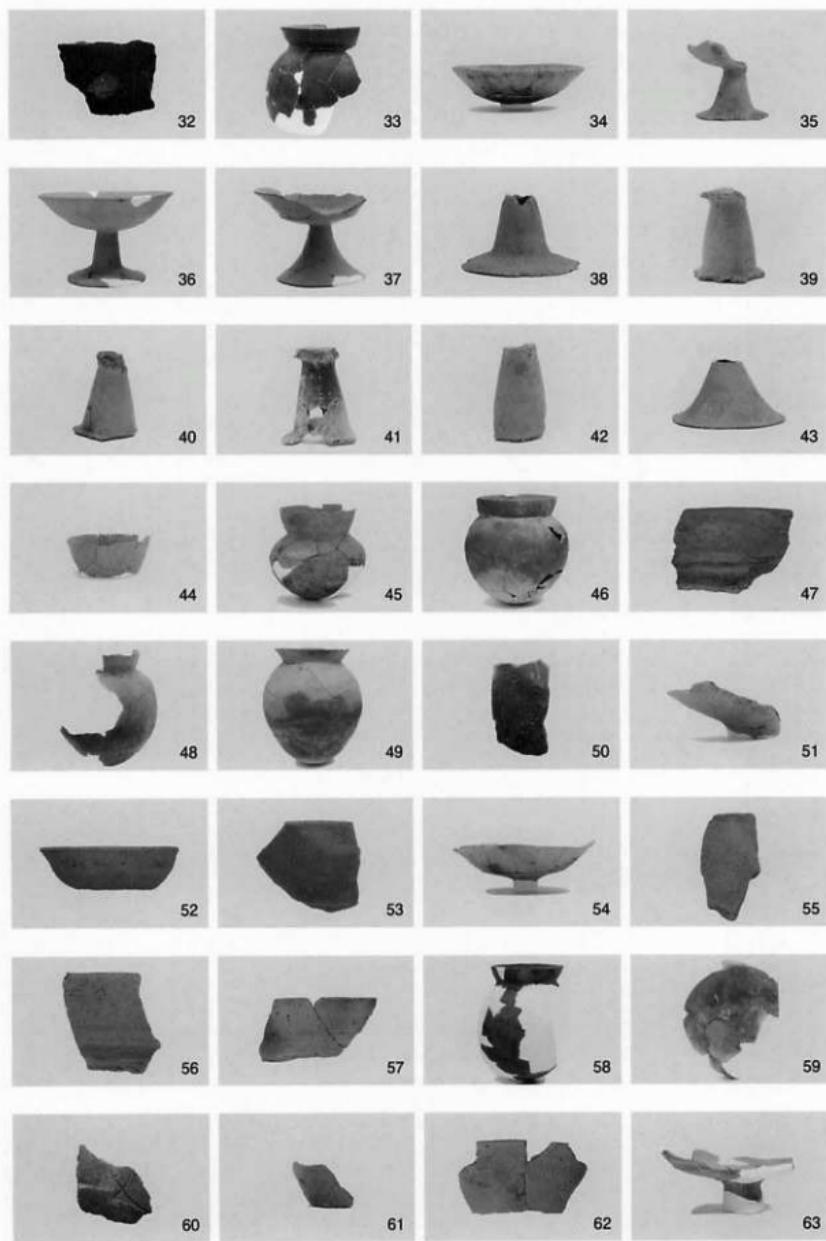


写真75 55号土坑完掘状況（東より）

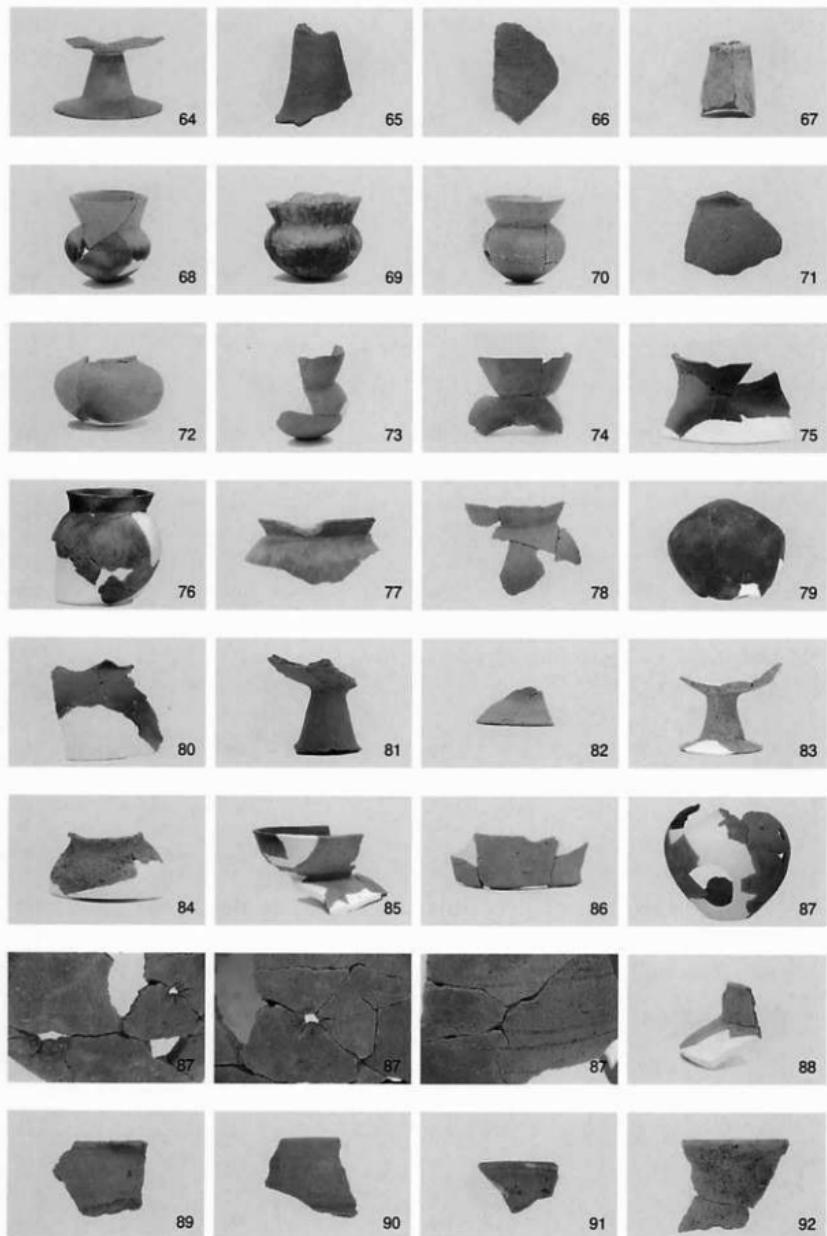
図版13 0509調査地点出土遺物 1



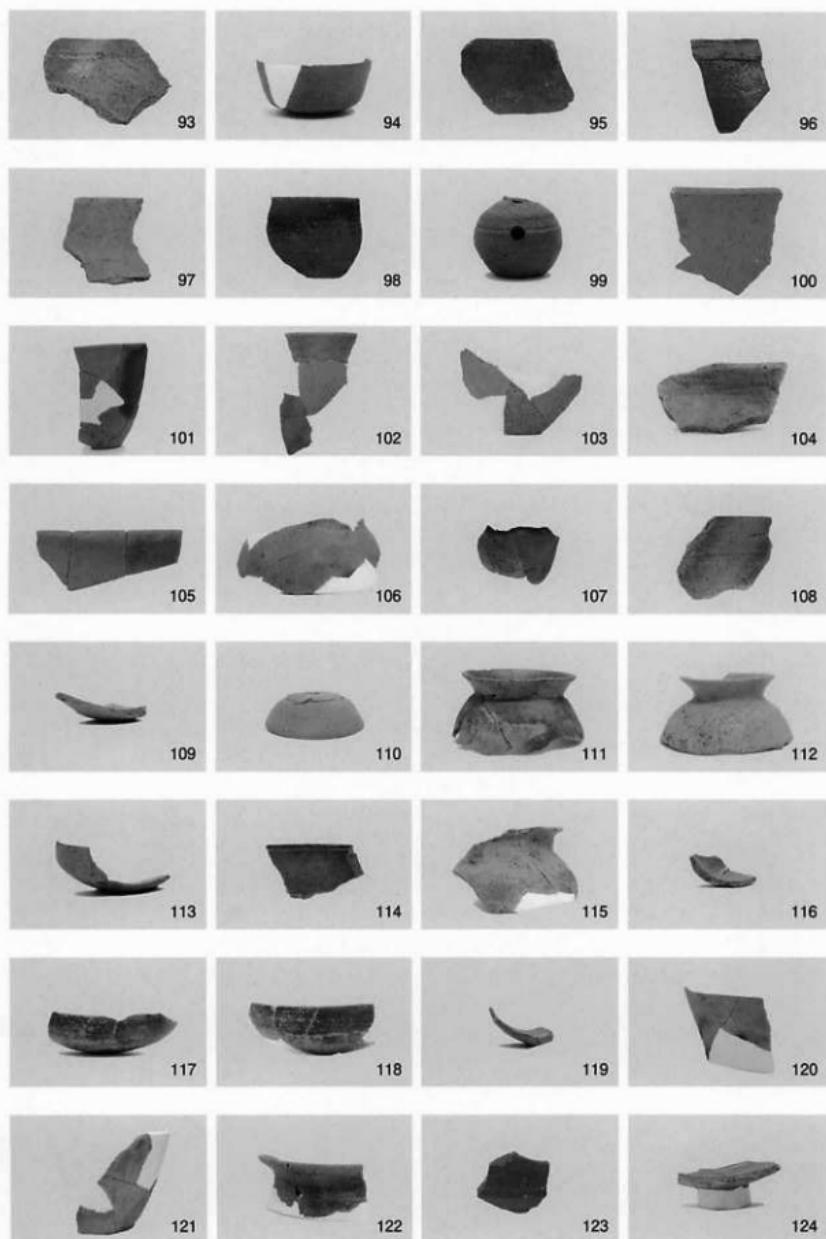
図版14 0509調査地点出土遺物2



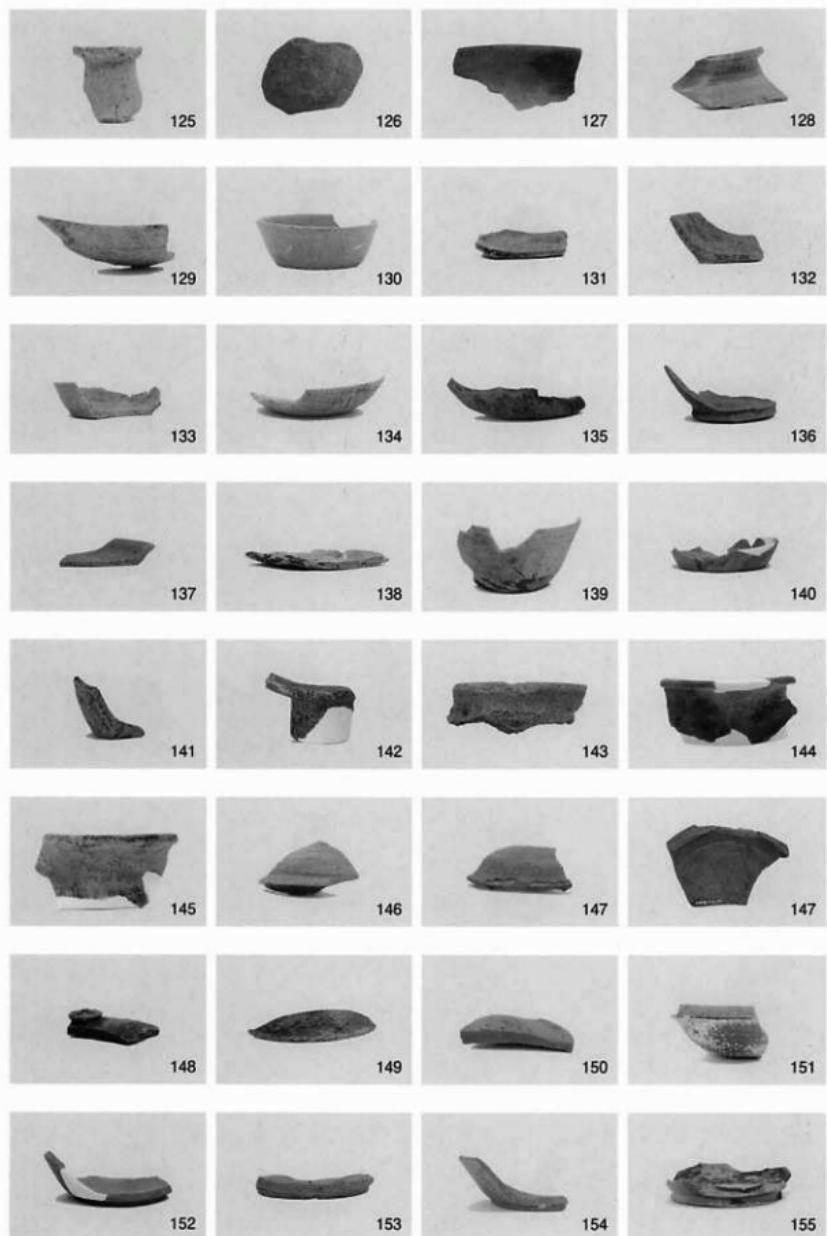
図版15 0509調査地点出土遺物3



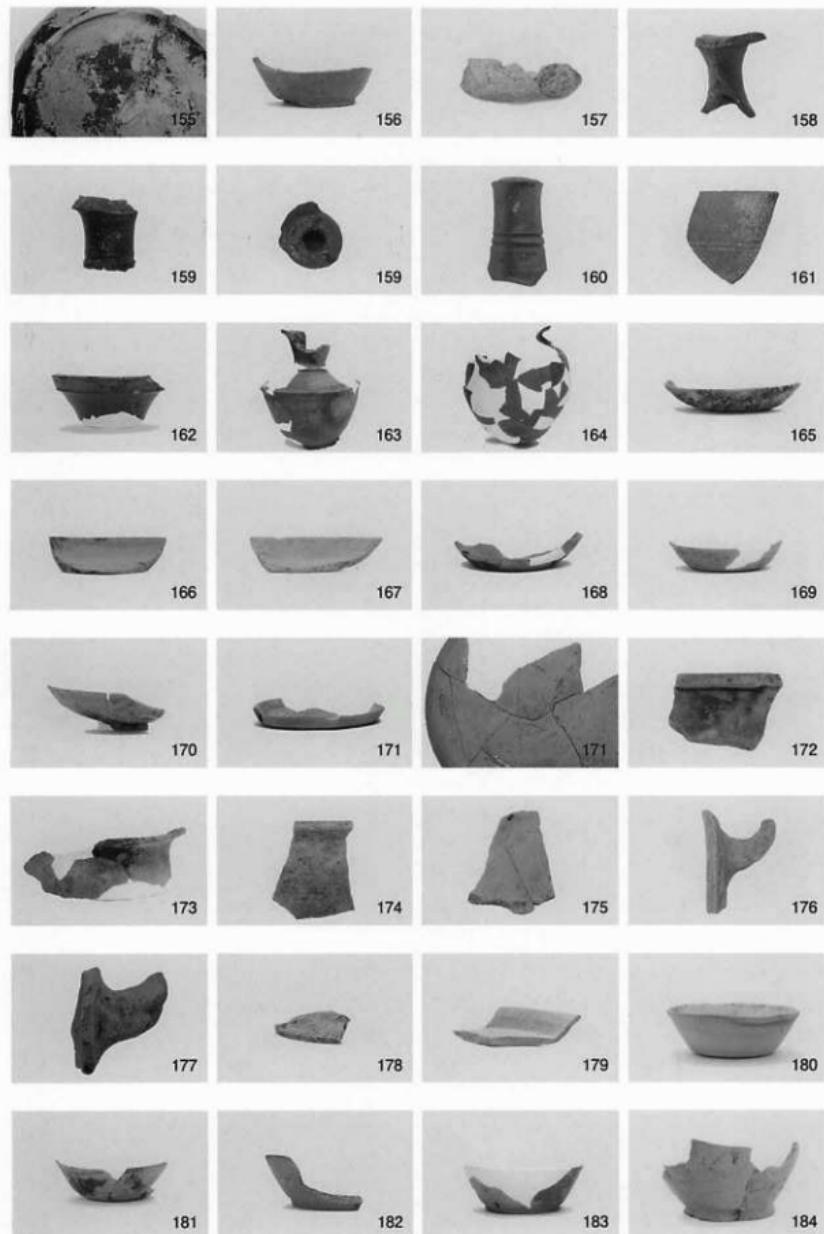
図版16 0509調査地点出土遺物4



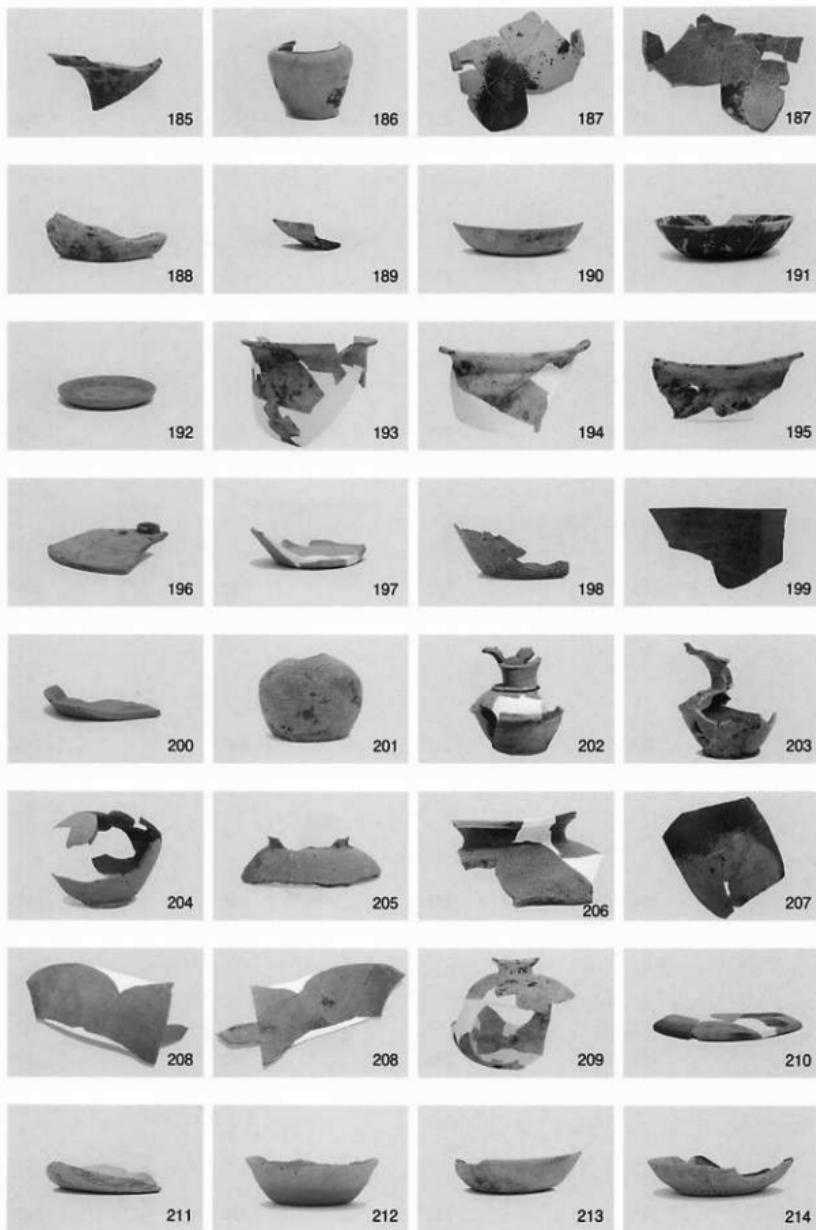
図版17 0509調査地点出土遺物5



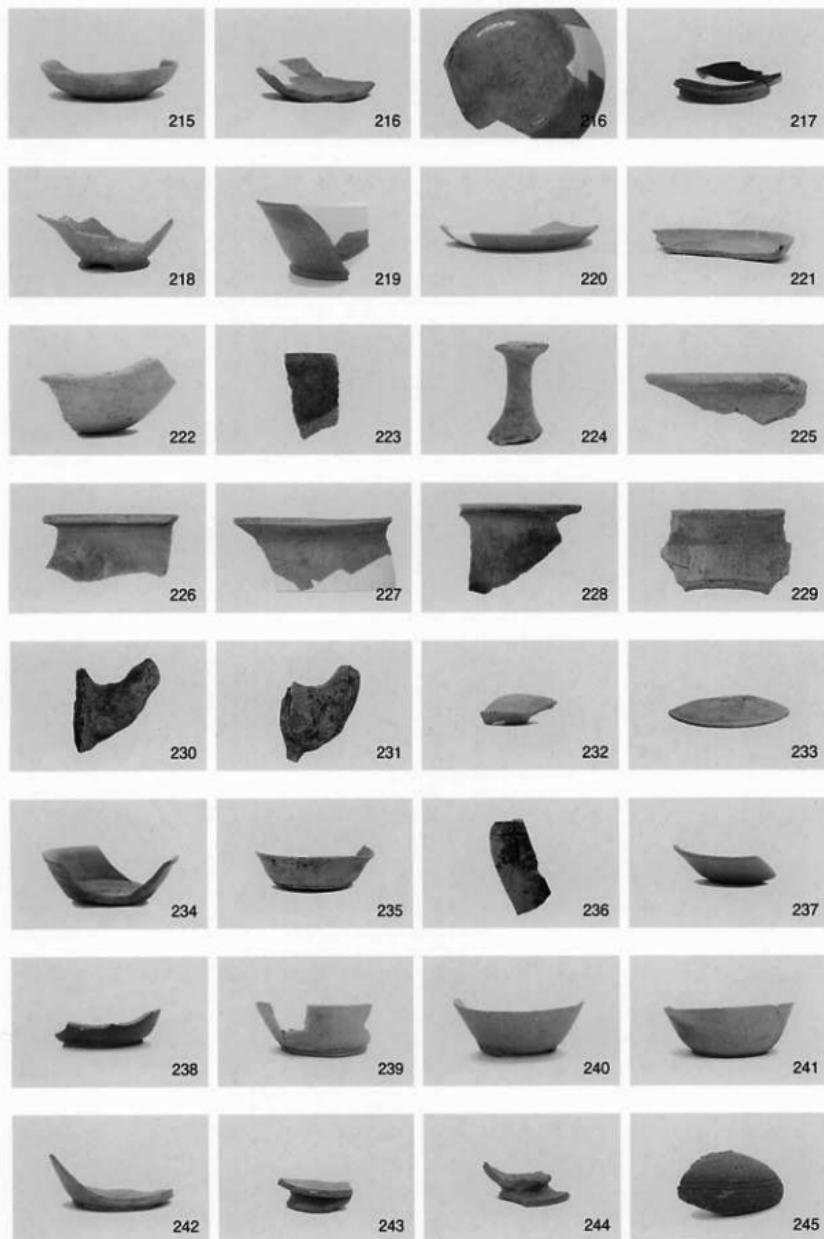
図版18 0509調査地点出土遺物 6



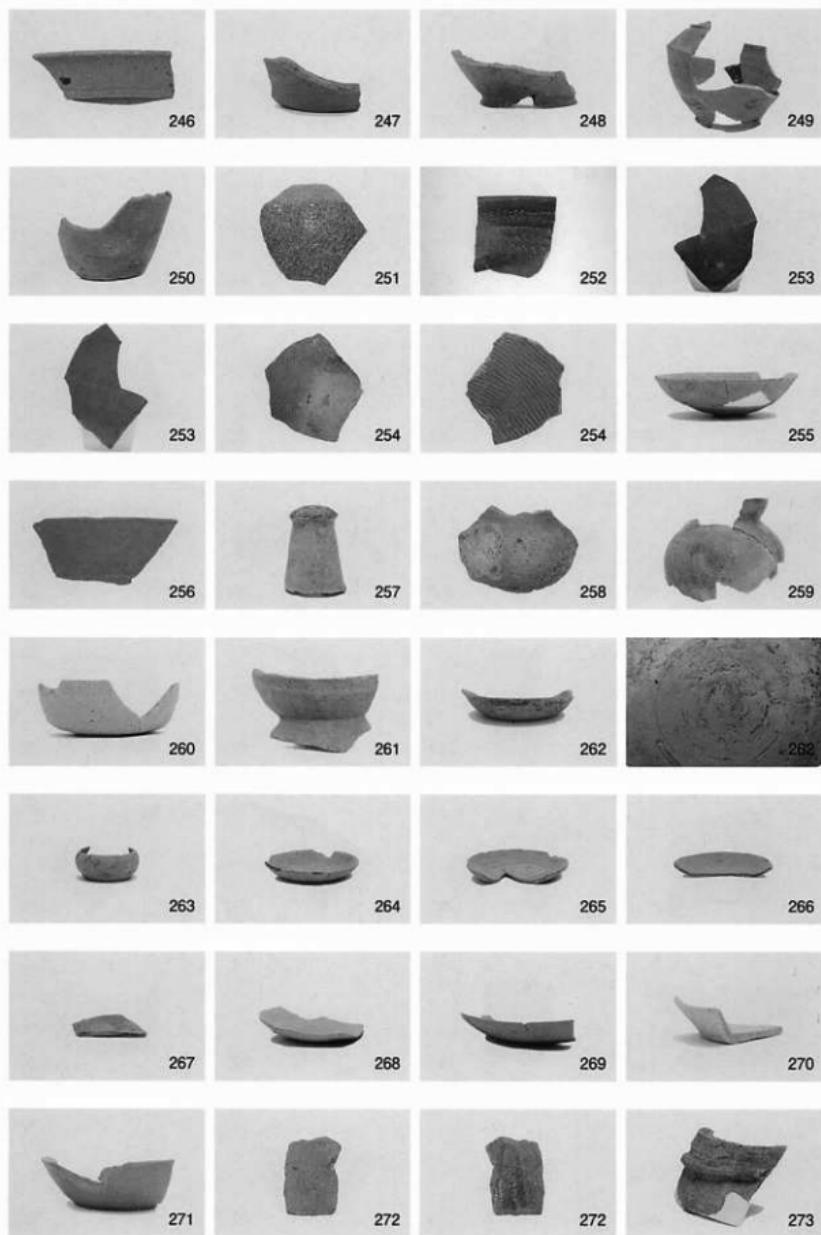
図版19 0509調査地点出土遺物7



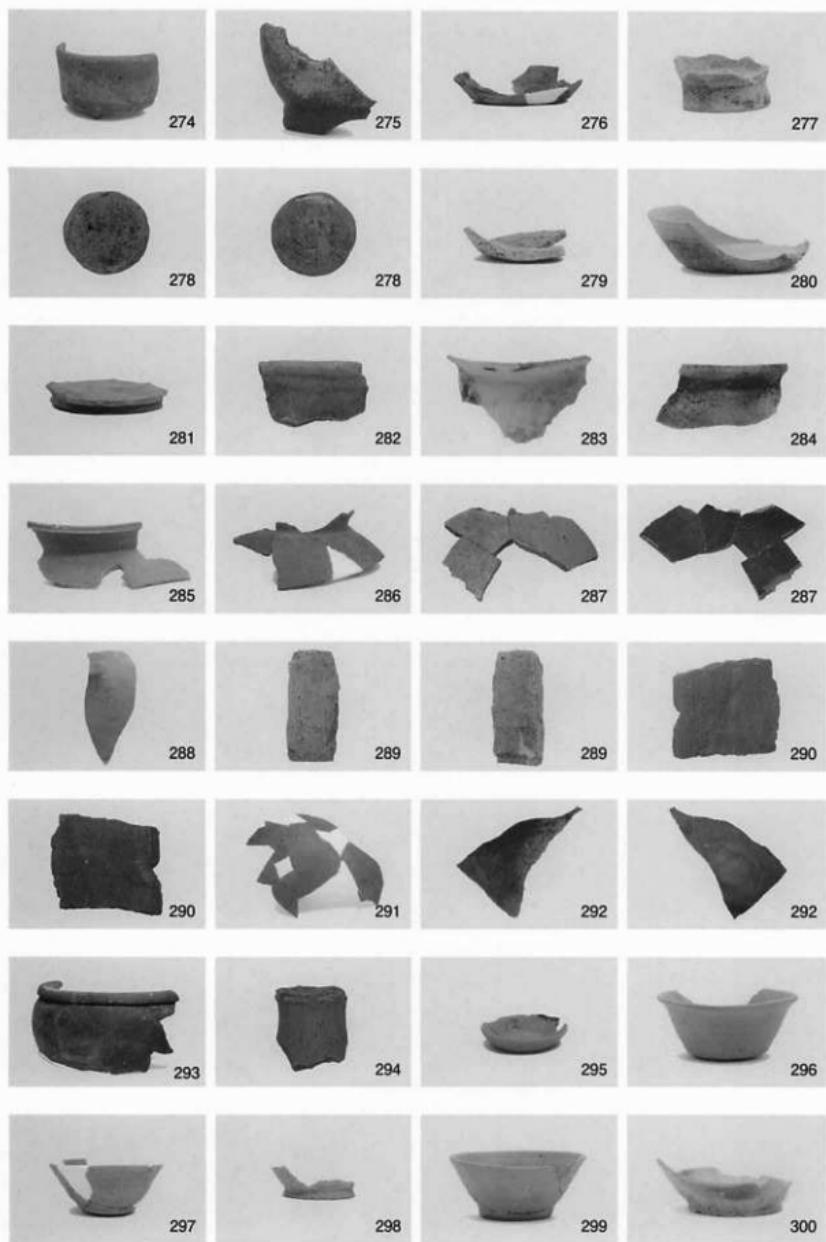
図版20 0509調査地点出土遺物8



図版21 0509調査地点出土遺物9



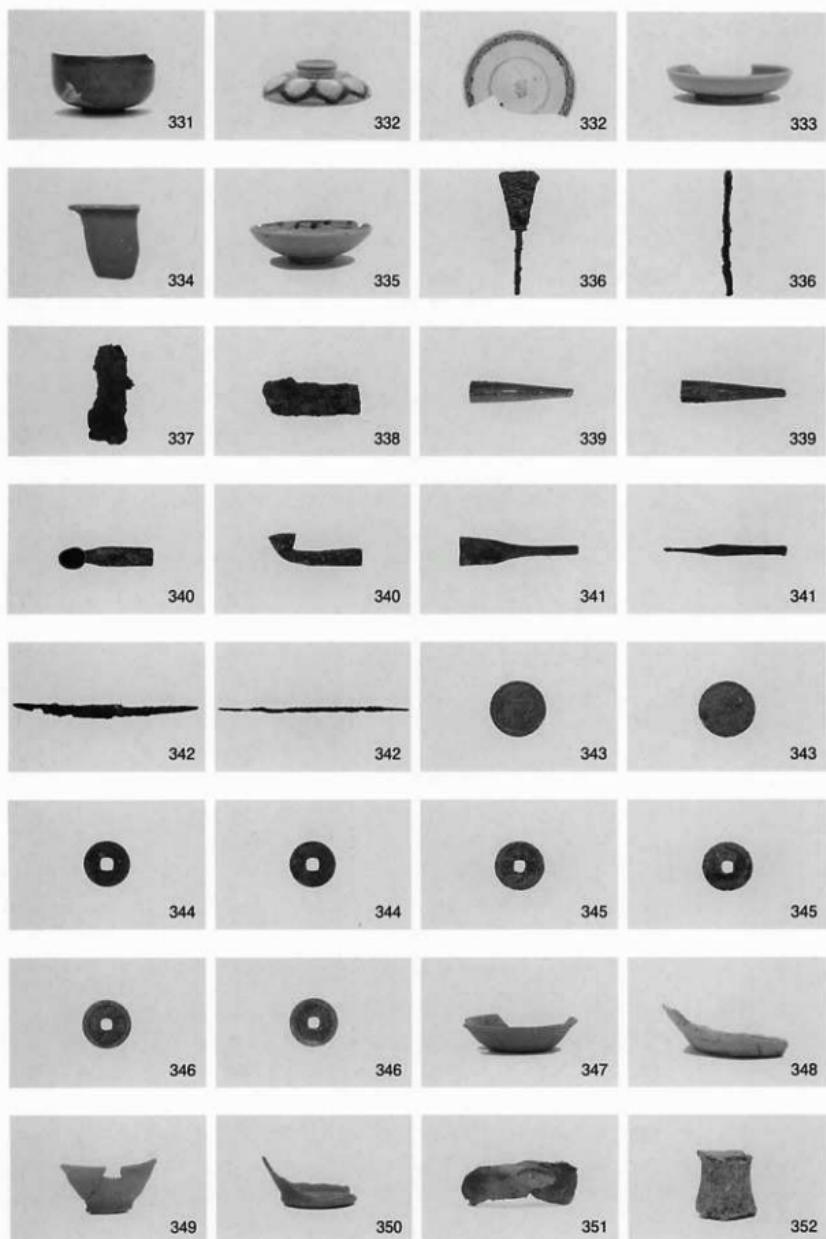
図版22 0509調査地点出土遺物10



図版23 0509調査地点出土遺物11



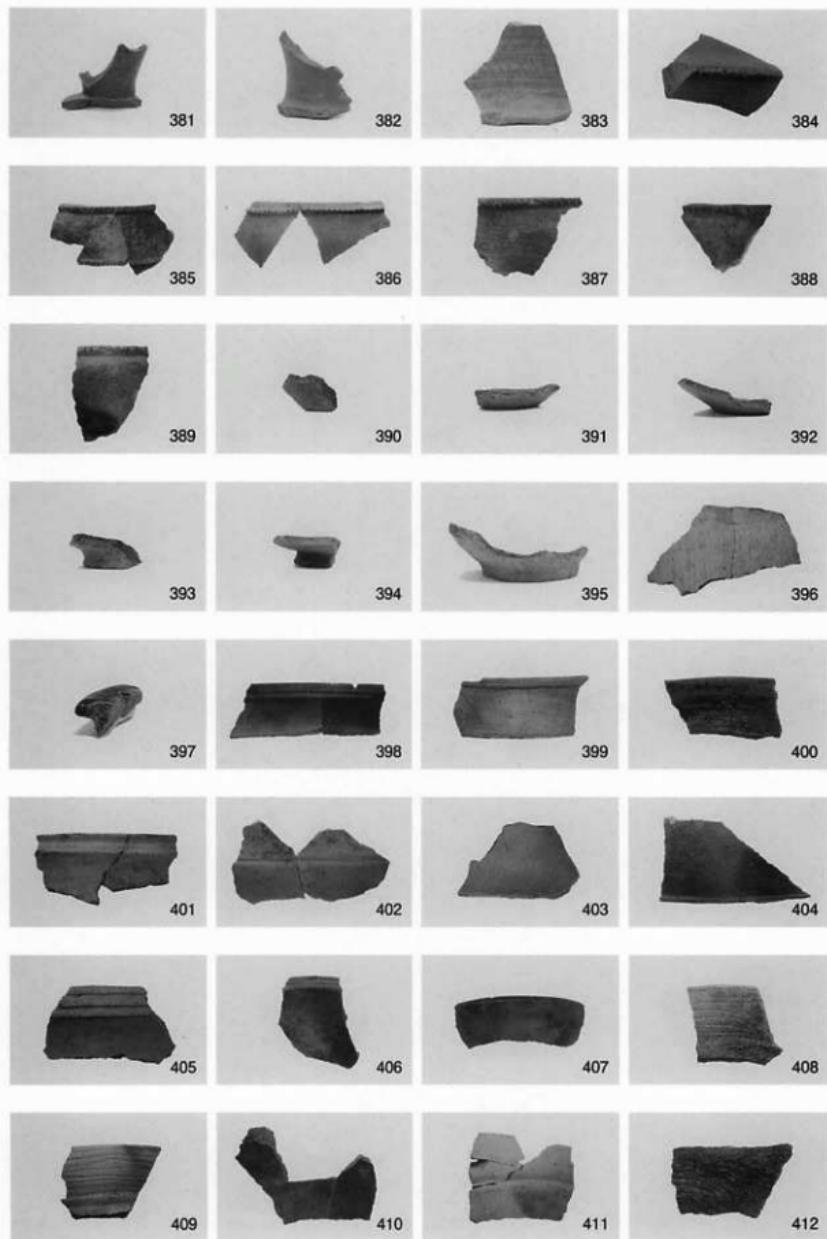
図版24 0509調査地点出土遺物12



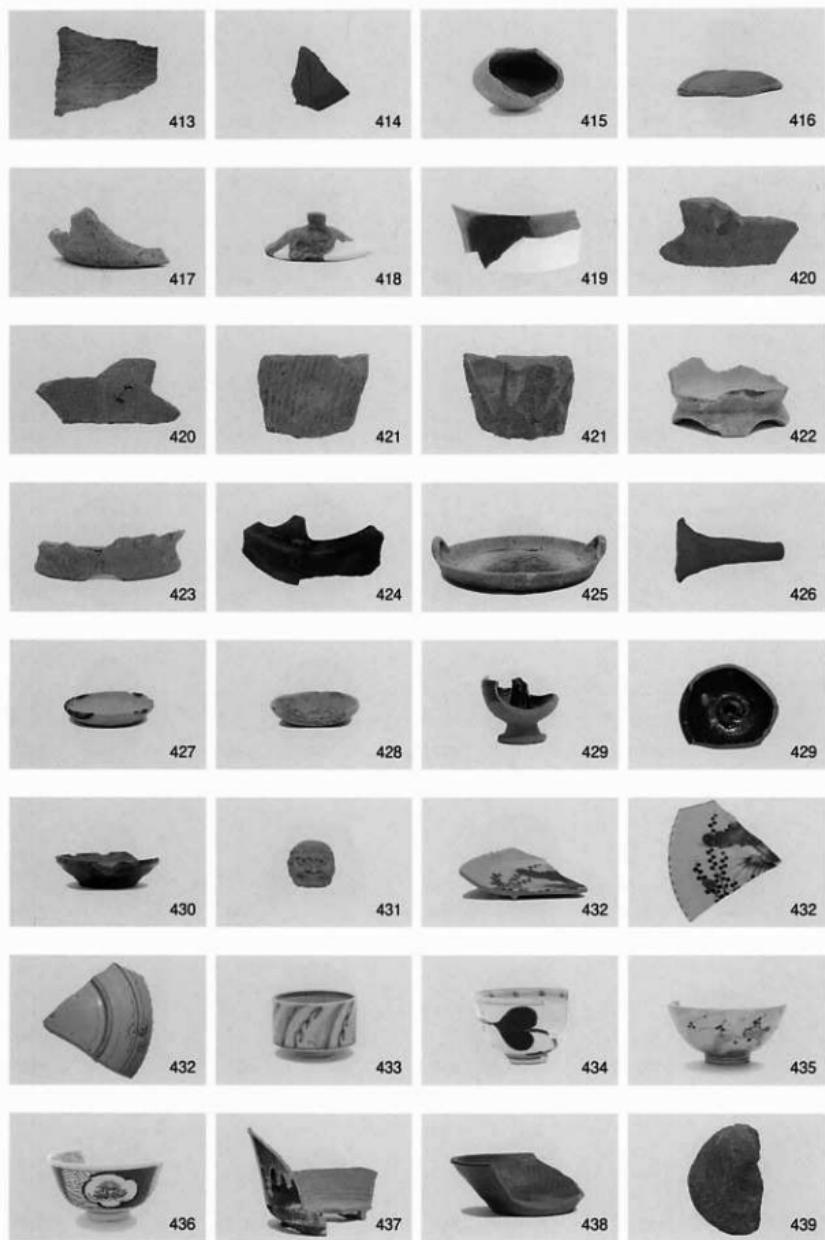
図版25 0509調査地点出土遺物13



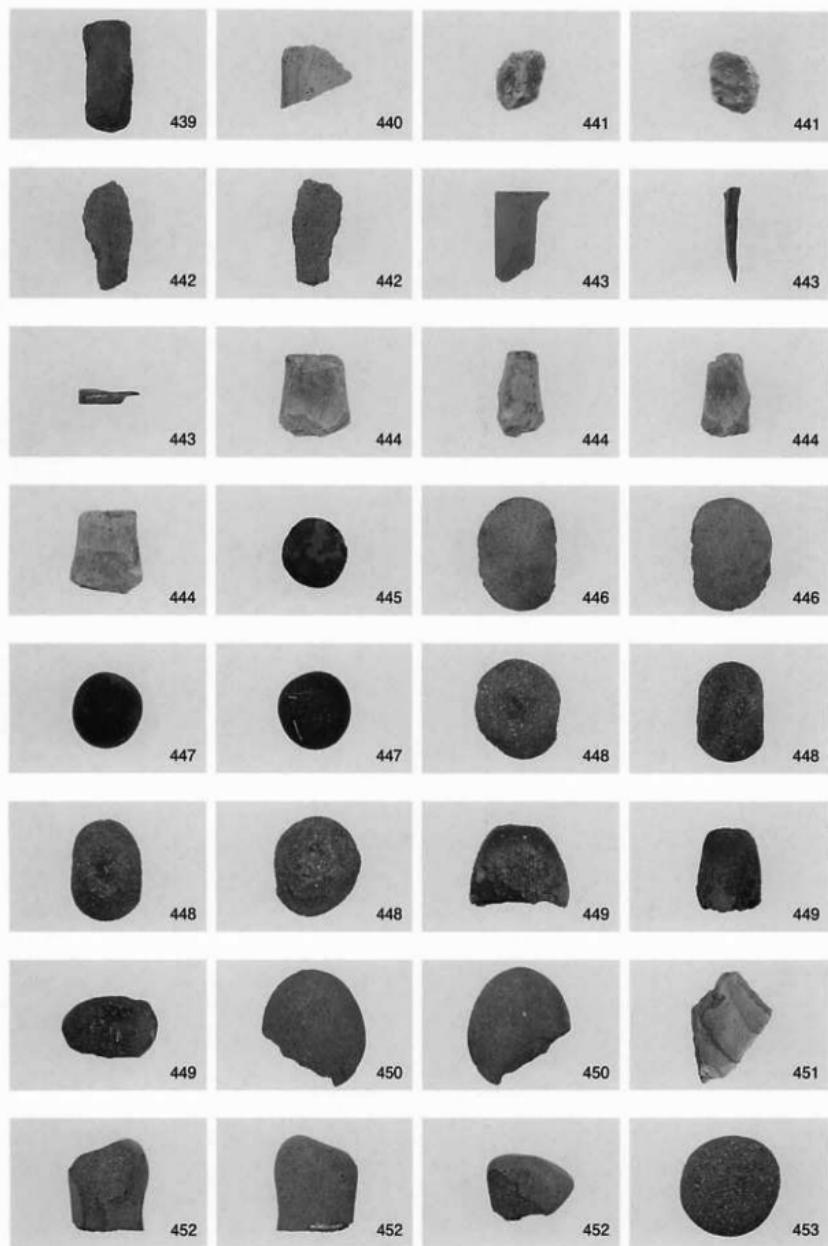
図版26 0509調査地点出土遺物14

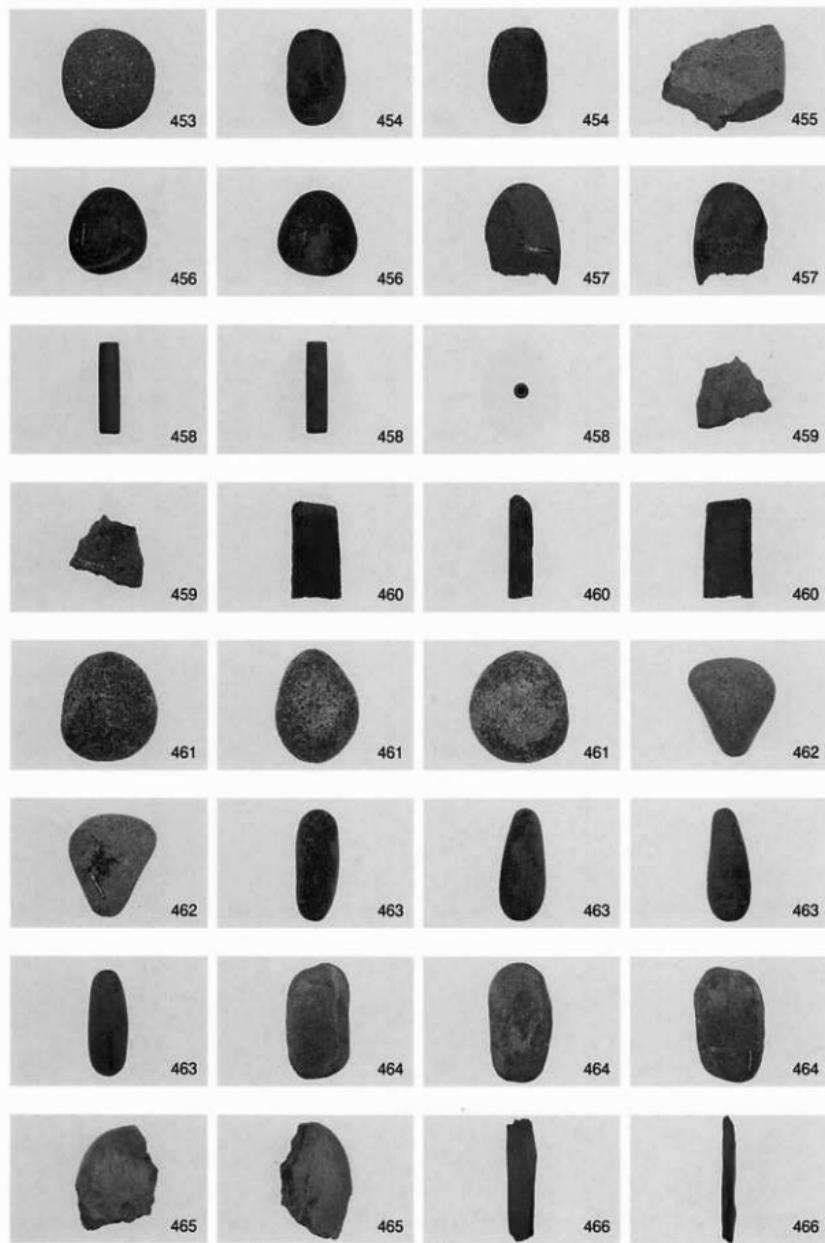


図版27 0509調査地点出土遺物15

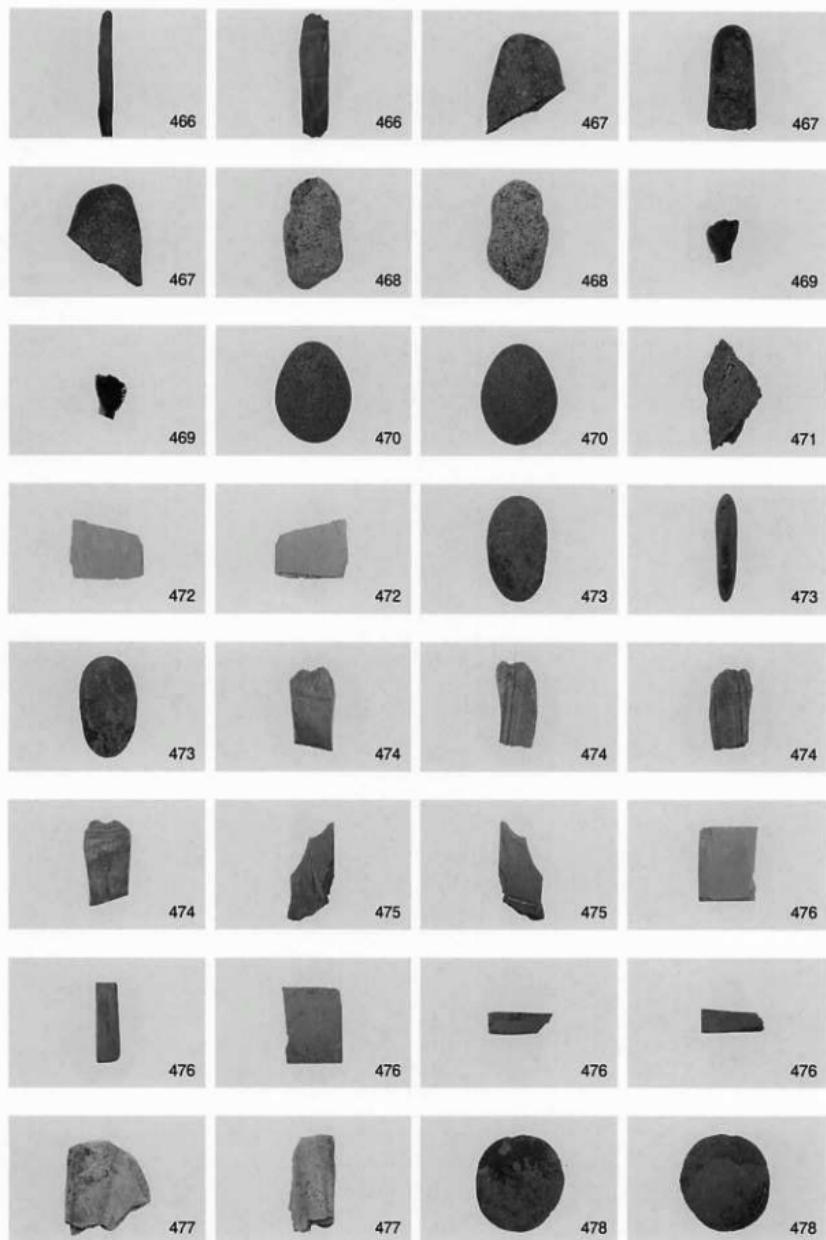


図版28 0509調査地点出土遺物16

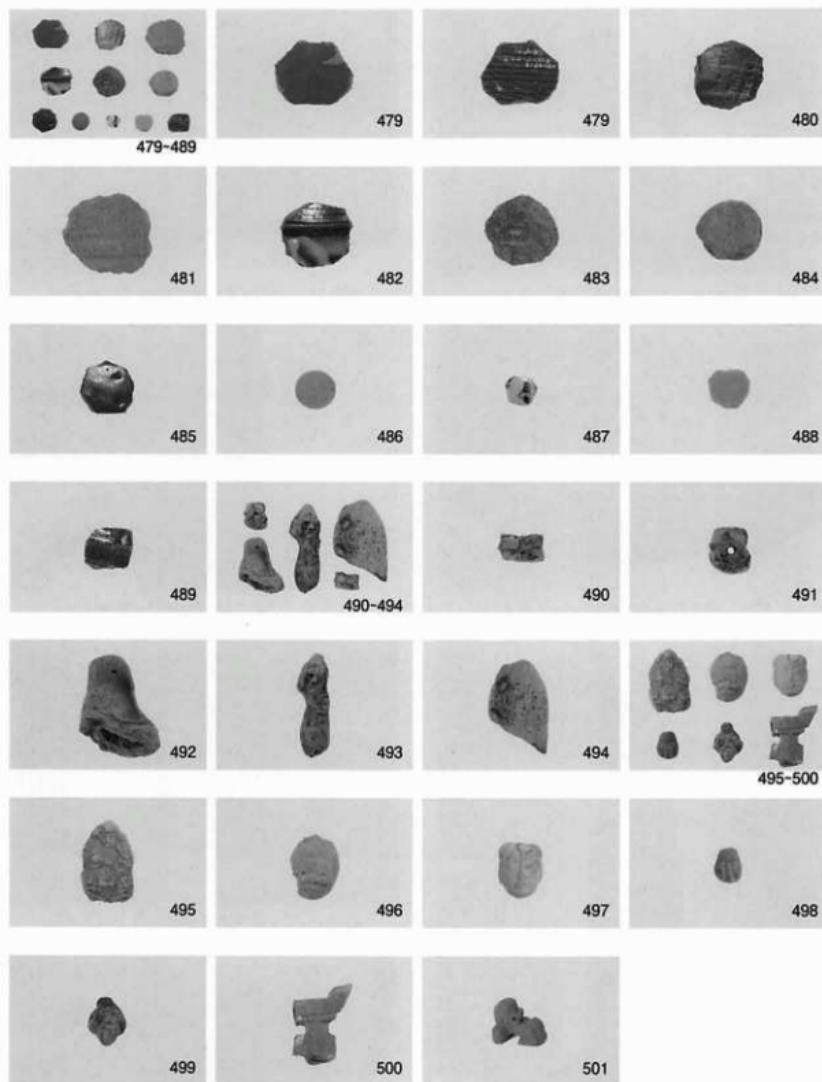




図版30 0509調査地点出土遺物18



図版31 0509調査地点出土遺物19



図版32 0923・0924・0925調査地点



写真76 ⑤工区全景 (南より)



写真77 ⑤工区遺構検出状況 (北東より)



写真78 ⑤工区遺構掘削状況 (北東より)

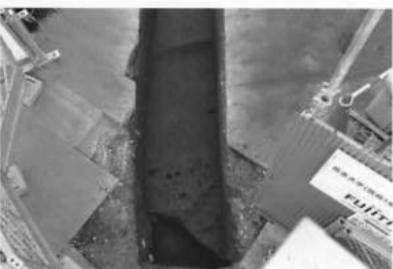


写真80 10号住居掘削状況 (南西より)



写真79 ⑥工区全景 (南西より)



写真81 ⑥工区東側遺構掘削状況 (北より)



写真82 ⑥工区南壁土層断面 (南西より)

図版33 0923・0924・0925調査地点



写真83 ⑨工区遺構掘削状況（西より）



写真84 ⑨工区3号溝掘削状況（南西より）

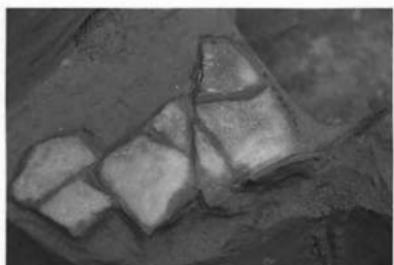


写真85 ⑨工区3号溝遺物出土状況（西より）



写真86 ⑨工区3号溝土層断面（西より）



写真87 ⑩工区遠景（北より）



写真89 ⑩工区全景（北より）



写真88 ⑩工区全景（南より）

図版34 0923・0924・0925調査地点

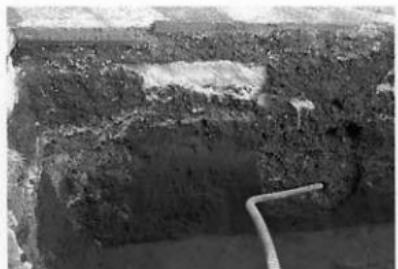


写真90 ⑩工区西壁土層断面（東より）



写真91 ⑪工区東半全景（東より）



写真92 ⑪工区西半全景（西より）

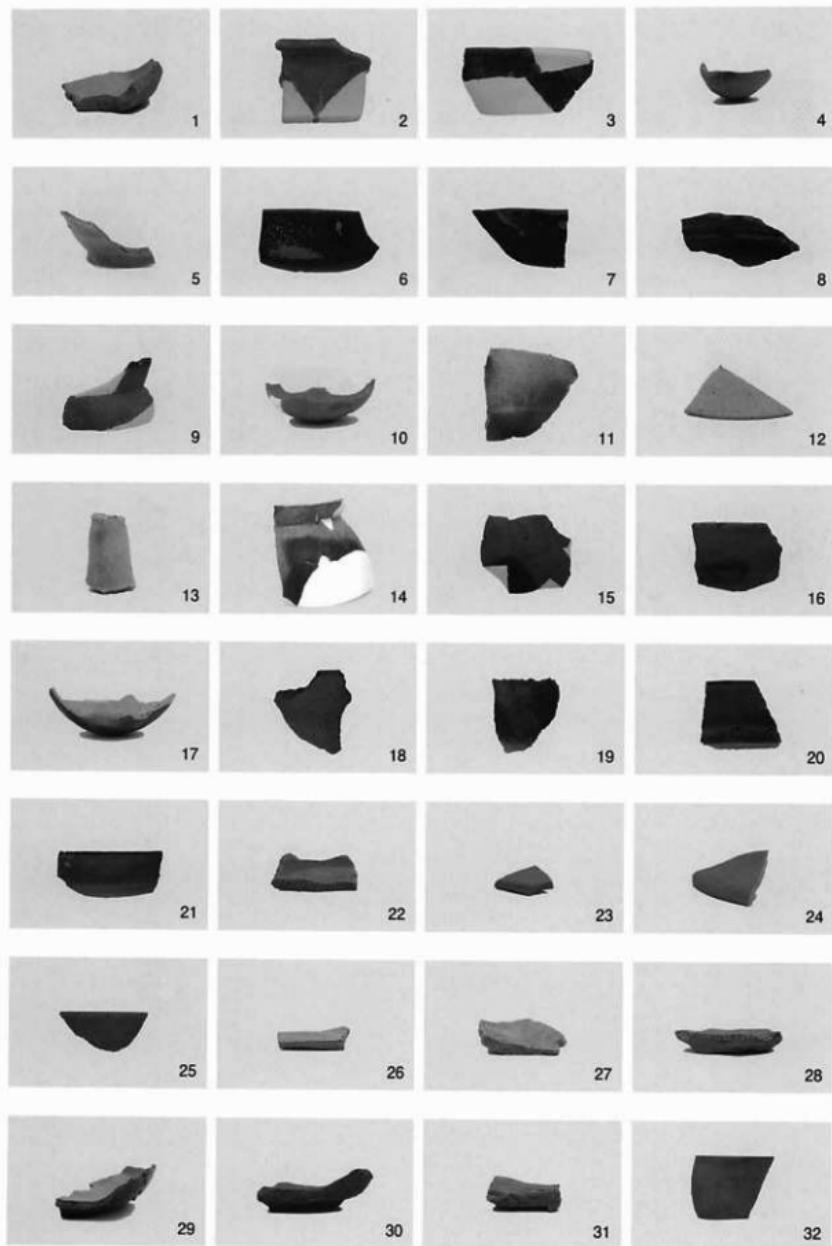


写真93 7号住居遺物出土状況（西より）

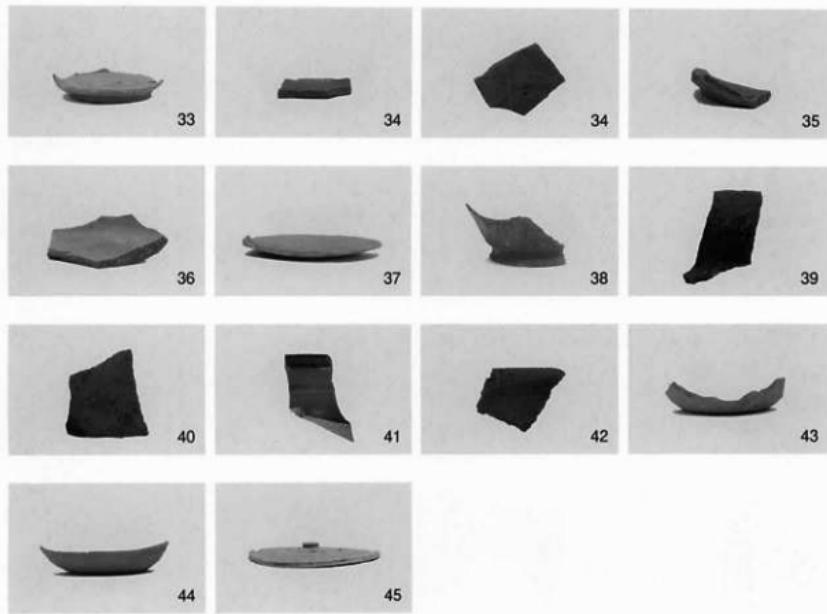


写真94 7号住居完掘状況（東より）

図版35 0923・0924・0925調査地点出土遺物 1



図版36 0923・0924・0925調査地点出土遺物2



図版37 0719調査地点



写真95 1区全景 (南西より)



写真96 3区掘削状況 (南西より)



写真97 4区掘削状況 (北より)



写真98 4区掘削状況 (西より)



写真99 3・4区掘削状況 (西より)



写真100 21号溝掘削状況 (南より)



写真101 21号溝土層断面 (北より)

図版38 0719調査地点



写真102 23号住居遺物出土状況（東より）



写真103 23号住居土層断面（北東より）

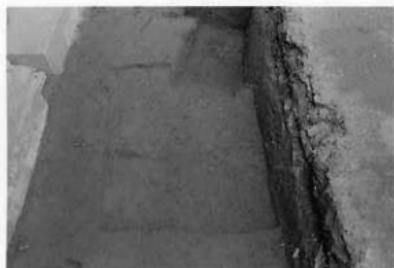


写真104 23号住居完掘状況（東より）



写真105 1号溝完掘状況（南より）

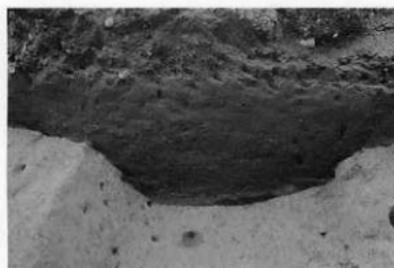


写真106 1号溝土層断面（南より）



写真107 2号溝完掘状況（南より）

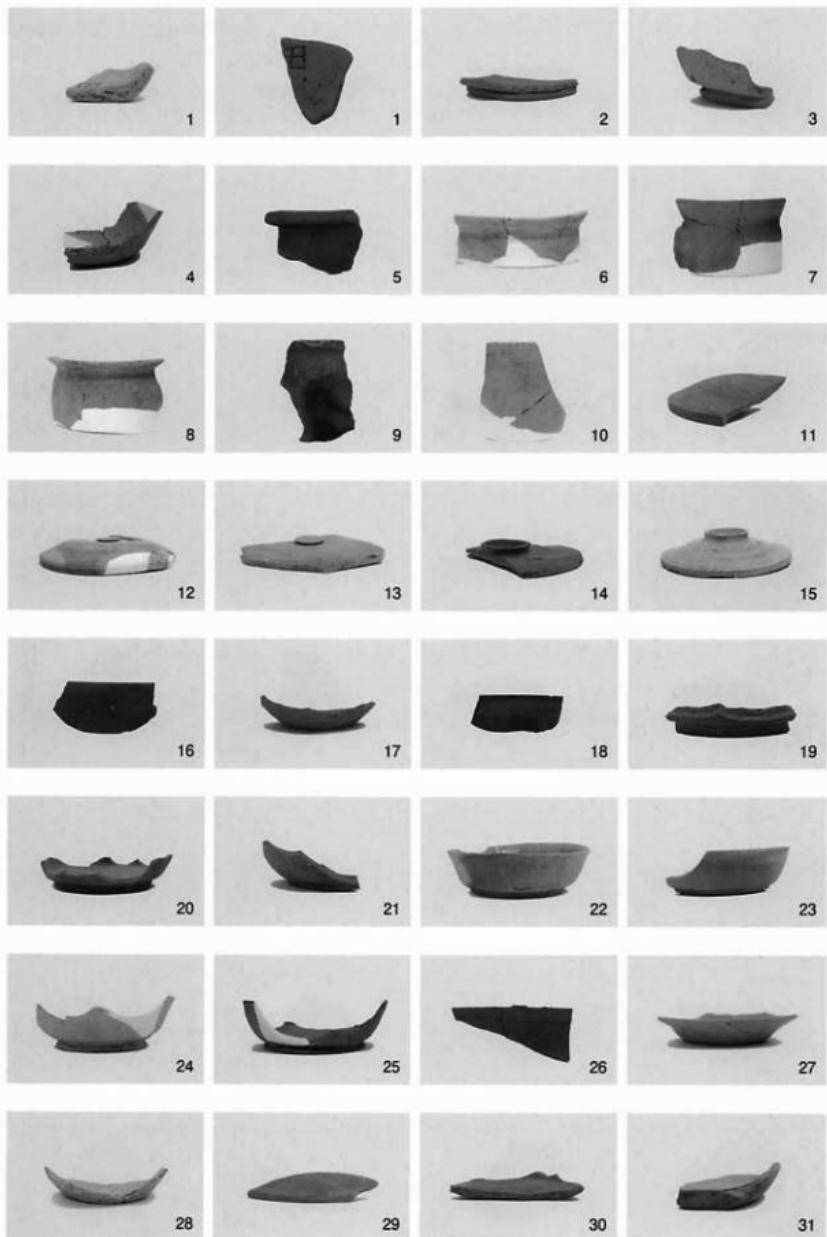


写真108 38号長方形土坑土層断面（南東より）

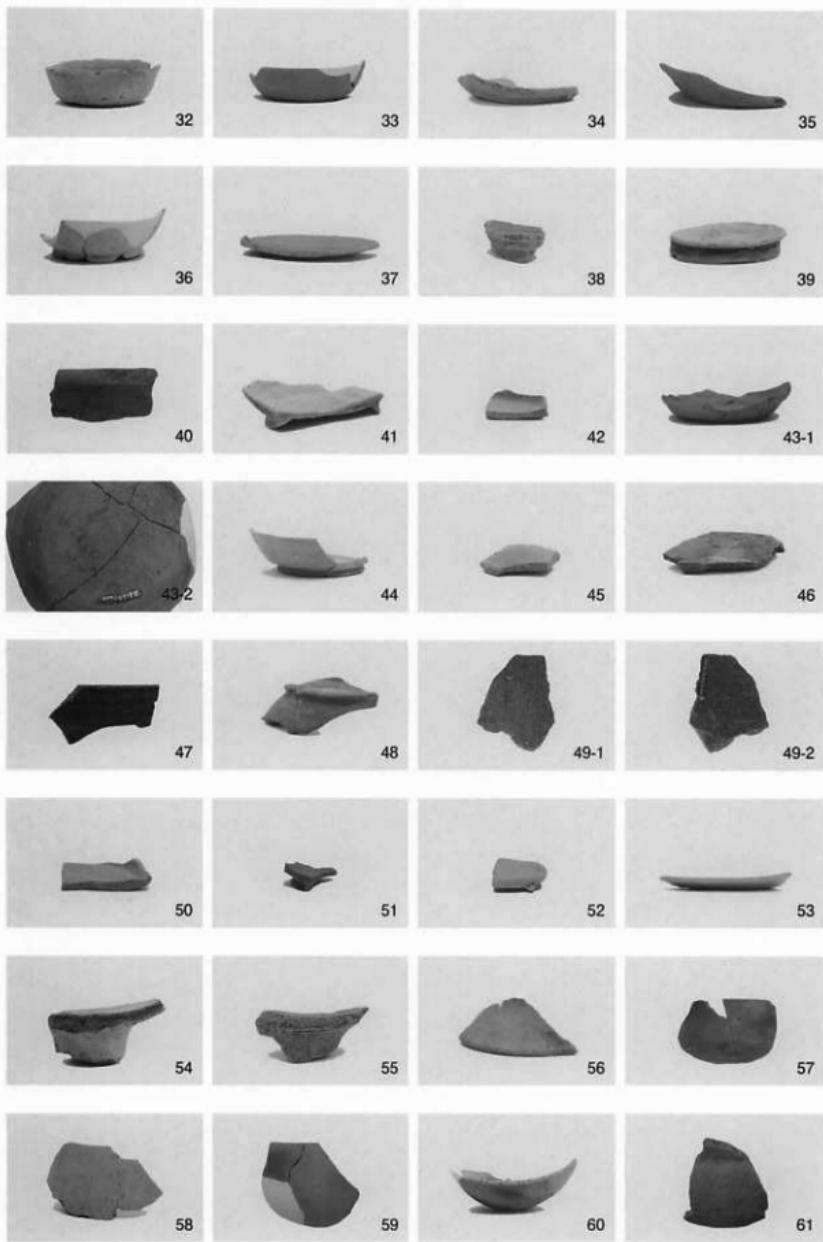


写真109 38号長方形土坑完掘状況（西より）

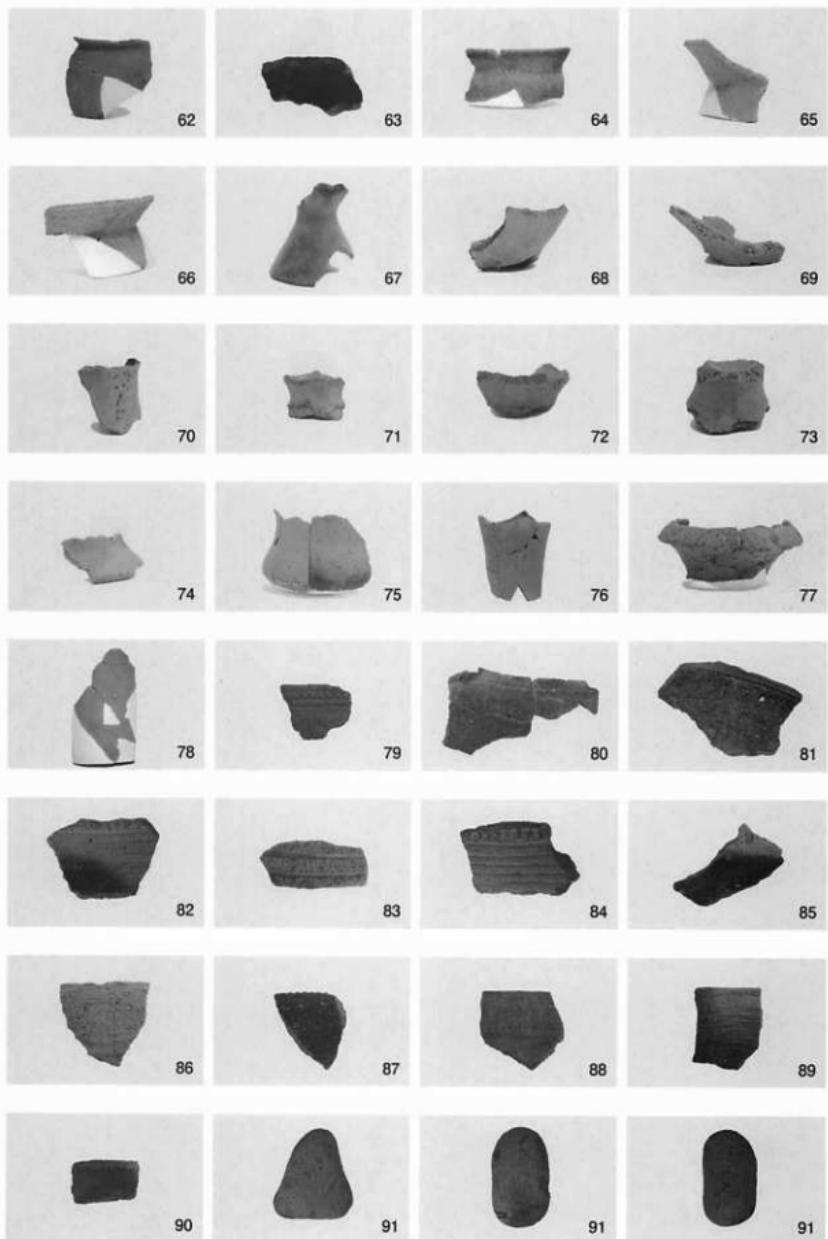
図版39 0719調査地点出土遺物 1



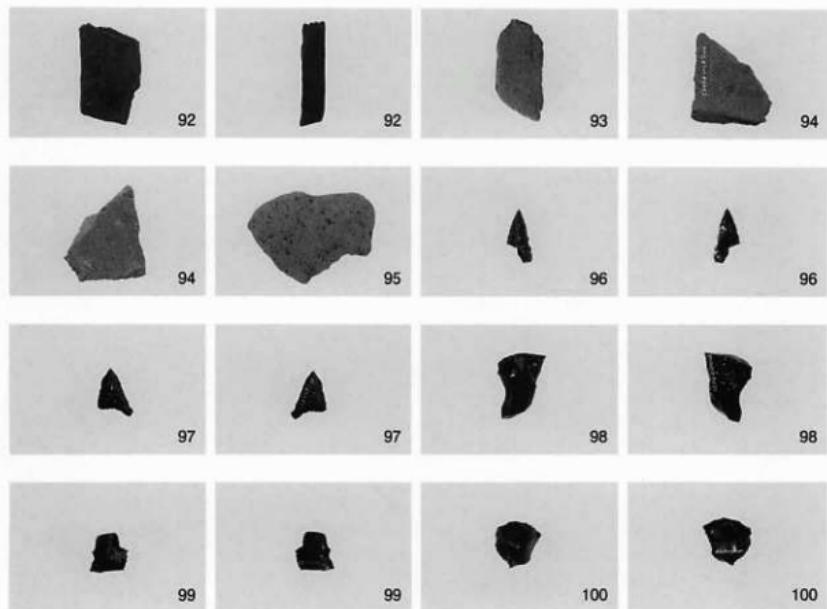
図版40 0719調査地点出土遺物 2



図版41 0719調査地点出土遺物3



図版42 0719調査地点出土遺物 4



報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないいせきはくつちょうさほうこく見							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	四							
編著者名	大坪志子							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2016年3月30日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡群 (006地点)	熊本県熊本市黒髪	43201	278	32°49'02"	130°43'36"	20100903 ~ 20100910	1211.68m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄道路 (0509地点)	熊本県熊本市本庄	43201	285	32°47'41"	130°42'38"	20050713 ~ 20050830	1147.0m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄道路 (0923地点)	熊本県熊本市本庄	43201	285	32°47'48.5"	130°42'40"	20081013 ~ 20091027 ~ 20091030 20091112 20091113 20091118	71.2m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄道路 (0924地点)	熊本県熊本市本庄	43201	285	32°47'48"	130°42'38"	20091019 ~ 20091023 20091027 ~ 20091030 20091112 20091113 20091118	134.4m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄道路 (0925地点)	熊本県熊本市本庄	43201	285	32°47'47.5"	130°42'37"	20091027 ~ 20091030 20091112 20091113 20091119 20091124 ~ 20091125 20091126 20091201 ~ 20091203	54.0m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
草町台遺跡群 (0719地点)	熊本県熊本市草町	43201	285	32°47'47.2"	130°42'41.9"	20071025 ~ 20071128	230.3m ²	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
黒髪町遺跡群 (006地点)	集落址	古代	堅穴住居・ピット	土師器・須恵器				
本庄道路 (0509地点)	集落址	古墳・古代 近世	堅穴住居・溝・ピット・土坑・土坑墓	土師器・須恵器・陶器・鉄製品・青銅製品・土製品・弥生土器・绳文土器・石器				
本庄道路 (0923地点)	集落址	古代	堅穴住居・ピット	土師器片・須恵器				
本庄道路 (0924地点)	集落址	古代	ピット	なし				
本庄道路 (0925地点)	集落址	古代	堅穴住居・溝・ピット	土師器片・須恵器				
草町台遺跡 (0719地点)	集落址	古代・弥生	堅穴住居・溝・ピット	土師器・須恵器・弥生土器・绳文土器・石器				

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第11集
熊本大学構内遺跡発掘調査報告 XI
(2005、2007、2009、2010年度)

平成28年3月27日 印刷
平成28年3月30日 発行
編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1
TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832
印 刷 シモダ印刷株式会社

